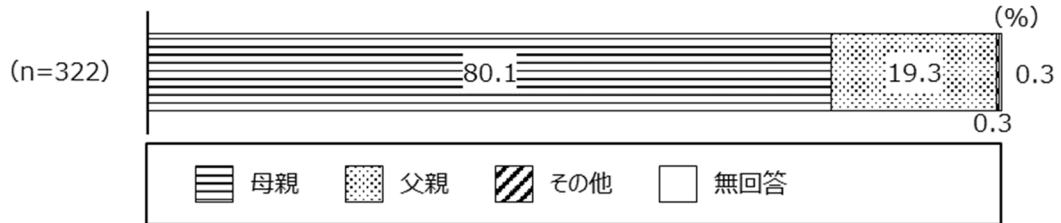


Ⅱ-④ 小学校5・6年生保護者調査結果

(1) 子どもと家族の状況について

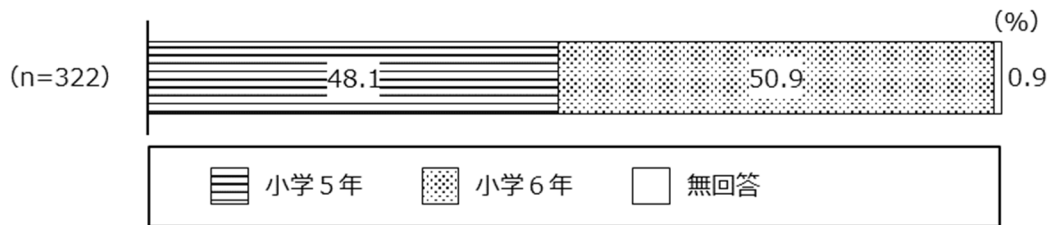
問1 回答者と子どもの関係

図表 298

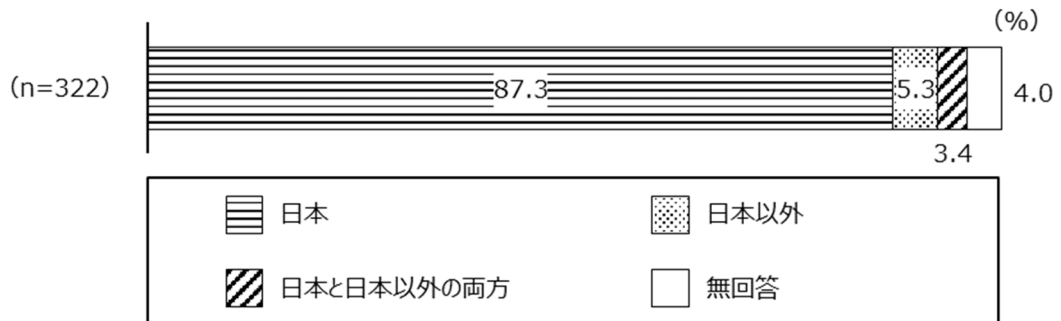


問2 子どもの学年・国籍

図表 299 子どもの学年

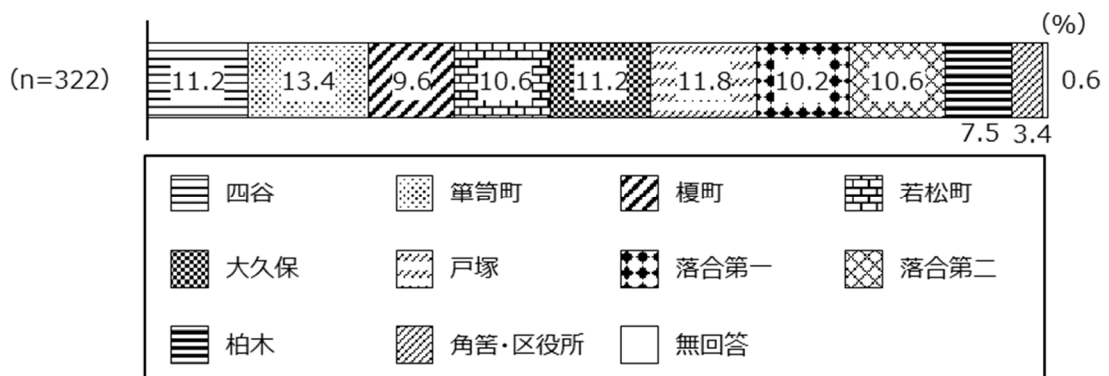


図表 300 子どもの国籍



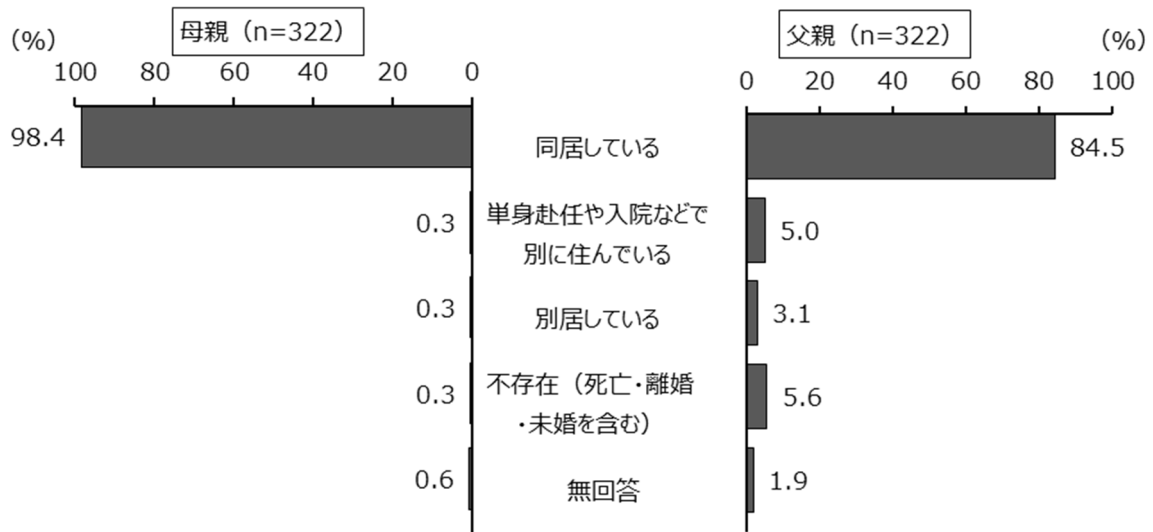
問3 居住地域（特別出張所単位）

図表 301

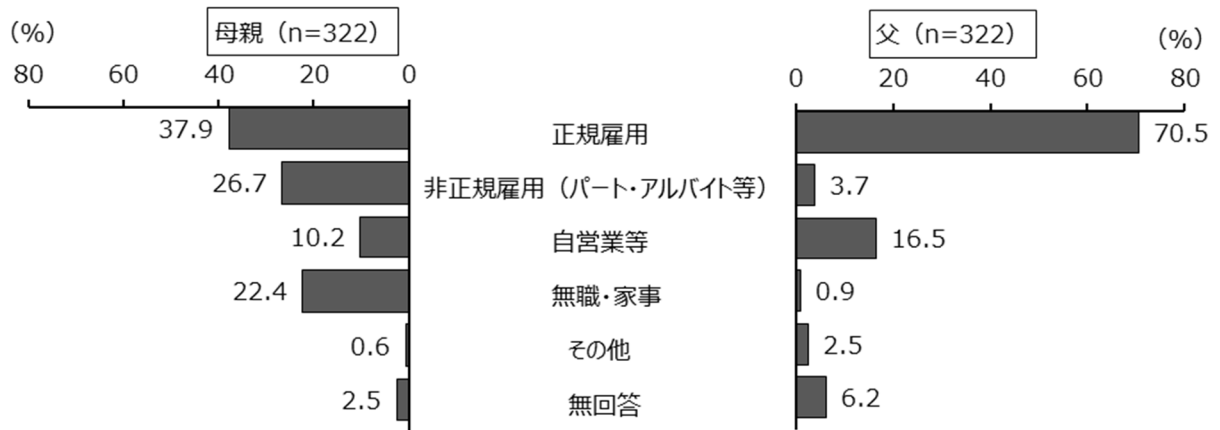


問4 子どもと両親の同居状況・就労状況<父母>

図表 302 子どもと両親の同居状況<父母>

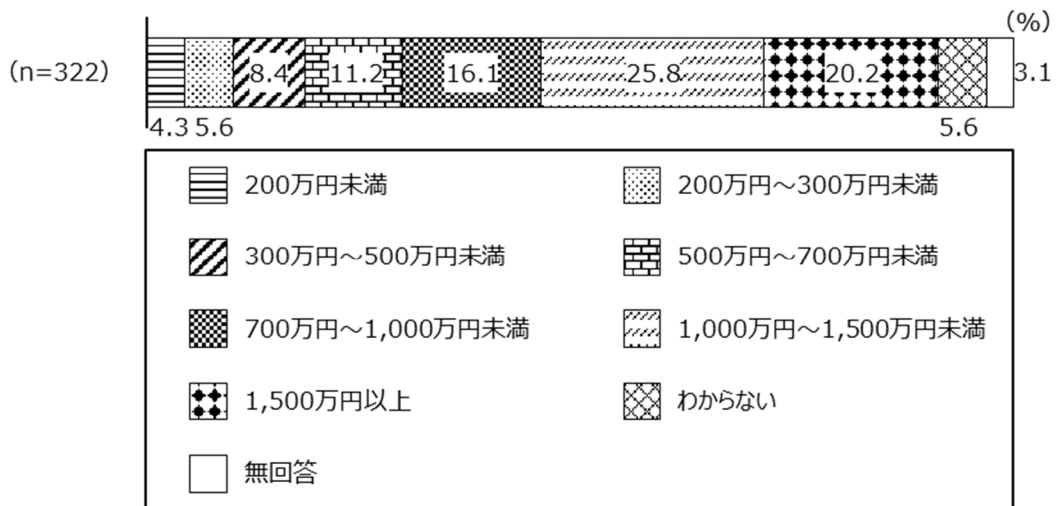


図表 303 両親の就労状況<父母>



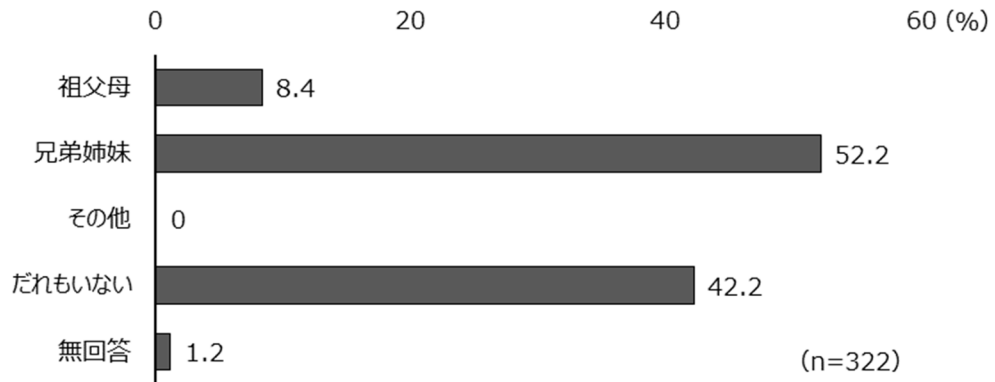
問5 世帯の一年間の収入の合計額 (土地・家屋・株券などの資産売却による収入は除く)

図表 304



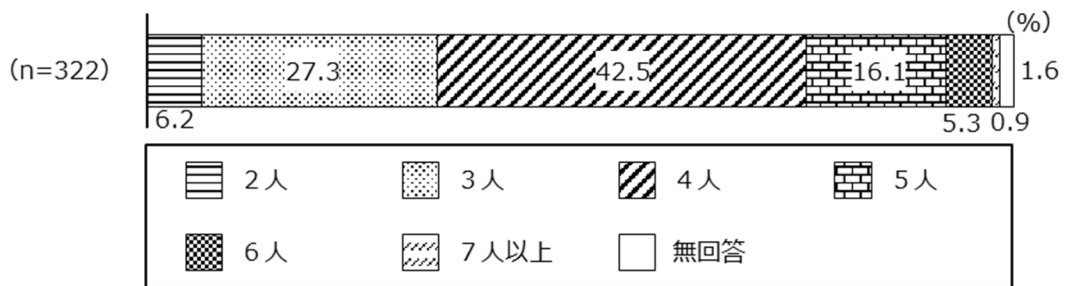
問6 両親以外の同居者（複数回答）

図表 305



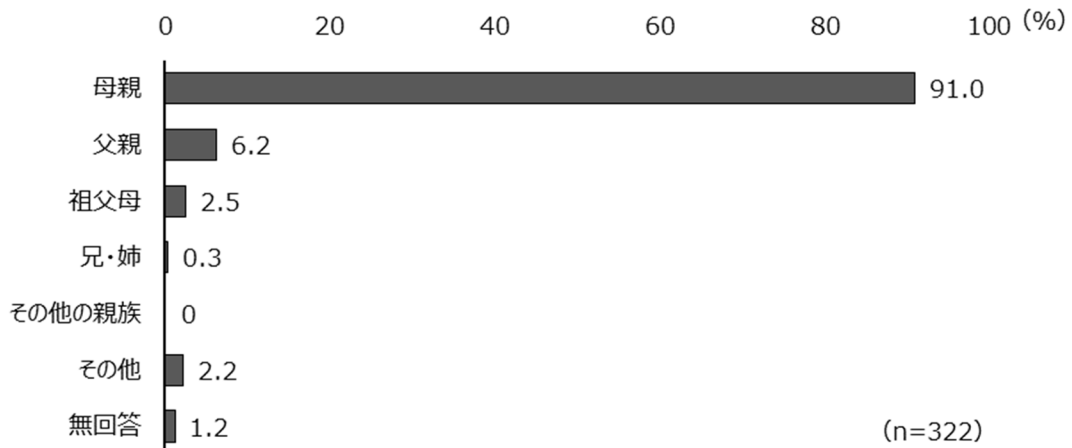
問7 同居の家族の人数

図表 306



問8 子どもの身の回りの世話などを主に行っている人

図表 307

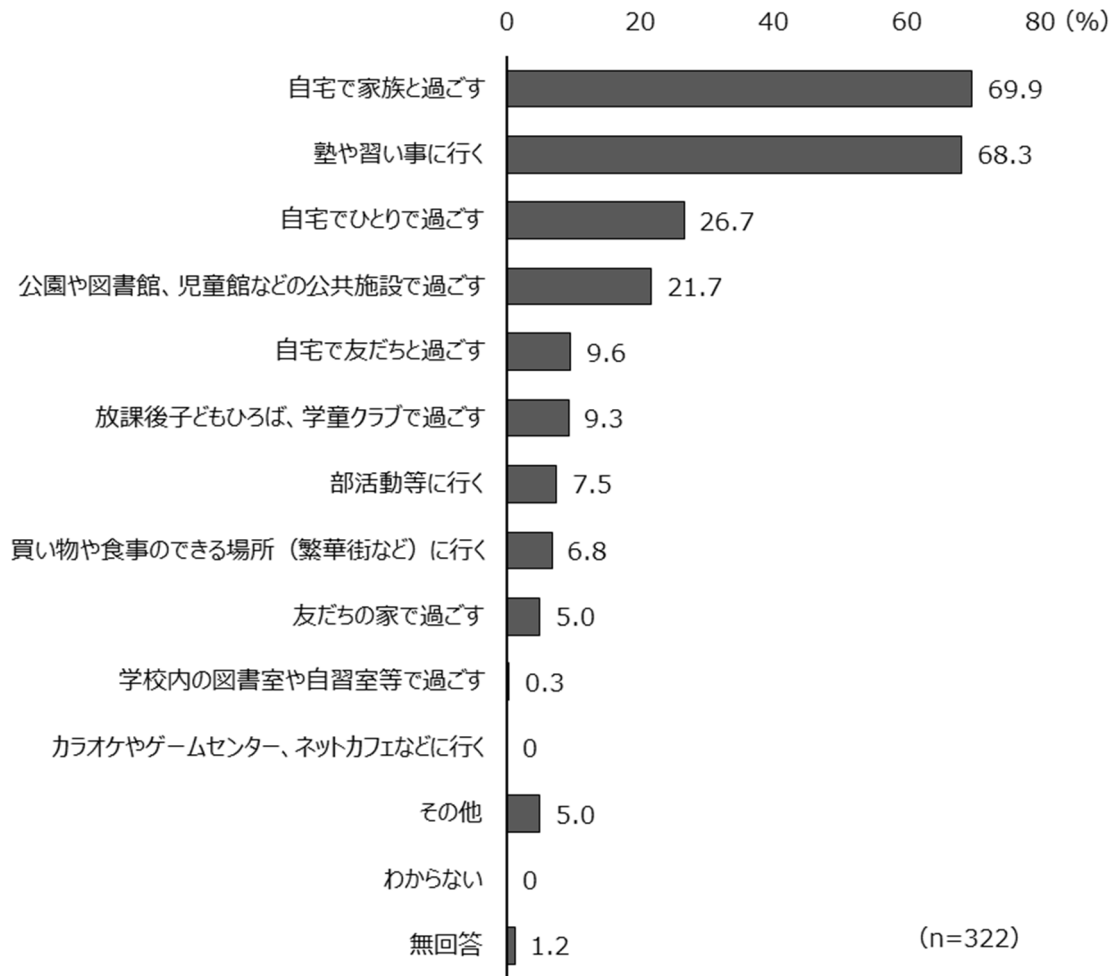


(2) 子どもの日常生活について

問9 子どもの放課後や休日の過ごし方（3つまで）

子どもの放課後や休日の過ごし方は、「自宅で家族と過ごす」が69.9%で最も多く、「塾や習い事に行く」(68.3%)、「自宅でひとりで過ごす」(26.7%)と続く。

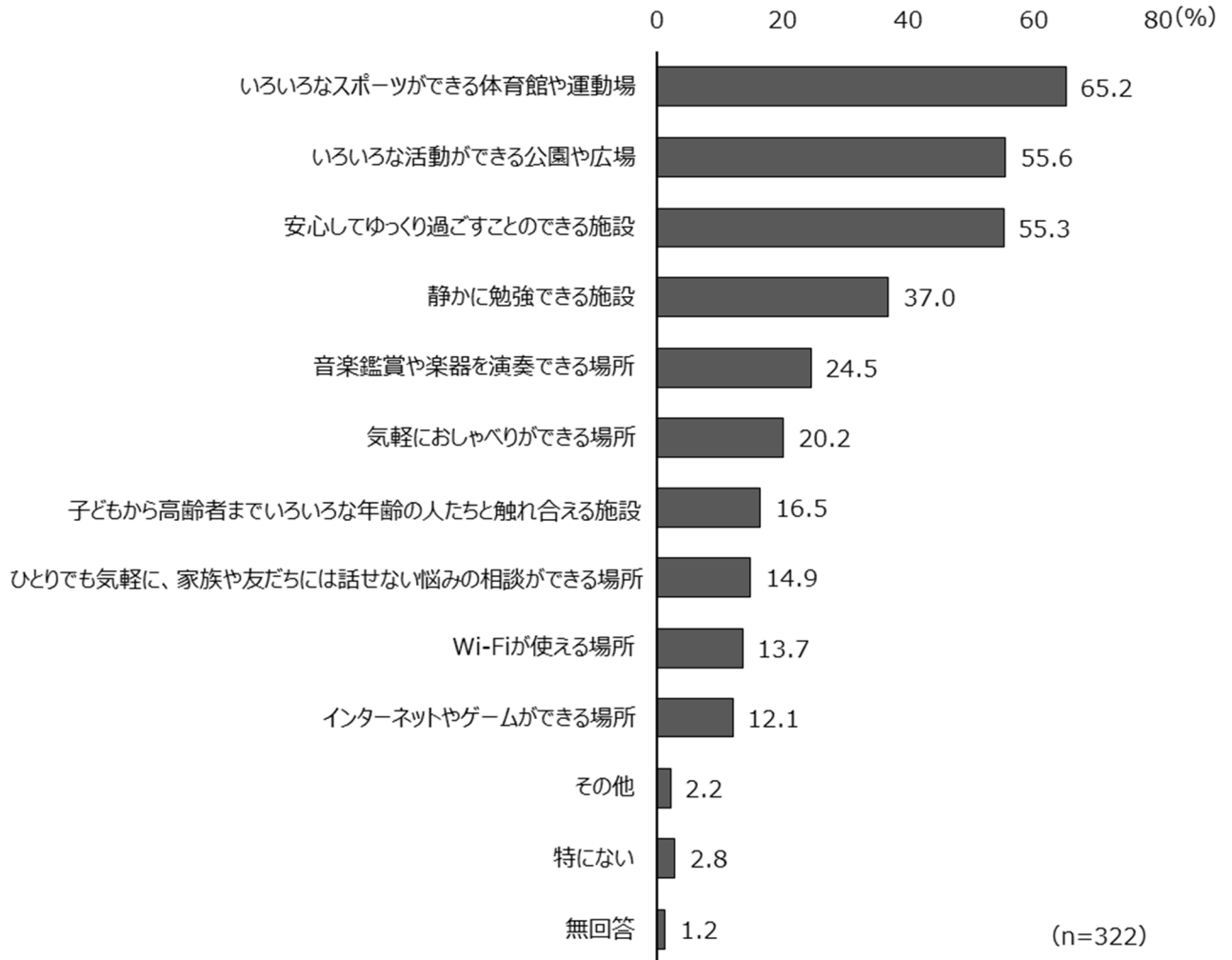
図表 308



問10 学校と家以外の放課後や休日を過ごす場所の希望（複数回答）

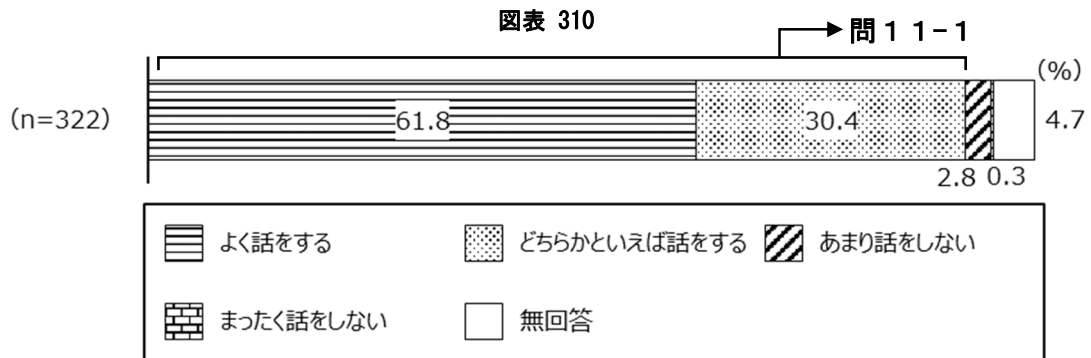
学校と家以外の放課後や休日を過ごす場所の希望は、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」が65.2%で最も多く、「いろいろな活動ができる公園や広場」(55.6%)、「安心してゆっくり過ごすことのできる施設」(55.3%)と続く。

図表 309



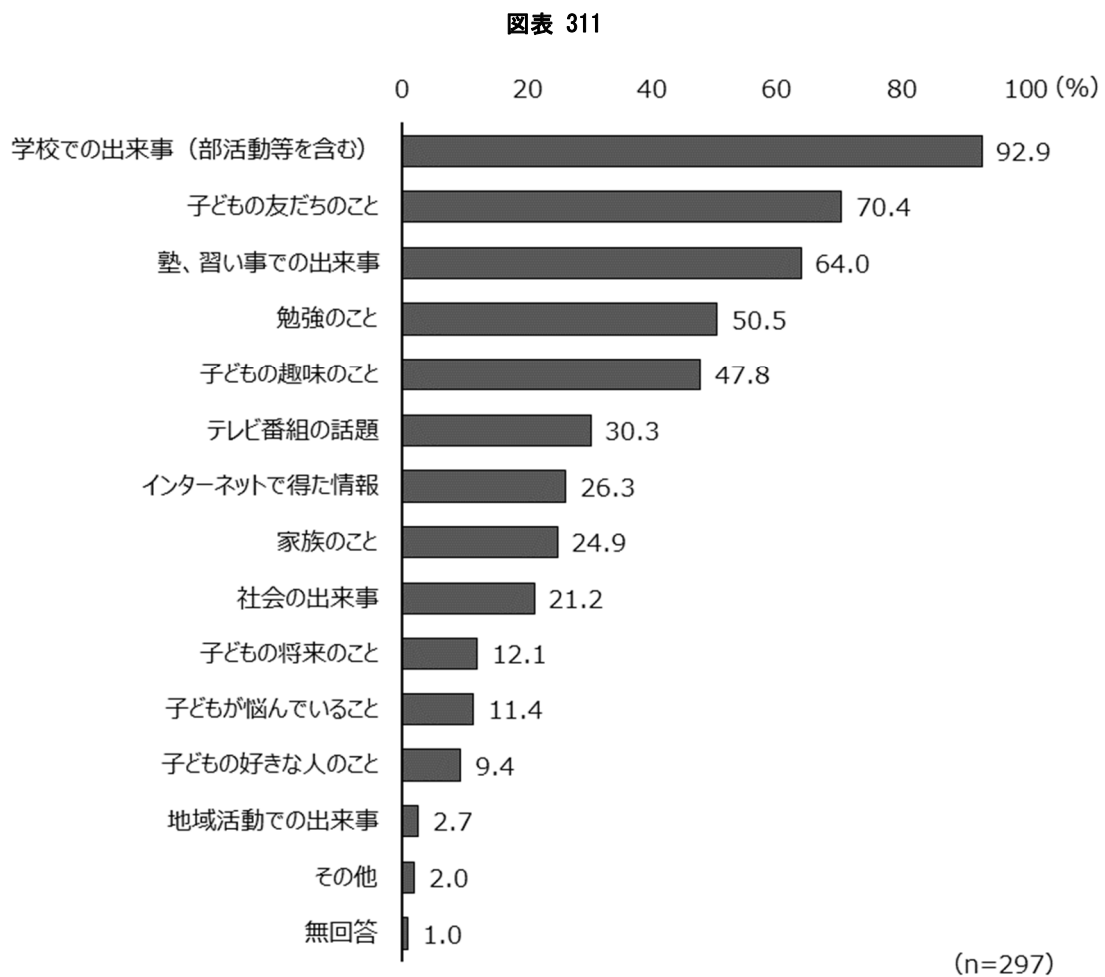
問 1 1 子どもとの会話の程度

子どもとの会話の程度は、「よく話をする」が 61.8%で最も多く、「どちらかといえば話をする」(30.4%)、「あまり話をしない」(2.8%)と続く。



問 1 1-1 子どもとの普段の会話の内容 (5つまで)

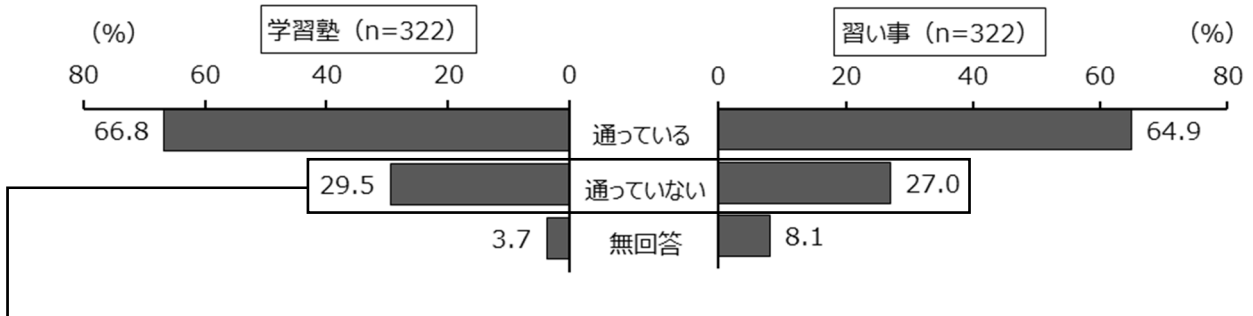
子どもとの普段の会話の内容は、「学校での出来事(部活動等を含む)」が 92.9%で最も多く、「子どもの友だちのこと」(70.4%)、「塾、習い事での出来事」(64.0%)と続く。



問12 子どもが学習塾や習い事に通っているか

学習塾は、「通っている」が66.8%で、習い事は、「通っている」が64.9%となっている。

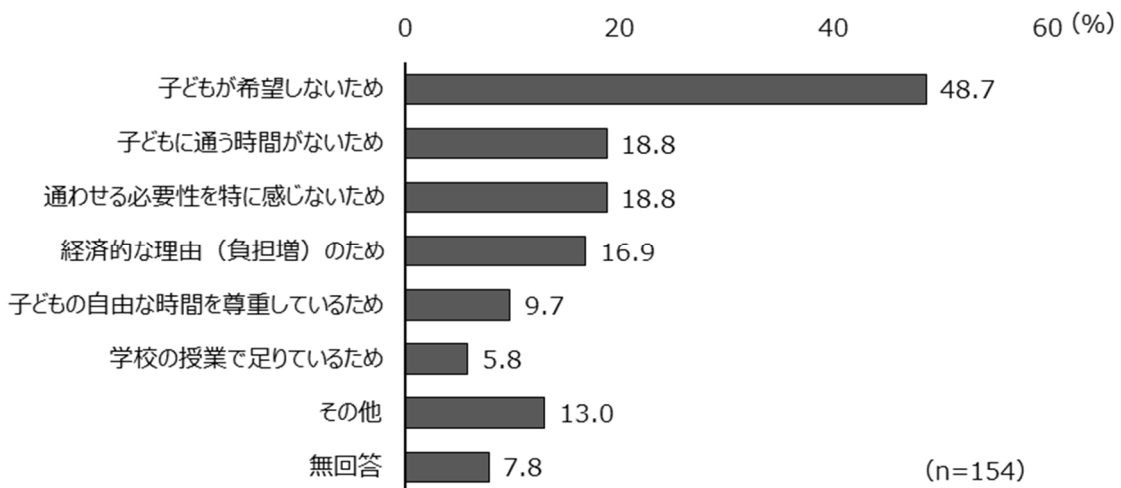
図表 312



問12-1 子どもが学習塾や習い事に通っていない理由（複数回答）

子どもが学習塾や習い事に通っていない理由は、「子どもが希望しないため」が48.7%で最も多く、「子どもに通う時間がないため」と、「通わせる必要性を特に感じないため」がともに18.8%と続く。

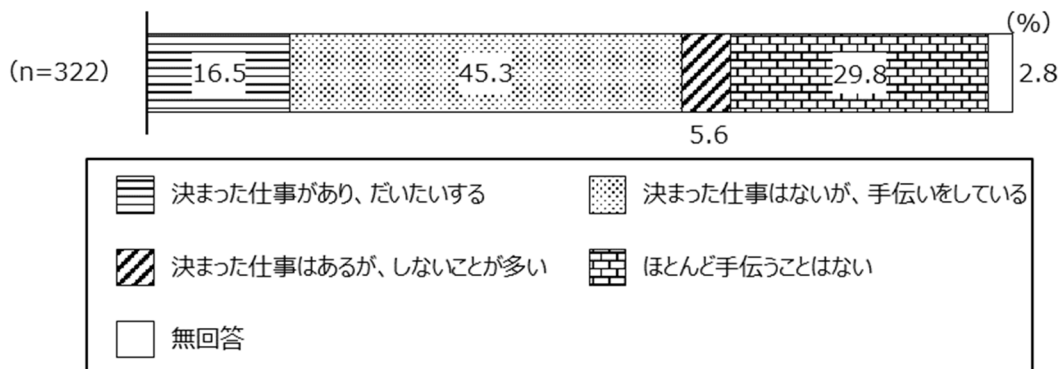
図表 313



問13 子どもが家の手伝いをするか

子どもが家の手伝いをするかは、「決まった仕事はないが、手伝いをしている」が45.3%で最も多く、「ほとんど手伝うことはない」(29.8%)、「決まった仕事があり、だいたいする」(16.5%)と続く。

図表 314



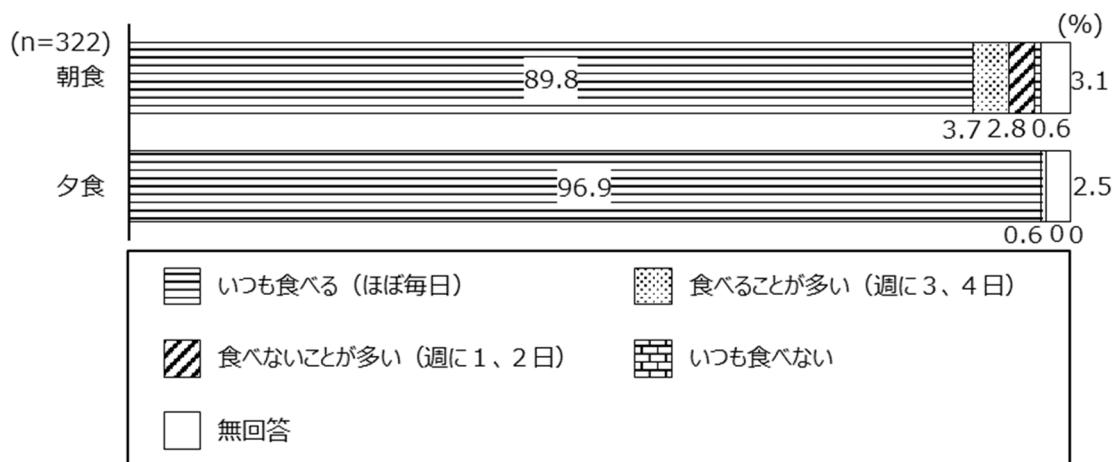
(3) 食事等の生活習慣について

問 1 4 学校がある平日の朝食・夕食の習慣、長い休みの時の昼食の習慣、食事の時間、食べない理由

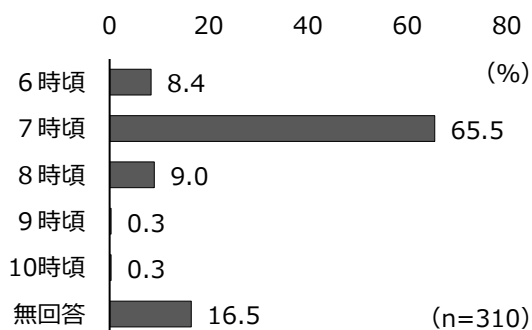
朝食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 89.8%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(3.7%)、「食べないことが多い(週に1、2日)」(2.8%)と続く。

夕食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 96.9%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(0.6%)と続く。

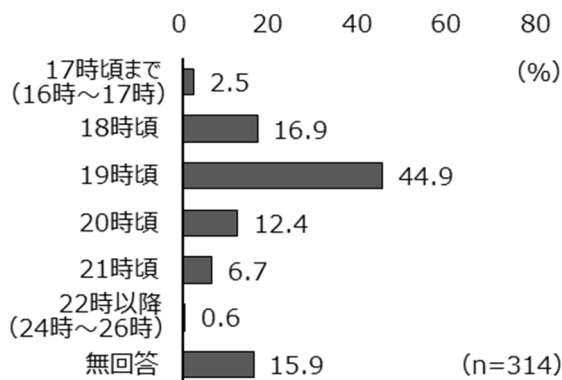
図表 315 学校がある平日の朝食・夕食の習慣



図表 316 朝食の時間

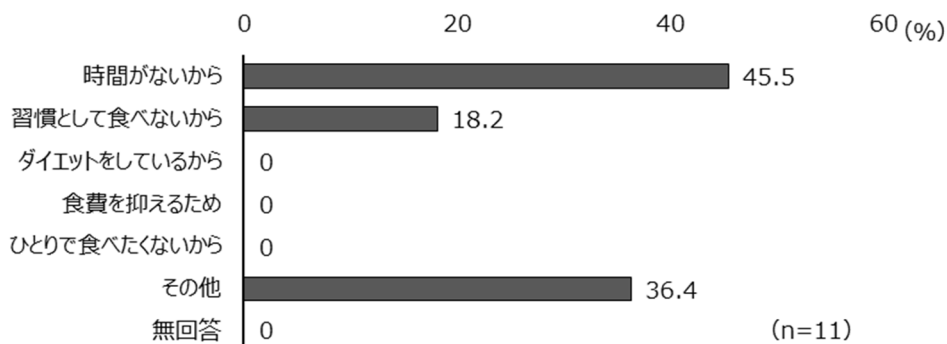


図表 317 夕食の時間



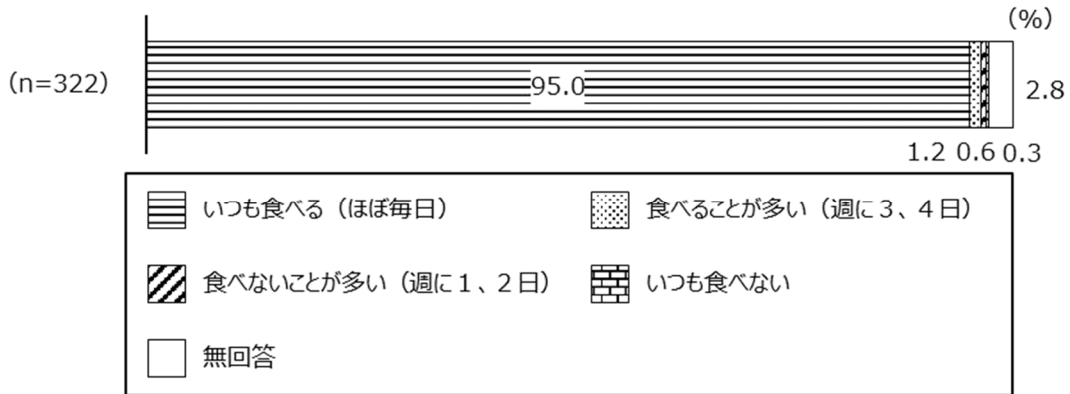
朝食を食べない理由は、「時間がないから」が 45.5%で最も多く、「習慣として食べないから」(18.2%)と続く。

図表 318 朝食を食べない理由

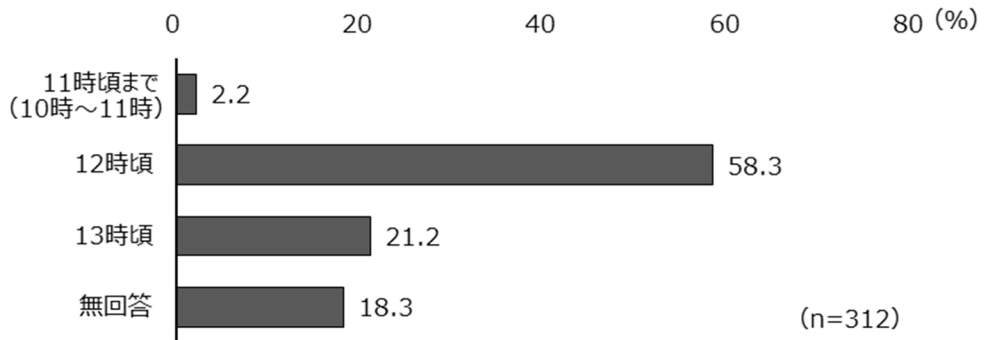


長期休暇中の昼食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 95.0%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(1.2%)、「食べないことが多い(週に1、2日)」(0.6%)と続く。

図表 319 長期休暇中の昼食の習慣

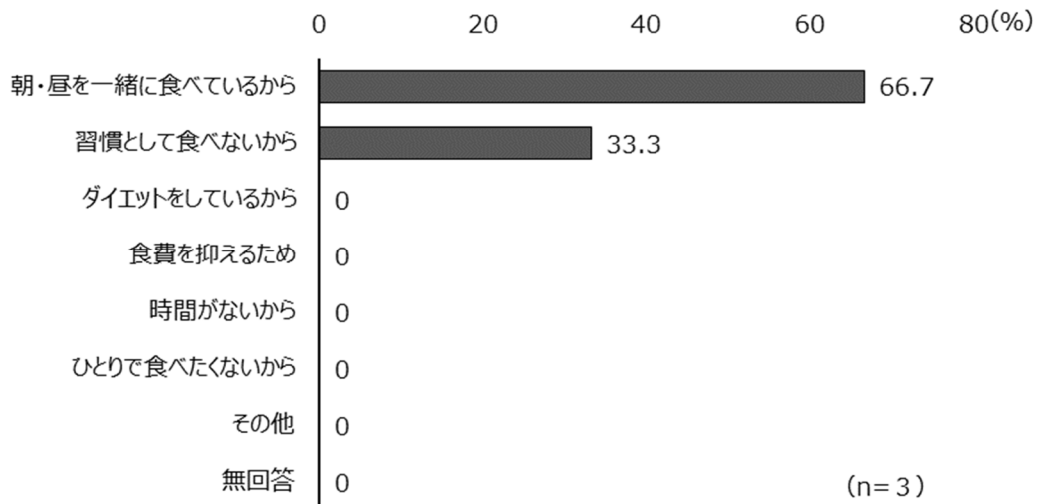


図表 320 長期休暇中の昼食の時間



長期休暇中の昼食を食べない理由は、「朝・昼を一緒に食べているから」が 66.7%で最も多く、「習慣として食べないから」(33.3%)、と続く。

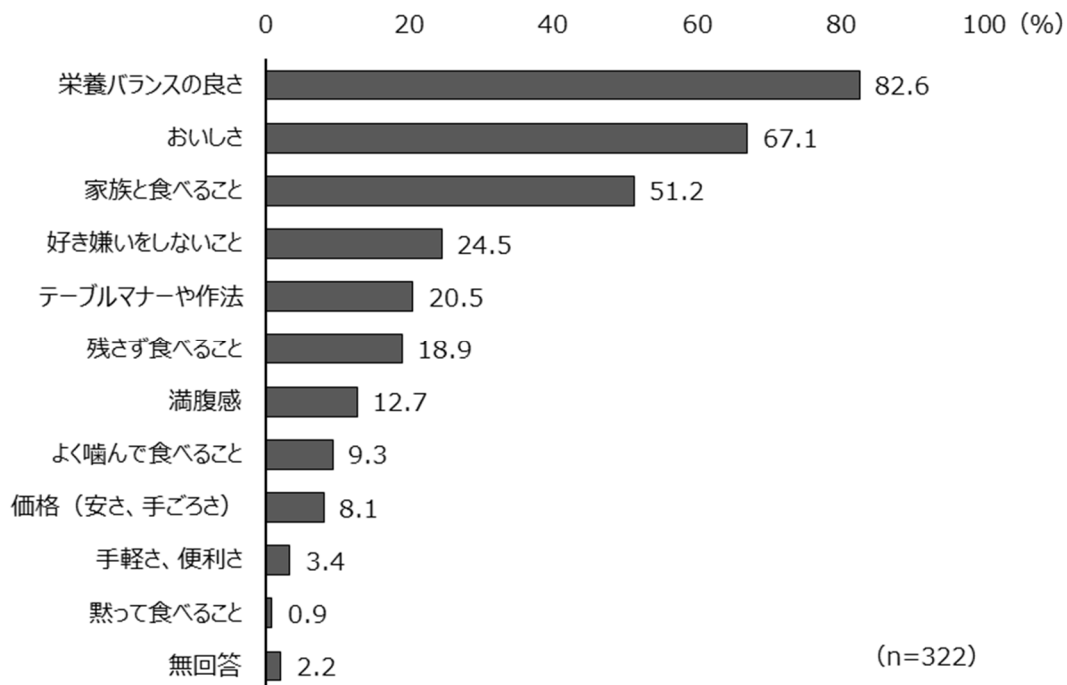
図表 321 長期休暇中の昼食を食べない理由



問15 子どもの食事に関して大切だと考えていること（3つまで）

子どもの食事に関して大切だと考えていることは、「栄養バランスの良さ」が 82.6%で最も多く、「おいしさ」(67.1%)、「家族と食べること」(51.2%)と続く。

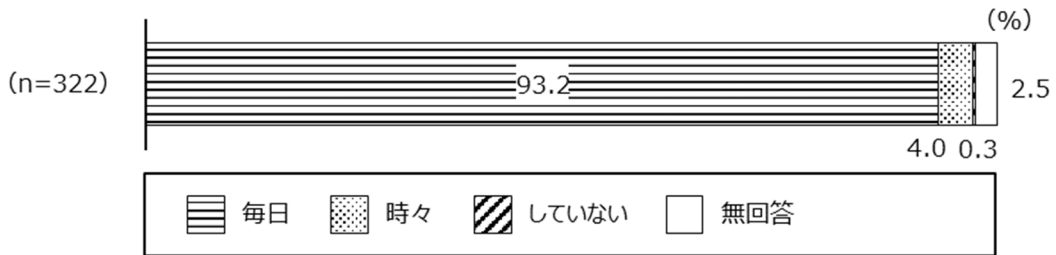
図表 322



問16 子どもの歯磨きの頻度・時間帯、かかりつけ歯科医の有無

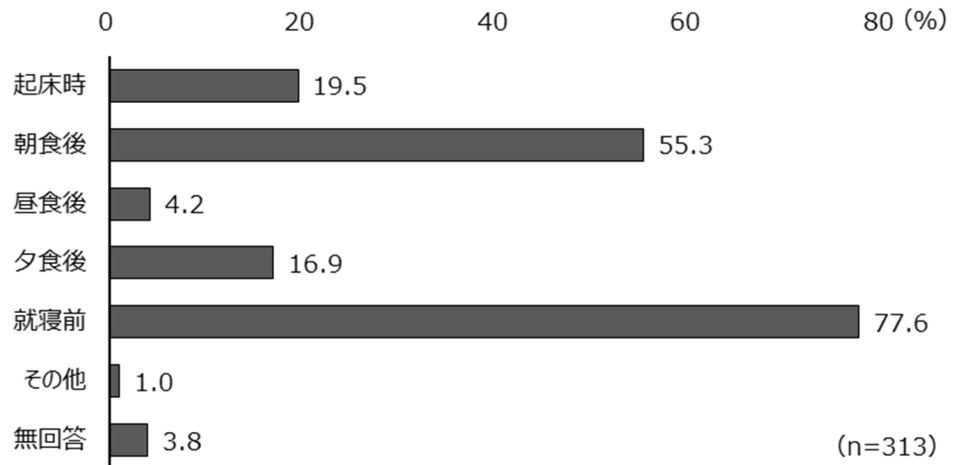
子どもの歯磨きの頻度は、「毎日」が93.2%で最も多く、「時々」(4.0%)、「していない」(0.3%)と続く。

図表 323 子どもの歯磨きの頻度



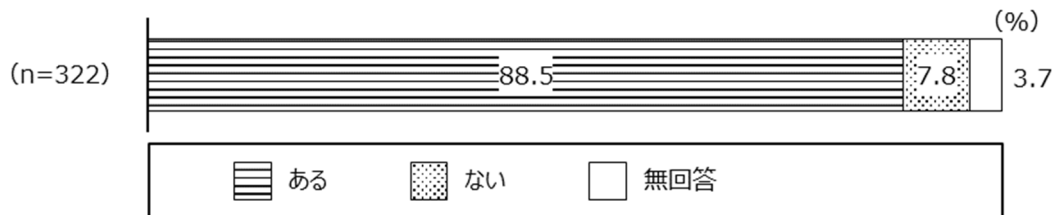
歯磨きをする時間帯は、「就寝前」が77.6%で最も多く、「朝食後」(55.3%)、「起床時」(19.5%)と続く。

図表 324 歯磨きをする時間帯 (複数回答)



子どものかかりつけ歯科医は、「ある」は88.5%、「ない」は7.8%となっている。

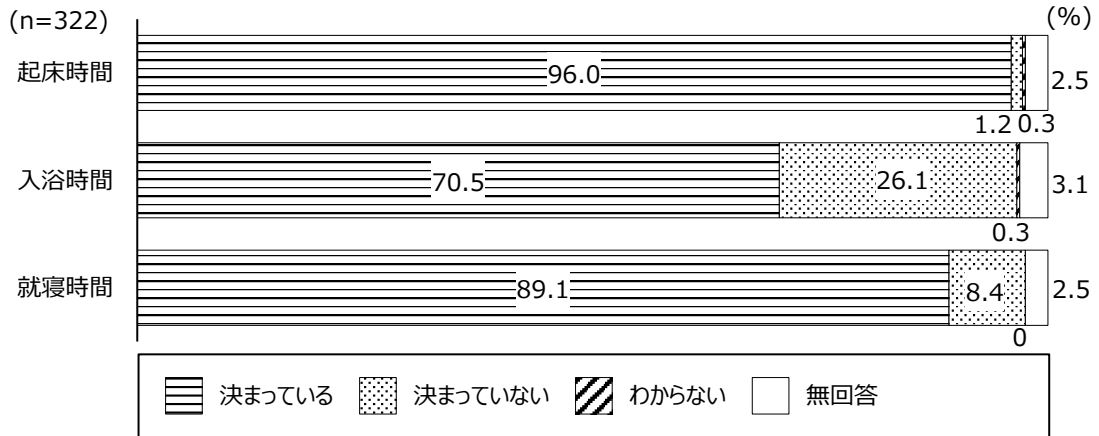
図表 325 子どものかかりつけ歯科医の有無



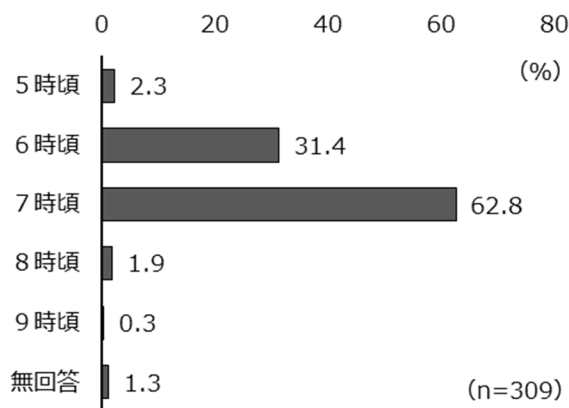
問17 平日の起床・入浴・就寝時間が決まっているか、およその時間

平日の起床・入浴・就寝時間について、「決まっている」は「起床」96.0%、「入浴」70.5%、「就寝」89.1%となっている。

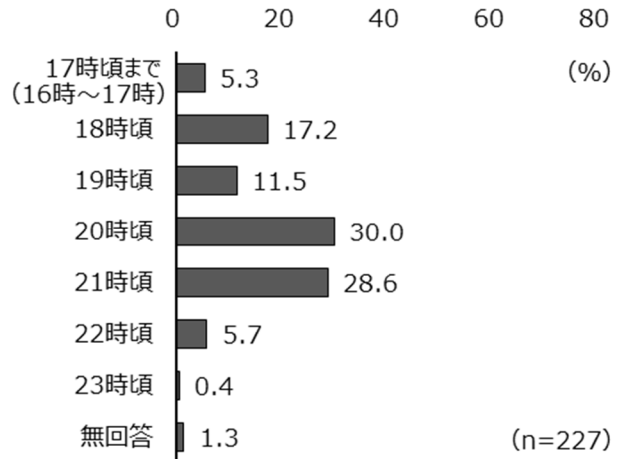
図表 326 平日の起床・入浴・就寝時間が決まっているか



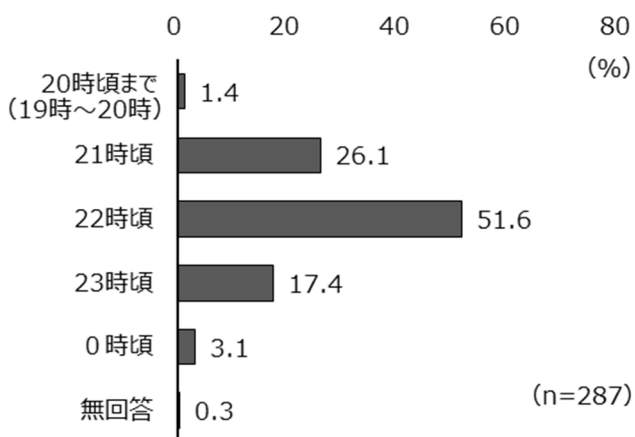
図表 327 起床時間



図表 328 入浴時間



図表 329 就寝時間

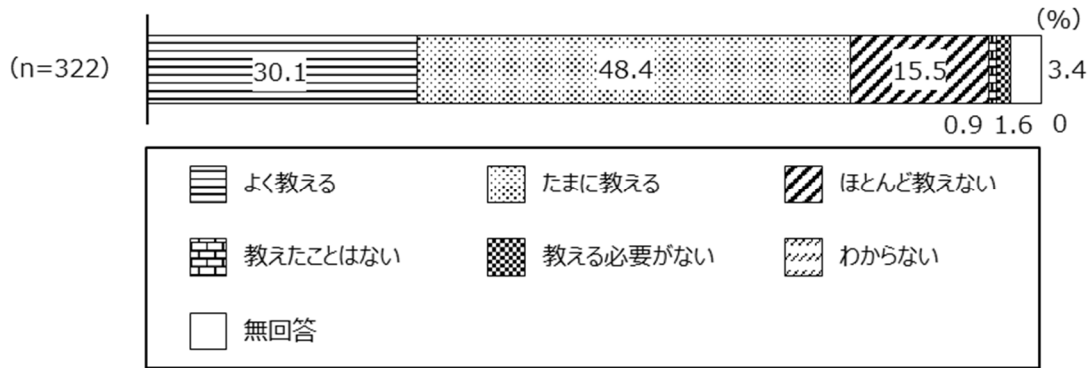


(4) 子どもの勉強や学校生活について

問18 同居している家族が子どもに勉強を教えることがあるか

同居している家族が子どもに勉強を教えることがあるかは、「たまに教える」が48.4%で最も多く、「よく教える」(30.1%)、「ほとんど教えない」(15.5%)と続く。

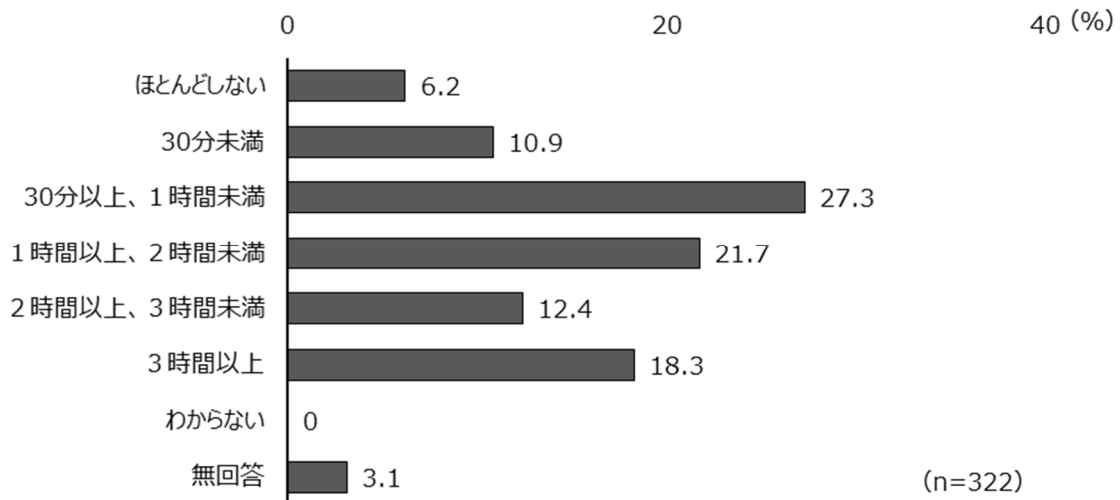
図表 330



問19 子どもの学校の授業以外の普段(月～金曜日)1日当たりの勉強時間

子どもの学校の授業以外の普段(月～金曜日)1日当たりの勉強時間は、「30分以上、1時間未満」が27.3%で最も多く、「1時間以上、2時間未満」(21.7%)、「3時間以上」(18.3%)と続く。

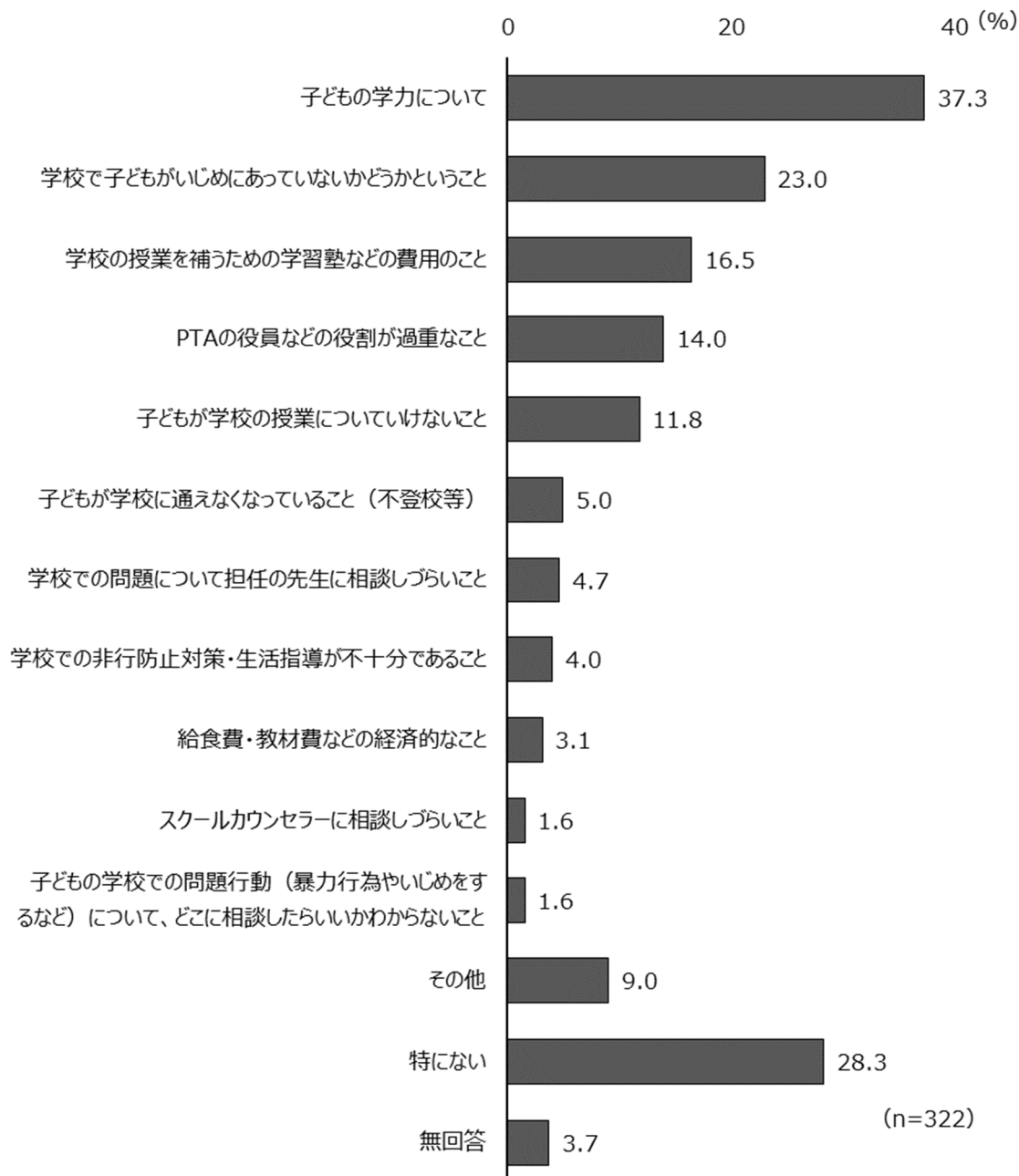
図表 331



問20 子どもの学校生活についての不安や悩み（複数回答）

子どもの学校生活についての不安や悩みは、「子どもの学力について」が 37.3%で最も多く、「特にない」(28.3%)、「学校で子どもがいじめにあっていないかどうかということ」(23.0%)と続く。

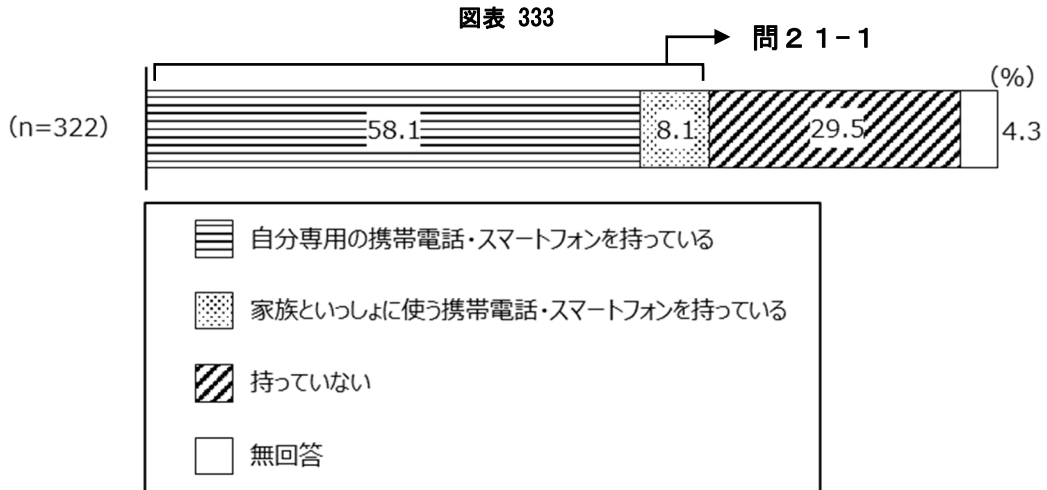
図表 332



(5) 子どものインターネット等の利用について

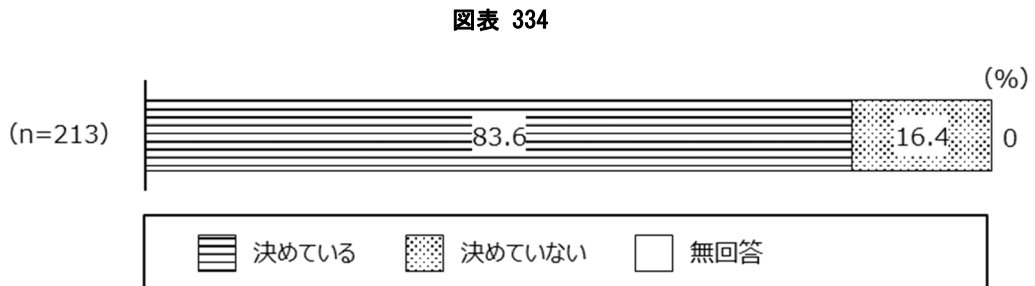
問2 1 子どもの携帯電話・スマートフォンの保有状況

子どもの携帯電話・スマートフォンの保有状況は、「自分専用の携帯電話・スマートフォンを持っている」が 58.1%で最も多く、「持っていない」(29.5%)、「家族といっしょに使う携帯電話・スマートフォンを持っている」(8.1%)と続く。



問2 1-1 親子の間で、携帯電話・スマートフォンの使用についてルールを決めているか

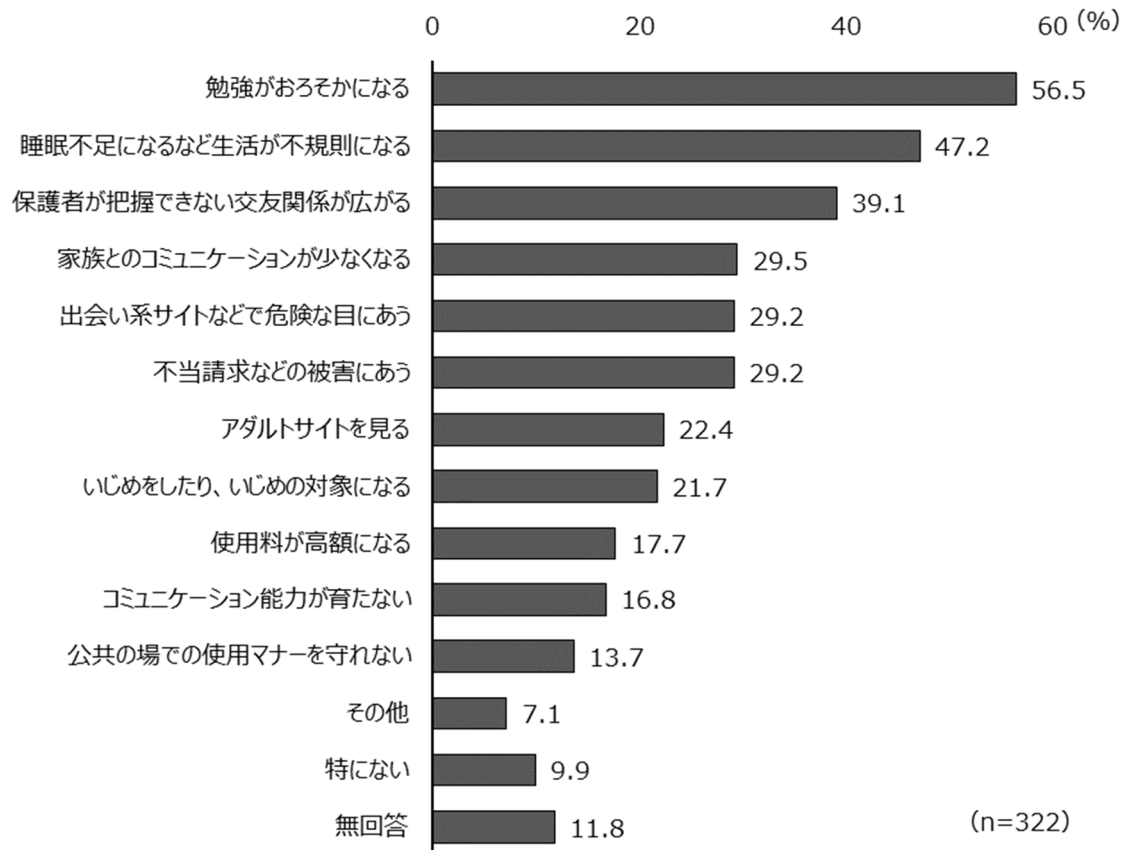
親子の間で、携帯電話・スマートフォンの使用についてルールを決めているかは、「決めている」は 83.6%、「決めていない」は 16.4%となっている。



問22 インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用に関する不安や心配、
実際にあったこと

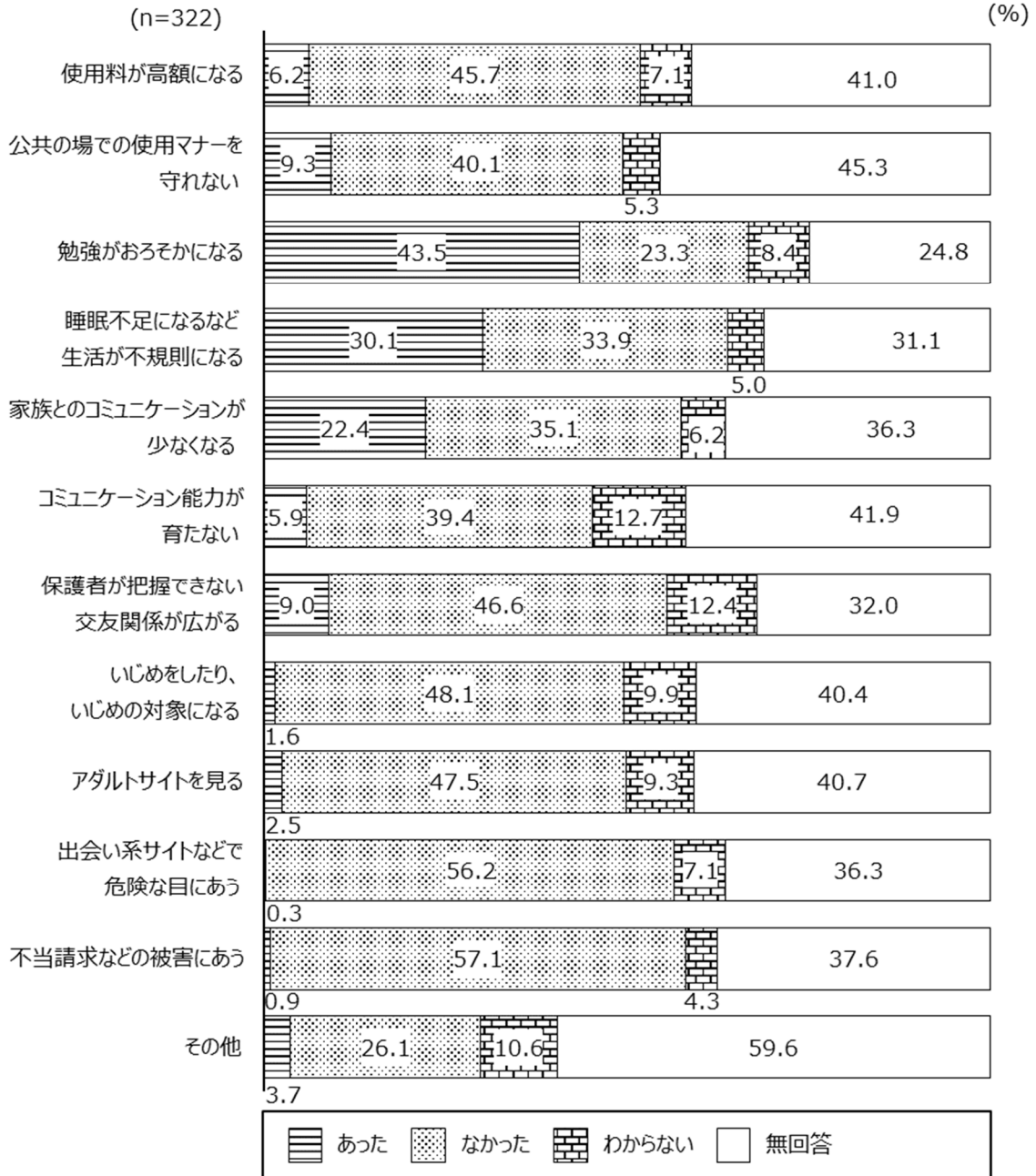
インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用に関する不安や心配は、「勉強がおろそかになる」が56.5%で最も多く、「睡眠不足になるなど生活が不規則になる」(47.2%)、「保護者が把握できない交友関係が広がる」(39.1%)と続く。

図表 335 インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用に関する不安や心配（複数回答）



インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用で実際にあったことについて、「あった」が最も多かったのは、「勉強がおろそかになる」(43.5%)で、「睡眠不足になるなど生活が不規則になる」(30.1%)、「家族とのコミュニケーションが少なくなる」(22.4%)と続く。

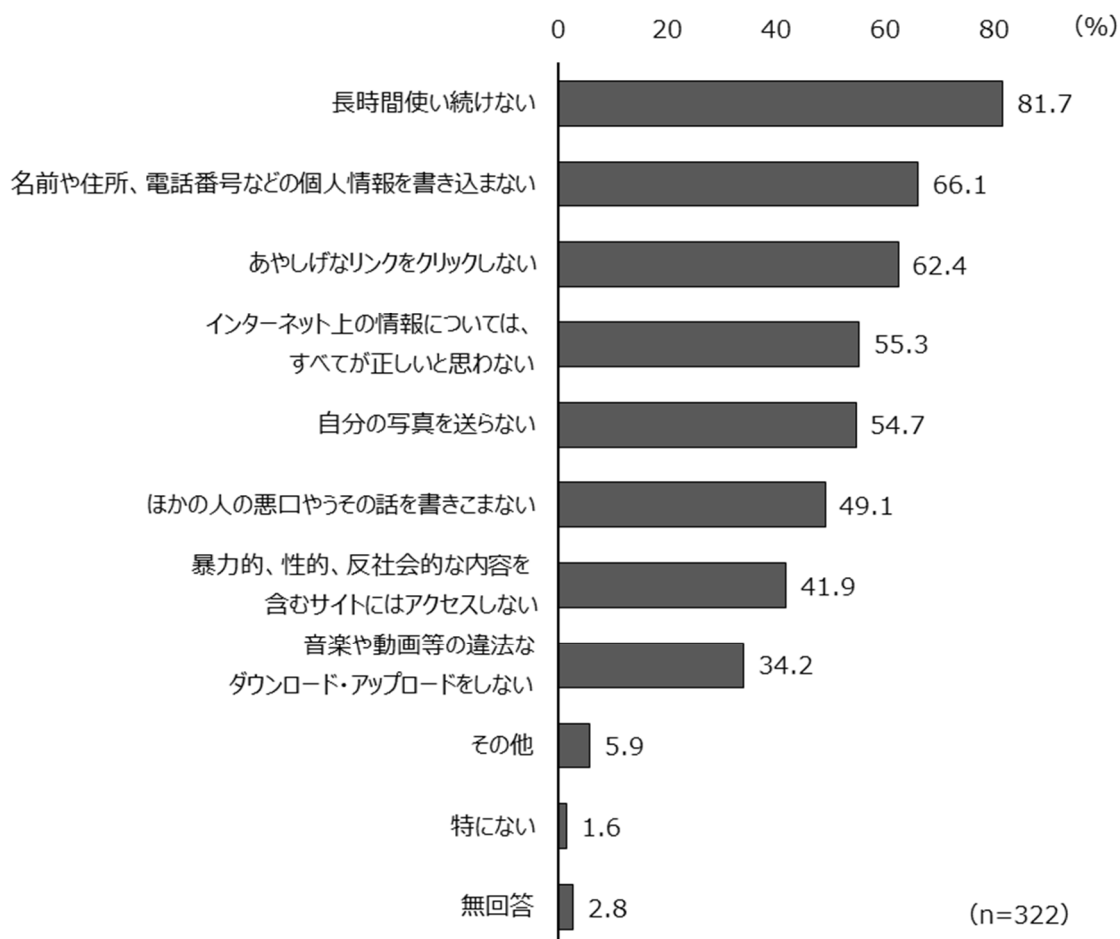
図表 336 インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用で実際にあったこと



問23 インターネットを使うときに気をつけるよう教えていること（複数回答）

インターネットを使うときに気をつけるよう教えていることは、「長時間使い続けない」が81.7%で最も多く、「名前や住所、電話番号などの個人情報を書き込まない」(66.1%)、「あやしげなリンクをクリックしない」(62.4%)と続く。

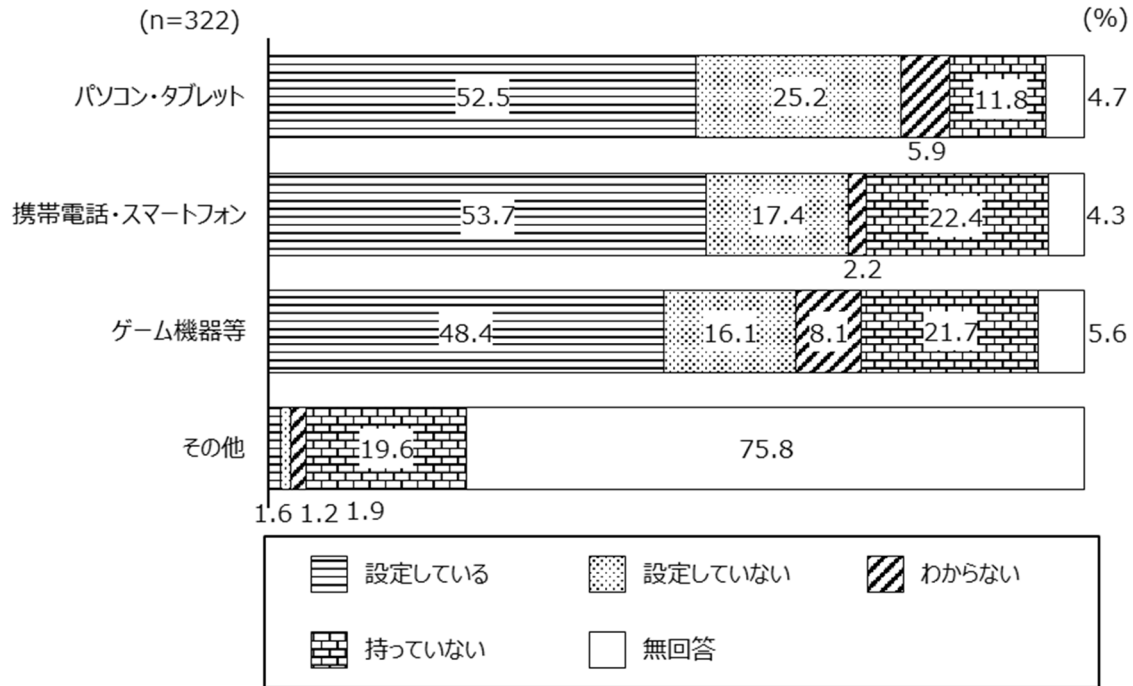
図表 337



問24 子どもが使用するパソコン等へのフィルタリング機能設定状況

子どもが使用するパソコン等へのフィルタリング機能設定状況について、「設定している」が最も多かったのは、「携帯電話・スマートフォン」(53.7%)で、「パソコン・タブレット」(52.5%)、ゲーム機器等(48.4%)と続く。

図表 338

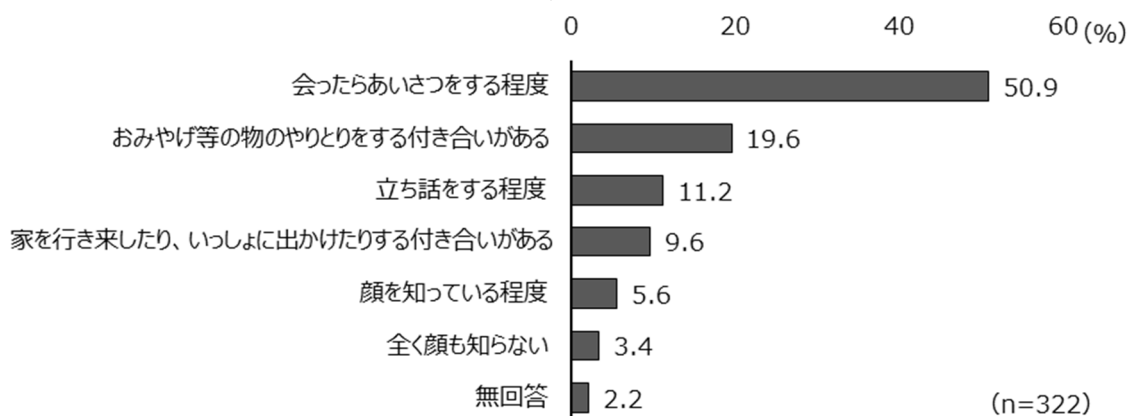


(6) 近所の人や地域との関わり方について

問25 近所や同じ建物に住んでいる人との付き合いの程度

近所や同じ建物に住んでいる人との付き合いの程度は、「会ったらあいさつをする程度」が50.9%で最も多く、「おみやげ等の物のやりとりをする付き合いがある」(19.6%)、「立ち話をする程度」(11.2%)と続く。

図表 339



問26 子どもにあいさつをしたり声をかけてくれたりする近所の人の有無

子どもにあいさつをしたり声をかけてくれたりする近所の方は、「いる」が79.2%で最も多く、「わからない」(9.0%)、「いない」(8.4%)と続く。

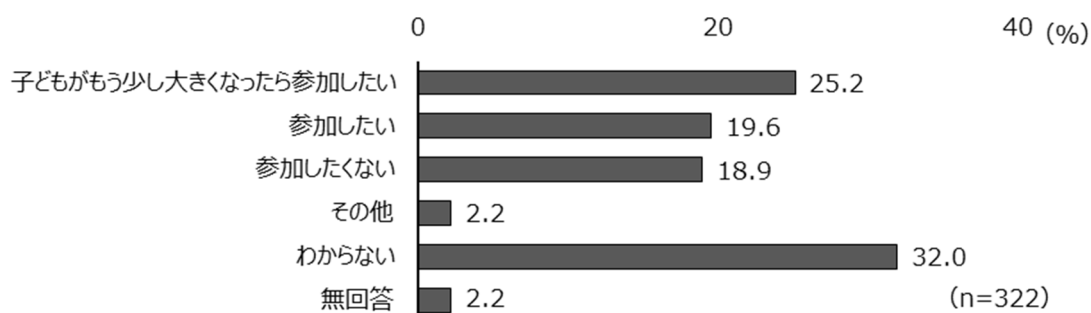
図表 340



問27 子育て経験を活かせる場や機会ができた場合の子育て支援の地域活動への参加意向

子育て経験を活かせる場や機会ができた場合の子育て支援の地域活動への参加意向は、「わからない」が32.0%で最も多く、「子どもがもう少し大きくなったら参加したい」(25.2%)、「参加したい」(19.6%)と続く。

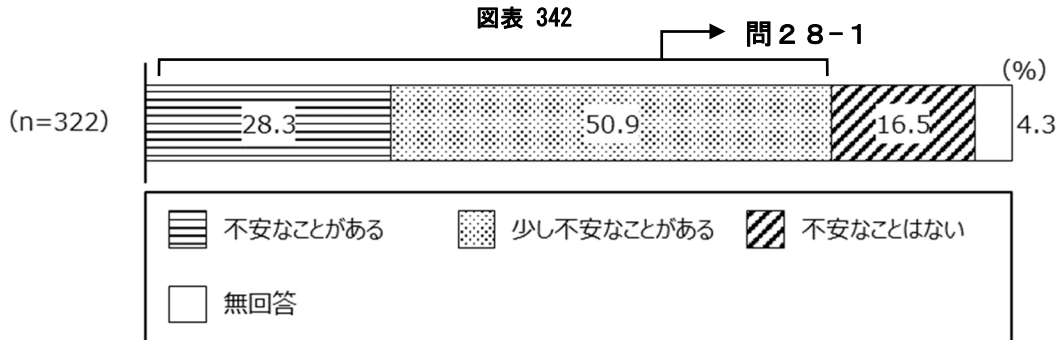
図表 341



(7) 子どもの生活の安全・安心について

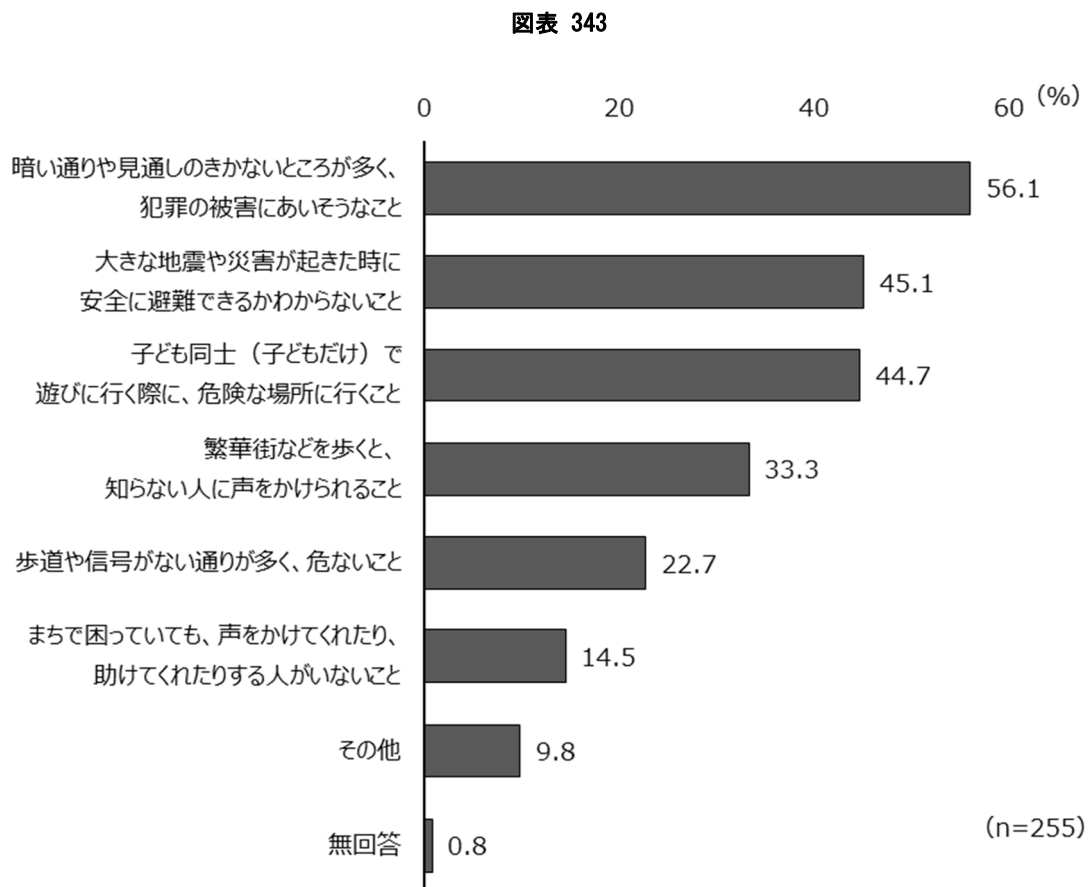
問28 子どもの外出時に不安なことの有無

子どもの外出時に不安なことの有無は、「少し不安なことがある」が50.9%で最も多く、「不安なことがある」(28.3%)、「不安なことはない」(16.5%)と続く。



問28-1 子どもの外出時に不安を感じること（複数回答）

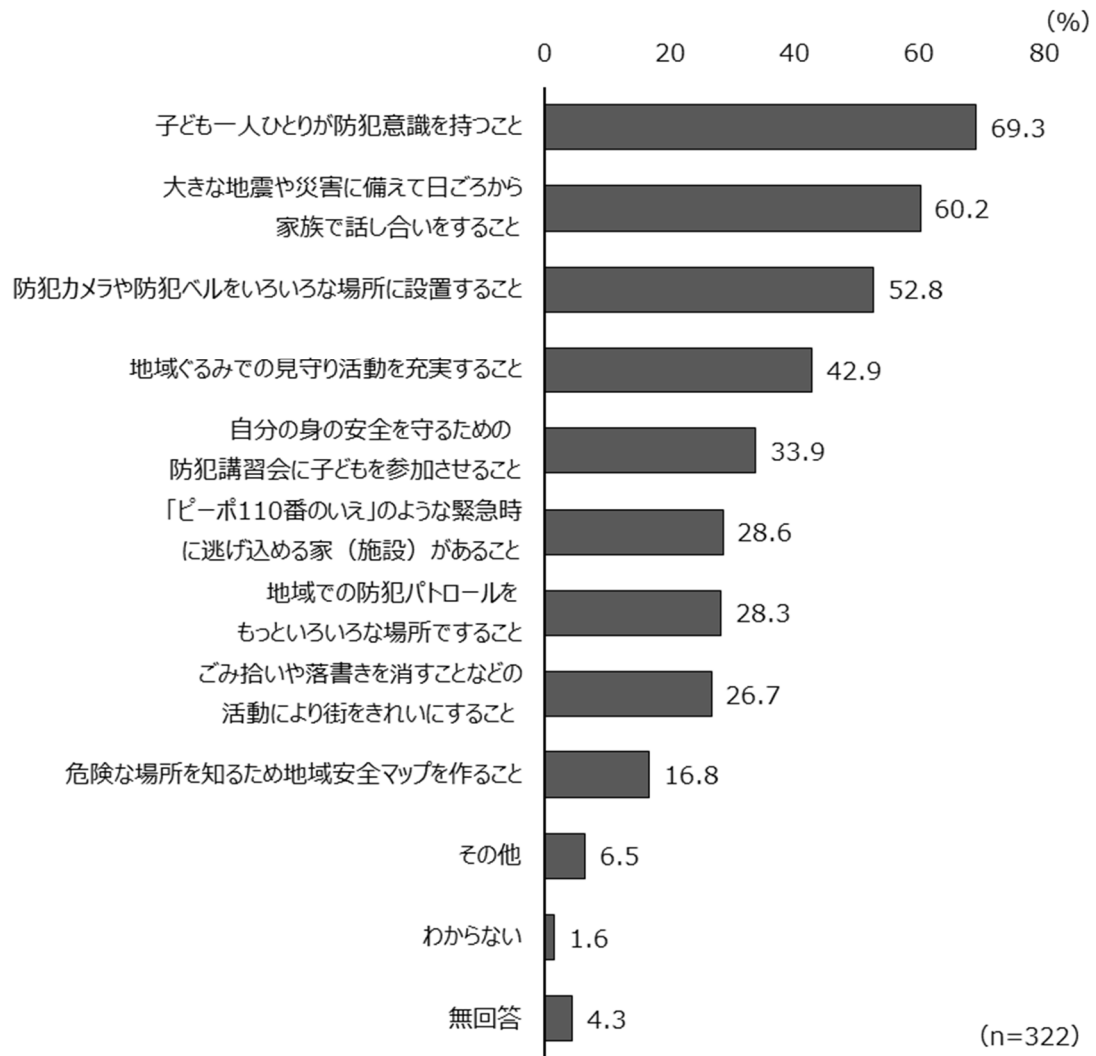
子どもの外出時に不安を感じることは、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあいそうなこと」が56.1%で最も多く、「大きな地震や災害が起きた時に安全に避難できるかわからないこと」(45.1%)、「子ども同士（子どもだけ）で遊びに行く際に、危険な場所に行くこと」(44.7%)と続く。



問29 子どもが安心して暮らすために必要なこと（複数回答）

子どもが安心して暮らすために必要なことは、「子ども一人ひとりが防犯意識を持つこと」が69.3%で最も多く、「大きな地震や災害に備えて日ごろから家族で話し合いをすること」(60.2%)、「防犯カメラや防犯ベルをいろいろな場所に設置すること」(52.8%)と続く。

図表 344



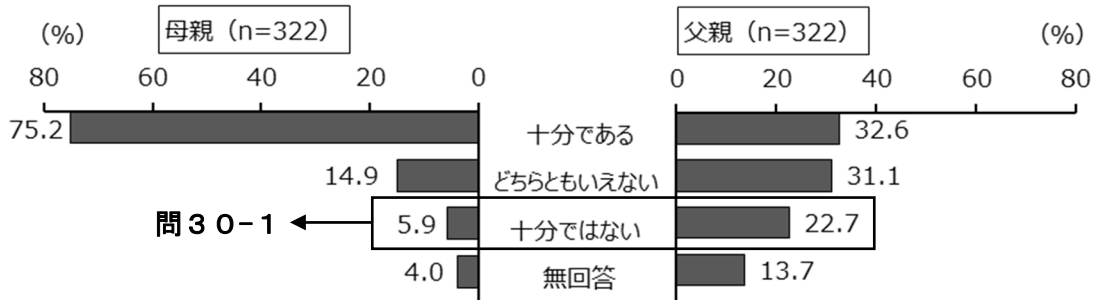
(8) 子育てと仕事への関わり方について

問30 両親の家事や子育てへの関わり方

母親の家事への関わり方は、「十分である」が75.2%で最も多く、「どちらともいえない」(14.9%)、「十分ではない」(5.9%)と続く。

父親の家事への関わり方は、「十分である」が32.6%で最も多く、「どちらともいえない」(31.1%)、「十分ではない」(22.7%)と続く。

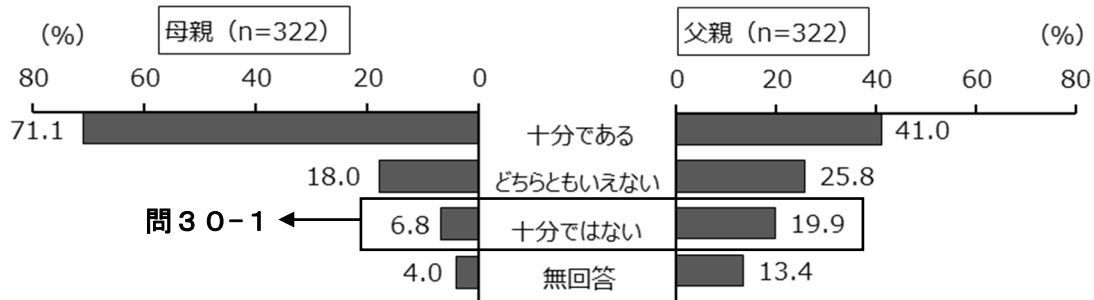
図表 345 両親の家事への関わり方



母親の子育てへの関わり方は、「十分である」が71.1%で最も多く、「どちらともいえない」(18.0%)、「十分ではない」(6.8%)と続く。

父親の子育てへの関わり方は、「十分である」が41.0%で最も多く、「どちらともいえない」(25.8%)、「十分ではない」(19.9%)と続く。

図表 346 両親の子育てへの関わり方

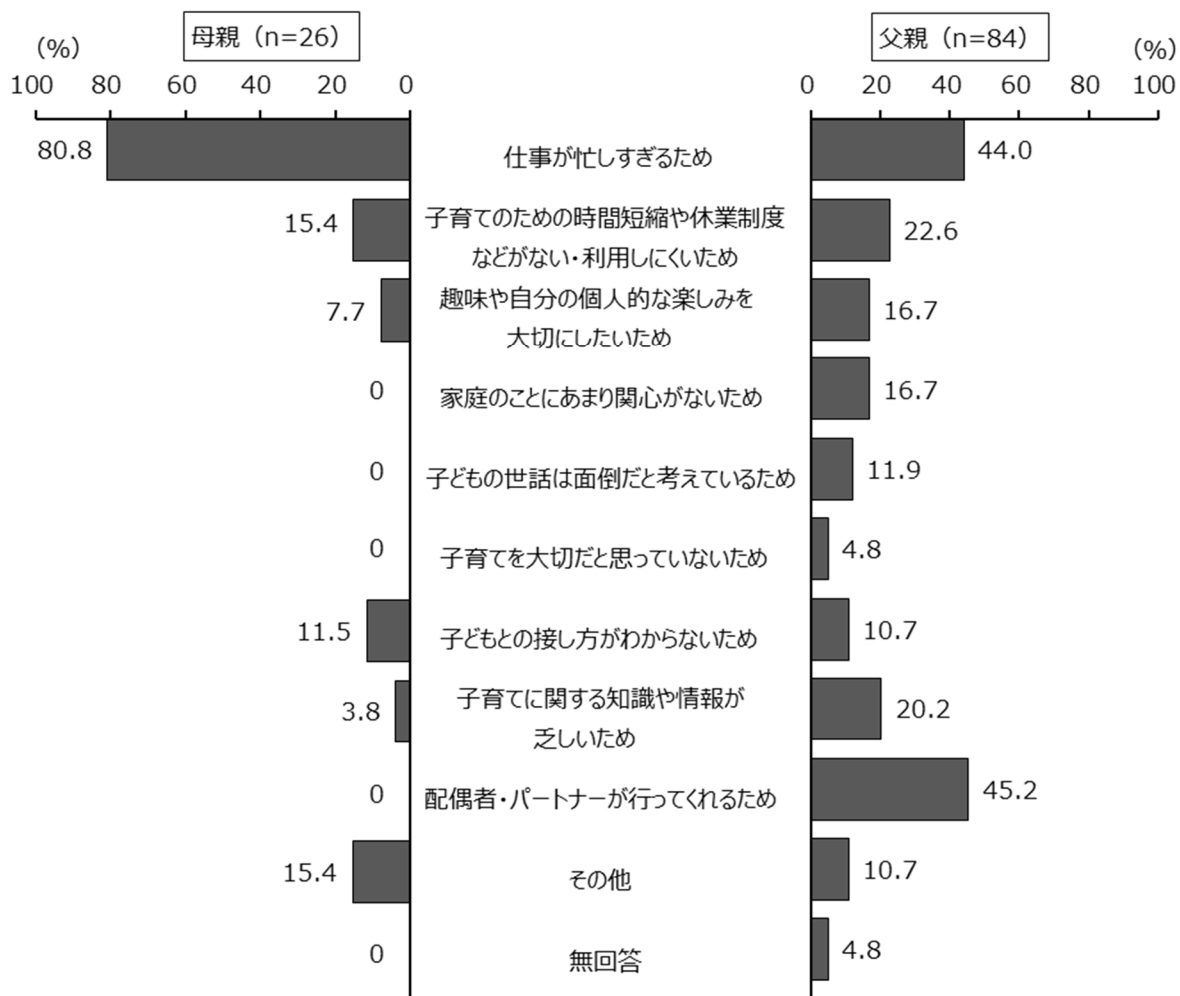


問30-1 家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由（3つまで）

母親の家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由は、「仕事が忙しすぎるため」が80.8%で最も多く、「子育てのための時間短縮や休業制度などがない・利用しにくい」ため(15.4%)、「子どもとの接し方がわからないため」(11.5%)と続く。

父親の家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由は、「配偶者・パートナーが行ってくれるため」が45.2%で最も多く、「仕事が忙しすぎるため」(44.0%)、「子育てのための時間短縮や休業制度などがない・利用しにくい」ため(22.6%)と続く。

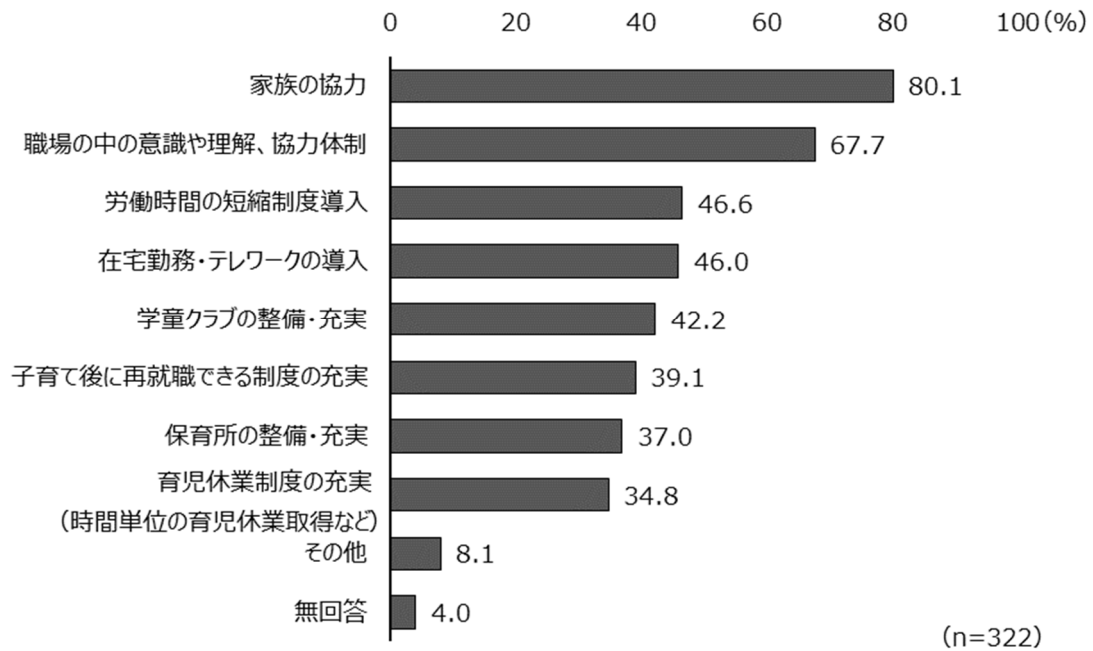
図表 347



問3 1 仕事と子育てを両立させるために必要なこと（複数回答）

仕事と子育てを両立させるために必要なことは、「家族の協力」が 80.1%で最も多く、「職場の中の意識や理解、協力体制」(67.7%)、「労働時間の短縮制度導入」(46.6%)と続く。

図表 348

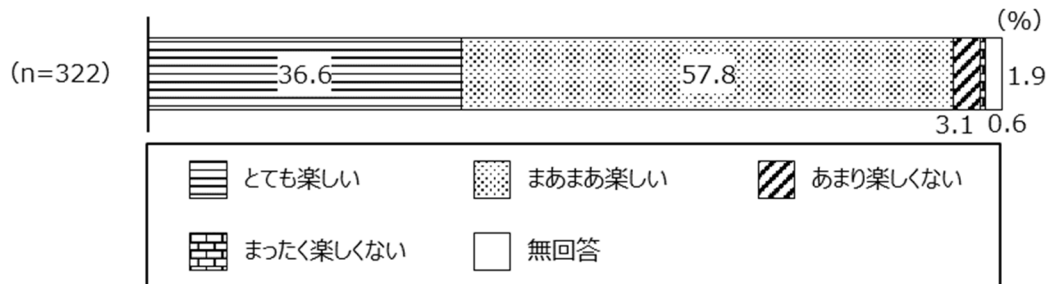


(9) 子育て全般について

問32 子育てが楽しいか

子育てが楽しいかは、「まあまあ楽しい」が 57.8%で最も多く、「とても楽しい」(36.6%)、「あまり楽しくない」(3.1%)と続く。

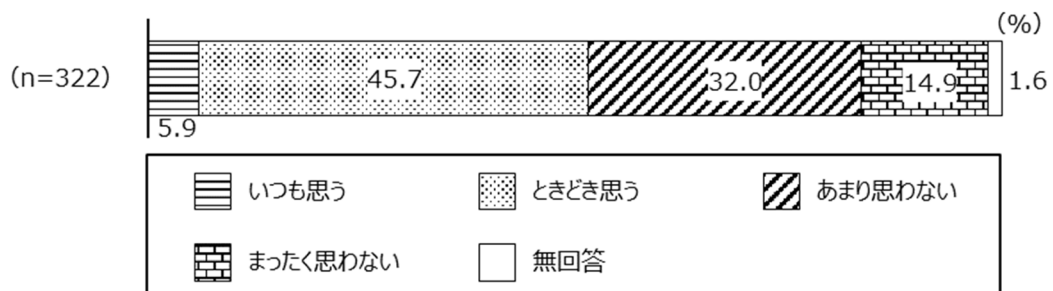
図表 349



問33 子育てが辛いと思うことがあるか

子育てが辛いと思うことがあるかは、「ときどき思う」が 45.7%で最も多く、「あまり思わない」(32.0%)、「まったく思わない」(14.9%)と続く。

図表 350



問34 子育てに関して悩んでいること（複数回答）

子育てに関して悩んでいることは、「進路や進学のこと」が54.0%で最も多く、「日常生活のしつけや生活習慣に関すること」(40.7%)、「学習・授業の進捗のこと」(28.9%)と続く。

図表 351

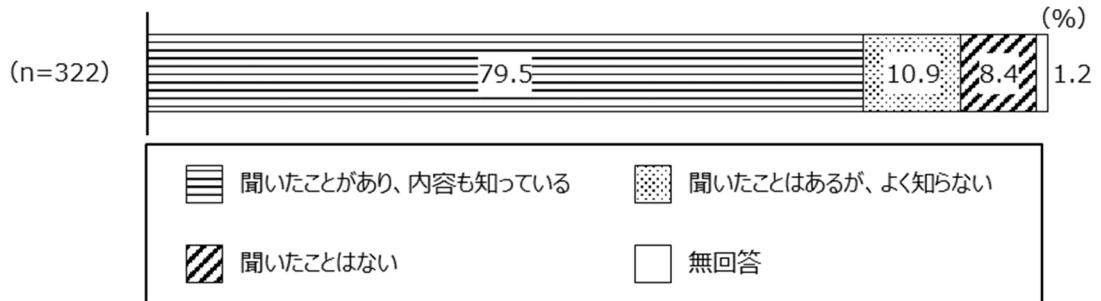


(n=322)

問35 ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるか

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかは、「聞いたことがあり、内容も知っている」が79.5%で最も多く、「聞いたことはあるが、よく知らない」(10.9%)、「聞いたことはない」(8.4%)と続く。

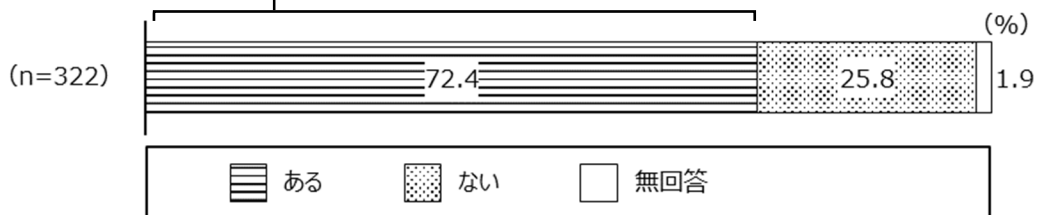
図表 352



問36 子育てについて気軽に相談できる人や場所の有無

子育てについて気軽に相談できる人や場所は、「ある」が72.4%、「ない」は25.8%となっている。

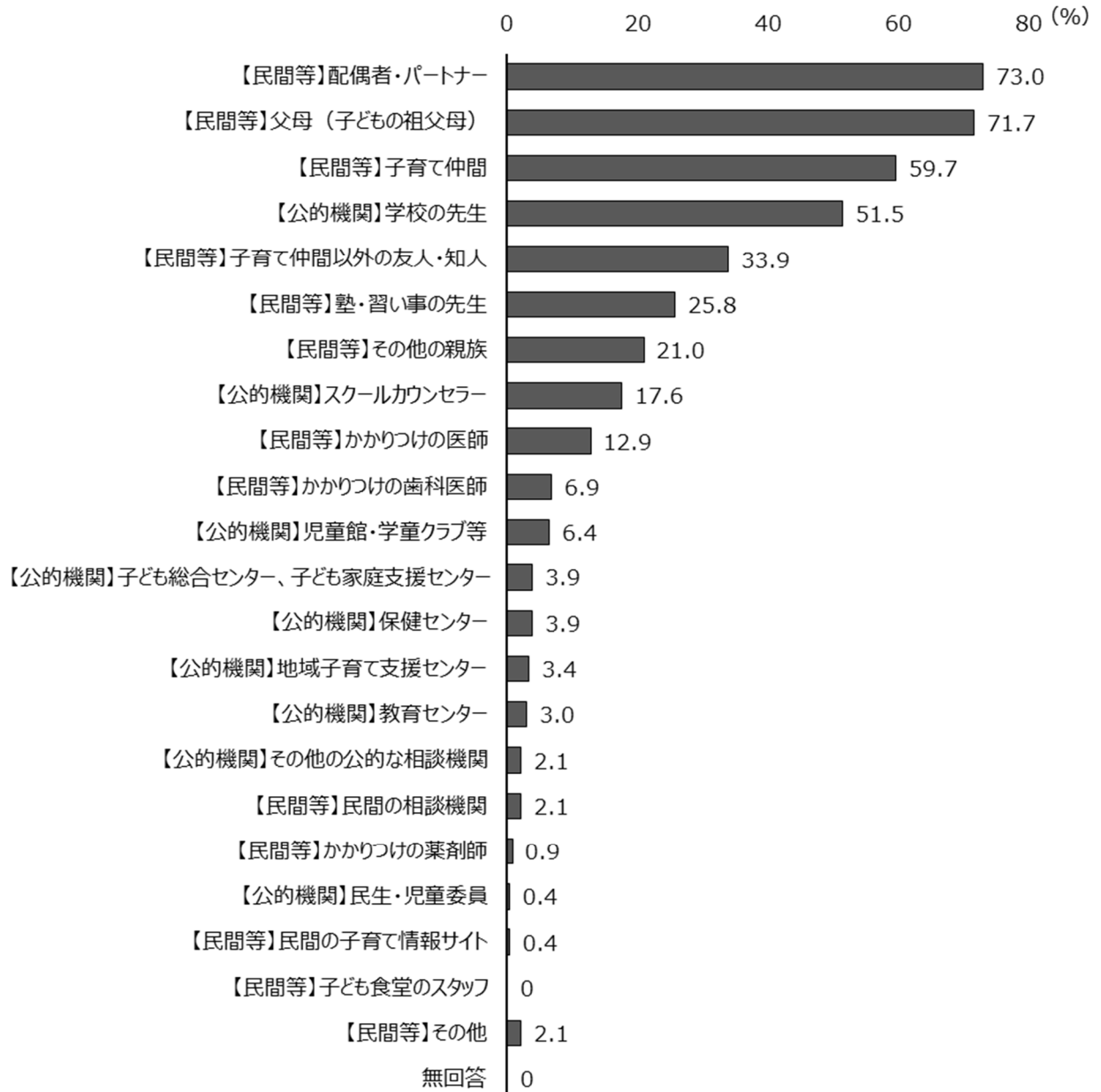
問36-1 ← 図表 353



問3 6-1 子育てについて気軽に相談できる人や場所（複数回答）

子育てについて気軽に相談できる人や場所は、「【民間等】配偶者・パートナー」が 73.0%で最も多く、「【民間等】父母(子どもの祖父母)」(71.7%)、「【民間等】子育て仲間」(59.7%)と続く。

図表 354



(n=233)

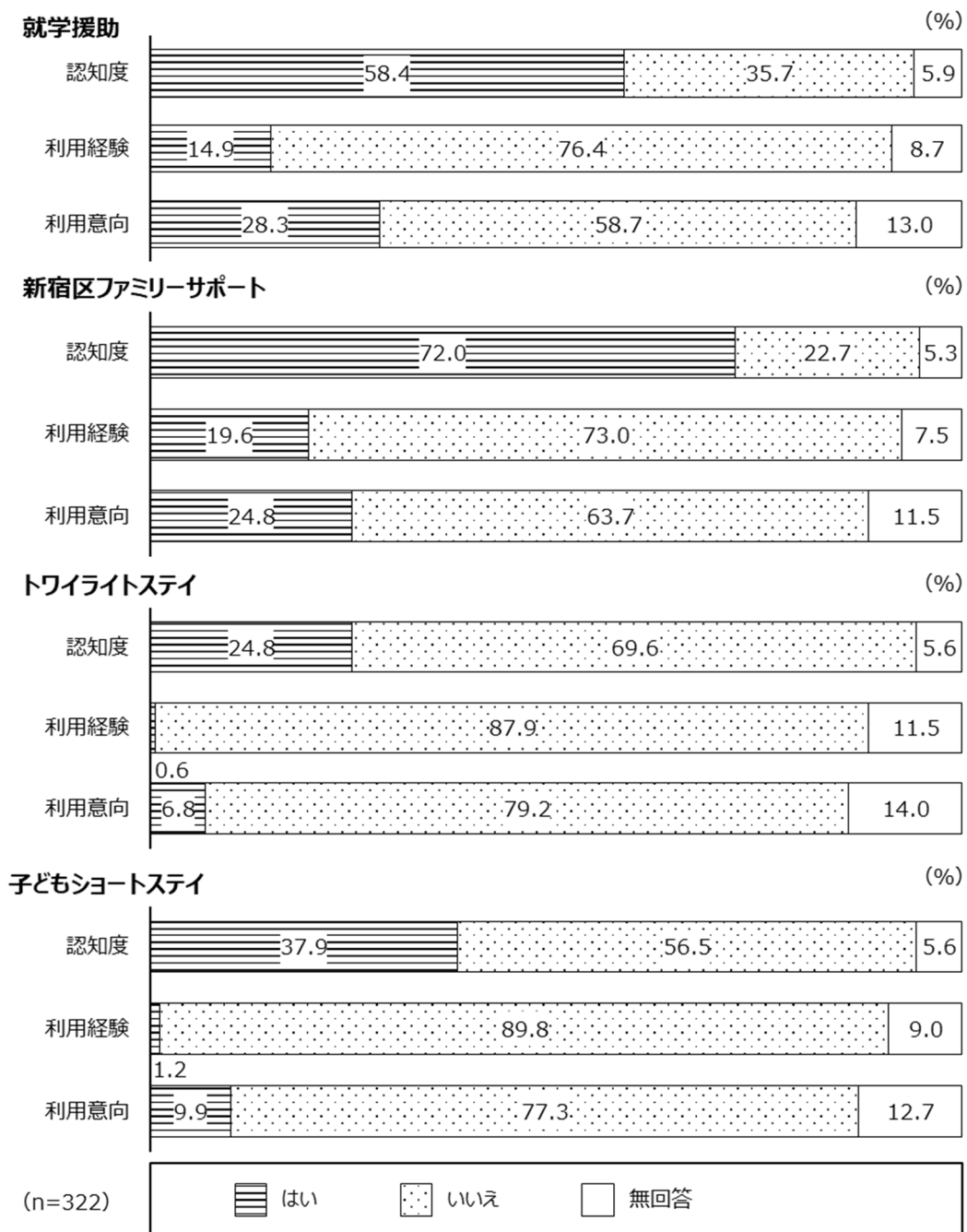
問37 区が提供しているサービスの認知度・利用経験の有無・今後の利用意向

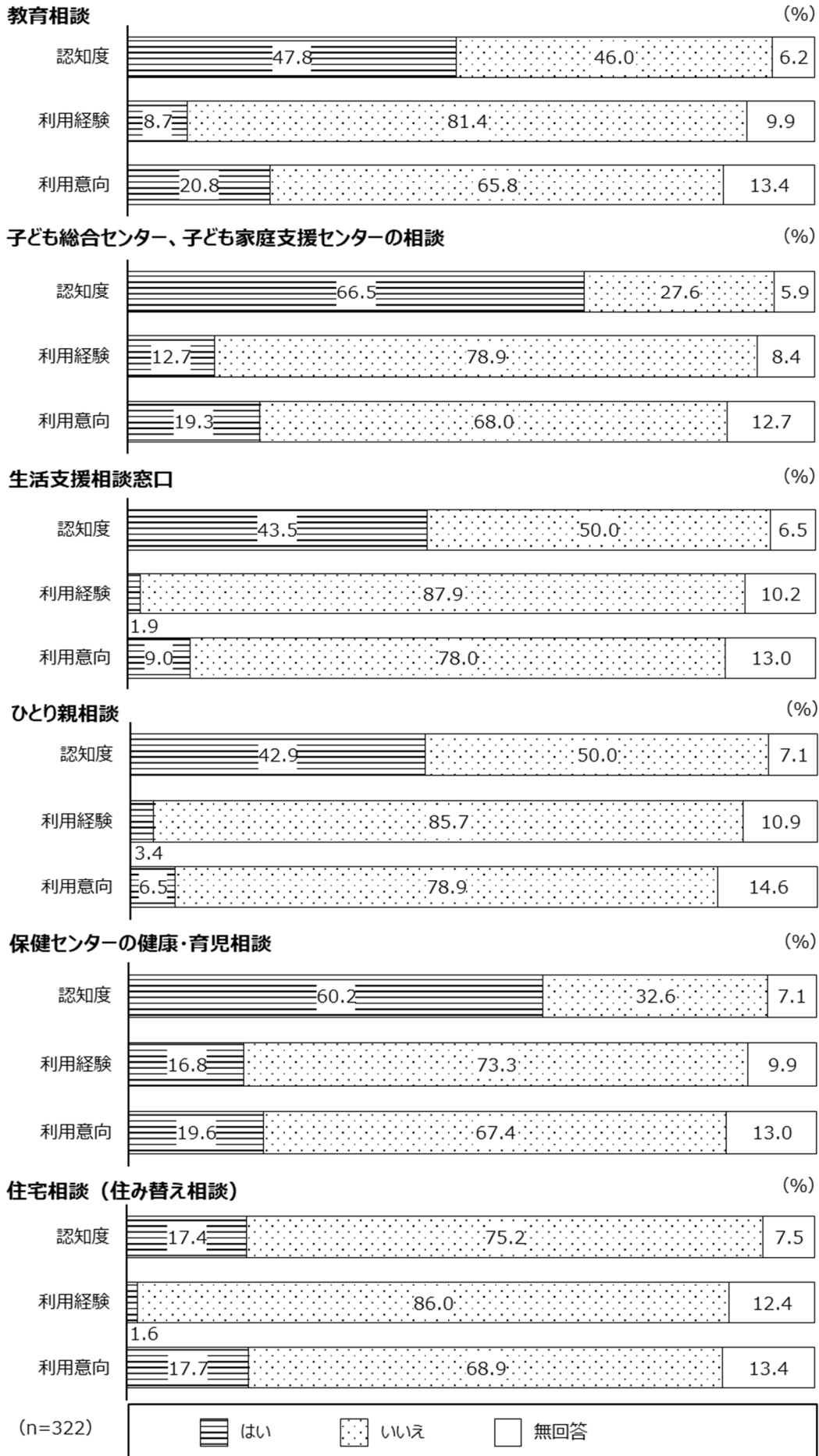
区が提供しているサービスの認知度について、60.0%以上が「知っている」と答えたサービスは「新宿区ファミリーサポート」(72.0%)、「子ども総合センター、子ども家庭支援センターの相談」(66.5%)、「保健センターの健康・育児相談」(60.2%)である。

利用したことがある割合が高いサービスは、「新宿区ファミリーサポート」(19.6%)、「保健センターの健康・育児相談」(16.8%)、「就学援助」(14.9%)である。

区が提供しているサービスの中で、20.0%以上が「今後利用したい」と答えたサービスは、「就学援助」(28.3%)、「新宿区ファミリーサポート」(24.8%)、「教育相談」(20.8%)である。

図表 355

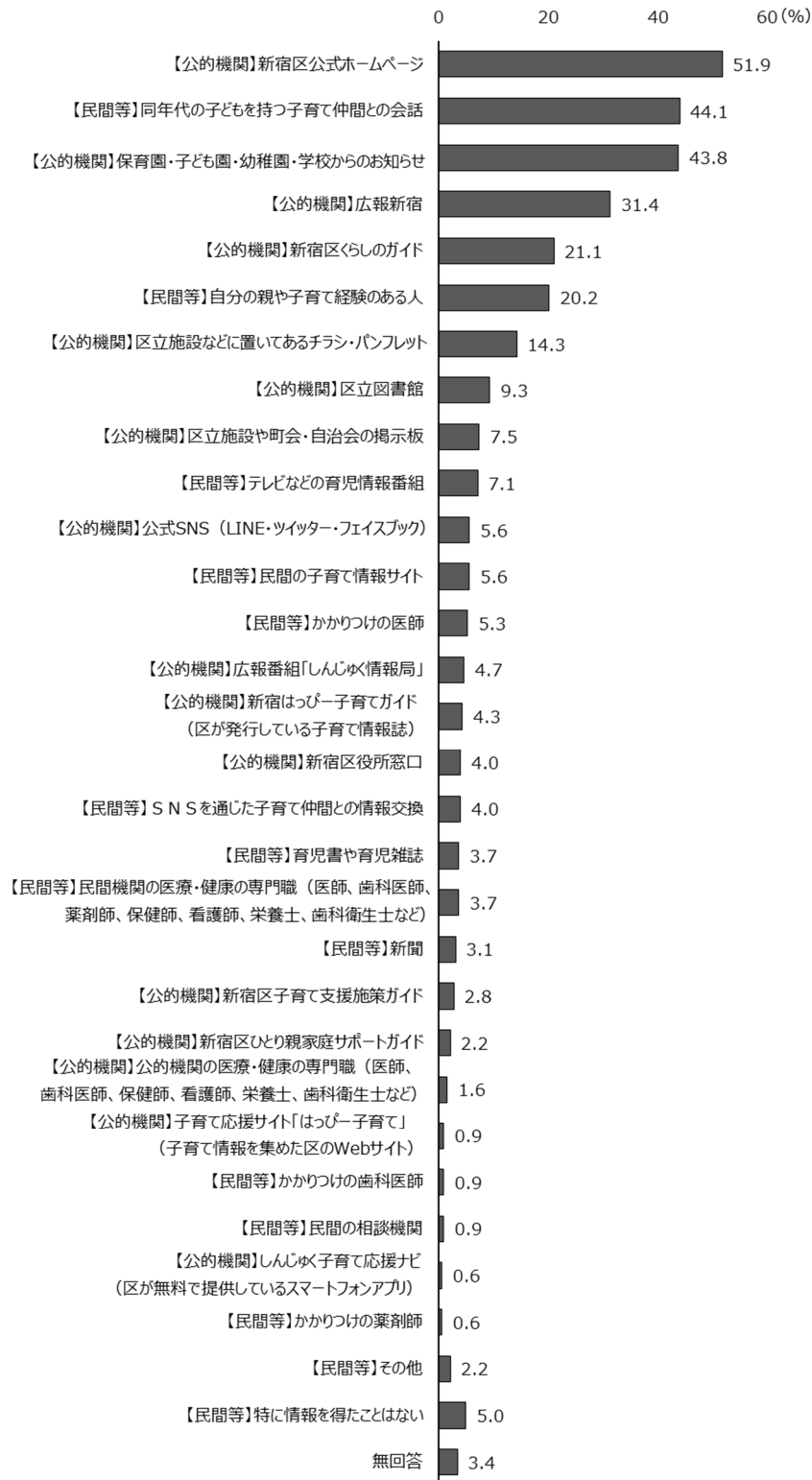




問38 区の子育て支援サービスや相談窓口についての情報入手先（複数回答）

区の子育て支援サービスや相談窓口についての情報入手先は、「【公的機関】新宿区公式ホームページ」が51.9%で最も多く、「【民間等】同年代の子どもを持つ子育て仲間との会話」(44.1%)、「【公的機関】保育園・子ども園・幼稚園・学校からのお知らせ」(43.8%)と続く。

図表 356

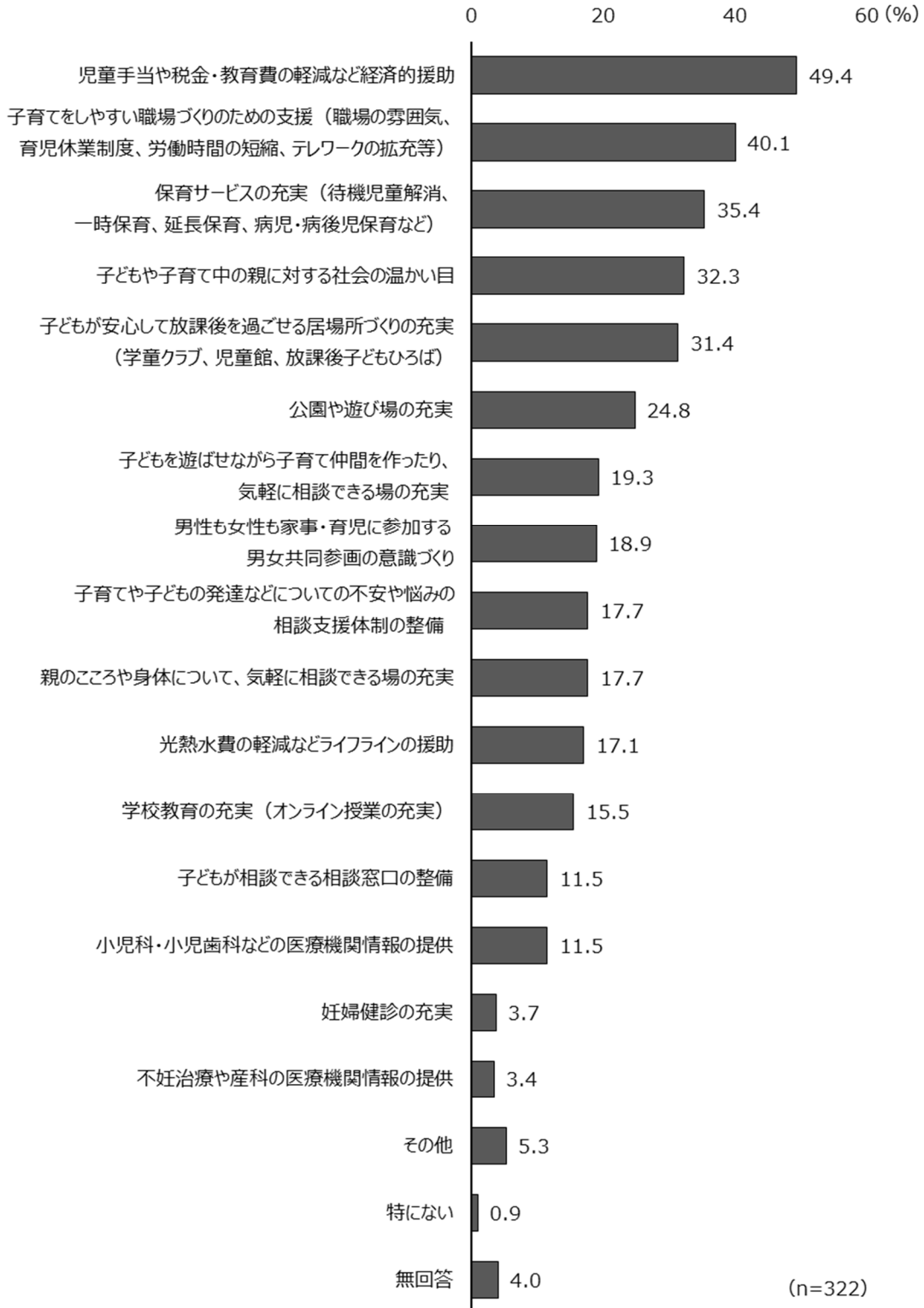


(n=322)

問39 子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられること（3つまで）

子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられることは、「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が49.4%で最も多く、「子育てをしやすい職場づくりのための支援（職場の雰囲気、育児休業制度、労働時間の短縮、テレワークの拡充等）」(40.1%)、「保育サービスの充実（待機児童解消、一時保育、延長保育、病児・病後児保育など）」(35.4%)と続く。

図表 357

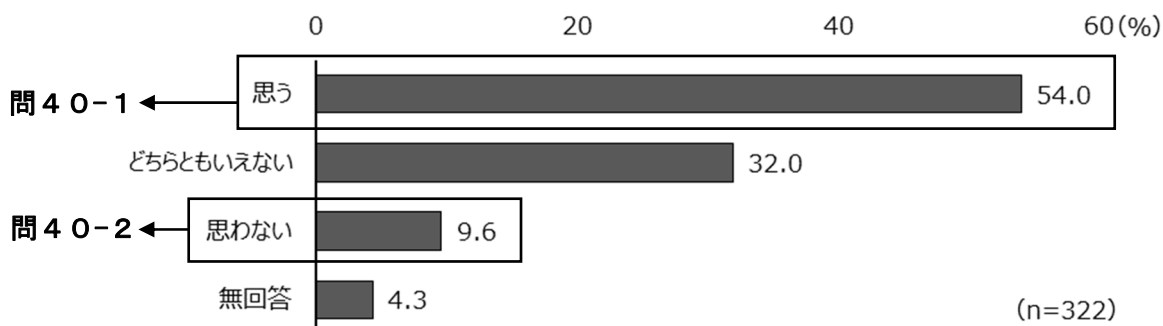


(10) 新宿区の子育て環境について

問40 新宿区は子育てしやすいまちだと思うか

新宿区は子育てしやすいまちだと思うかは、「思う」が54.0%で最も多く、「どちらともいえない」(32.0%)、「思わない」(9.6%)と続く。

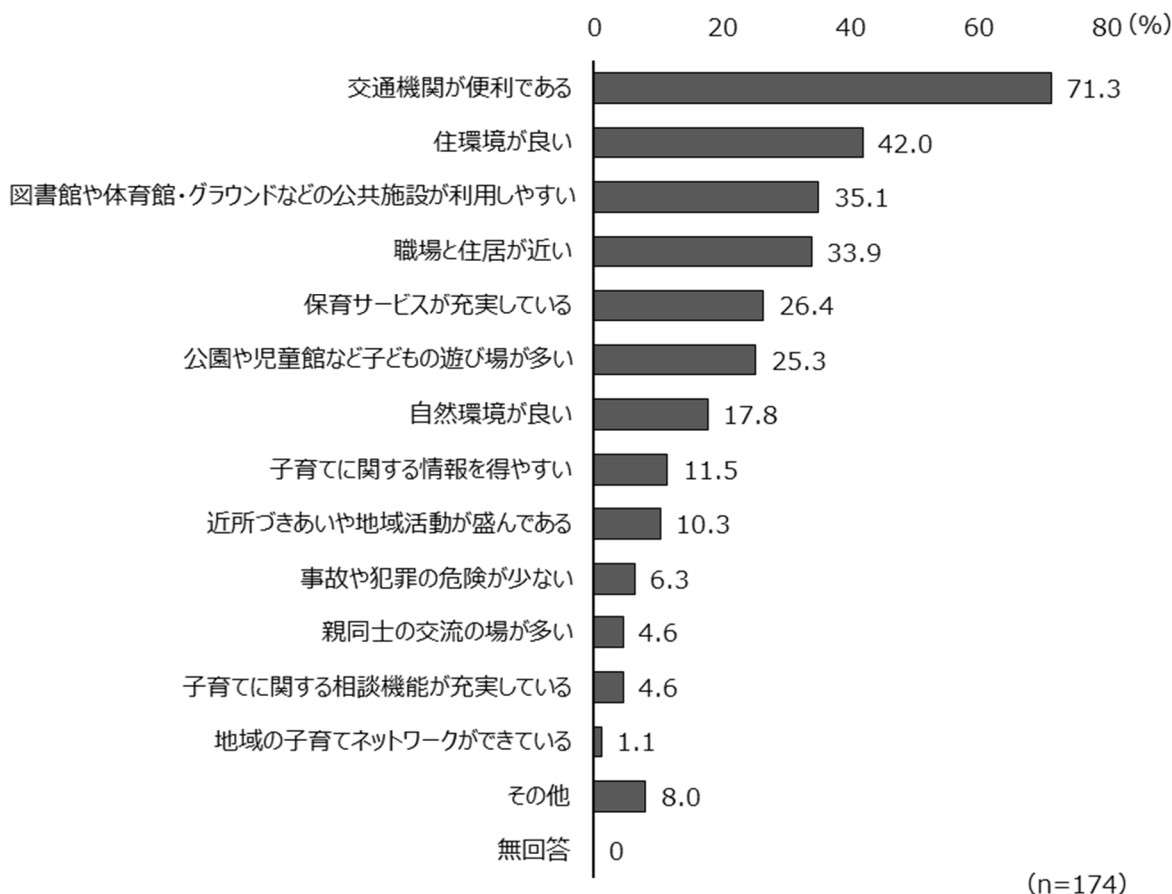
図表 358



問40-1 新宿区が子育てしやすいまちだと思う理由 (3つまで)

新宿区が子育てしやすいまちだと思う理由は、「交通機関が便利である」が71.3%で最も多く、「住環境が良い」(42.0%)、「図書館や体育館・グラウンドなどの公共施設が利用しやすい」(35.1%)と続く。

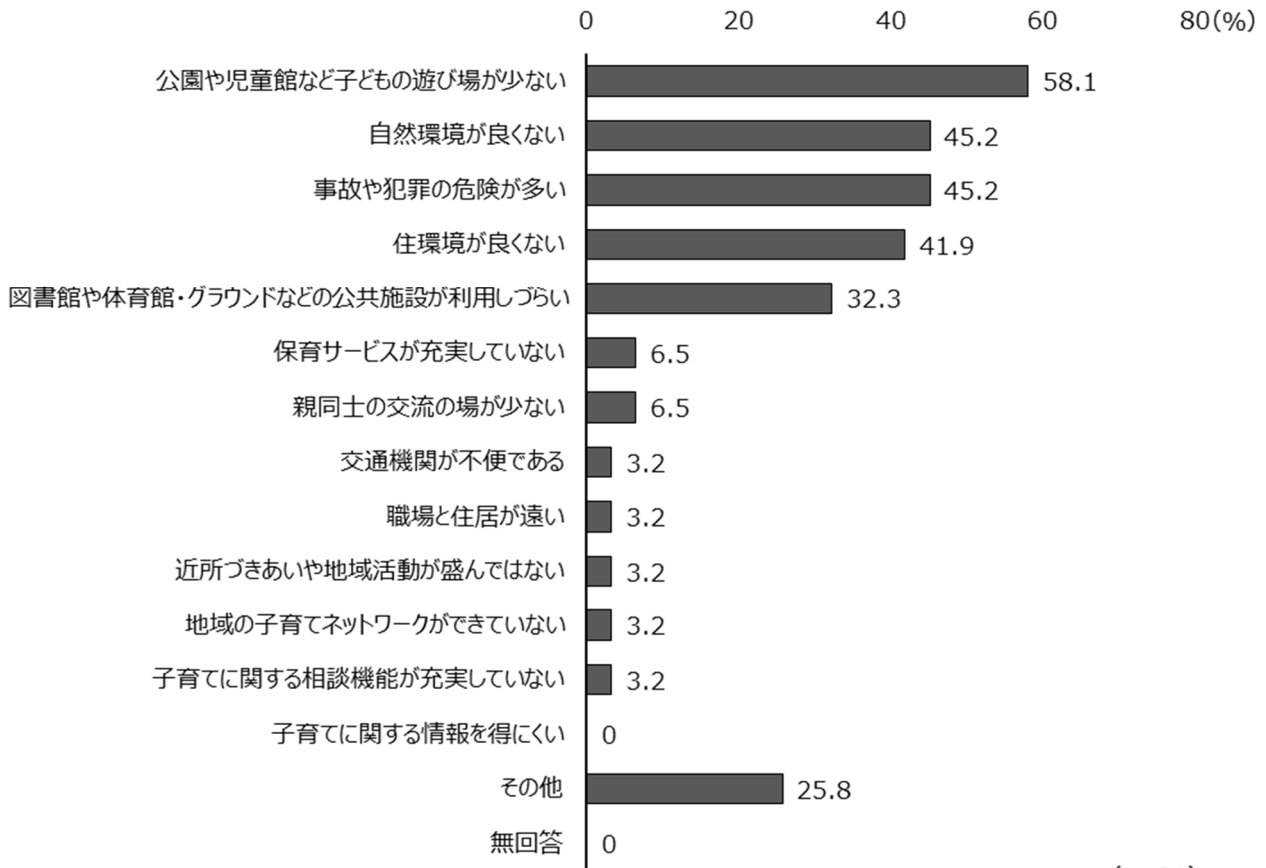
図表 359



問40-2 新宿区が子育てしやすいまちだと思わない理由（3つまで）

新宿区が子育てしやすいまちだと思わない理由は、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が58.1%で最も多く、「自然環境が良くない」と、「事故や犯罪の危険が多い」がともに45.2%と続く。

図表 360

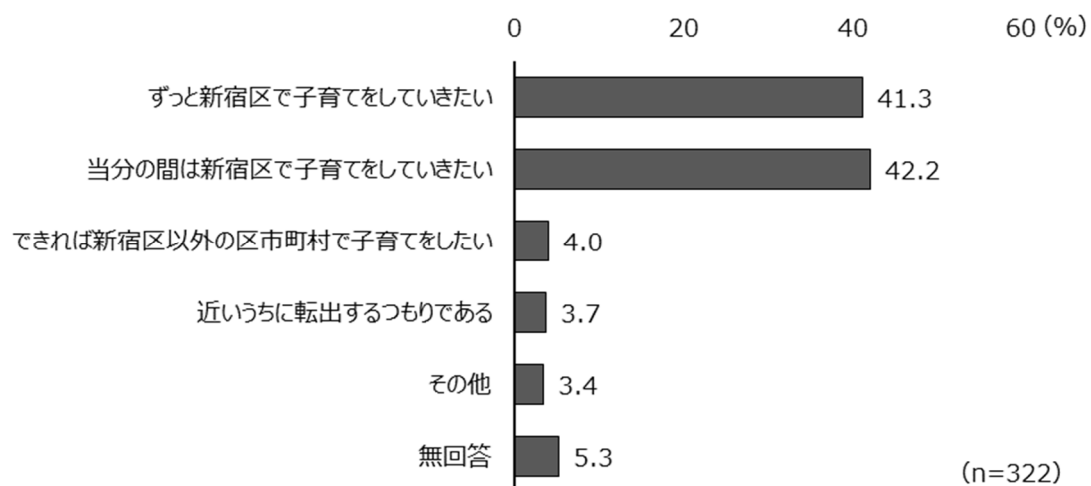


(n=31)

問 4 1 今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うか

今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うかは、「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」が 42.2%で最も多く、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」(41.3%)、「できれば新宿区以外の区市町村で子育てをしたい」(4.0%)と続く。

図表 361

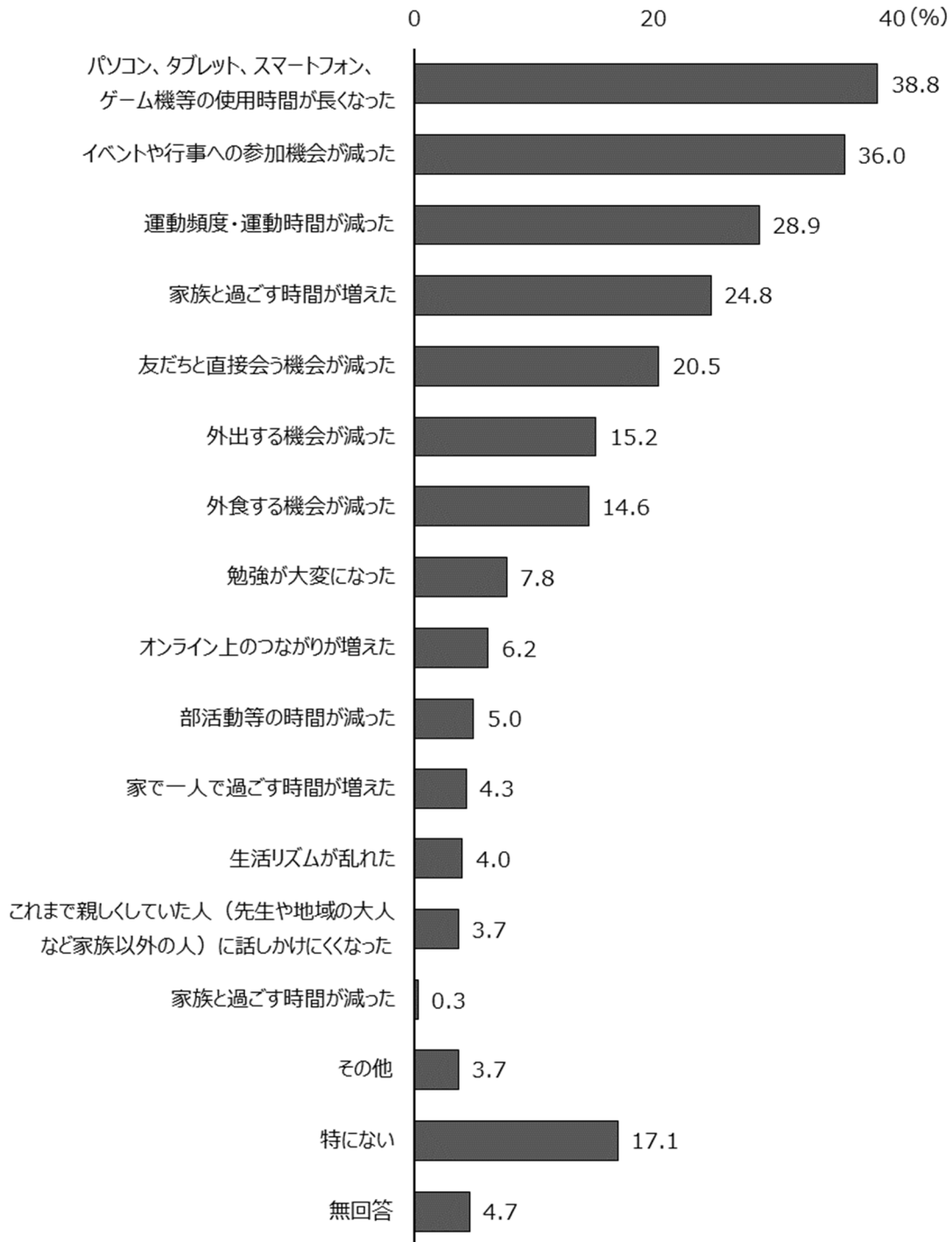


(11) その他

問42 コロナ禍を経て、現在も続いている子どもの生活変化（複数回答）

コロナ禍を経て、現在も続いている子どもの生活変化は、「パソコン、タブレット、スマートフォン、ゲーム機等の使用時間が長くなった」が38.8%で最も多く、「イベントや行事への参加機会が減った」(36.0%)、「運動頻度・運動時間が減った」(28.9%)と続く。

図表 362



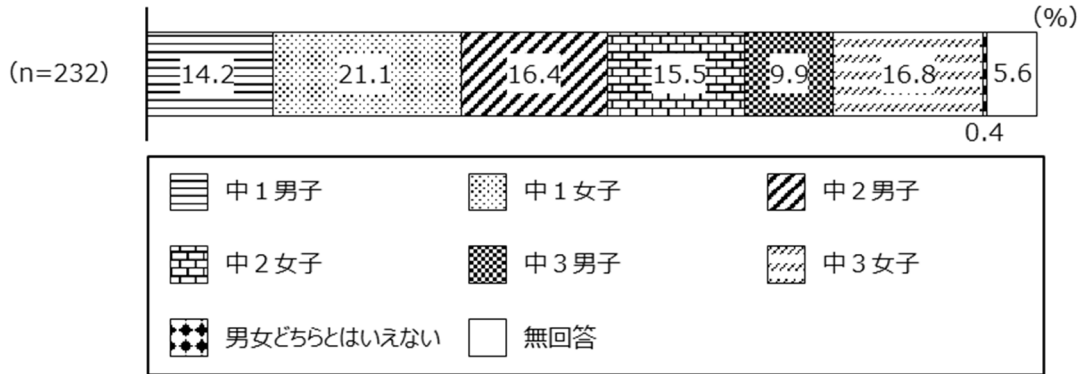
(n=322)

Ⅱ-⑤ 中学生調査結果

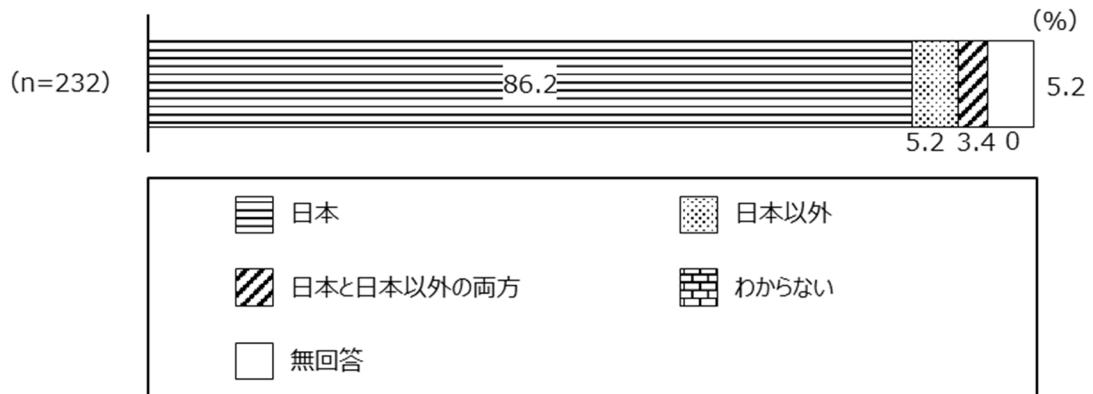
(1) 自分と家族の状況について

問1 学年・性別・国籍

図表 363 学年と性別

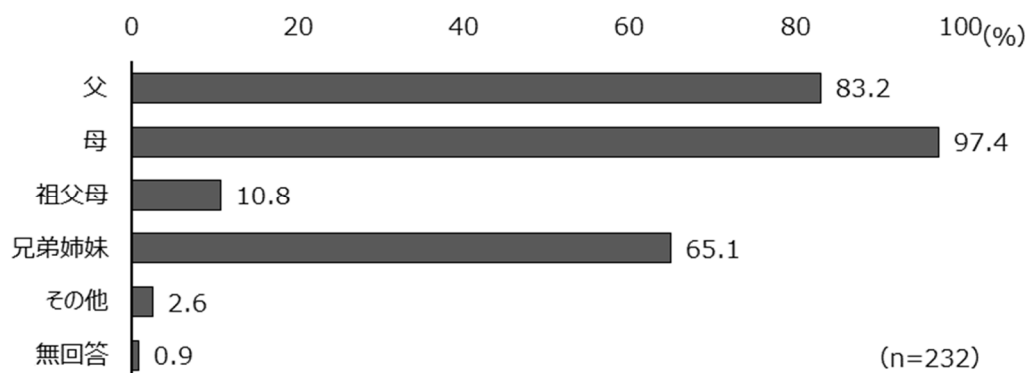


図表 364 国籍



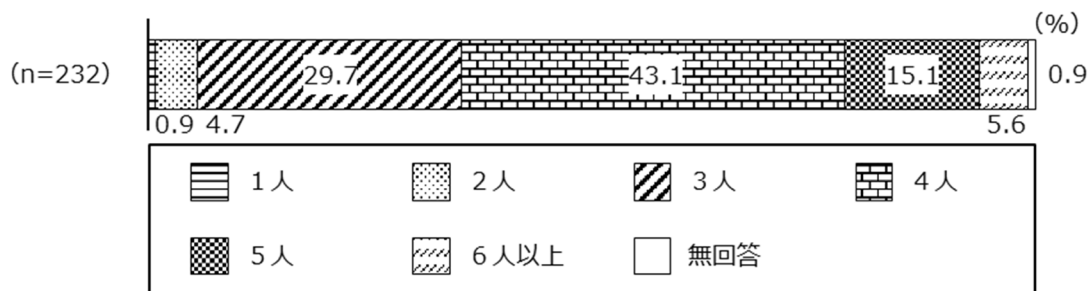
問2 同居の状況 (複数回答)

図表 365



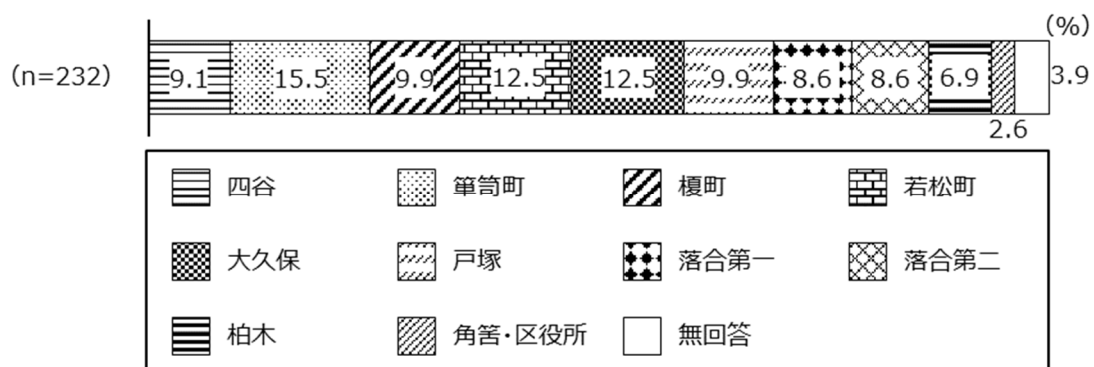
問3 同居の家族人数

図表 366



問4 居住地域（特別出張所単位）

図表 367

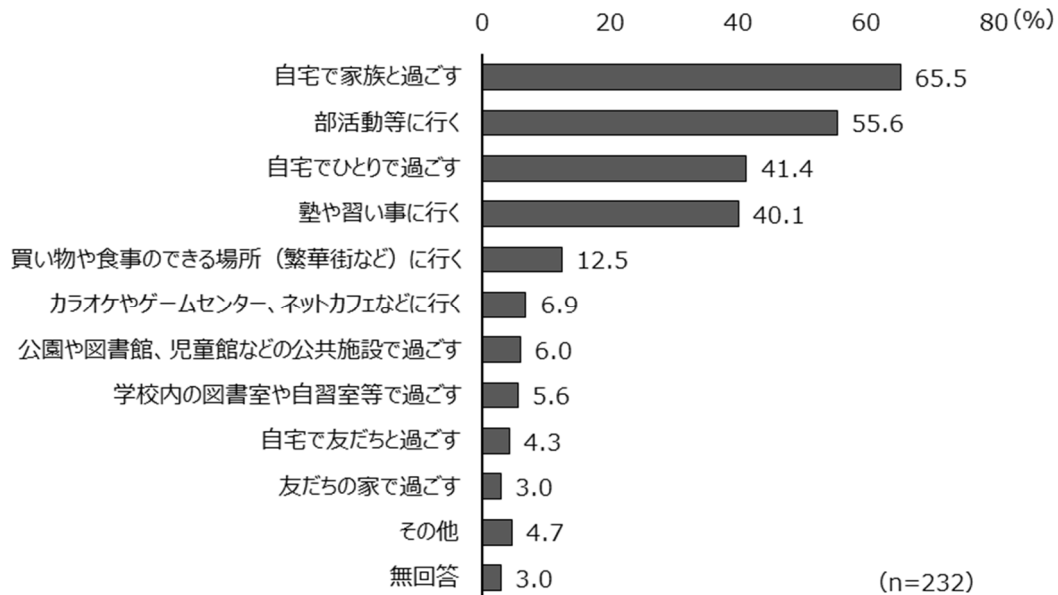


(2) 日常生活について

問5 放課後や休日の過ごし方（3つまで）

放課後や休日の過ごし方は、「自宅で家族と過ごす」が65.5%で最も多く、「部活動等に行く」(55.6%)、「自宅でひとりで過ごす」(41.4%)と続く。

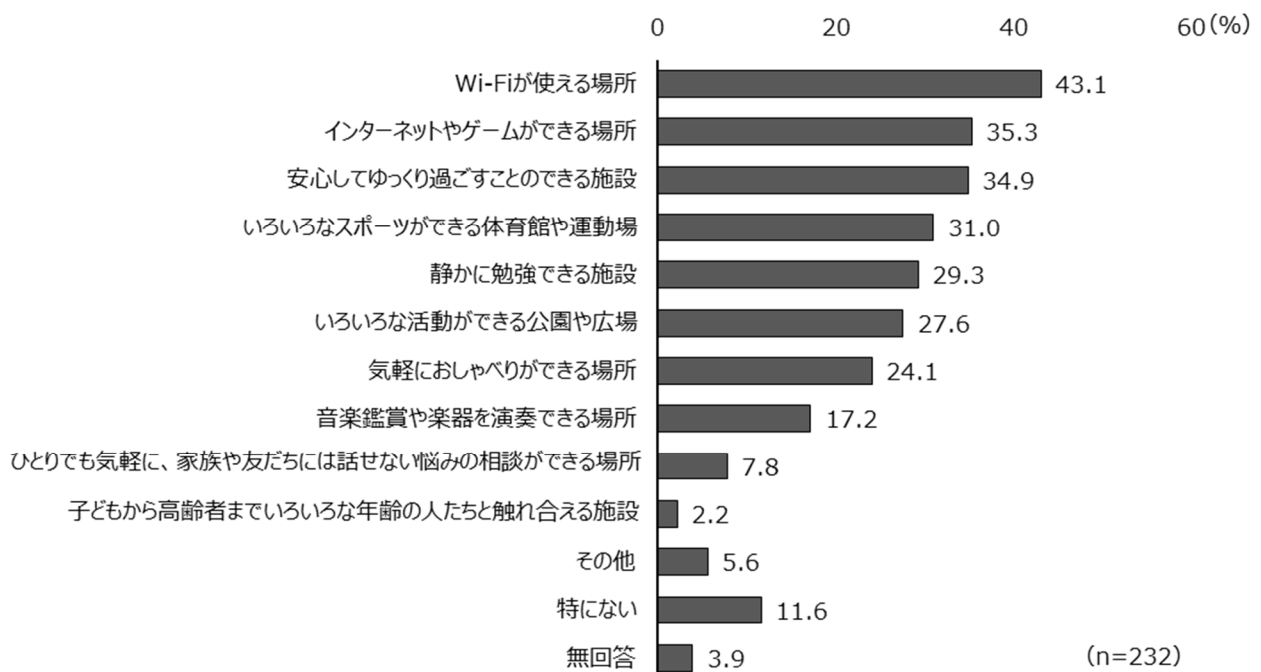
図表 368



問6 学校や家以外で、放課後や休日を過ごすことを希望する場所（複数回答）

学校や家以外で、放課後や休日を過ごすことを希望する場所は、「Wi-Fiが使える場所」が43.1%で最も多く、「インターネットやゲームができる場所」(35.3%)、「安心してゆっくり過ごすことのできる施設」(34.9%)と続く。

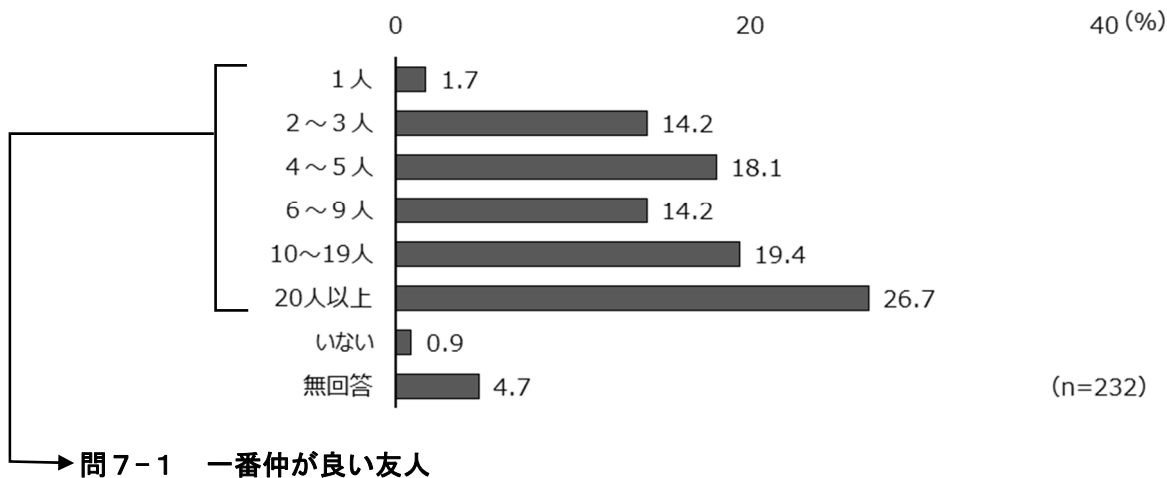
図表 369



問7 一緒に遊んだり話したりする友人の数

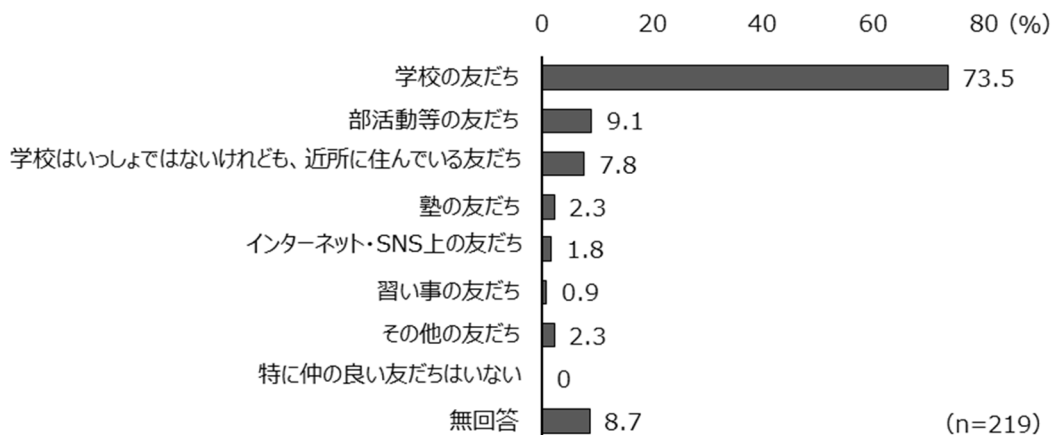
一緒に遊んだり話したりする友人の数は、「20人以上」が 26.7%で最も多く、「10～19人」(19.4%)、「4～5人」(18.1%)と続く。

図表 370



一番仲が良い友人は、「学校の友だち」が 73.5%で最も多く、「部活動等の友だち」(9.1%)、「学校はいつしょではないけれども、近所に住んでいる友だち」(7.8%)と続く。

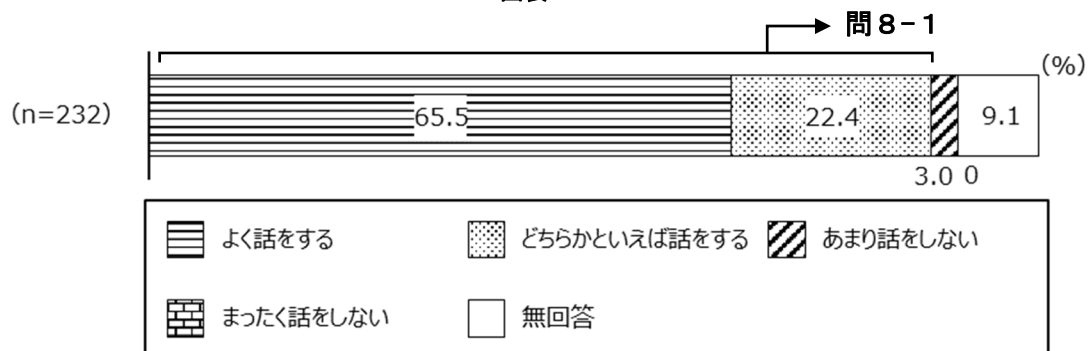
図表 371



問8 普段の家族との会話の程度

普段の家族との会話の程度は、「よく話をする」が 65.5%で最も多く、「どちらかといえば話をする」(22.4%)、「あまり話をしない」(3.0%)と続く。

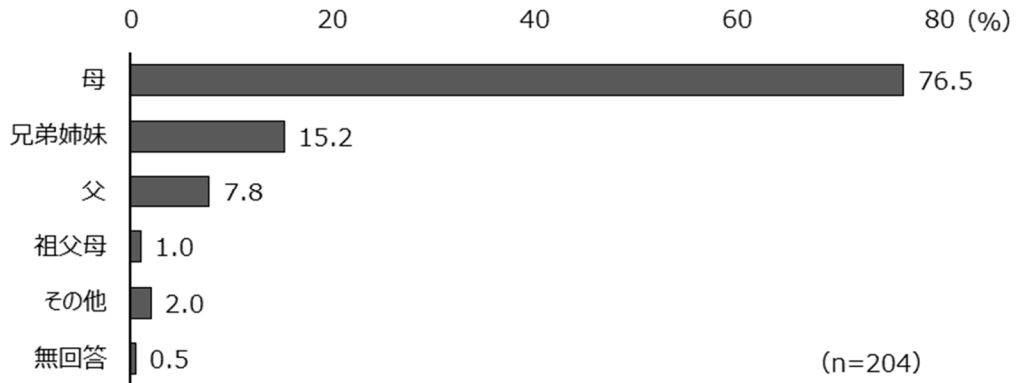
図表 372



問8-1 一番話をする家族

一番話をする家族は、「母」が76.5%で最も多く、「兄弟姉妹」(15.2%)、「父」(7.8%)と続く。

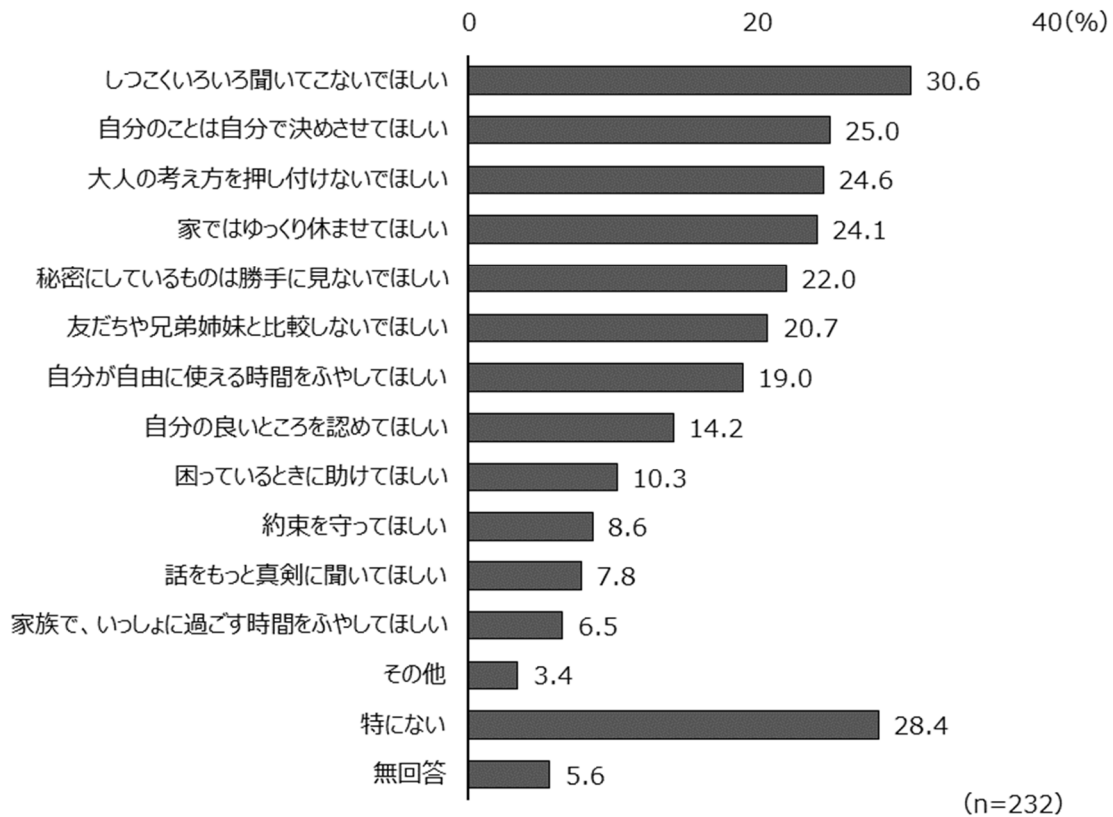
図表 373



問9 一緒に住んでいる大人に、してほしい(してほしくない)と思うこと(複数回答)

一緒に住んでいる大人に、してほしい(してほしくない)と思うことは、「しつこくいろいろ聞いてこないでほしい」が30.6%で最も多く、「特にない」(28.4%)、「自分のことは自分で決めさせてほしい」(25.0%)と続く。

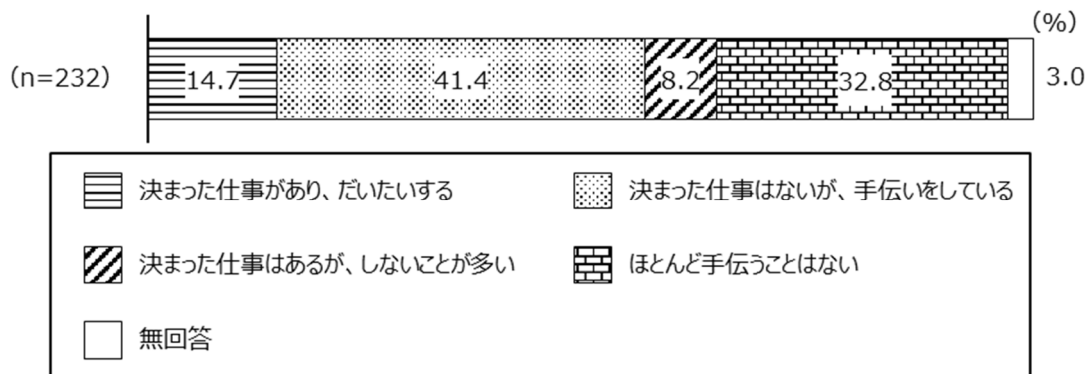
図表 374



問 10 家の手伝いをしているか

家の手伝いをしているかは、「決まった仕事はないが、手伝いをしている」が 41.4%で最も多く、「ほとんど手伝うことはない」(32.8%)、「決まった仕事があり、だいたいする」(14.7%)と続く。

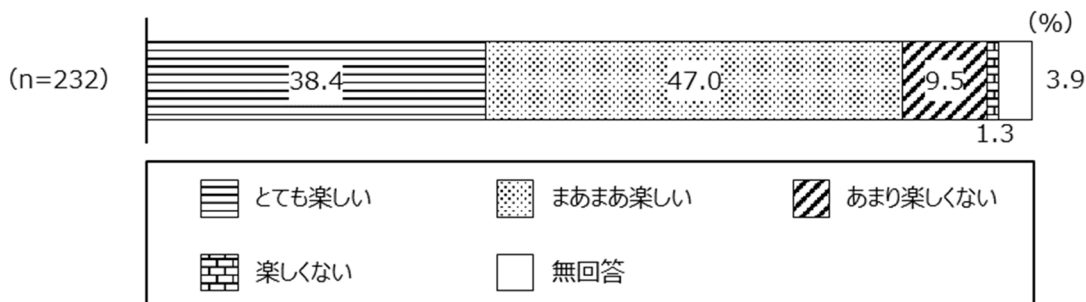
図表 375



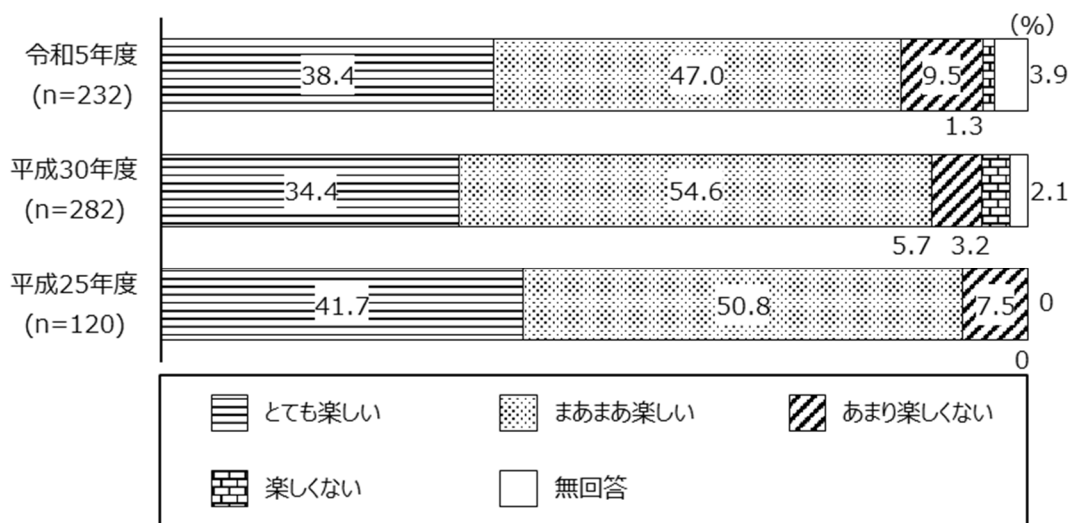
問 11 毎日の生活が楽しいか

毎日の生活が楽しいかは、「まあまあ楽しい」が 47.0%で最も多く、「とても楽しい」(38.4%)、「あまり楽しくない」(9.5%)と続く。

図表 376



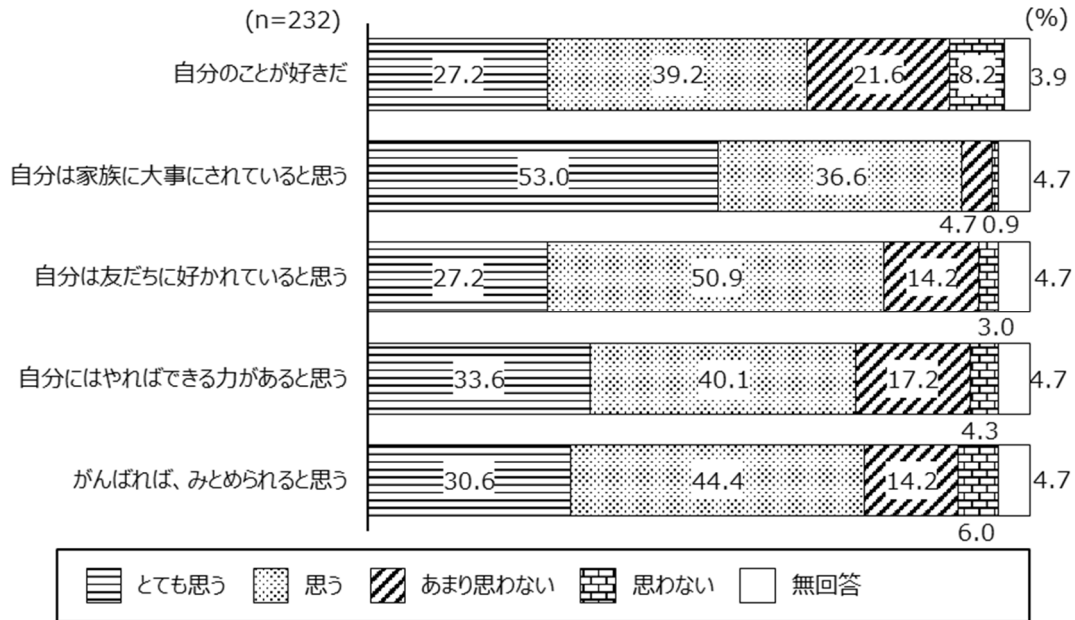
図表 377 毎日の生活が楽しいか（経年比較）



問 1 2 自分についてどう思っているか

自分についてどう思っているかについては、「とても思う」が最も多かったのは、「自分は家族に大事にされていると思う」(53.0%)で、「自分にはやればできる力があると思う」(33.6%)、「がんばれば、みとめられると思う」(30.6%)と続く。

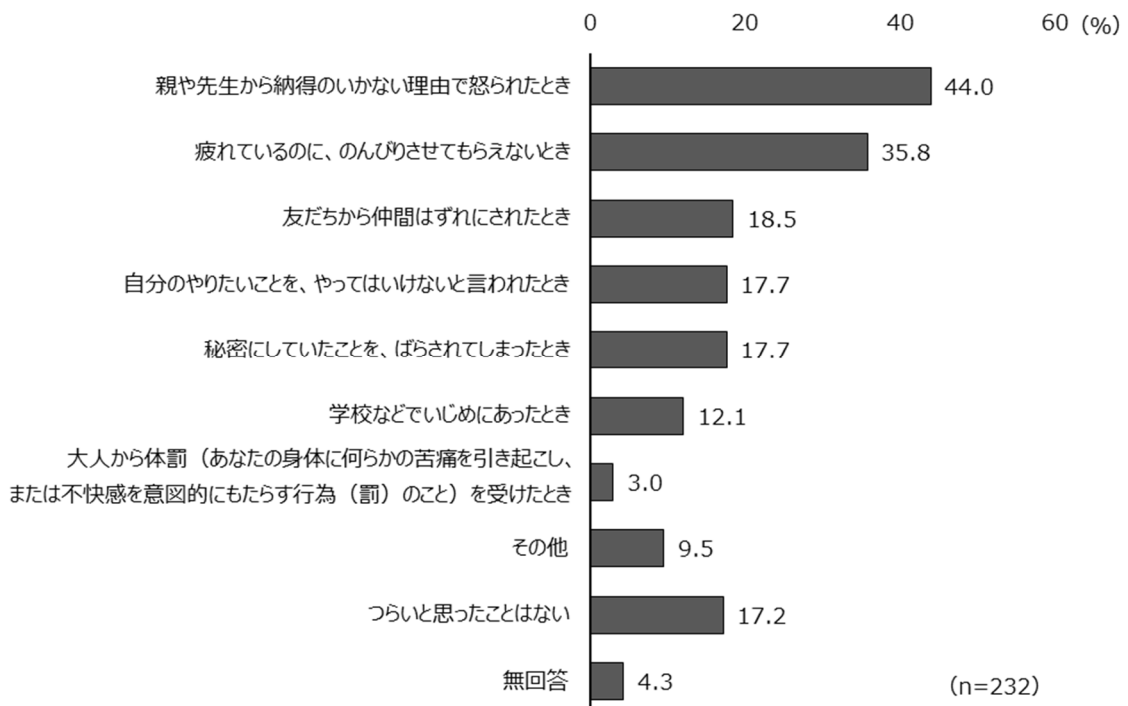
図表 378



問 1 3 今までつらいと思ったとき (3つまで)

今までつらいと思ったときは、「親や先生から納得のいかない理由で怒られたとき」が 44.0%で最も多く、「疲れているのに、のんびりさせてもらえないとき」(35.8%)、「友だちから仲間はずれにされたとき」(18.5%)と続く。

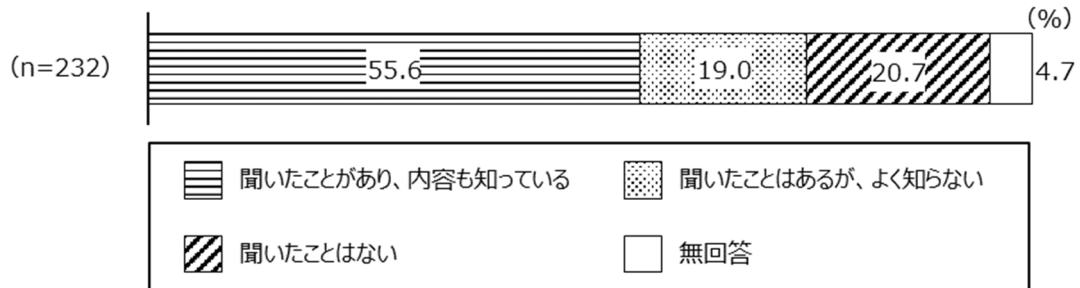
図表 379



問 1 4 ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるか

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかは、「聞いたことがあり、内容も知っている」が 55.6%で最も多く、「聞いたことはない」(20.7%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(19.0%)と続く。

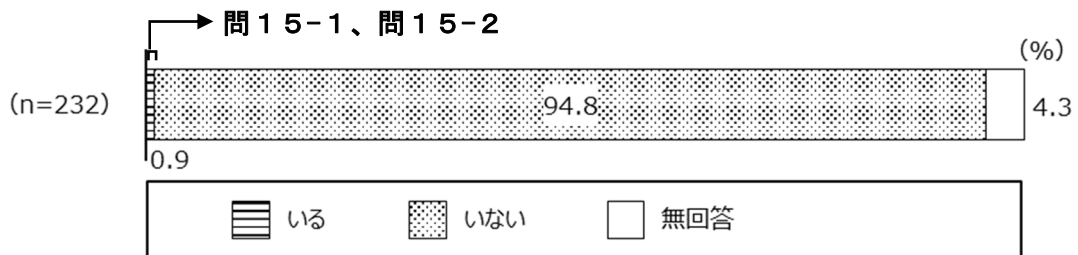
図表 380



問 1 5 家族の中に自分が世話をしている人の有無

家族の中に自分が世話をしている人は、「いない」が 94.8%、「いる」は 0.9%となっている。

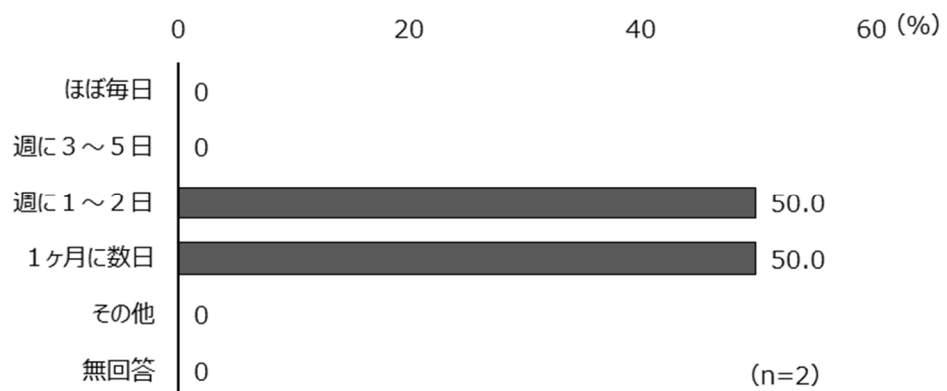
図表 381



問 1 5-1 家族の世話をしている頻度

家族の世話をしている頻度は、「週に1～2日」と「1ヶ月に数日」がともに 50.0%となっている。

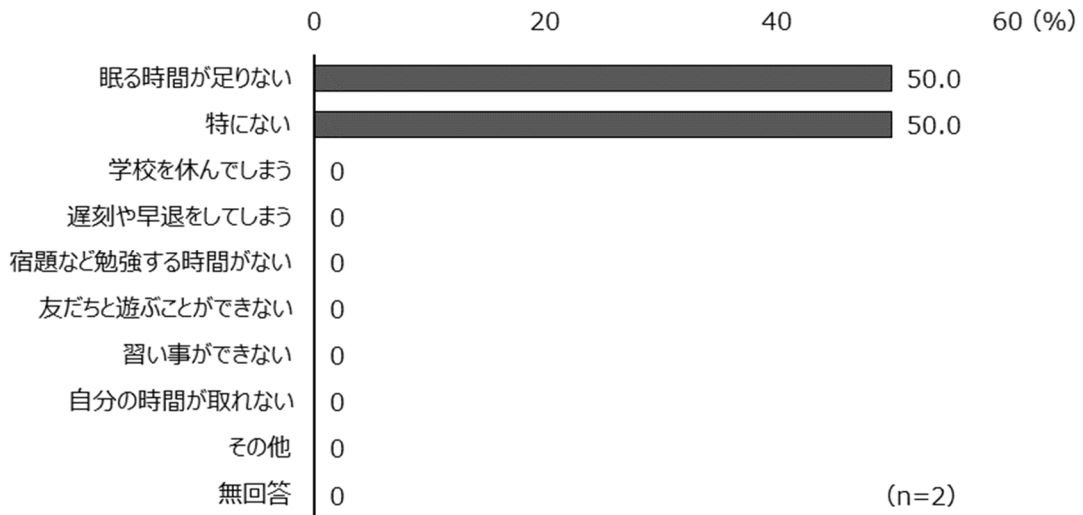
図表 382



問 15-2 家族の世話をしているために経験をしたこと（複数回答）

家族の世話をしているために経験をしたことは、「眠る時間が足りない」と「特にない」がともに 50.0%となっている。

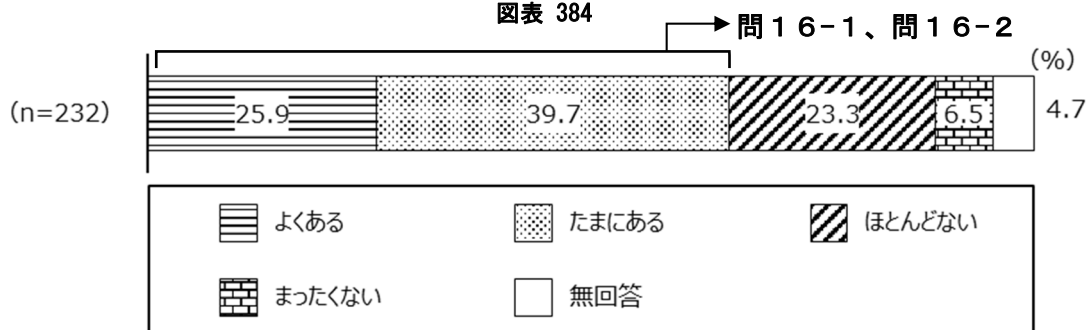
図表 383



問 16 悩んだり、困ったりすることの有無

悩んだり、困ったりすることは、「たまにある」が 39.7%で最も多く、「よくある」(25.9%)、「ほとんどない」(23.3%)と続く。

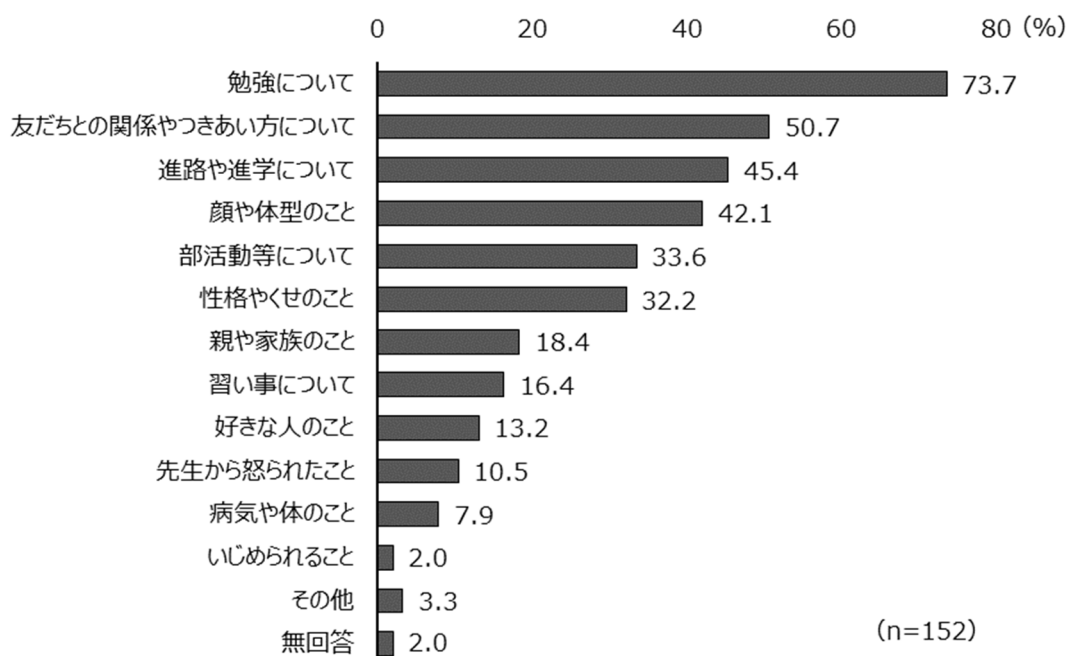
図表 384



問 16-1 悩んだり、困ったりすること（複数回答）

悩んだり、困ったりすることは、「勉強について」が 73.7%で最も多く、「友だちとの関係やつきあい方について」(50.7%)、「進路や進学について」(45.4%)と続く。

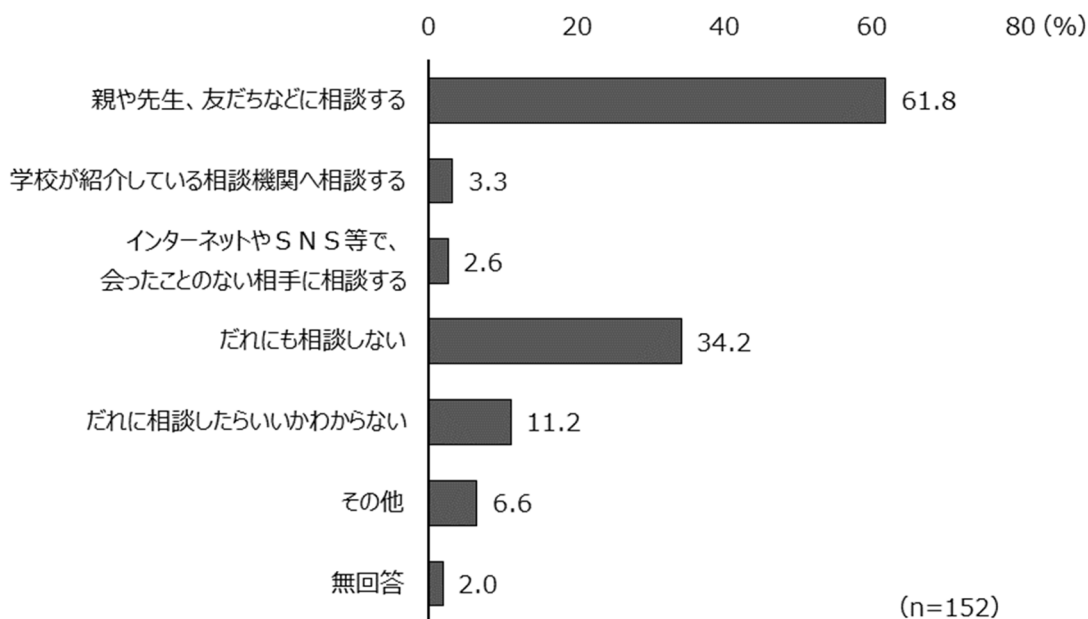
図表 385



問 16-2 悩んだり困ったりしたときに、誰（どこ）かに相談するか（複数回答）

悩んだり困ったりしたときに、誰（どこ）かに相談するかは、「親や先生、友だちなどに相談する」が 61.8%で最も多く、「だれにも相談しない」(34.2%)、「だれに相談したらいいかわからない」(11.2%)と続く。

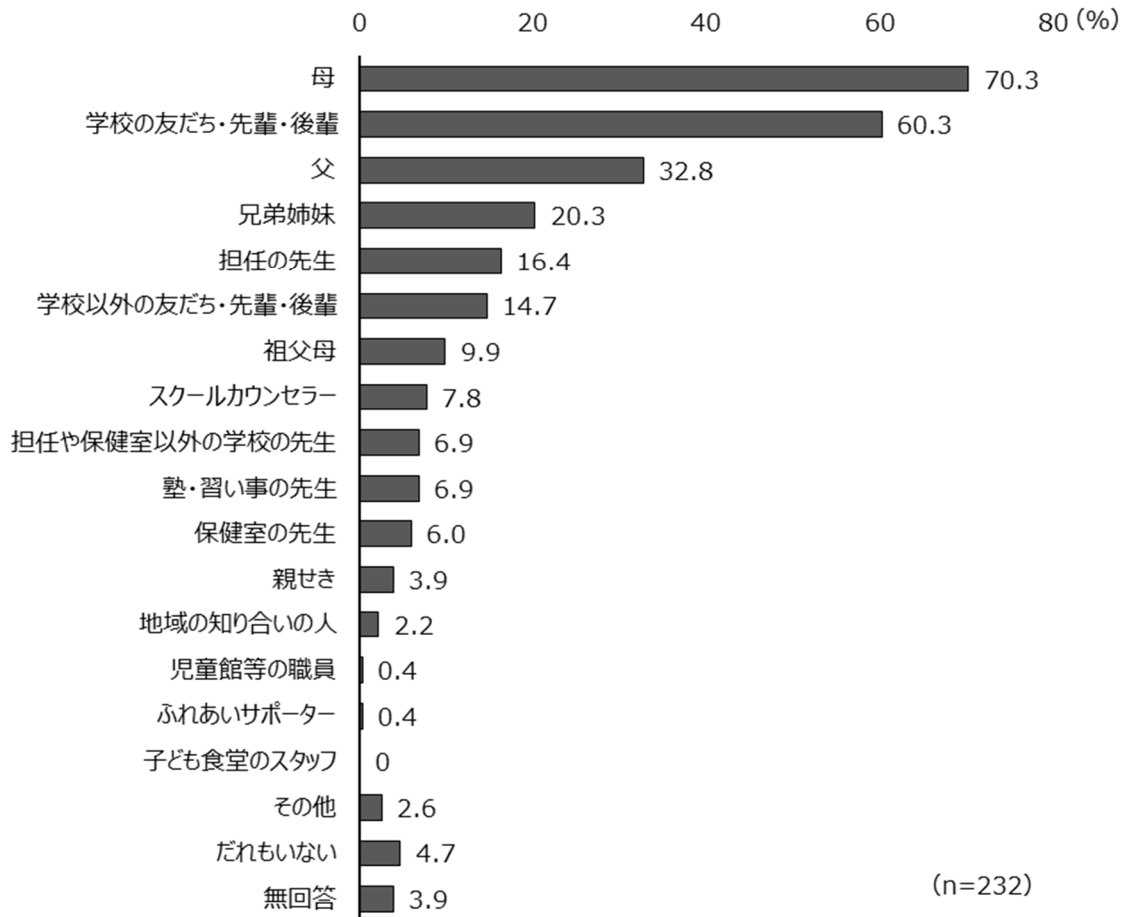
図表 386



問 17 相談したいことや聞いてほしいことを気軽に話せる人（複数回答）

相談したいことや聞いてほしいことを気軽に話せる人は、「母」が 70.3%で最も多く、「学校の友だち・先輩・後輩」（60.3%）、「父」（32.8%）と続く。

図表 387

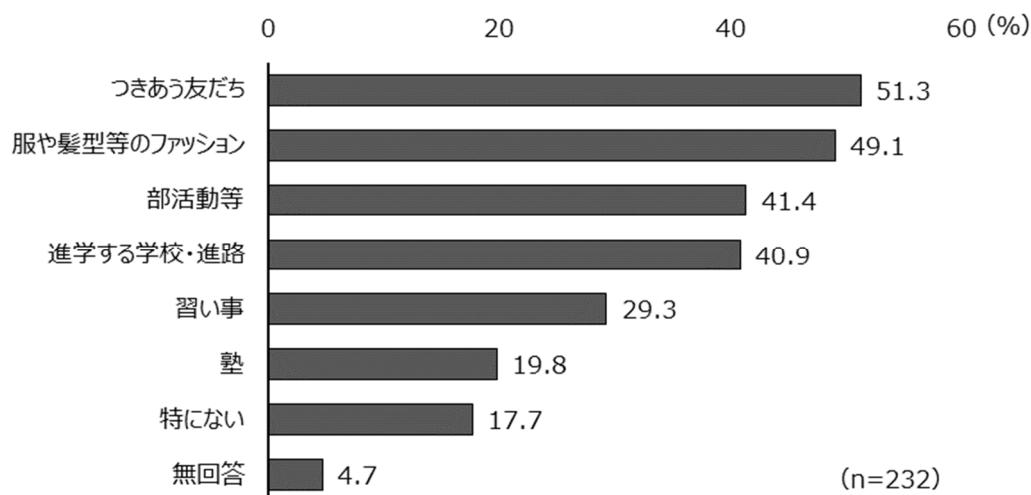


問 18 親や周囲の人の意見でなく、自分で決めたいと思っていることと、実際に決めている程度（複数回答）

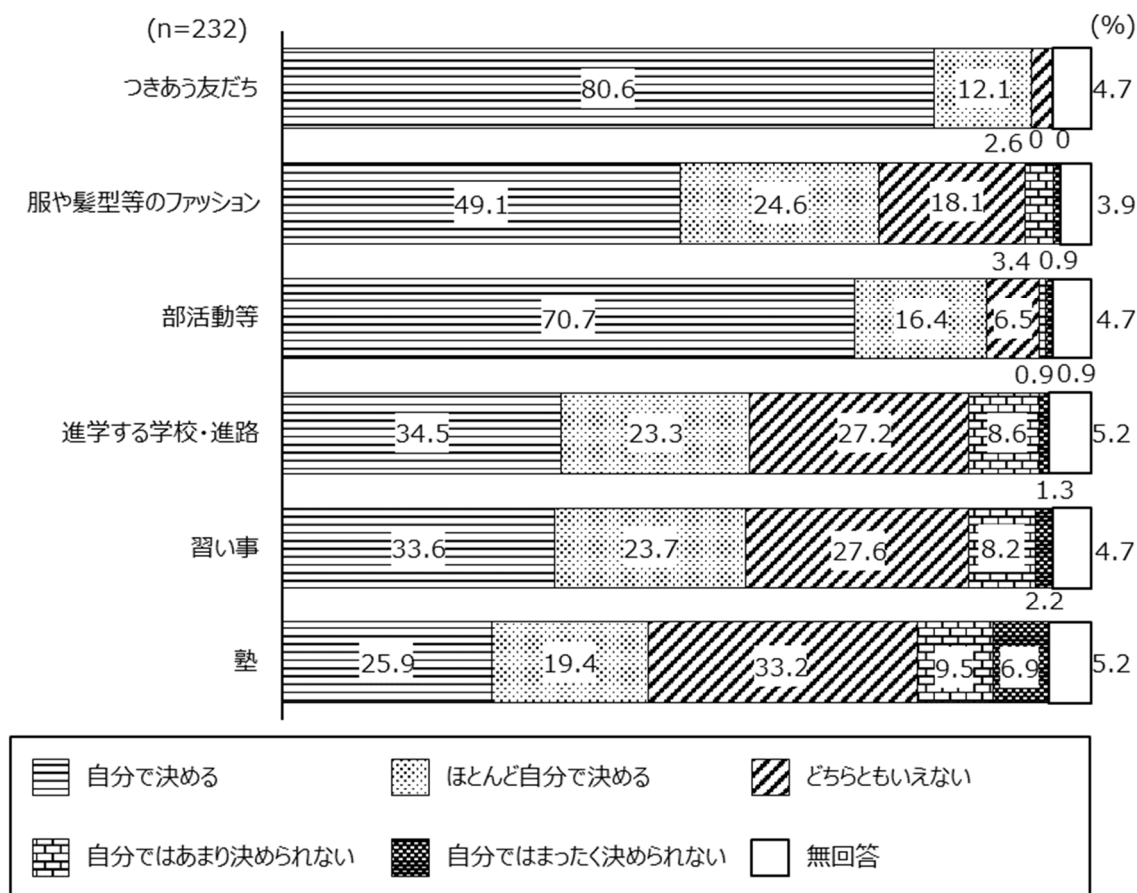
親や周囲の人の意見でなく、自分で決めたいと思っていることは、「つきあう友だち」が 51.3%で最も多く、「服や髪型等のファッション」(49.1%)、「部活動等」(41.4%)と続く。

実際に決めている程度は、「自分で決める」が最も多かったのは、「つきあう友だち」80.6%で、「部活動等」(70.7%)、「服や髪型等のファッション」(49.1%)と続く。

図表 388 自分で決めたいと思っていること



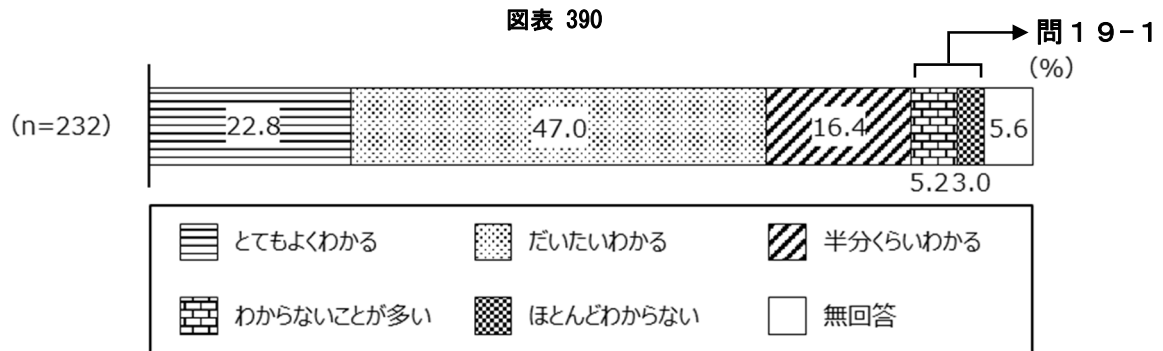
図表 389 実際に自分で決めている程度



(3) 学校や勉強について

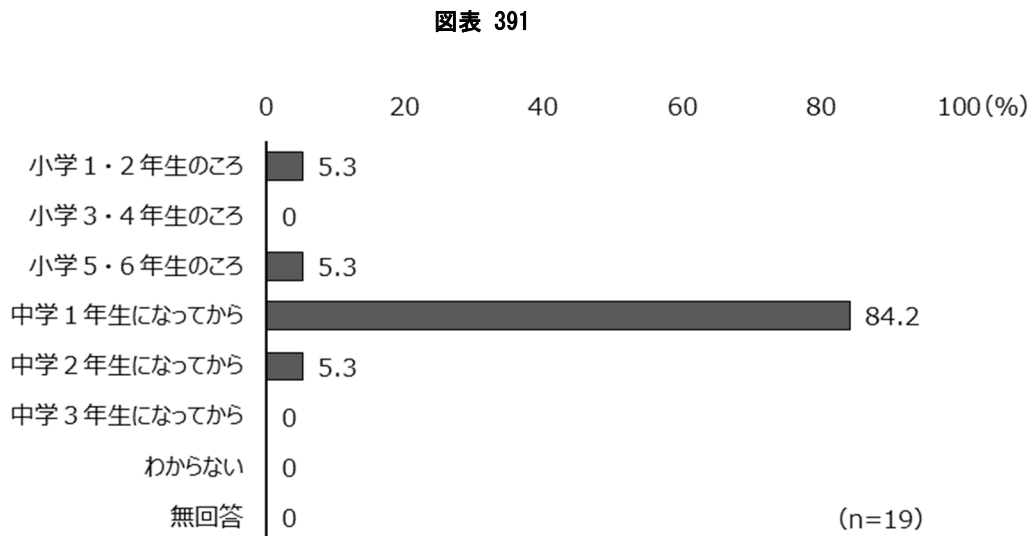
問19 学校の授業の理解度

学校の授業の理解度は、「だいたいわかる」が47.0%で最も多く、「とてもよくわかる」(22.8%)、「半分くらいわかる」(16.4%)と続く。



問19-1 授業がわからなくなった時期

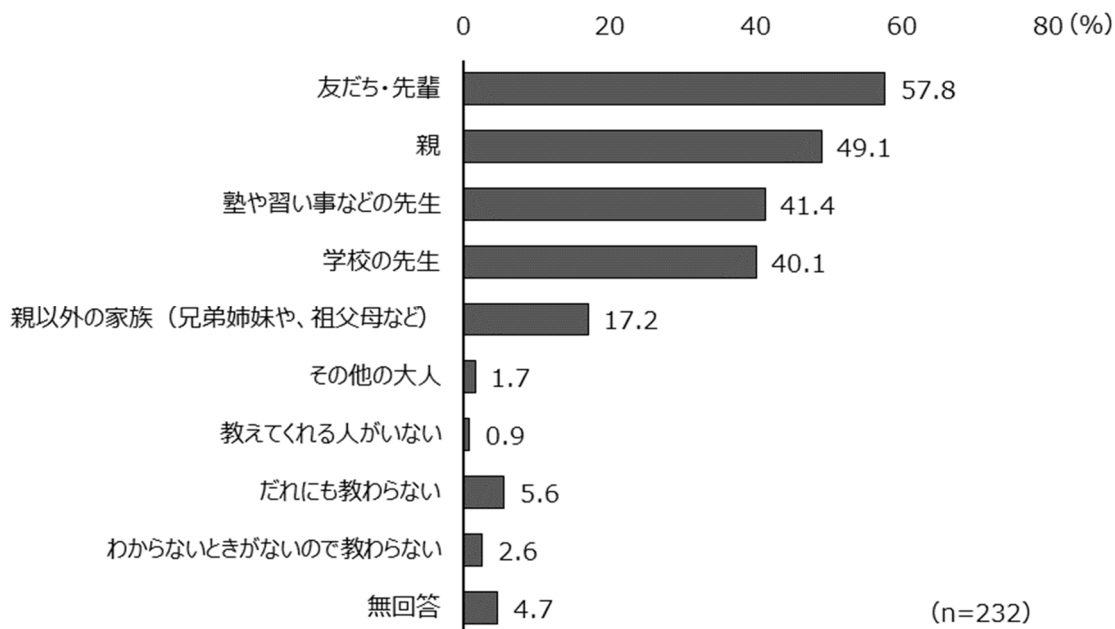
授業がわからなくなった時期は、「中学1年生になってから」が84.2%で最も多く、「小学1・2年生のころ」、「小学5・6年生のころ」、「中学2年生になってから」がともに5.3%と続く。



問20 勉強がわからないとき学校の授業以外で教えてもらう人（複数回答）

勉強がわからないとき学校の授業以外で教えてもらう人は、「友だち・先輩」が 57.8%で最も多く、「親」(49.1%)、「塾や習い事などの先生」(41.4%)と続く。

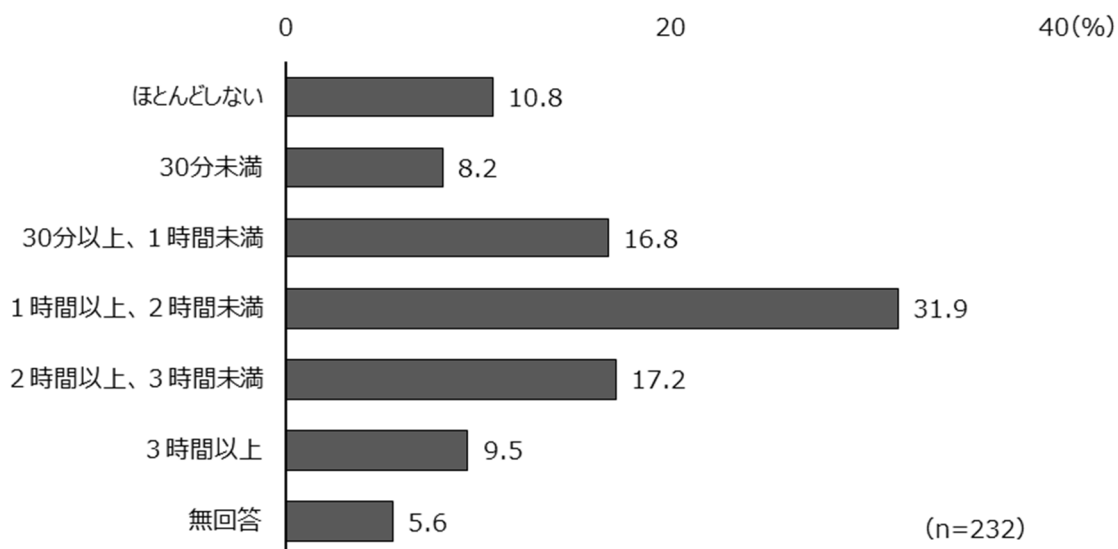
図表 392



問21 学校の授業時間以外の普段（月曜日から金曜日）1日当たりの勉強時間

学校の授業時間以外の普段（月曜日から金曜日）1日当たりの勉強時間は、「1時間以上、2時間未満」が 31.9%で最も多く、「2時間以上、3時間未満」(17.2%)、「30分以上、1時間未満」(16.8%)と続く。

図表 393



(4) 食事等の生活習慣と社会的ルールについて

問 2 2 学校がある平日の朝食・夕食の習慣、長い休みの時の昼食の習慣、食事の時間、食べない理由

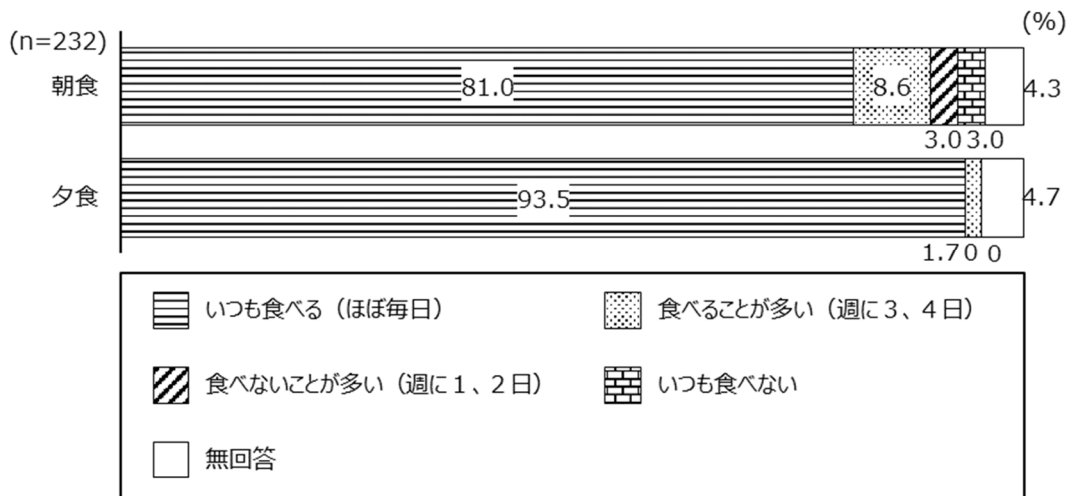
朝食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 81.0%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(8.6%)、「食べないことが多い(週に1、2日)」(3.0%)「いつも食べない」(3.0%)と続く。

夕食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 93.5%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(1.7%)と続く。

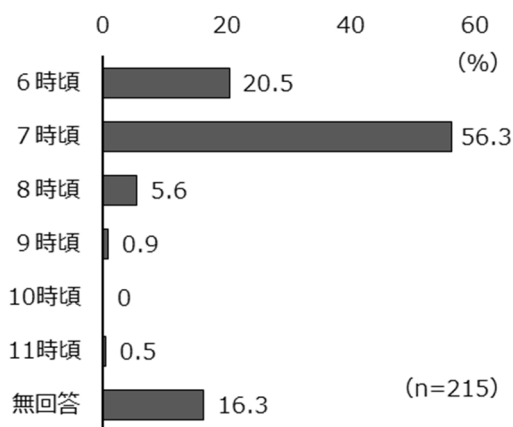
朝食をとる時間は、「7時頃」が 56.3%で最も多く、「6時頃」(20.5%)、「8時頃」(5.6%)と続く。

夕食をとる時間は、「19時頃」が 35.7%で最も多く、「20時頃」(21.3%)、「18時頃」(18.6%)と続く。

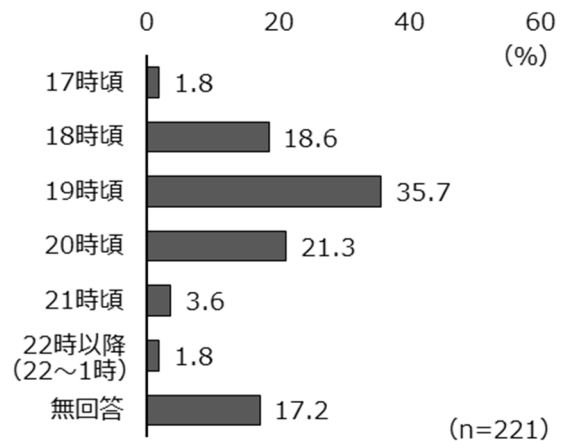
図表 394 学校がある平日の朝食・夕食の習慣



図表 395 朝食の時間



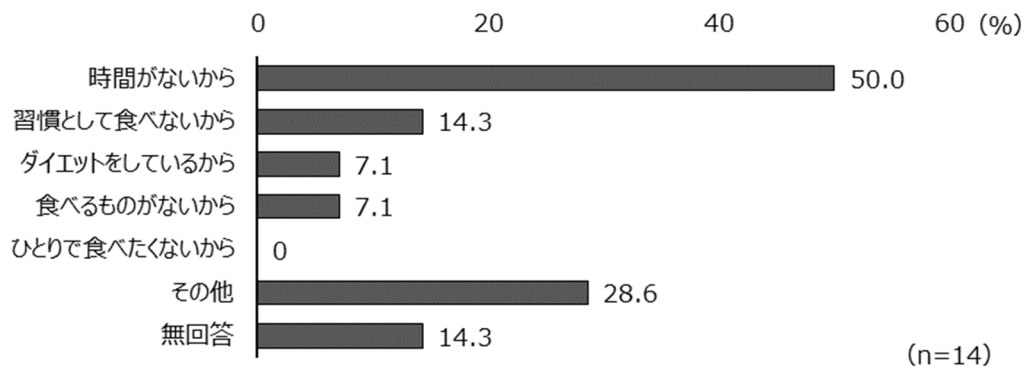
図表 396 夕食の時間



II-⑤ 中学生調査結果

朝食を食べない理由は、「時間がないから」が 50.0%で最も多く、「習慣として食べないから」(14.3%)、「ダイエットをしているから」と「食べるものがないから」がともに 7.1%と続く。

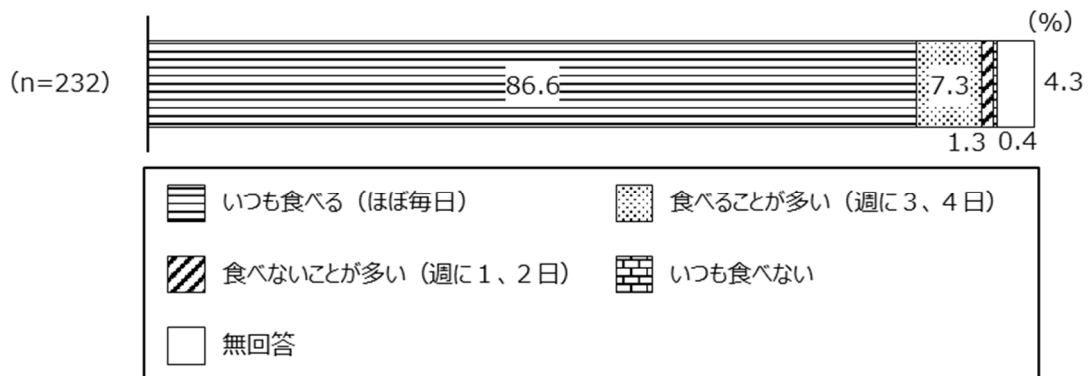
図表 397 朝食を食べない理由



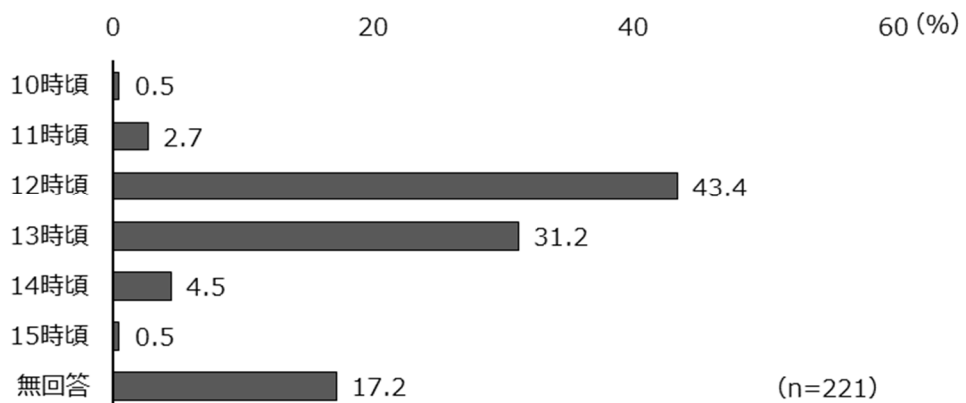
長い休みの時の昼食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 86.6%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(7.3%)、「食べないことが多い(週に1、2日)」(1.3%)と続く。

昼食をとる時間は、「12時頃」が 43.4%で最も多く、「13時頃」(31.2%)、「14時頃」(4.5%)と続く。

図表 398 長期休暇中の昼食の習慣

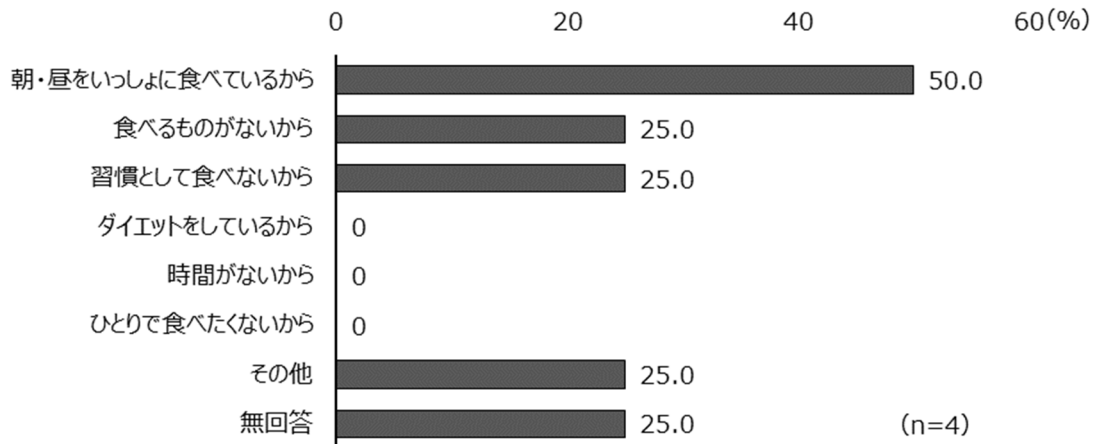


図表 399 長期休暇中の昼食の時間



昼食を食べない理由は、「朝・昼をいっしょに食べているから」が 50.0%で最も多く、「食べるものがないから」と「習慣として食べないから」がともに 25.0%と続く。

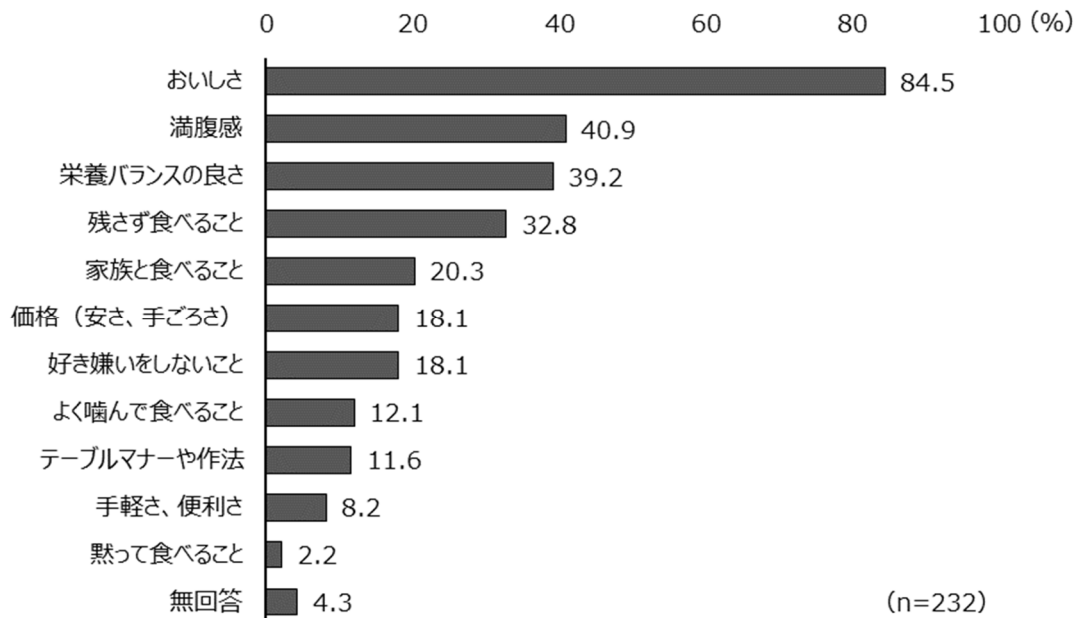
図表 400 長期休暇中の昼食を食べない理由



問 2 3 食事をする時に大切だと考えているもの（3つまで）

食事をする時に大切だと考えているものは、「おいしさ」が 84.5%で最も多く、「満腹感」(40.9%)、「栄養バランスの良さ」(39.2%)と続く。

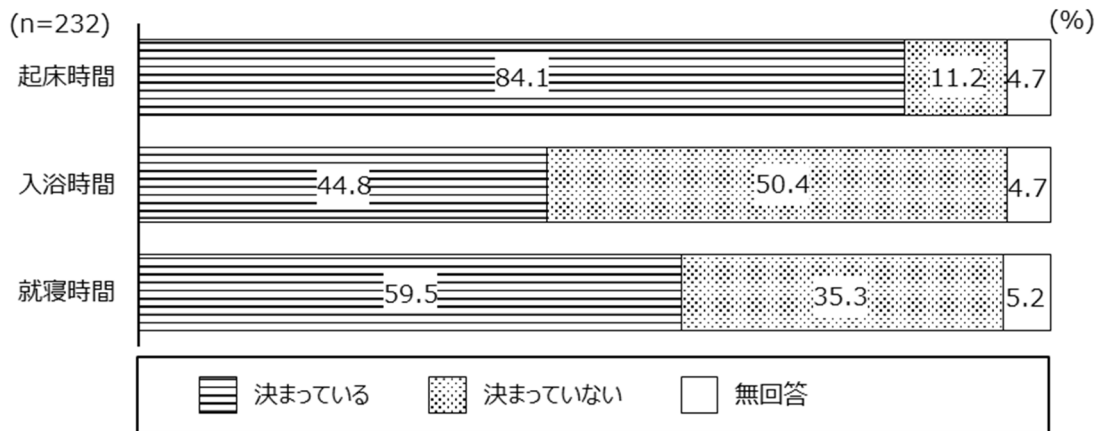
図表 401



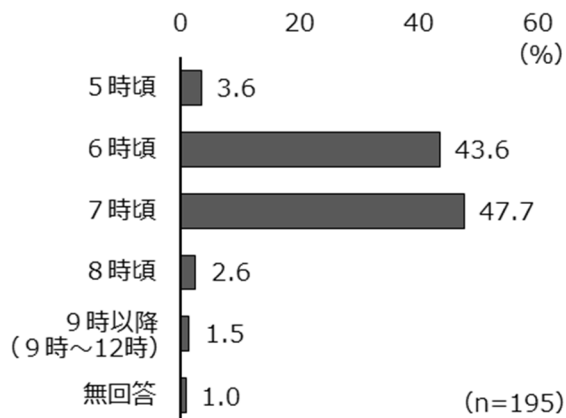
問24 平日の起床・入浴・就寝時間が決まっているか、おおよその時間

平日の起床・入浴・就寝時間について、「決まっている」は、起床 84.1%、入浴 44.8%、就寝 59.5%となっている。

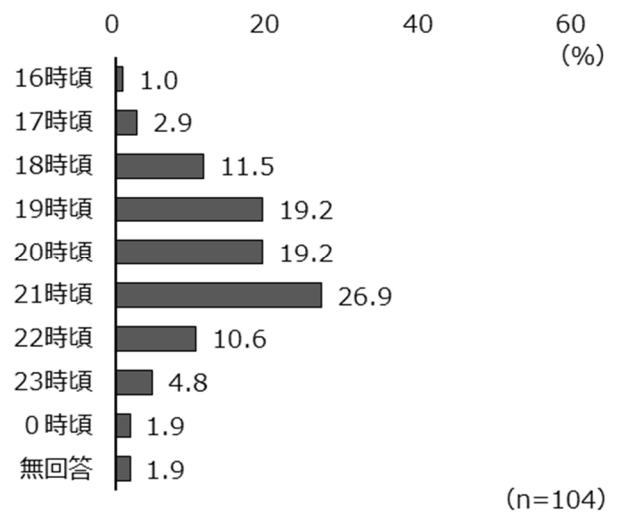
図表 402 平日の起床・入浴・就寝時間が決まっているか



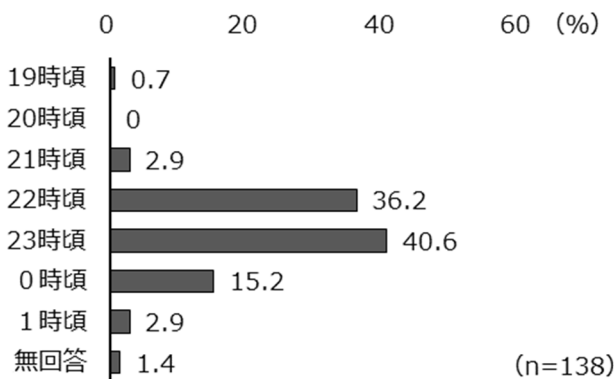
図表 403 起床時間



図表 404 入浴時間



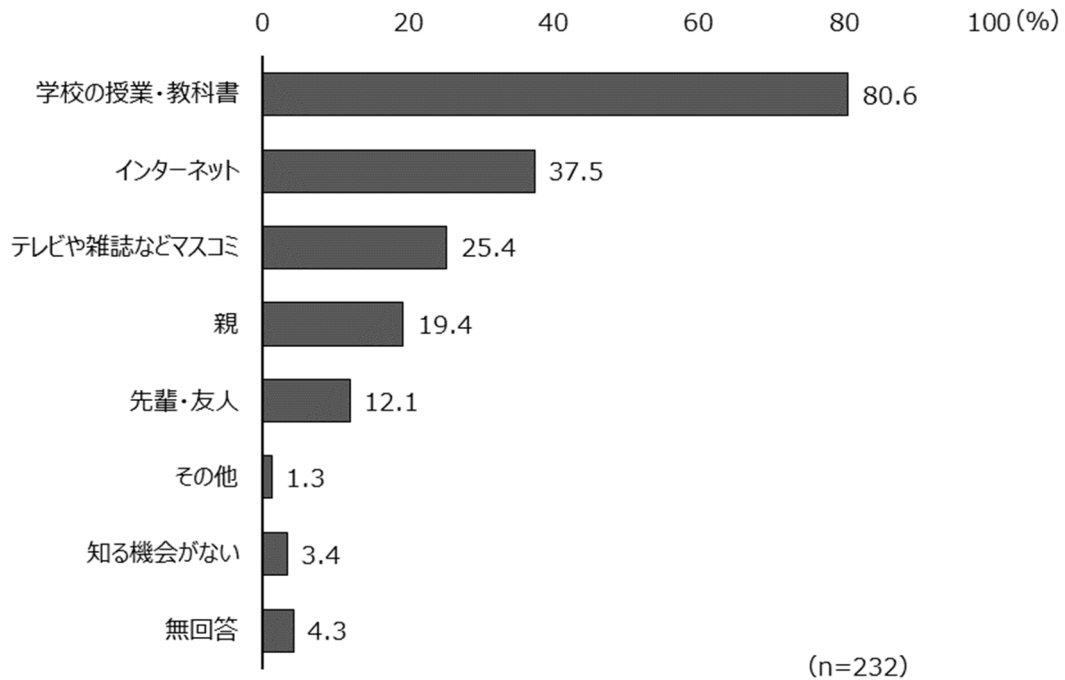
図表 405 就寝時間



問25 「妊娠・避妊」「性感染症」「薬物がこころや身体に与える影響」について情報を得た方法（複数回答）

「妊娠・避妊」「性感染症」「薬物がこころや身体に与える影響」について情報を得た方法は、「学校の授業・教科書」が80.6%で最も多く、「インターネット」(37.5%)、「テレビや雑誌などマスコミ」(25.4%)と続く。

図表 406

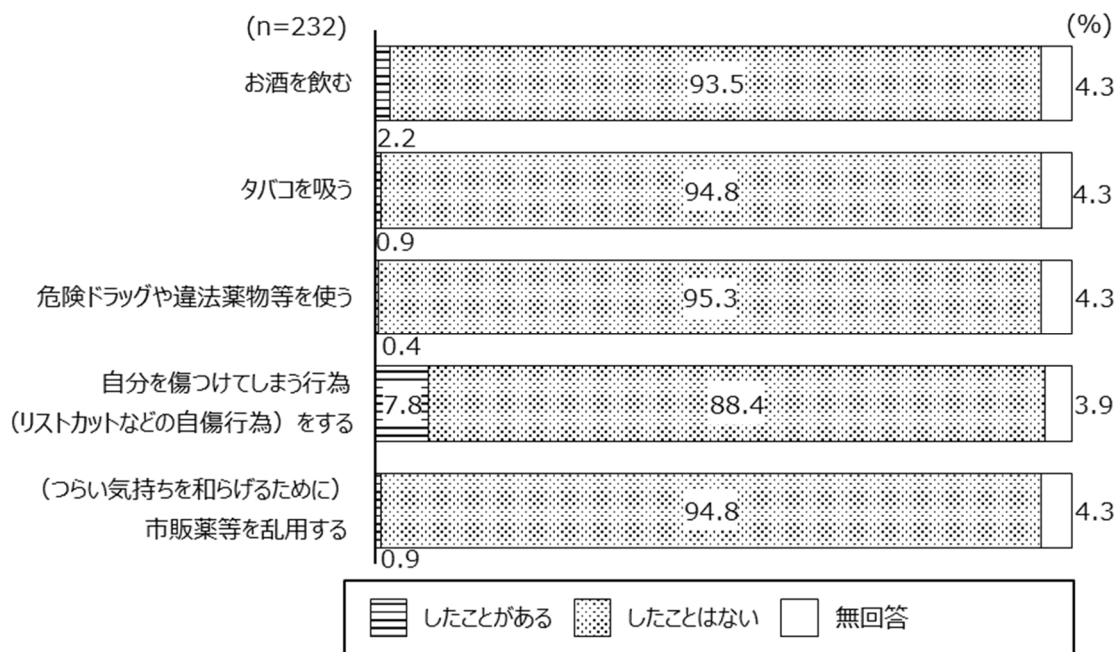


問26 経験の有無といけないと思う程度

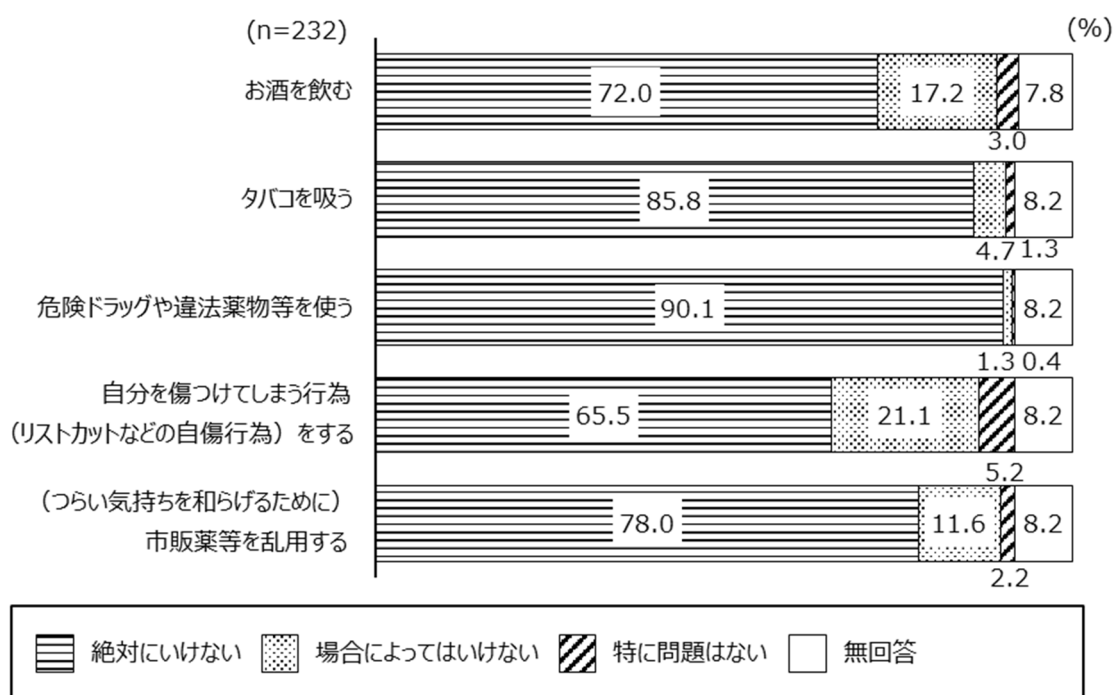
経験の有無については、「したことがある」が最も多かったのは、「自分を傷つけてしまう行為(リストカットなどの自傷行為)をする」が7.8%で、「お酒を飲む」(2.2%)、「タバコを吸う」と「(つらい気持ちを和らげるために)市販薬等を乱用する」がともに0.9%と続く。

いけないと思う程度については、「絶対にいけない」が最も多かったのは、「危険ドラッグや違法薬物等を使う」が90.1%で、「タバコを吸う」(85.8%)、「(つらい気持ちを和らげるために)市販薬等を乱用する」(78.0%)と続く。

図表 407 経験の有無



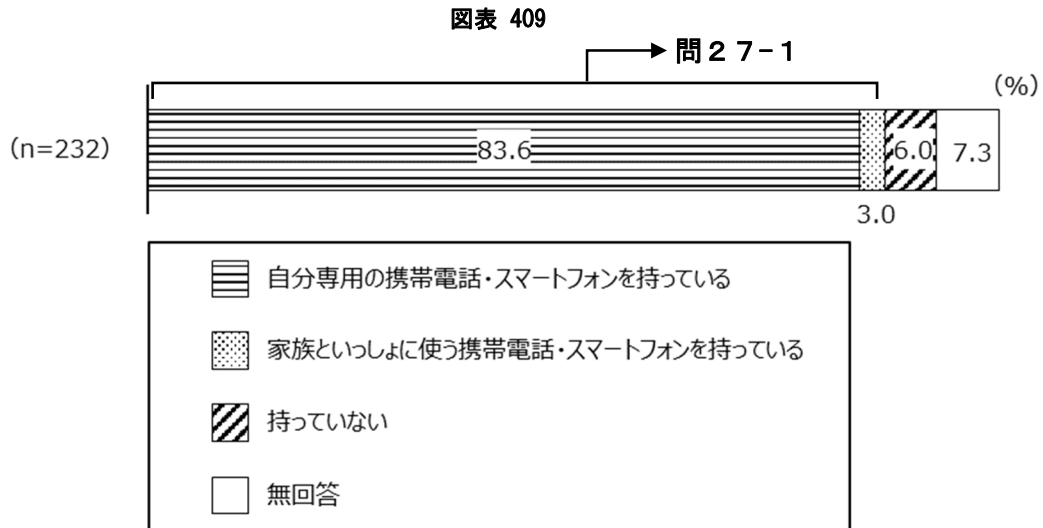
図表 408 いけないと思う程度



(5) インターネット等の利用について

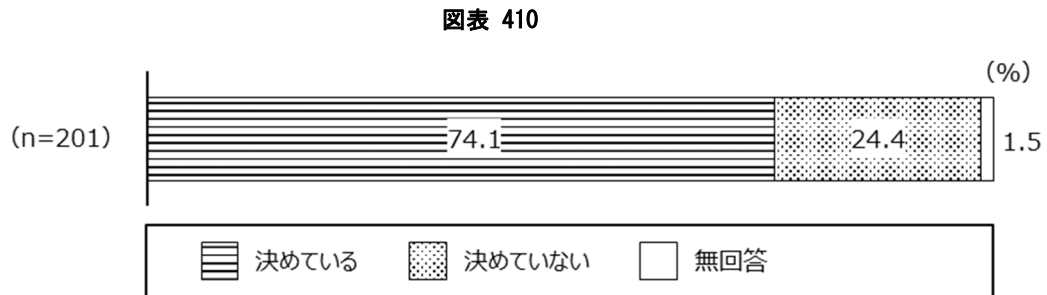
問27 携帯電話・スマートフォンの保有状況

携帯電話・スマートフォンの保有状況は、「自分専用の携帯電話・スマートフォンを持っている」が83.6%で最も多く、「持っていない」(6.0%)、「家族といっしょに使う携帯電話・スマートフォンを持っている」(3.0%)と続く。



問27-1 親子の間で、携帯電話・スマートフォンの使用についてルールを決めているか

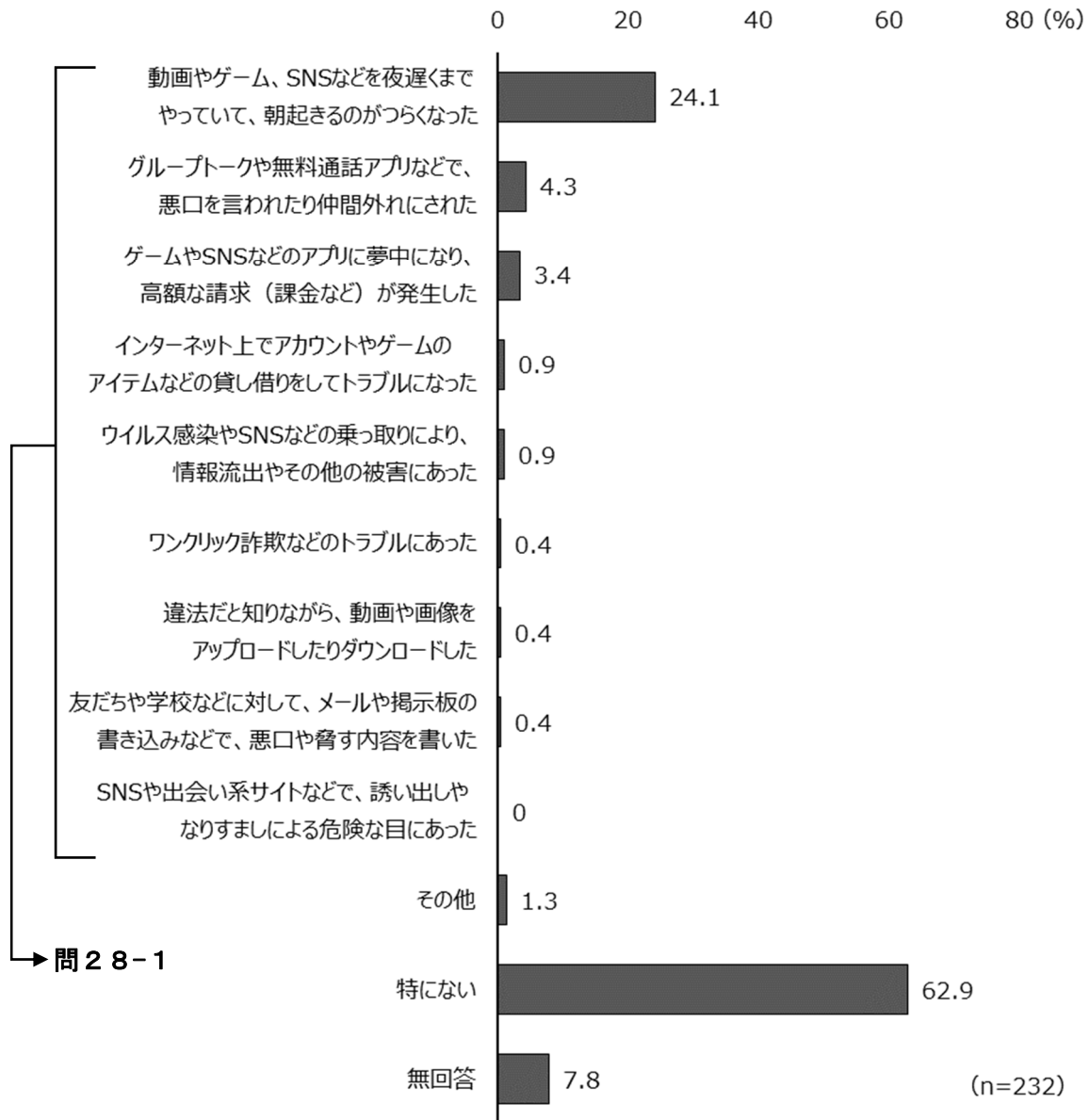
親子の間で、携帯電話・スマートフォンの使用についてルールを決めているかは、「決めている」は74.1%、「決めていない」は24.4%となっている。



問28 インターネットを利用して経験したこと（複数回答）

インターネットを利用して経験したことは、「特にない」が62.9%で最も多く、「動画やゲーム、SNSなどを夜おそくまでやっていて、朝起きるのがつらくなった」(24.1%)、「グループトークや無料通話アプリなどで、悪口を言われたり仲間外れにされた」(4.3%)と続く。

図表 411

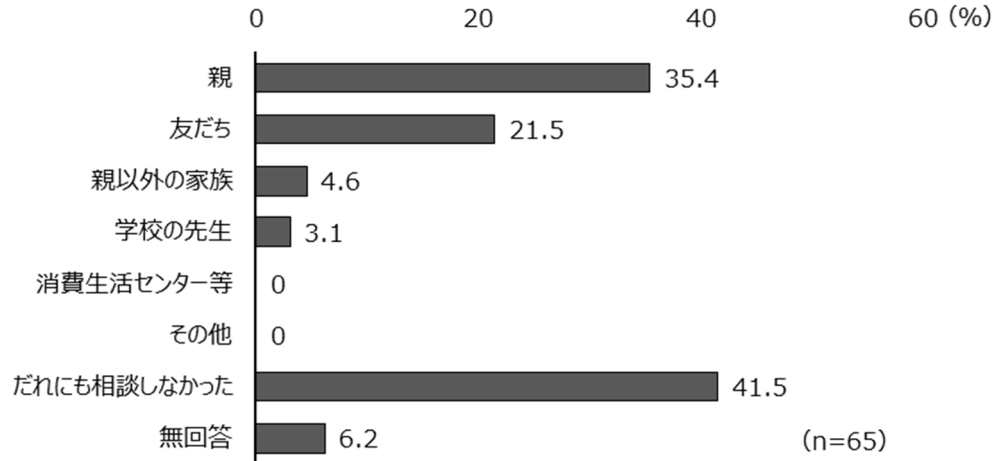


問28-1

問28-1 誰か（どこか）に相談したか（複数回答）

誰か（どこか）に相談したかは、「だれにも相談しなかった」が41.5%で最も多く、「親」(35.4%)、「友だち」(21.5%)と続く。

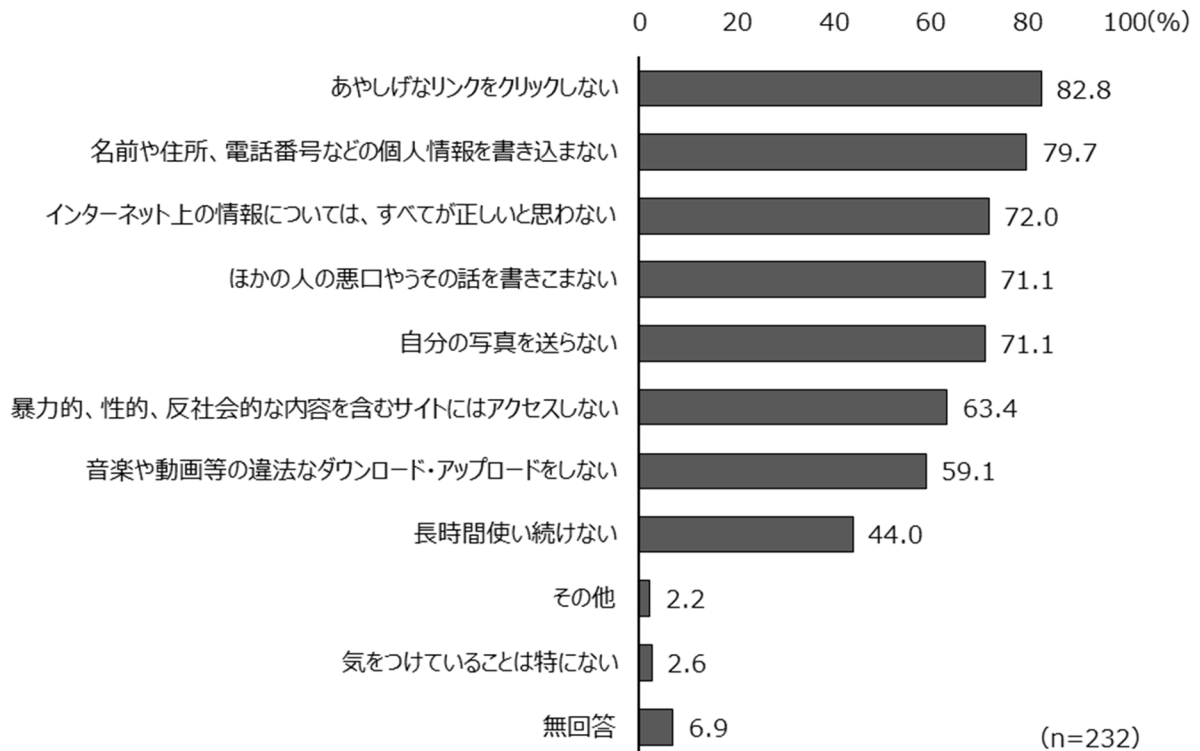
図表 412



問29 インターネットを使うときに気をつけていること（複数回答）

インターネットを使うときに気をつけていることは、「あやしげなリンクをクリックしない」が82.8%で最も多く、「名前や住所、電話番号など個人情報を書き込まない」(79.7%)、「インターネット上の情報については、すべてが正しいと思わない」(72.0%)と続く。

図表 413

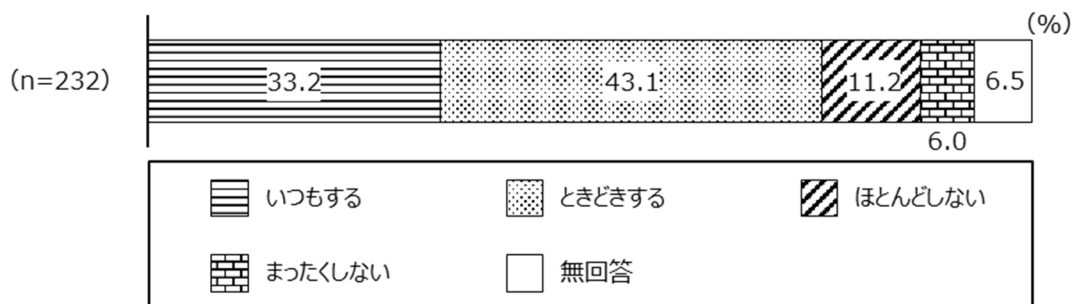


(6) 近所の人や地域との関わり方について

問30 近所や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするものの有無

近所や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするものは、「ときどきする」が43.1%で最も多く、「いつもする」(33.2%)、「ほとんどしない」(11.2%)と続く。

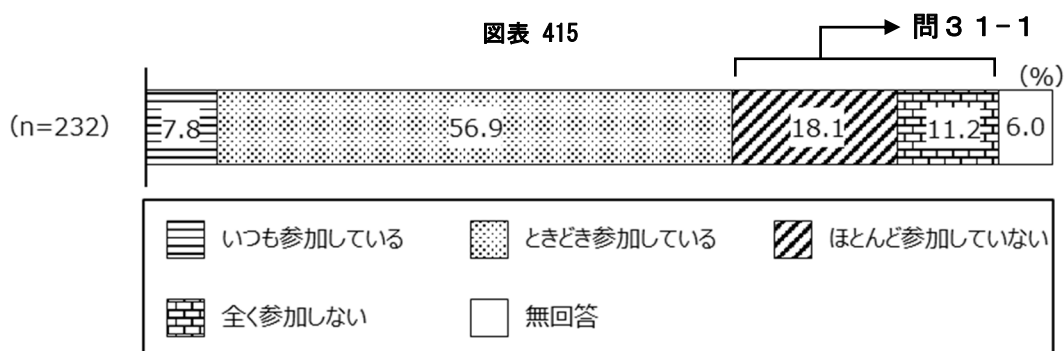
図表 414



問31 学校以外で行われる区や地域のイベントに参加したことがあるか

学校以外で行われる区や地域のイベントに参加したことがあるかは、「ときどき参加している」が56.9%で最も多く、「ほとんど参加していない」(18.1%)、「まったく参加しない」(11.2%)と続く。

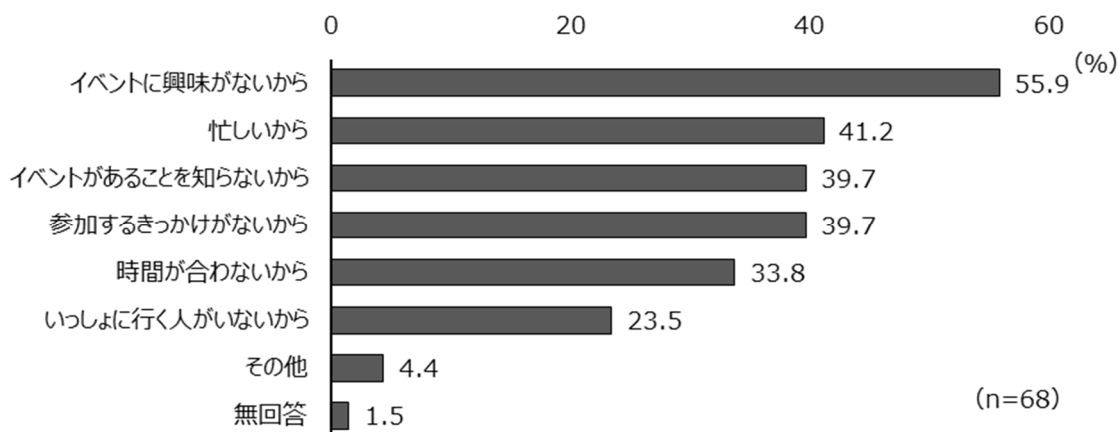
図表 415



問31-1 学校以外で行われる区や地域のイベントに参加しない理由 (複数回答)

学校以外で行われる区や地域のイベントに参加しない理由は、「イベントに興味が無いから」が55.9%で最も多く、「忙しいから」(41.2%)、「イベントがあることを知らないから」と「参加するきっかけがないから」がともに39.7%と続く。

図表 416

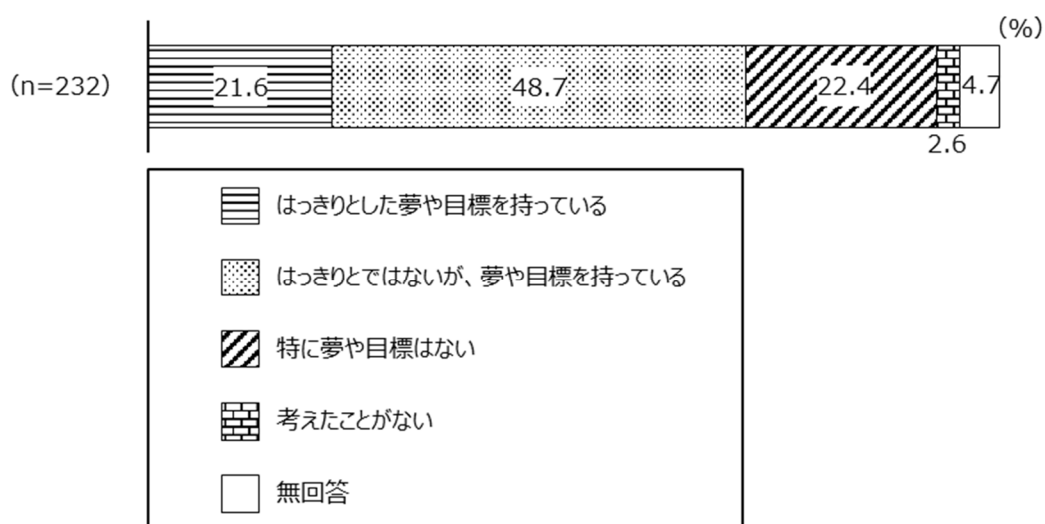


(7) 将来の夢や目標について

問3 2 将来の夢や目標はあるか

将来の夢や目標はあるかは、「はっきりとではないが、夢や目標を持っている」が48.7%で最も多く、「特に夢や目標はない」(22.4%)、「はっきりとした夢や目標を持っている」(21.6%)と続く。

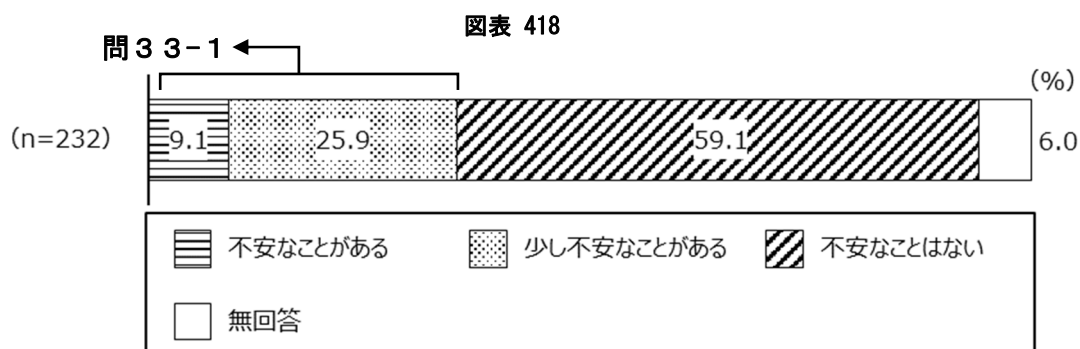
図表 417



(8) 生活の安全・安心について

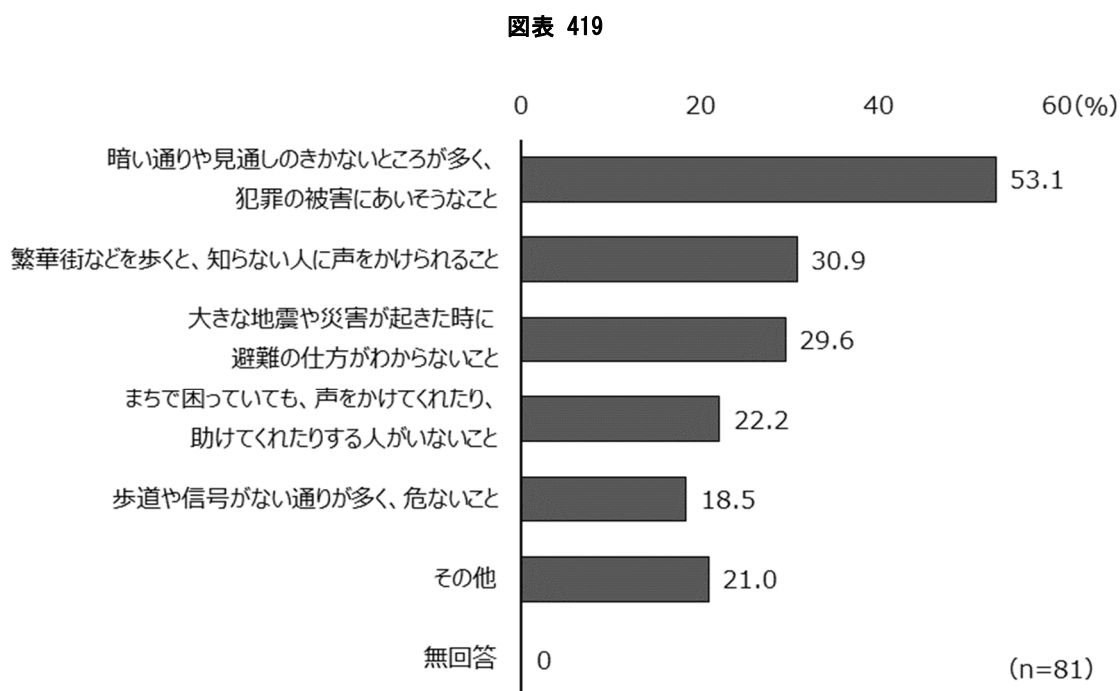
問3 3 外出をするときの不安の有無

外出をするときの不安は、「不安なことはない」が59.1%で最も多く、「少し不安なことがある」(25.9%)、「不安なことがある」(9.1%)と続く。



問3 3-1 外出するときに感じる不安なこと（複数回答）

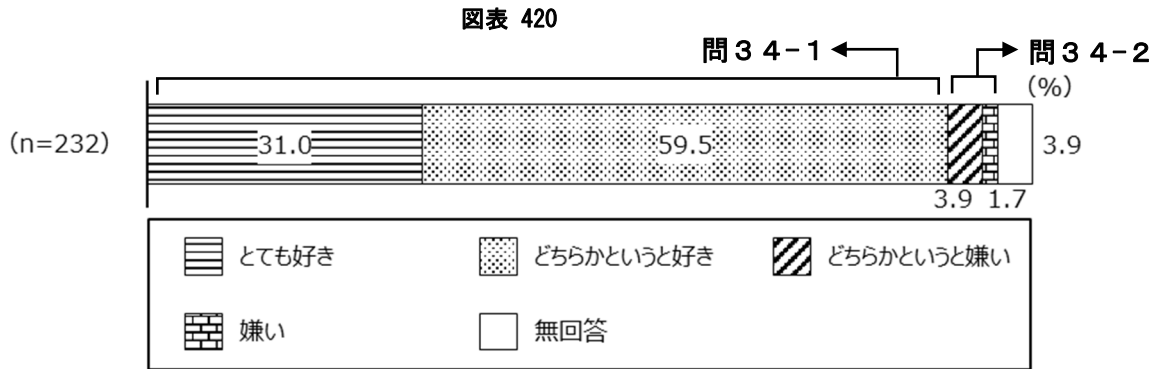
外出するときに感じる不安なことは、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあいそうなこと」が53.1%で最も多く、「繁華街などを歩くと、知らない人に声をかけられること」(30.9%)、「大きな地震や災害が起きた時に避難の仕方がわからないこと」(29.6%)と続く。



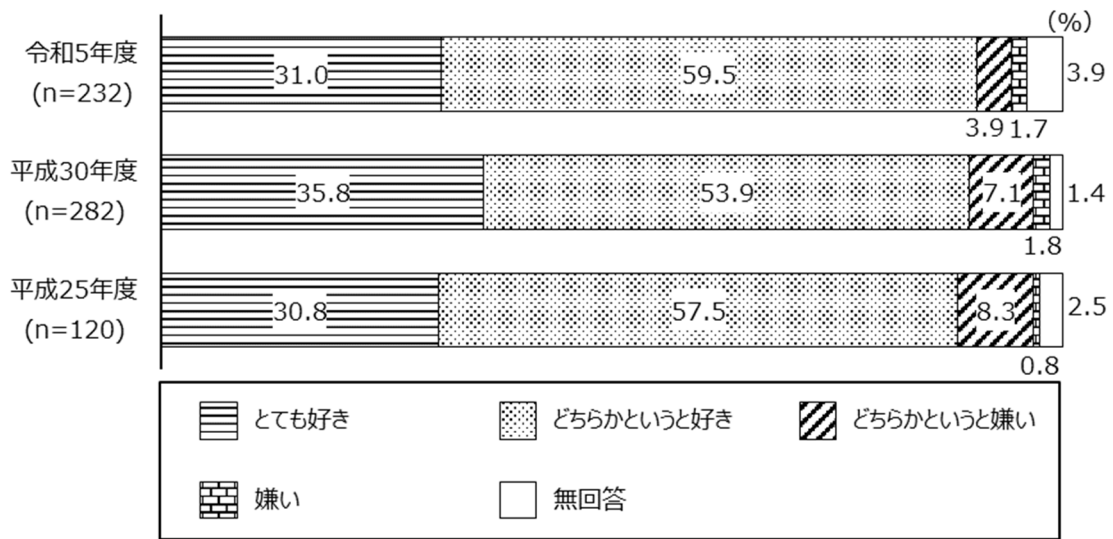
(9) 新宿区について

問3 4 新宿区への愛着度

新宿区への愛着度は、「どちらかという好き」が 59.5%で最も多く、「とても好き」(31.0%)、「どちらかという嫌い」(3.9%)と続く。

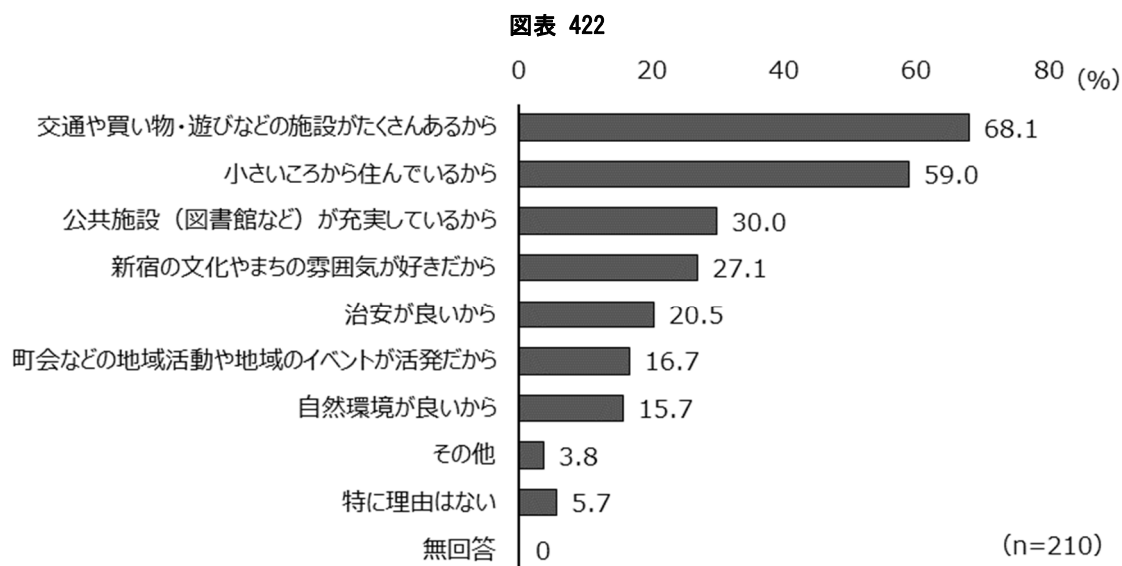


図表 421 新宿区への愛着度（経年比較）



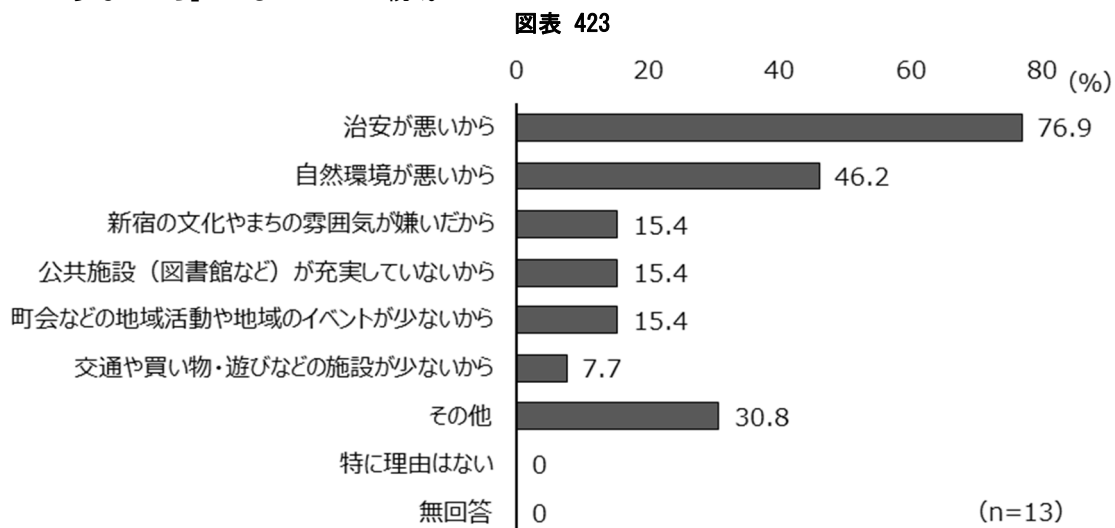
問 3 4-1 新宿区が好きな理由（複数回答）

新宿区が好きな理由は、「交通や買い物・遊びなどの施設がたくさんあるから」が 68.1%で最も多く、「小さいころから住んでいるから」(59.0%)、「公共施設(図書館など)が充実しているから」(30.0%)と続く。



問 3 4-2 新宿区が嫌いな理由（複数回答）

新宿区が嫌いな理由は、「治安が悪いから」が 76.9%で最も多く、「自然環境が悪いから」(46.2%)、「新宿の文化やまちの雰囲気が嫌いだから」、「公共施設(図書館など)が充実していないから」、「町会などの地域活動や地域のイベントが少ないから」がともに 15.4%と続く。



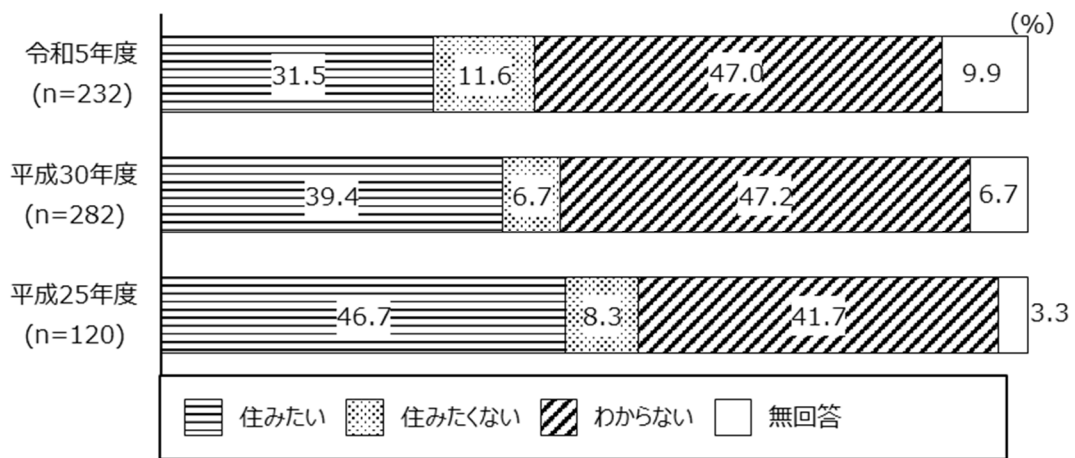
問35 大人になっても新宿区に住みたいと思うか

大人になっても新宿区に住みたいと思うかは、「わからない」が47.0%で最も多く、「住みたい」(31.5%)、「住みた
くない」(11.6%)と続く。

図表 424



図表 425 大人になっても新宿区に住みたいと思うか（経年比較）

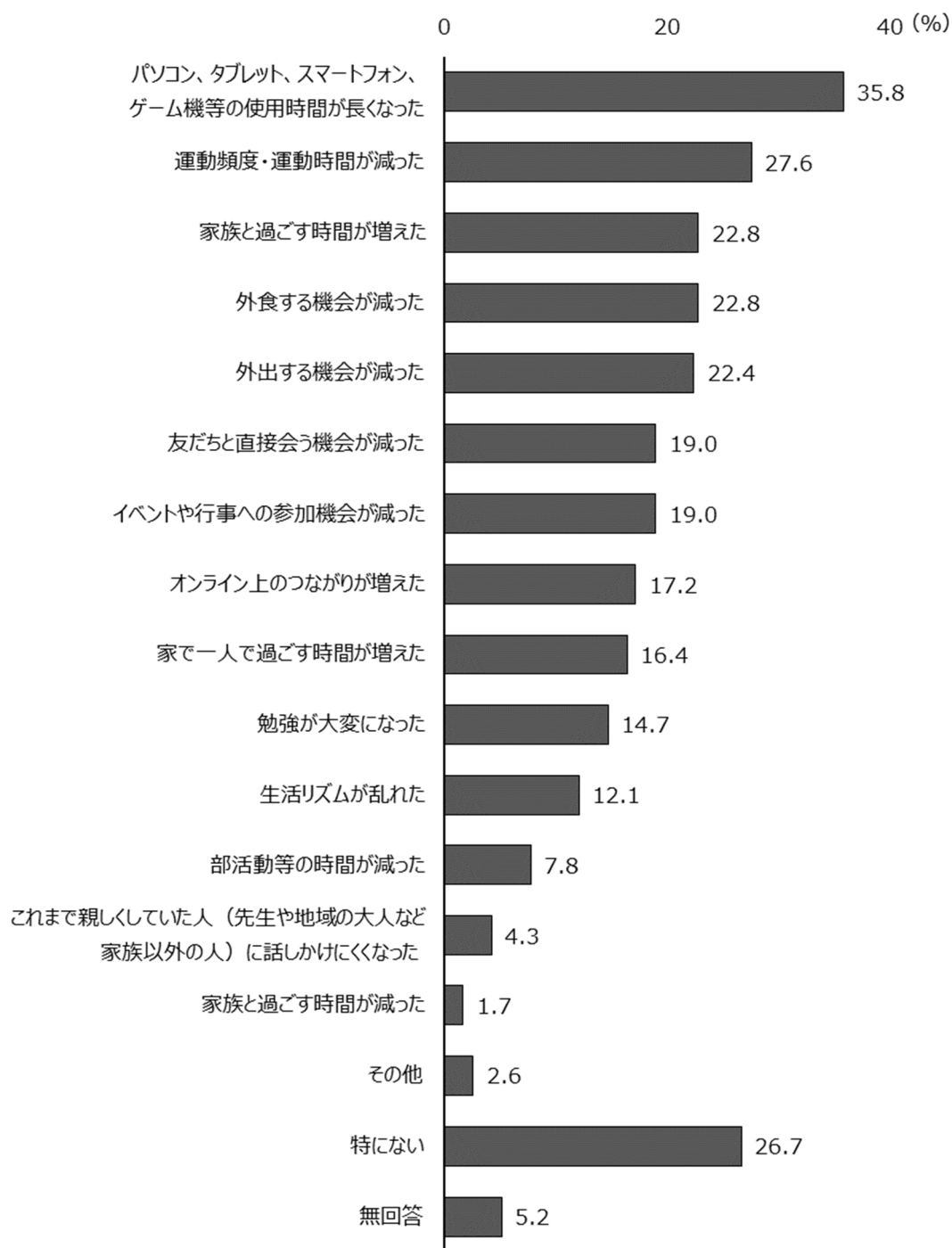


(10) その他

問36 コロナ禍を経て、現在も続いている生活変化（複数回答）

コロナ禍を経て、現在も続いている生活変化は、「パソコン、タブレット、スマートフォン、ゲーム機等の使用時間が長くなった」が35.8%で最も多く、「運動頻度・運動時間が減った」(27.6%)、「特にない」(26.7%)と続く。

図表 426



(n=232)

II-⑥ 中学生保護者調査結果

(1) 子どもと家族の状況について

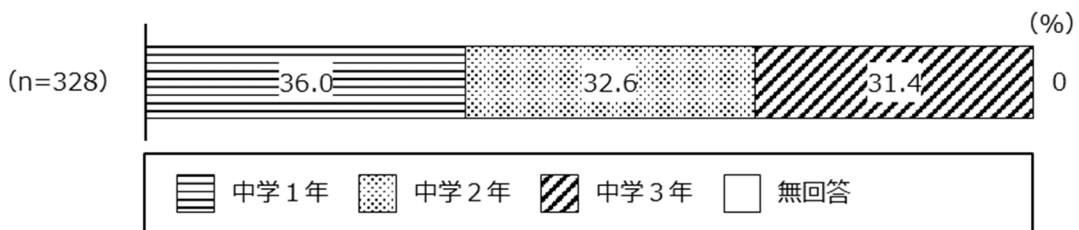
問1 回答者と子どもの関係

図表 427

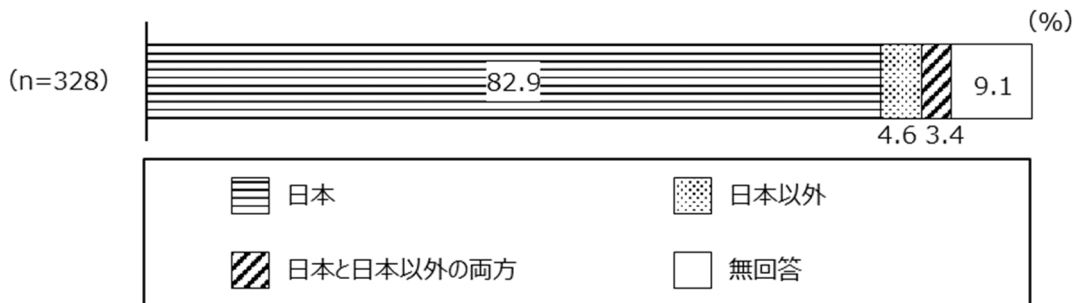


問2 子どもの学年・国籍

図表 428 子どもの学年

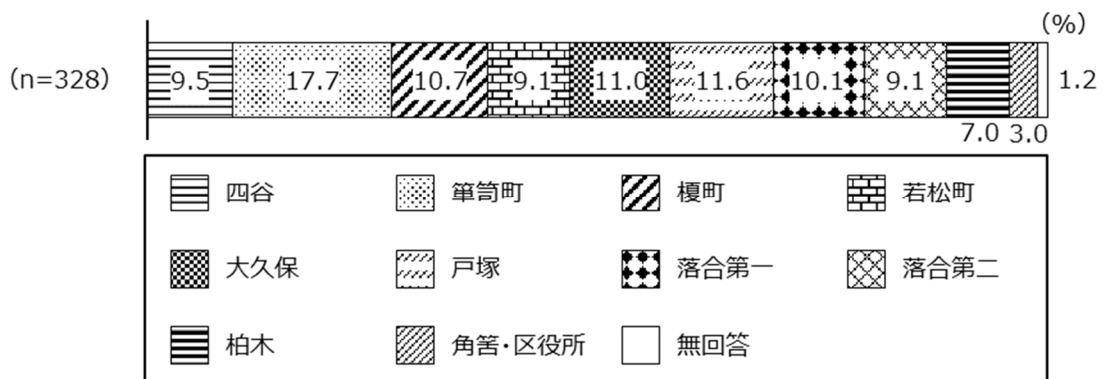


図表 429 子どもの国籍



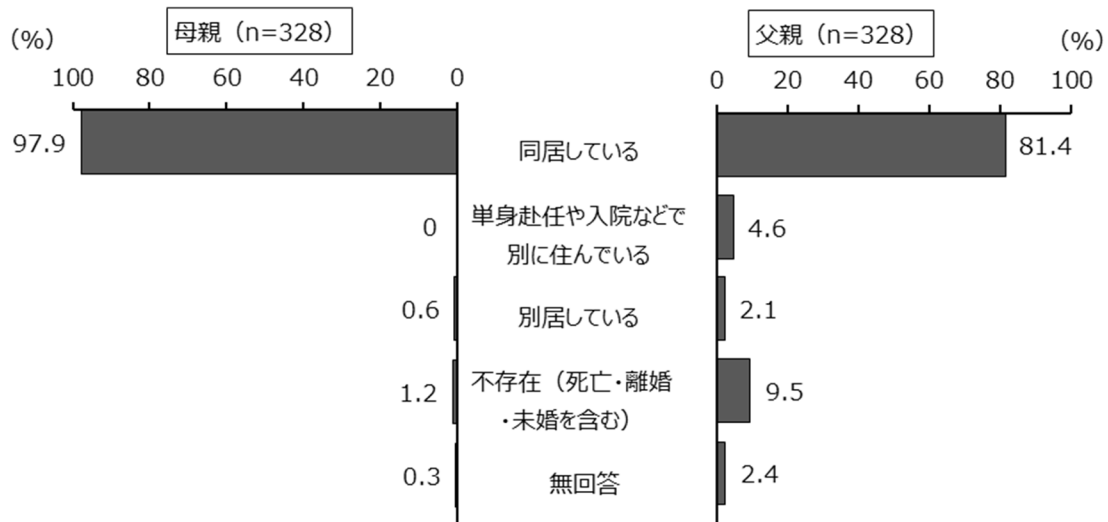
問3 居住地域（特別出張所単位）

図表 430

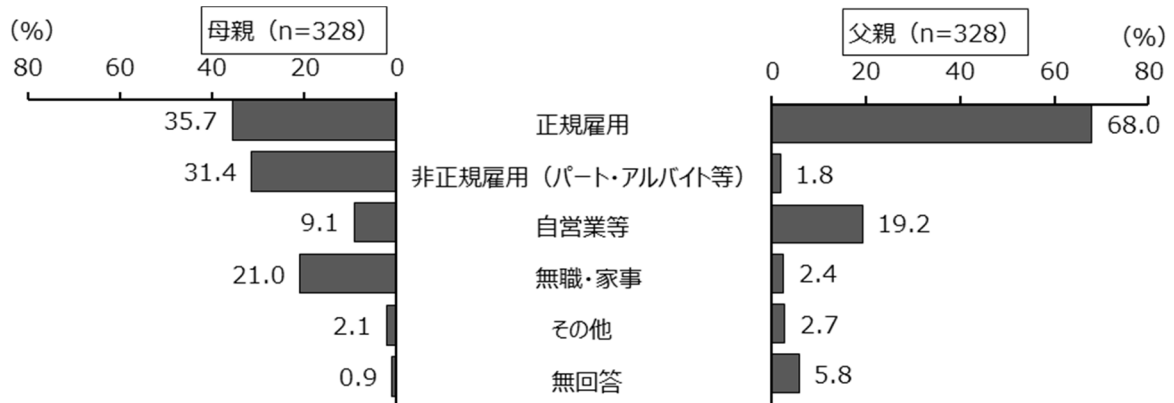


問4 子どもと両親の同居状況・就労状況<父母>

図表 431 子どもと両親の同居状況<父母>

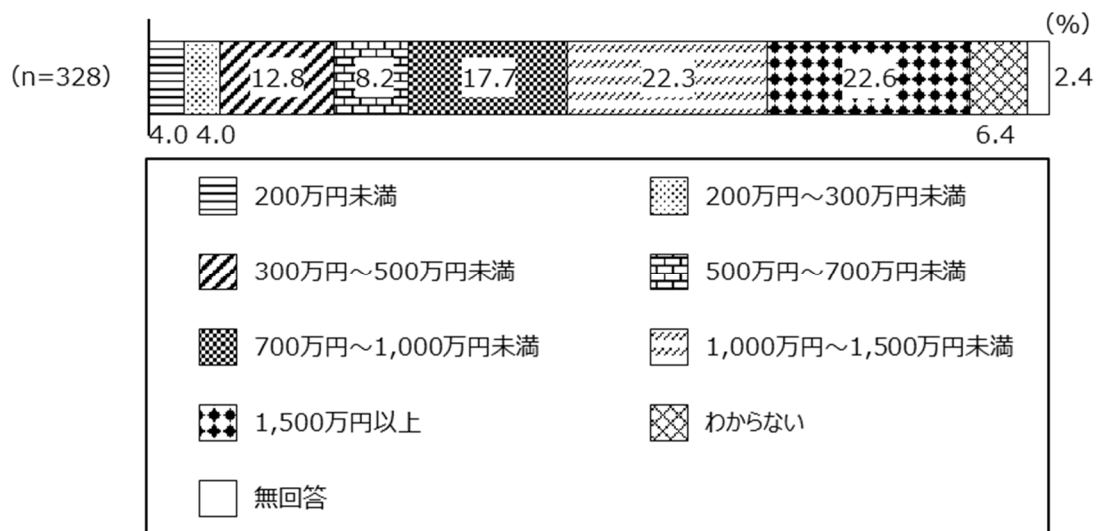


図表 432 両親の就労状況<父母>



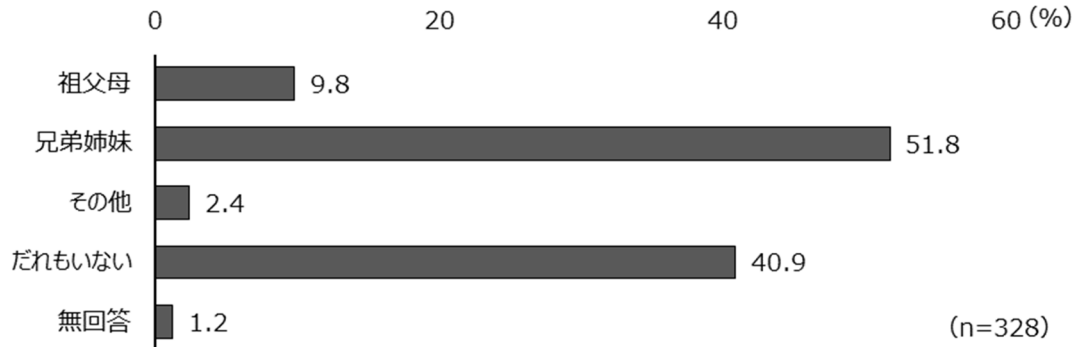
問5 世帯の一年間の収入の合計額 (土地・家屋・株券などの資産売却による収入は除く)

図表 433



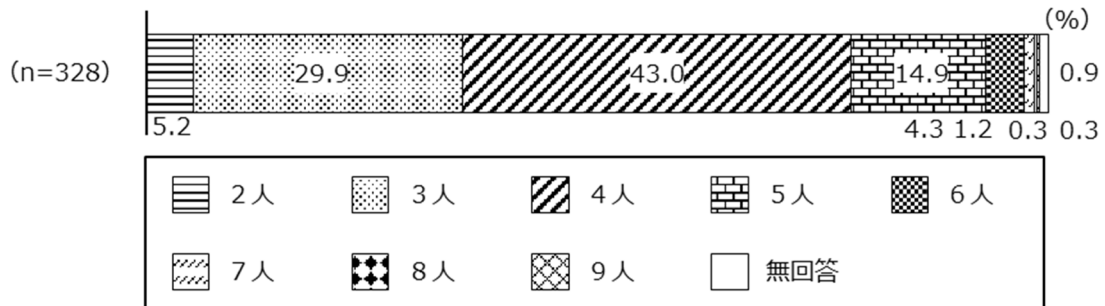
問6 両親以外の同居者（複数回答）

図表 434



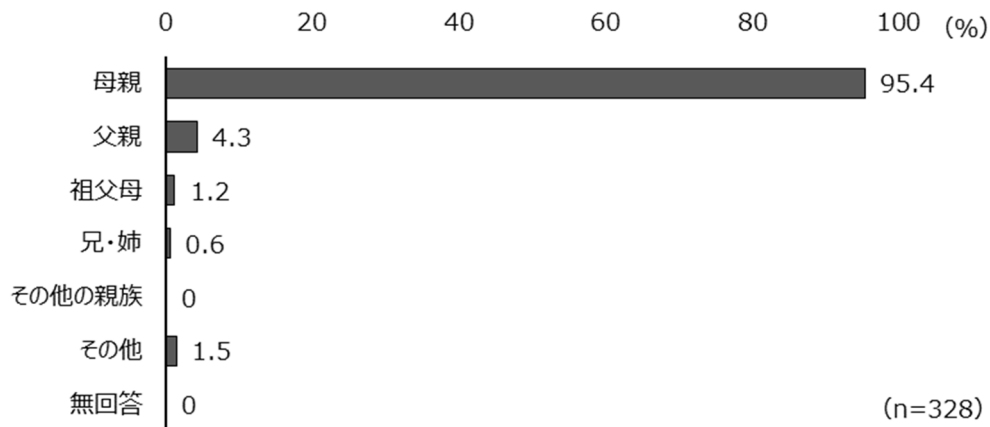
問7 同居の家族の人数

図表 435



問8 子どもの身の回りの世話などを主に行っている人

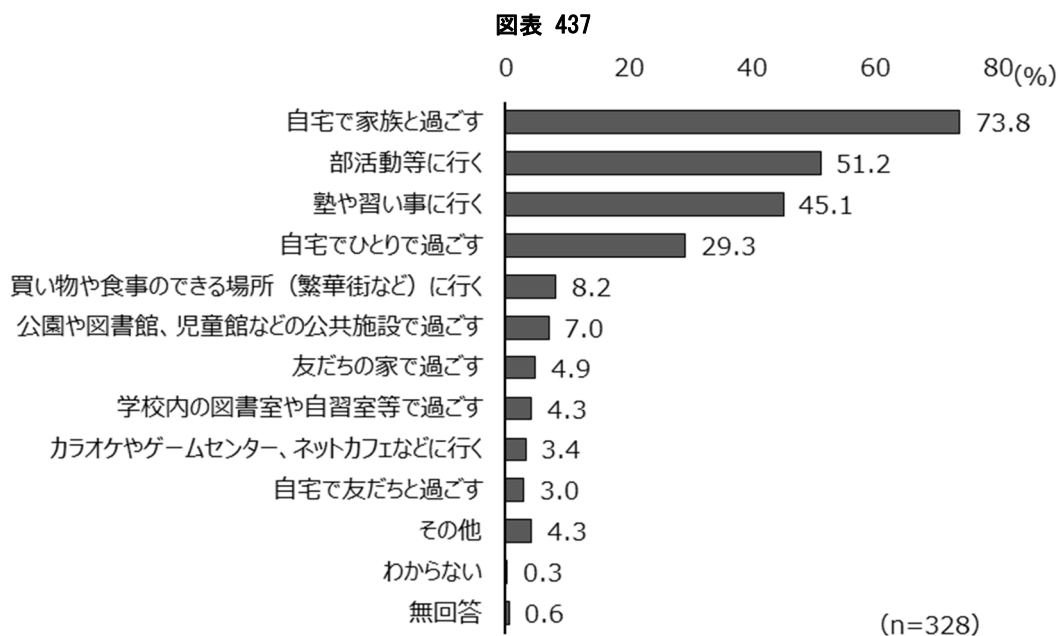
図表 436



(2) 子どもの日常生活について

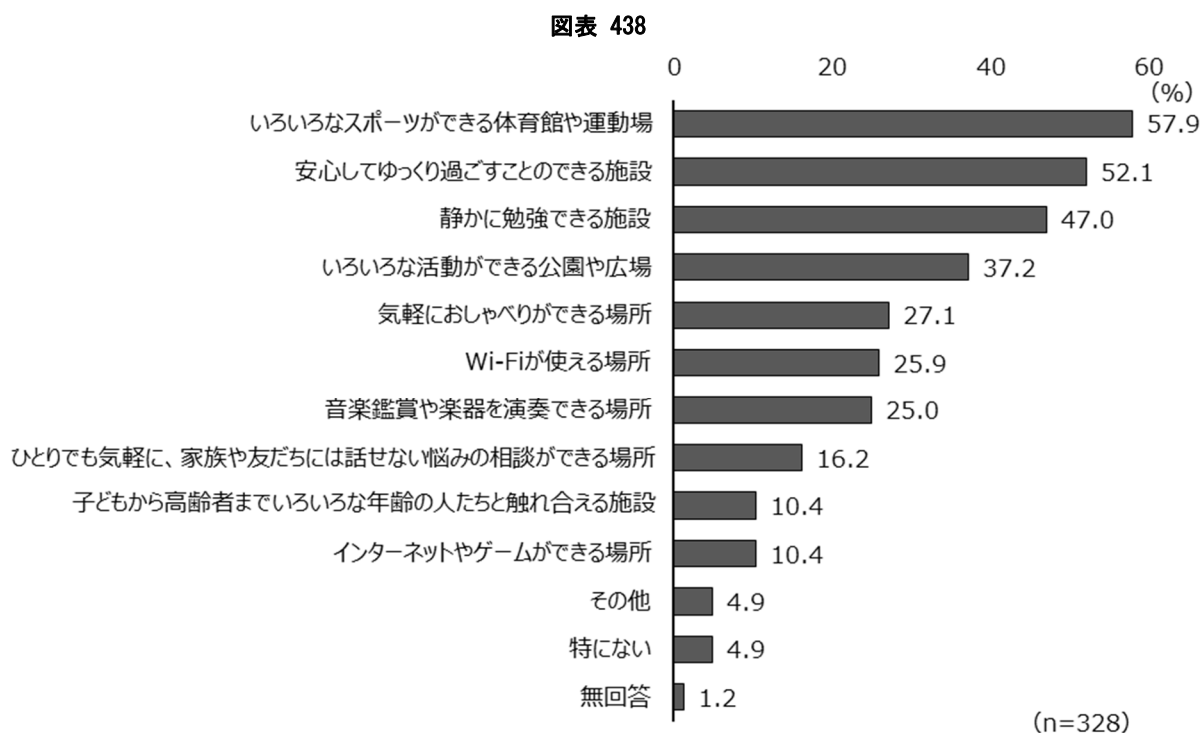
問9 子どもの放課後や休日の過ごし方（3つまで）

子どもの放課後や休日の過ごし方は、「自宅で家族と過ごす」が73.8%で最も多く、「部活動等に行く」(51.2%)、「塾や習い事に行く」(45.1%)と続く。



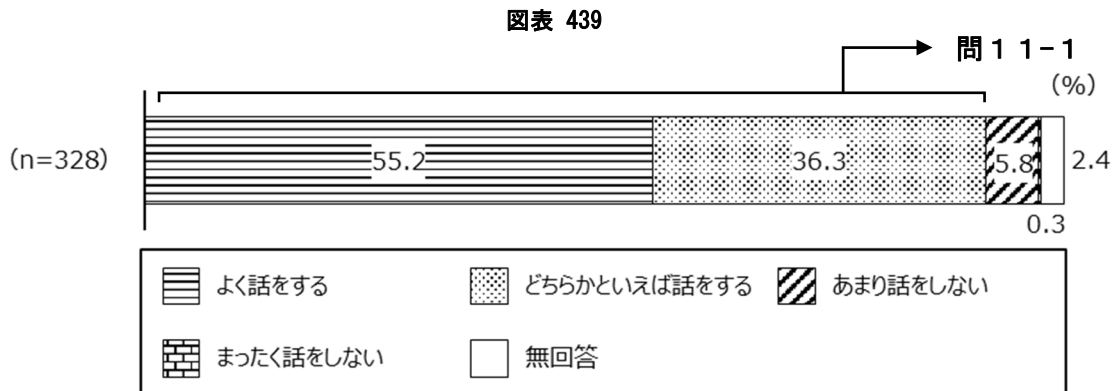
問10 学校と家以外の放課後や休日を過ごす場所の希望（複数回答）

学校と家以外の放課後や休日を過ごす場所の希望は、「いろいろなスポーツができる体育館や運動場」が57.9%で最も多く、「安心してゆっくり過ごすことのできる施設」(52.1%)、「静かに勉強できる施設」(47.0%)と続く。



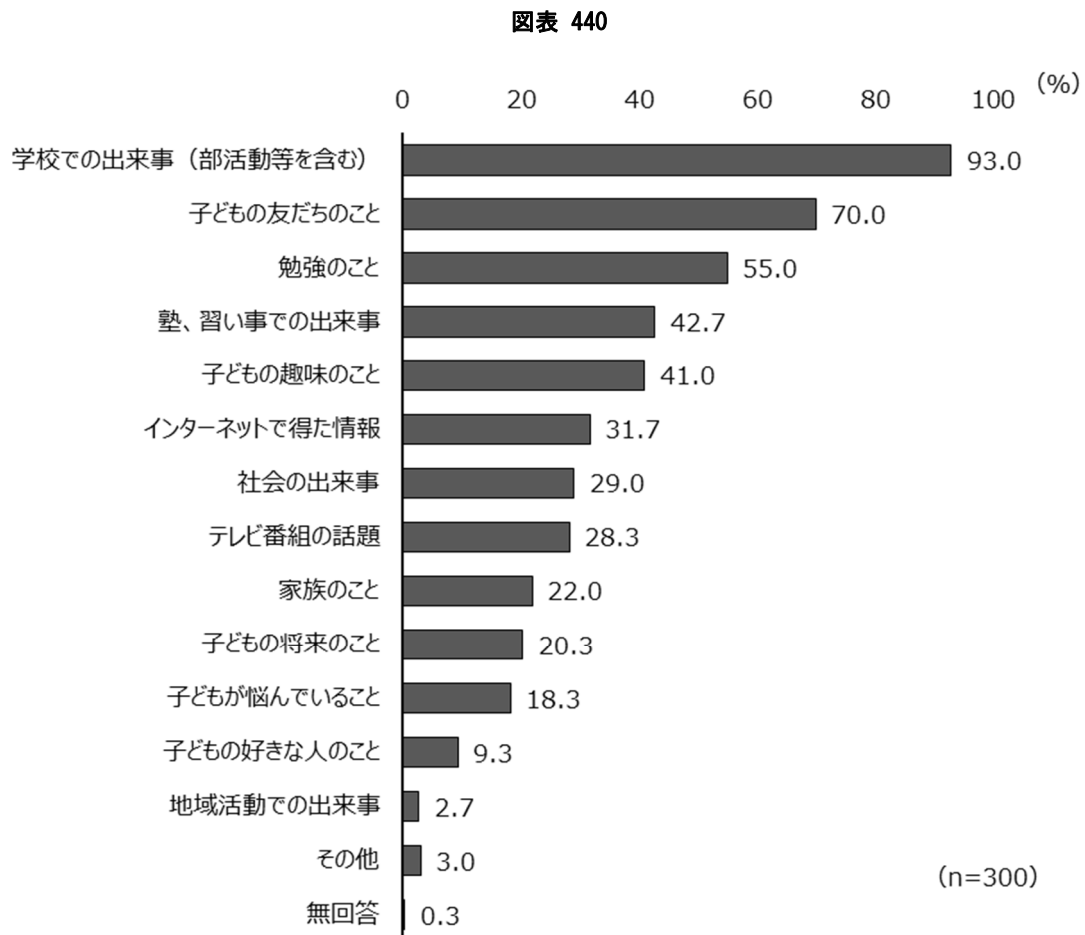
問 1 1 子どもとの会話の程度

子どもとの会話の程度は、「よく話をする」が 55.2%で最も多く、「どちらかといえば話をする」(36.3%)、「あまり話をしない」(5.8%)と続く。



問 1 1-1 子どもとの普段の会話の内容 (5つまで)

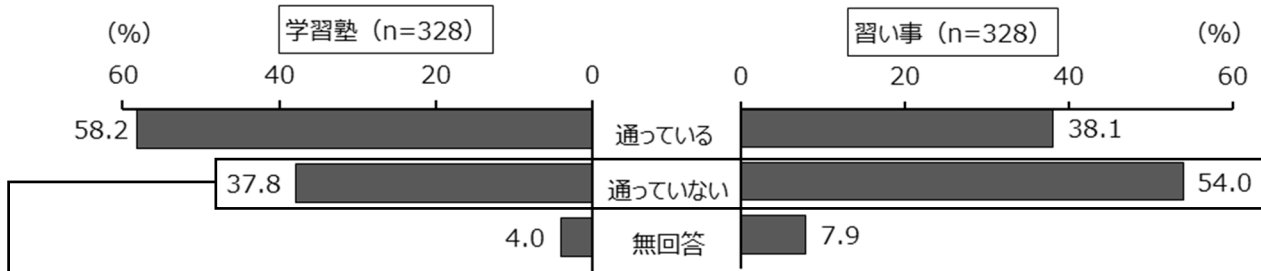
子どもとの普段の会話の内容は、「学校での出来事(部活動等を含む)」が 93.0%で最も多く、「子どもの友だちのこと」(70.0%)、「勉強のこと」(55.0%)と続く。



問 1 2 子どもが学習塾や習い事に通っているか

学習塾は、「通っている」が 58.2%で、習い事は、「通っている」が 38.1%となっている。

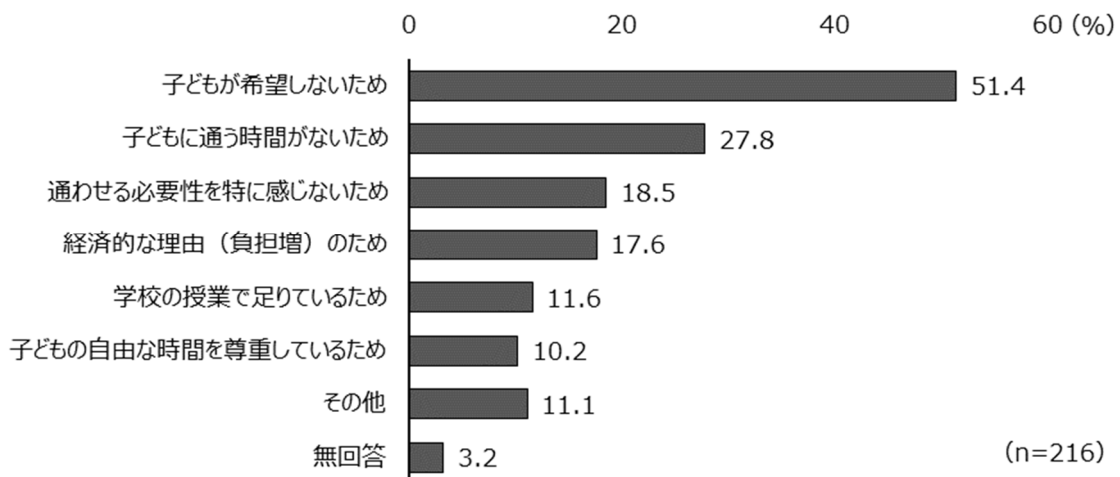
図表 441



問 1 2-1 子どもが学習塾や習い事に通っていない理由 (複数回答)

子どもが学習塾や習い事に通っていない理由は、「子どもが希望しないため」が 51.4%で最も多く、「子どもに通う時間がないため」(27.8%)、「通わせる必要性を特に感じないため」(18.5%)と続く。

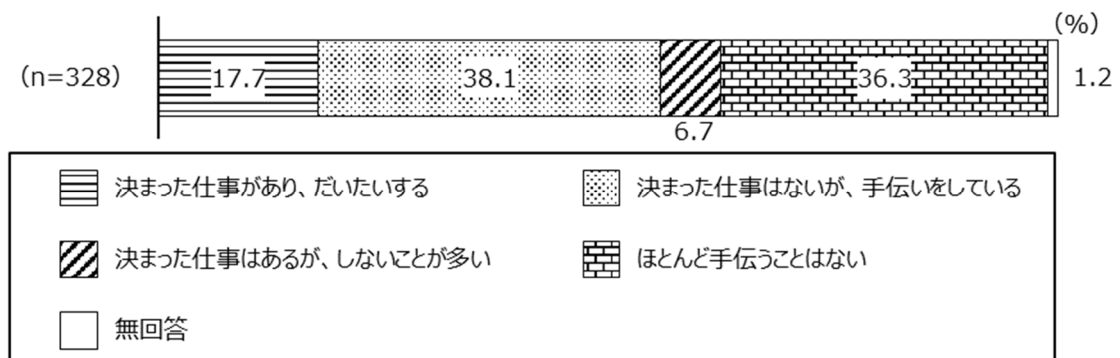
図表 442



問 1 3 子どもが家の手伝いをするか

子どもが家の手伝いをするかは、「決まった仕事はないが、手伝いをしている」が 38.1%で最も多く、「ほとんど手伝うことはない」(36.3%)、「決まった仕事があり、だいたいする」(17.7%)と続く。

図表 443



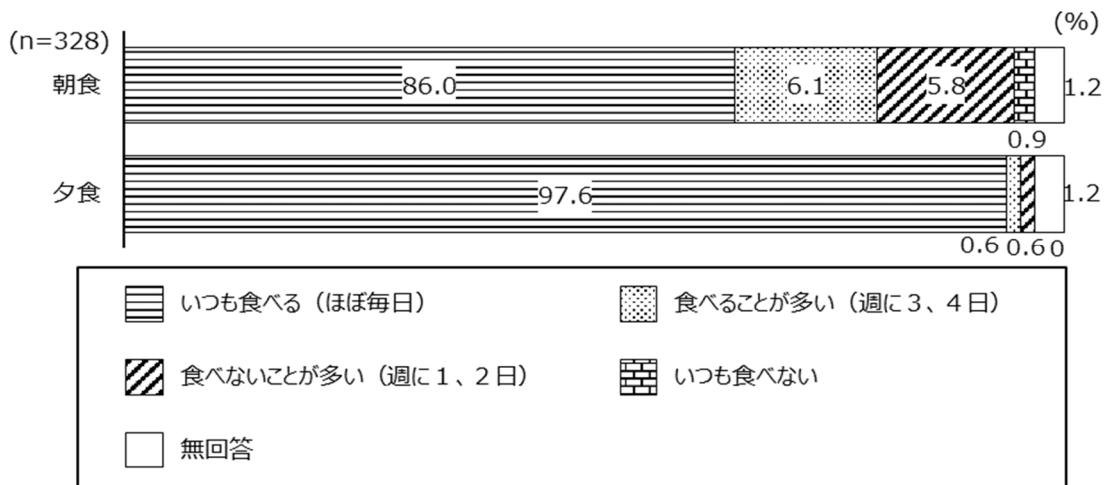
(3) 食事等の生活習慣と社会的ルールについて

問 1 4 学校がある平日の朝食・夕食の習慣、長い休みの時の昼食の習慣、食事の時間、食べない理由

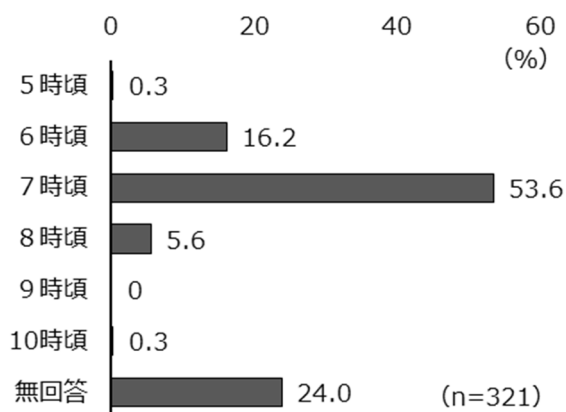
朝食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 86.0%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(6.1%)、「食べないことが多い(週に1、2日)」(5.8%)と続く。

夕食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 97.6%で最も多く、「食べるが多い(週に3、4日)」と「食べないことが多い(週に1、2日)」がともに 0.6%と続く。

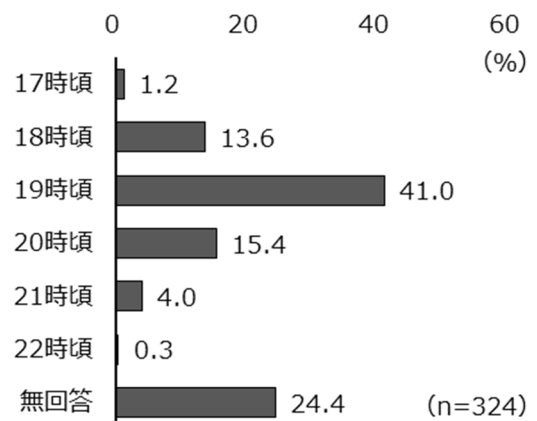
図表 444 学校がある平日の朝食・夕食の習慣



図表 445 朝食の時間



図表 446 夕食の時間

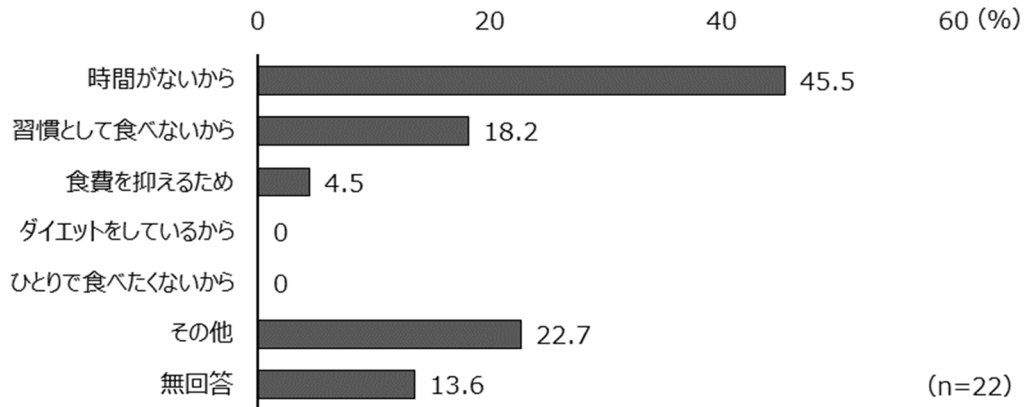


II-⑥ 中学生保護者調査結果

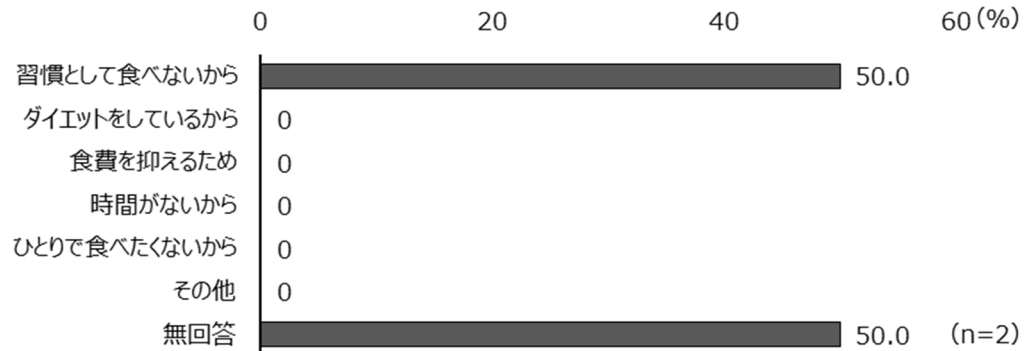
朝食を食べない理由は、「時間がないから」が45.5%で最も多く、「習慣として食べないから」(18.2%)、「食費を抑えるため」(4.5%)と続く。

夕食を食べない理由は、「習慣として食べないから」が50.0%となっている。

図表 447 朝食を食べない理由

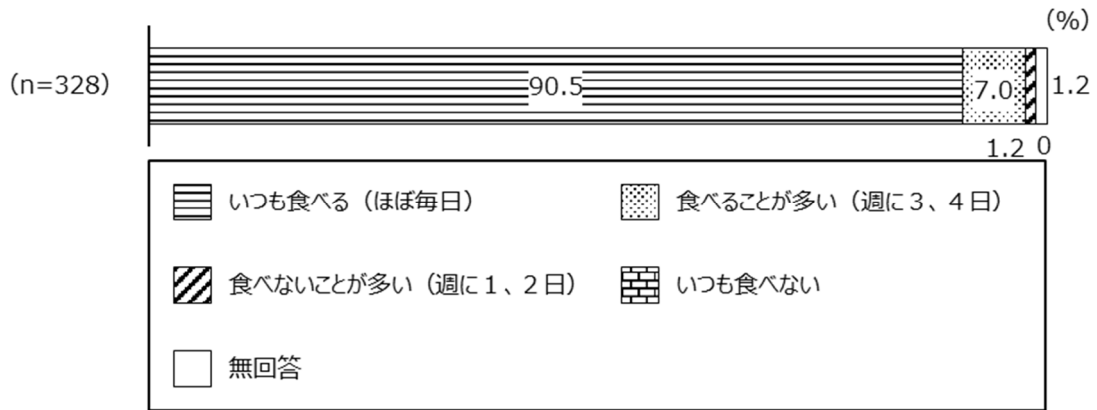


図表 448 夕食を食べない理由

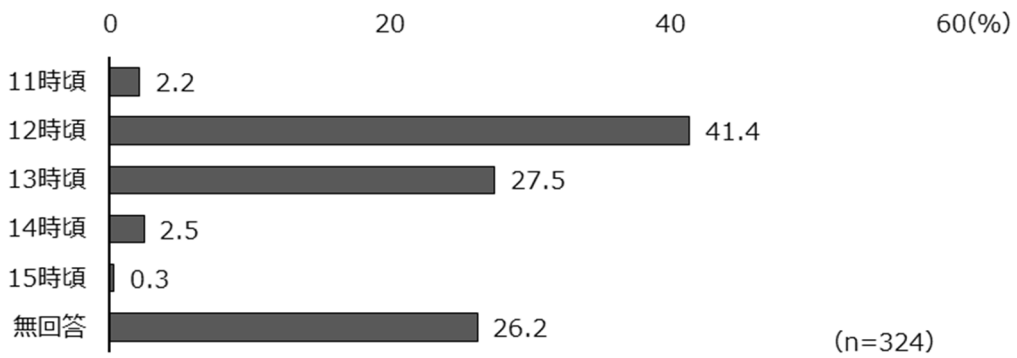


長期休暇中の昼食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 90.5%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(7.0%)、「食べないことが多い(週に1、2日)」(1.2%)と続く。

図表 449 長期休暇中の昼食の習慣

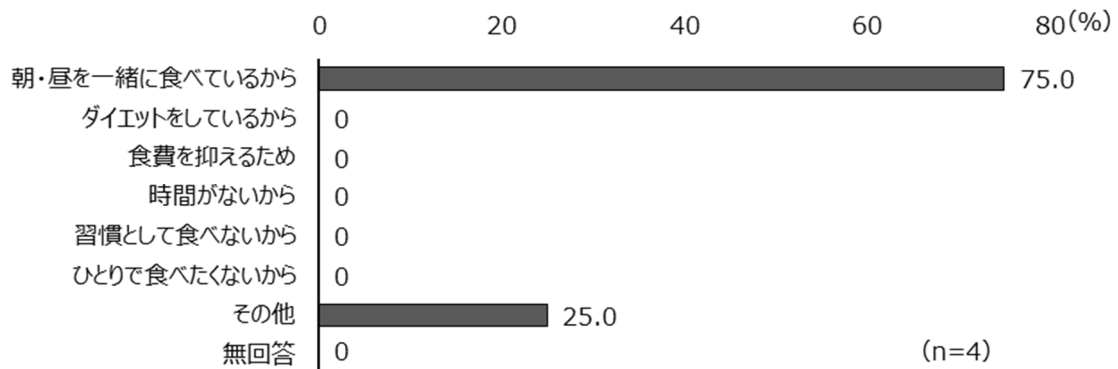


図表 450 長期休暇中の昼食の時間



長期休暇中の昼食を食べない理由は、「朝・昼を一緒に食べているから」が 75.0%で最も多い。

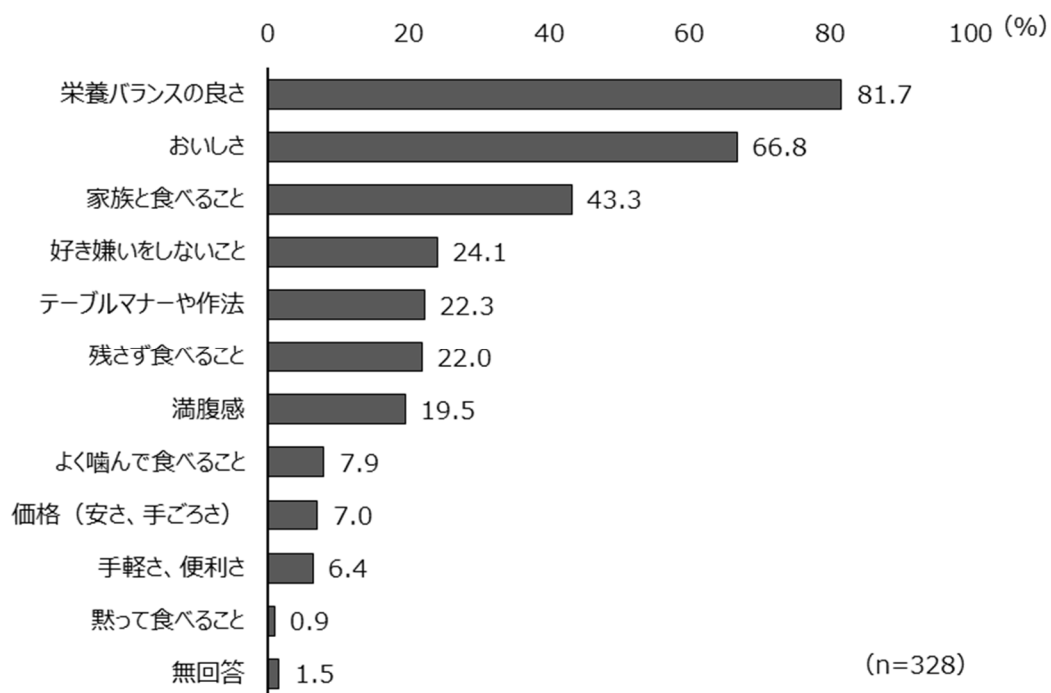
図表 451 長期休暇中の昼食を食べない理由



問15 子どもの食事に関して大切だと考えていること（3つまで）

子どもの食事に関して大切だと考えていることは、「栄養バランスの良さ」が 81.7%で最も多く、「おいしさ」（66.8%）、「家族と食べること」（43.3%）と続く。

図表 452



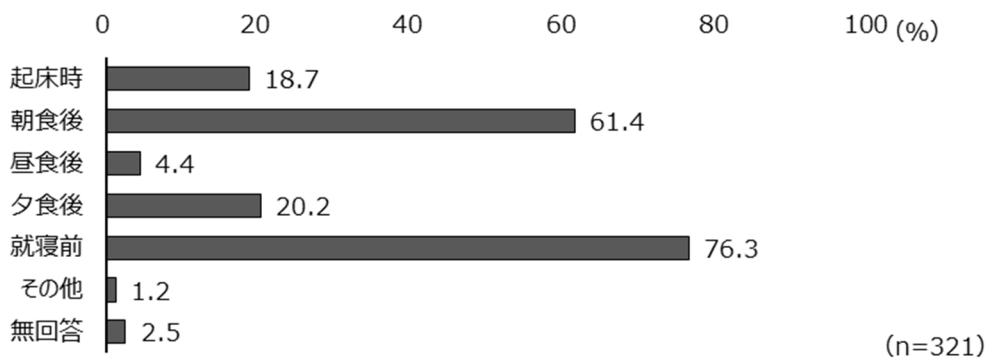
問16 子どもの歯磨きの頻度・時間帯・かかりつけ歯科医の有無

子どもの歯磨きの頻度は、「毎日」が91.8%で最も多く、「時々」(6.1%)、「していない」(0.3%)と続く。

図表 453 子どもの歯磨きの頻度

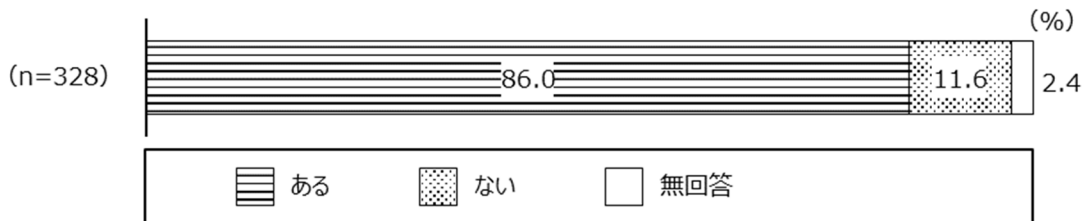


図表 454 歯磨きをする時間帯（複数回答）



子どものかかりつけ歯科医の有無は、「ある」は86.0%、「ない」は11.6%となっている。

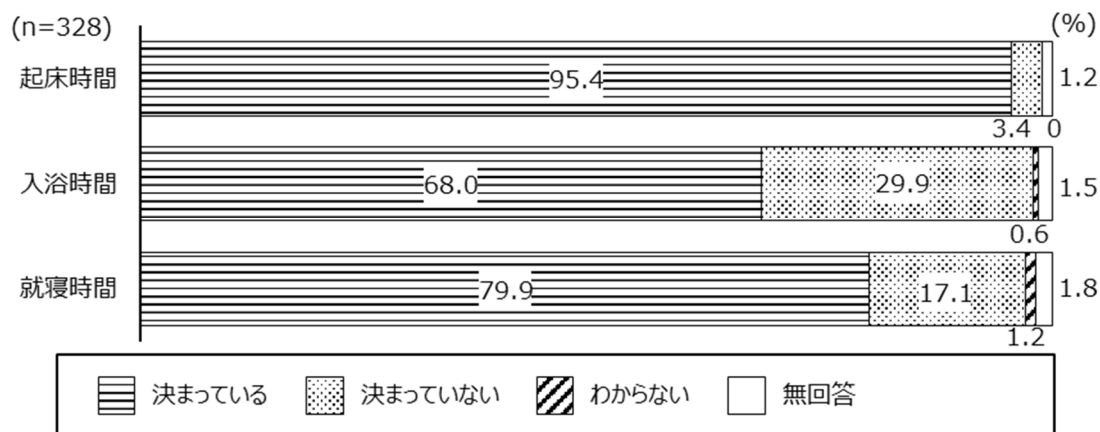
図表 455 子どものかかりつけ歯科医の有無



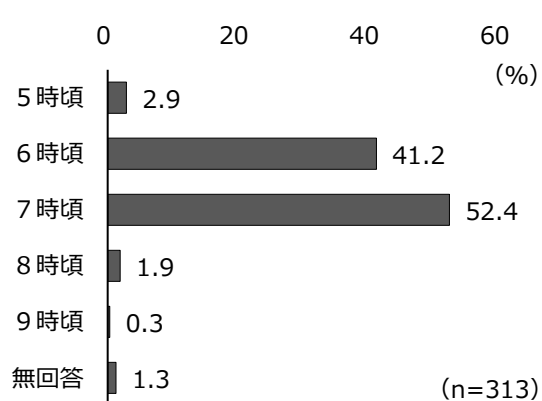
問 17 平日の起床・入浴・就寝時間が決まっているか、おおよその時間

平日の起床・入浴・就寝時間について、「決まっている」は「起床」95.4%、「入浴」68.0%、「就寝」79.9%となっている。

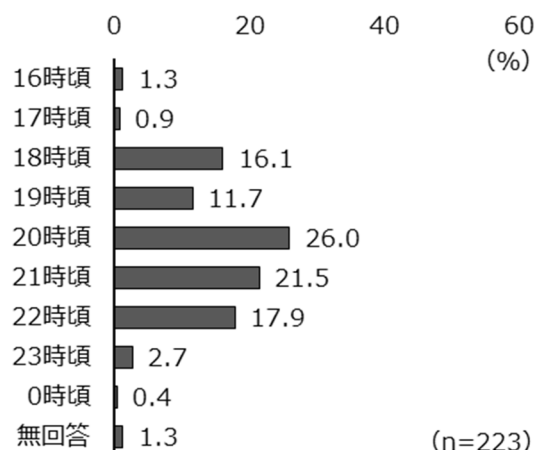
図表 456 平日の起床・入浴・就寝時間が決まっているか



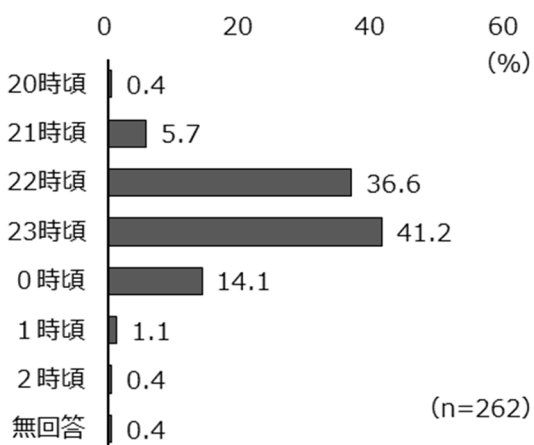
図表 457 起床時間



図表 458 入浴時間



図表 459 就寝時間



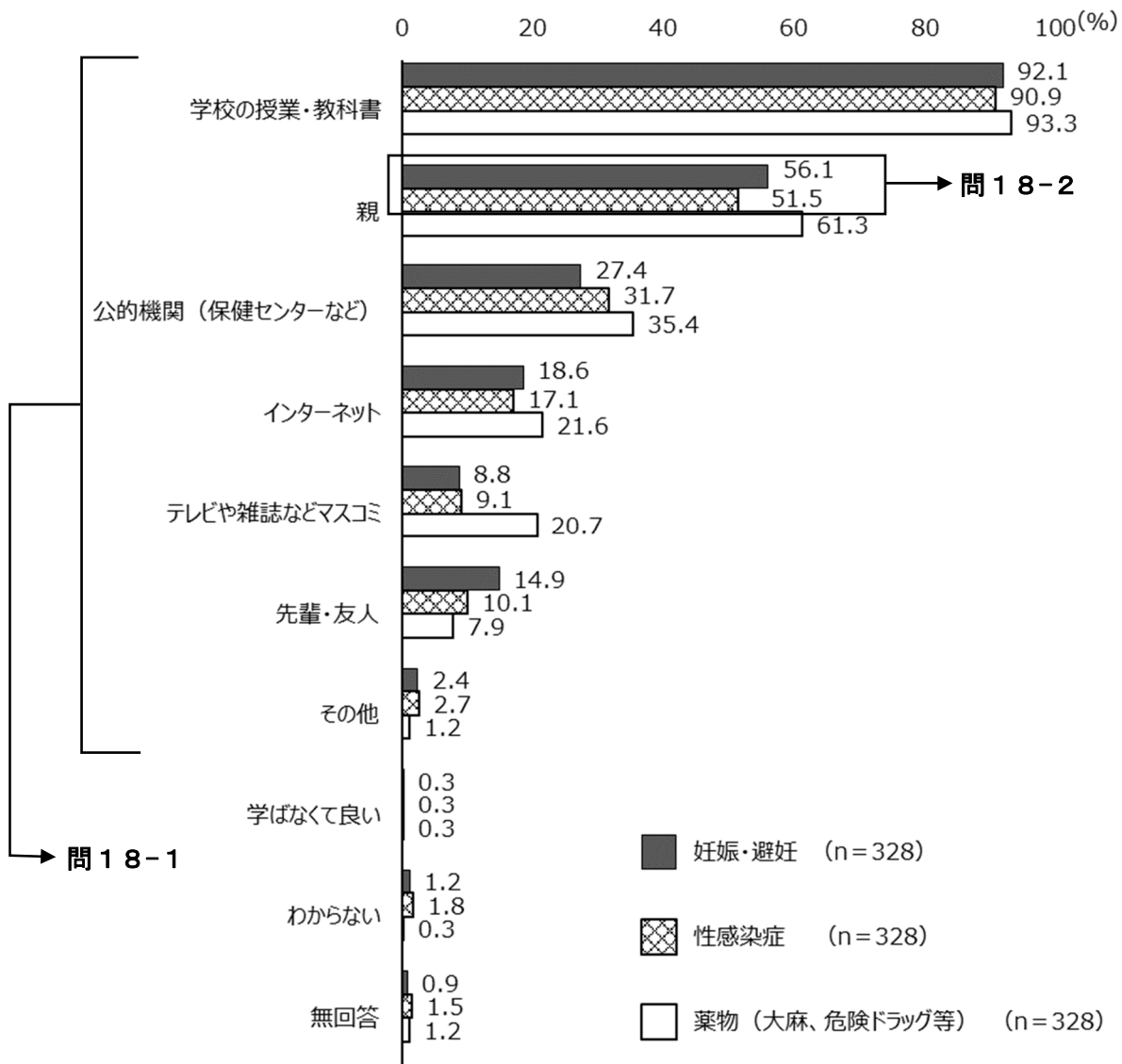
問 1 8 「妊娠・避妊」「性感染症」「薬物（大麻、危険ドラッグ等）がこころや身体に与える影響」をだれから（どこから）学ぶと良いと思うか（複数回答）

「妊娠・避妊」についてだれ（どこ）から学ぶと良いと思うかは、「学校の授業・教科書」が 92.1%で最も多く、「親」（56.1%）、「公的機関（保健センターなど）」(27.4%)と続く。

「性感染症」についてだれ（どこ）から学ぶと良いと思うかは、「学校の授業・教科書」が 90.9%で最も多く、「親」（51.5%）、「公的機関（保健センターなど）」(31.7%)と続く。

「薬物（大麻、危険ドラッグ等）がこころや身体に与える影響」についてだれ（どこ）から学ぶと良いと思うかは、「学校の授業・教科書」が 93.3%で最も多く、「親」（61.3%）、「公的機関（保健センターなど）」(35.4%)と続く。

図表 460



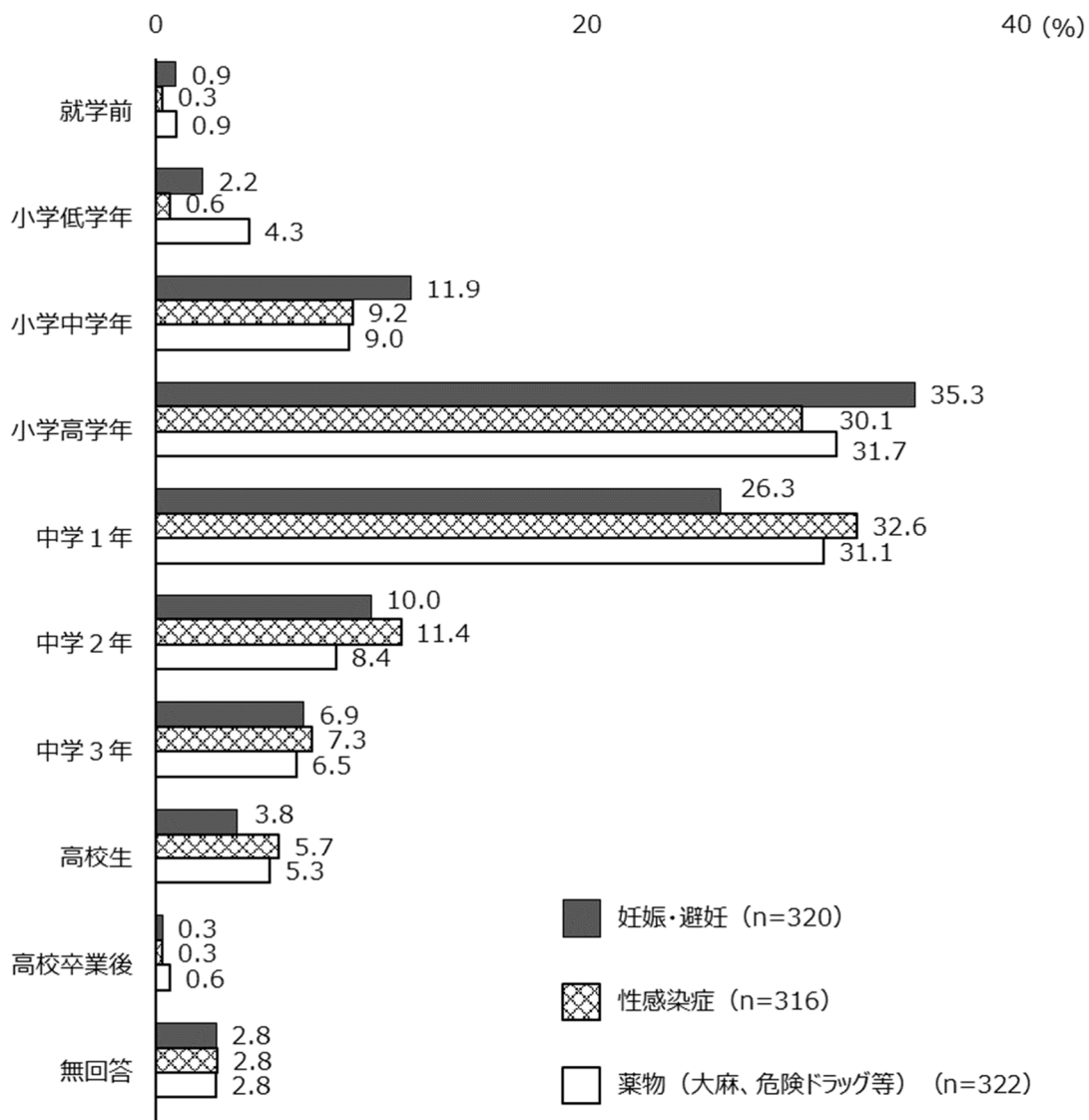
問18-1 「妊娠・避妊」「性感染症」「薬物（大麻、危険ドラッグ等）がこころや身体に与える影響」を学ぶ望ましい時期

学ぶ望ましい時期は、「妊娠・避妊」では、「小学高学年」(35.3%)が最も多く、「中学1年」(26.3%)、「小学中学年」(11.9%)と続く。

「性感染症」では、「中学1年」(32.6%)が最も多く、「小学高学年」(30.1%)、「中学2年」(11.4%)と続く。

「薬物(大麻、危険ドラッグ等)がこころや身体に与える影響」では、「小学高学年」(31.7%)が最も多く、「中学1年」(31.1%)、「小学中学年」(9.0%)と続く。

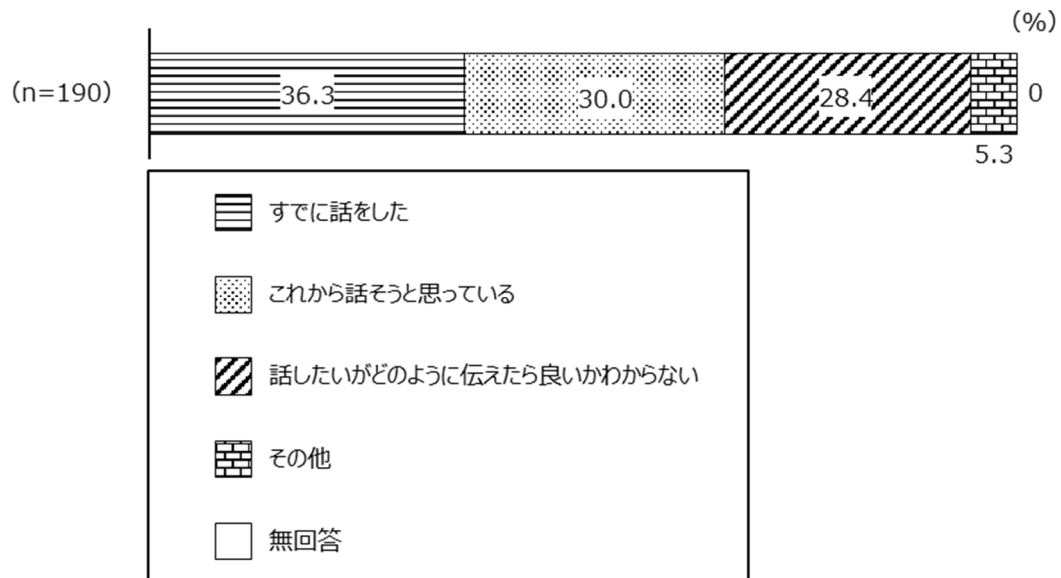
図表 461



問 18-2 妊娠や避妊、性感染症などの性教育をしたか（しようと思っているか）

妊娠や避妊、性感染症などの性教育をしたか(しようと思っているか)については、「すでに話をした」が 36.3%で最も多く、「これから話そうと思っている」(30.0%)、「話したいがどのように伝えたら良いかわからない」(28.4%)と続く。

図表 462

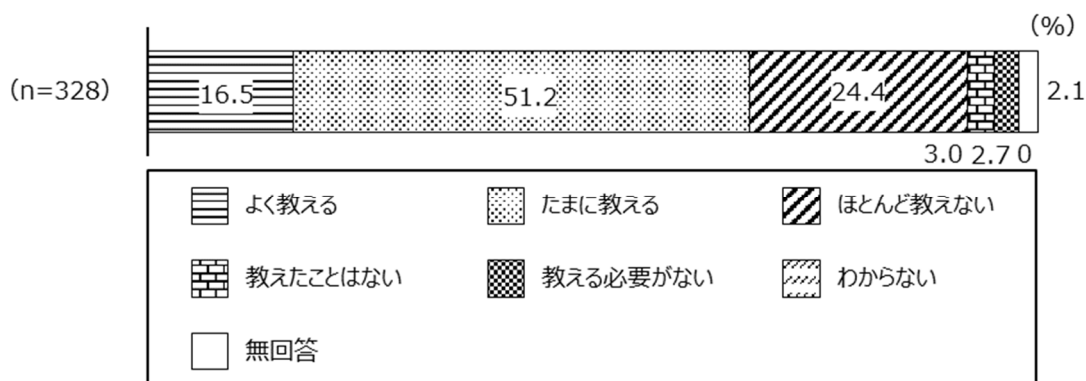


(4) 子どもの勉強や学校生活について

問19 同居している家族が子どもに勉強を教えることがあるか

同居している家族が子どもに勉強を教えることがあるかは、「たまに教える」が 51.2%で最も多く、「ほとんど教えない」(24.4%)、「よく教える」(16.5%)と続く。

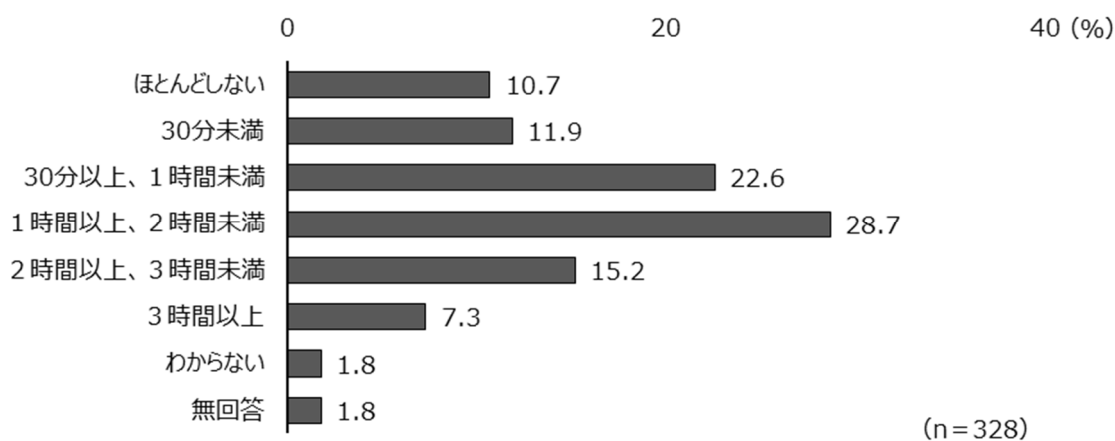
図表 463



問20 子どもの学校の授業以外の普段（月～金曜日）1日当たりの勉強時間

子どもの学校の授業以外の普段（月～金曜日）1日当たりの勉強時間は、「1時間以上、2時間未満」が 28.7%で最も多く、「30分以上、1時間未満」(22.6%)、「2時間以上、3時間未満」(15.2%)と続く。

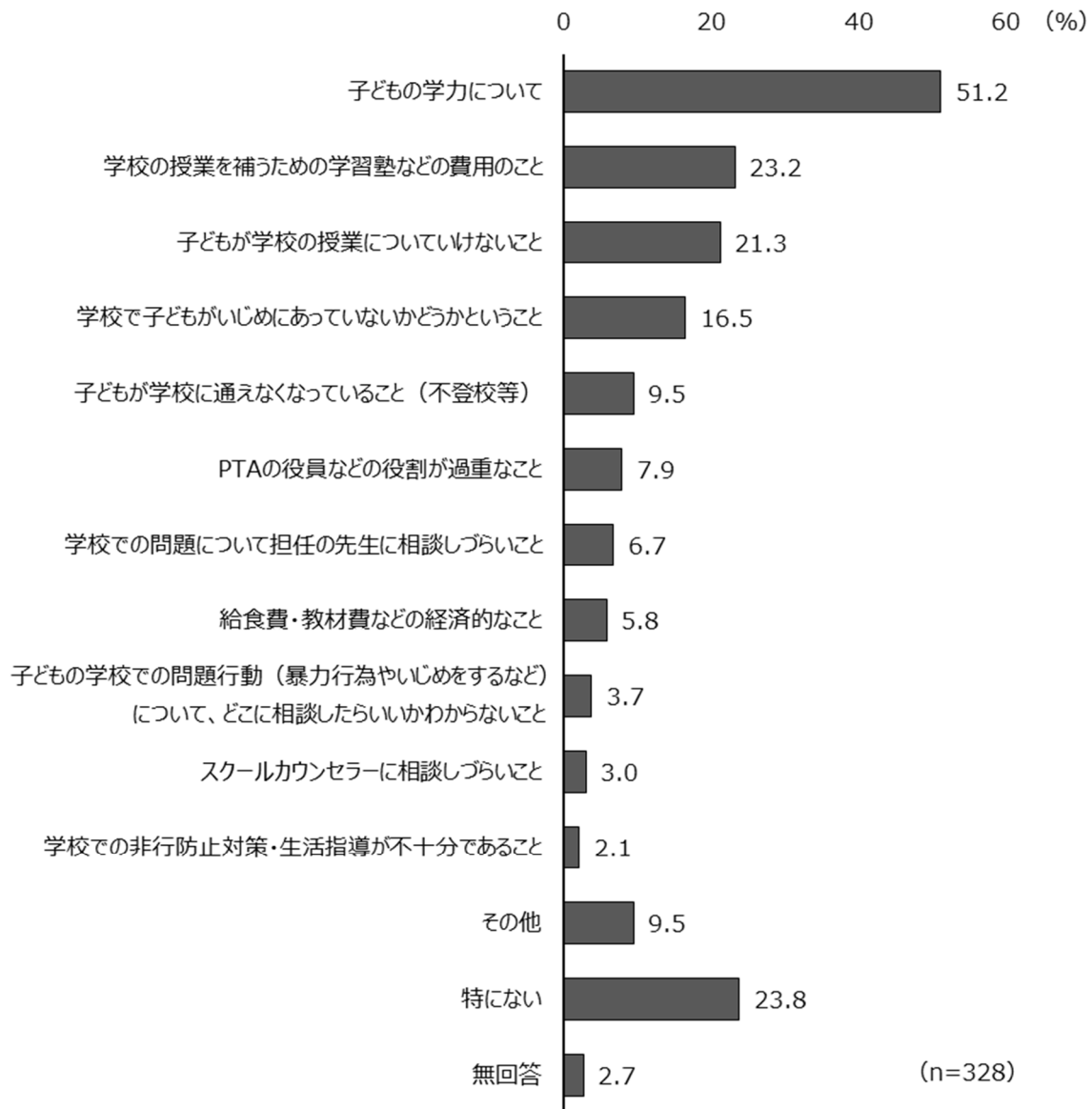
図表 464



問2-1 子どもの学校生活についての不安や悩み（複数回答）

子どもの学校生活についての不安や悩みは、「子どもの学力について」が 51.2%で最も多く、「特にない」(23.8%)、「学校の授業を補うための学習塾などの費用のこと」(23.2%)と続く。

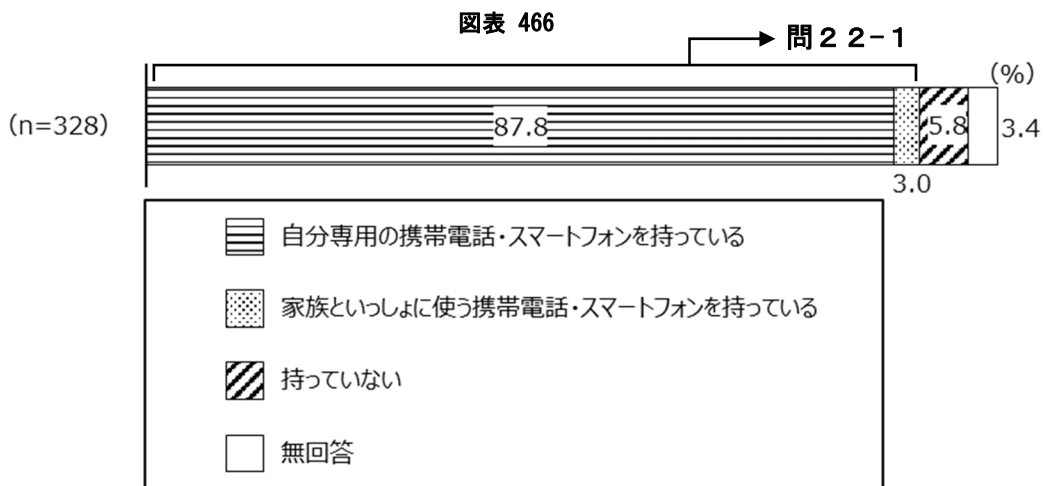
図表 465



(5) 子どものインターネット等の利用について

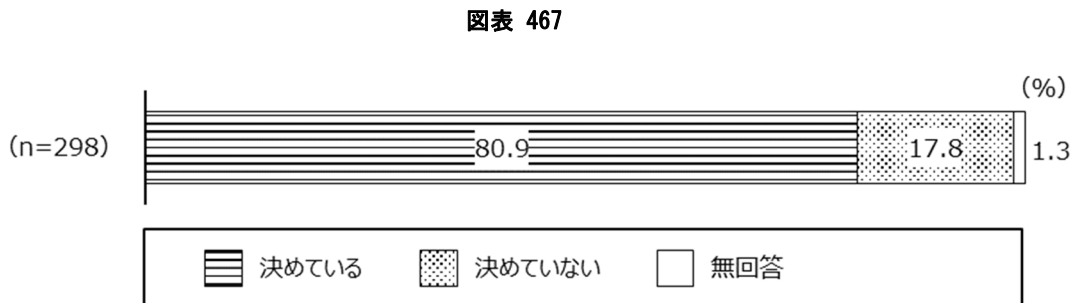
問22 子どもの携帯電話・スマートフォンの保有状況

子どもの携帯電話・スマートフォンの保有状況は、「自分専用の携帯電話・スマートフォンを持っている」が 87.8%で最も多く、「持っていない」(5.8%)、「家族といっしょに使う携帯電話・スマートフォンを持っている」(3.0%)と続く。



問22-1 親子の間で、携帯電話・スマートフォンの使用についてルールを決めているか

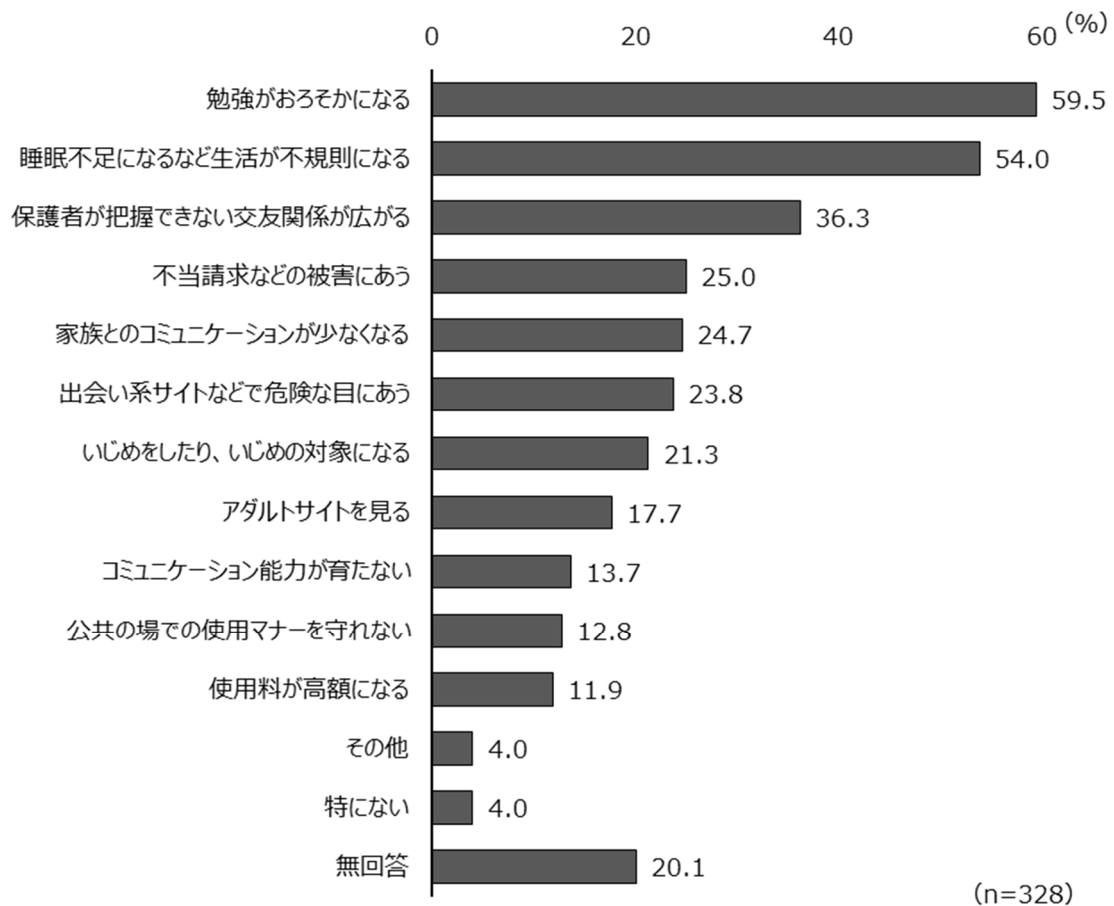
親子の間で、携帯電話・スマートフォンの使用についてルールを決めているかは、「決めている」は 80.9%、「決めていない」は 17.8%となっている。



問23 インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用に関する不安や心配、実際にあったこと

インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用に関する不安や心配は、「勉強がおろそかになる」が59.5%で最も多く、「睡眠不足になるなど生活が不規則になる」(54.0%)、「保護者が把握できない交友関係が広がる」(36.3%)と続く。

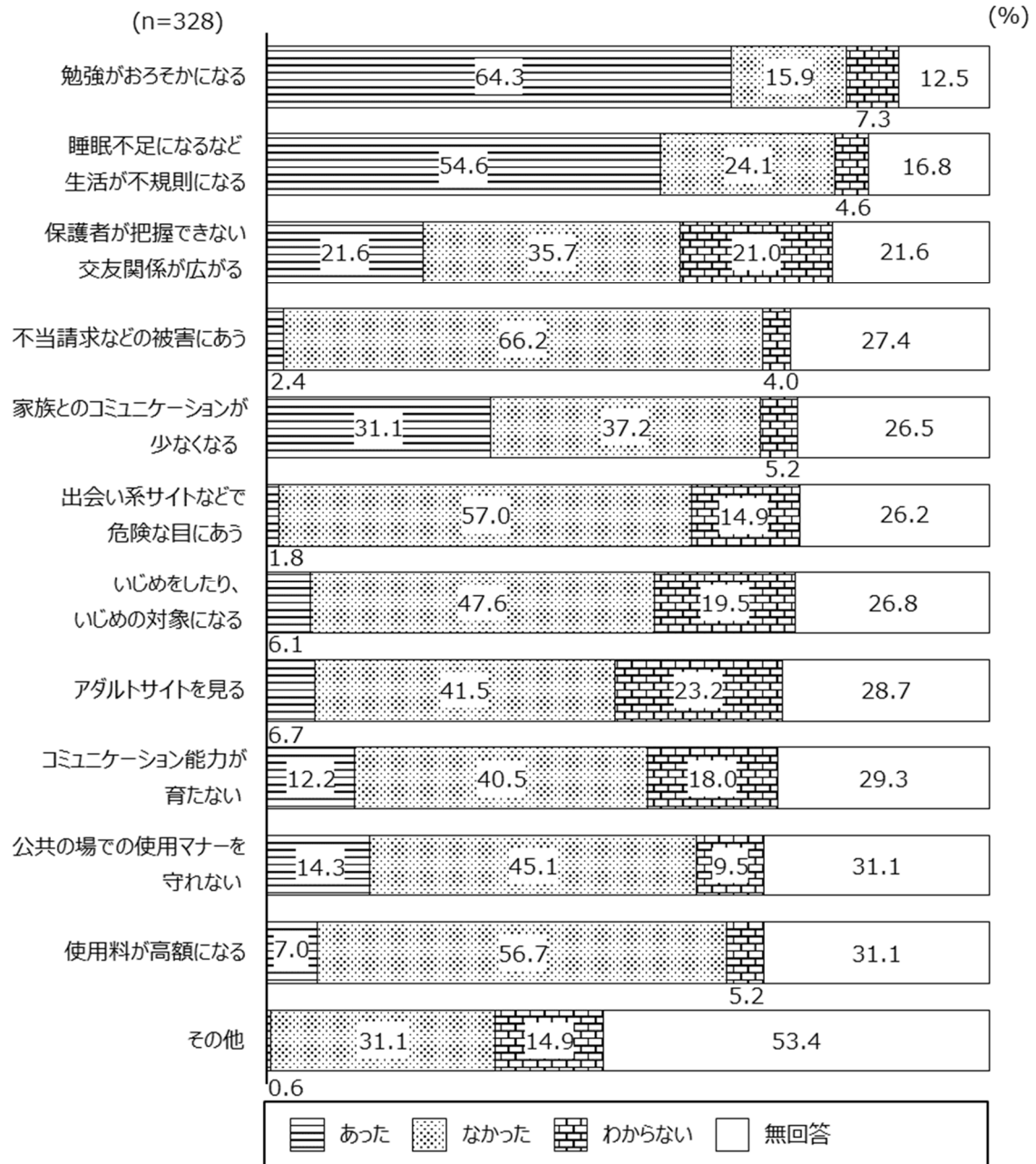
図表 468 インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用に関する不安や心配（複数回答）



II-⑥ 中学生保護者調査結果

インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用で実際にあったことについて、「あった」が最も多かったのは、「勉強がおろそかになる」(64.3%)で、「睡眠不足になるなど生活が不規則になる」(54.6%)、「家族とのコミュニケーションが少なくなる」(31.1%)と続く。

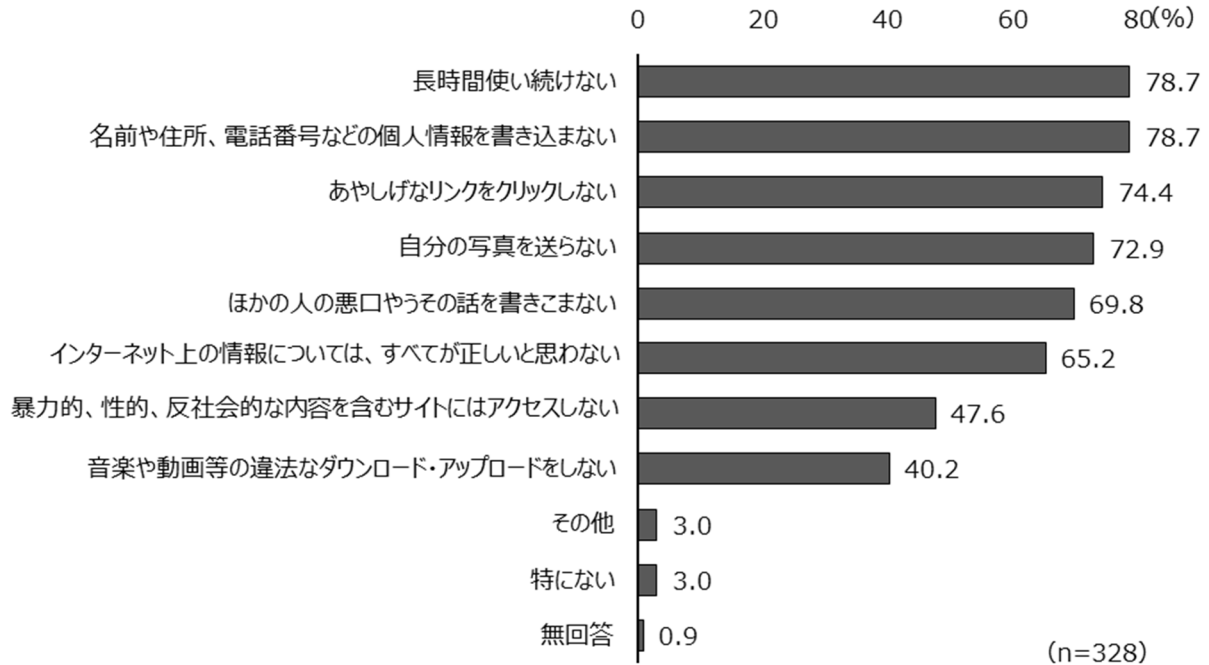
図表 469 インターネットの利用や、携帯電話・スマートフォン等の使用で実際にあったこと



問24 インターネットを使うときに気をつけるよう教えていること（複数回答）

インターネットを使うときに気をつけるよう教えていることは、「長時間使い続けない」と「名前や住所、電話番号などの個人情報を書き込まない」がともに78.7%で最も多く、「あやしげなリンクをクリックしない」(74.4%)と続く。

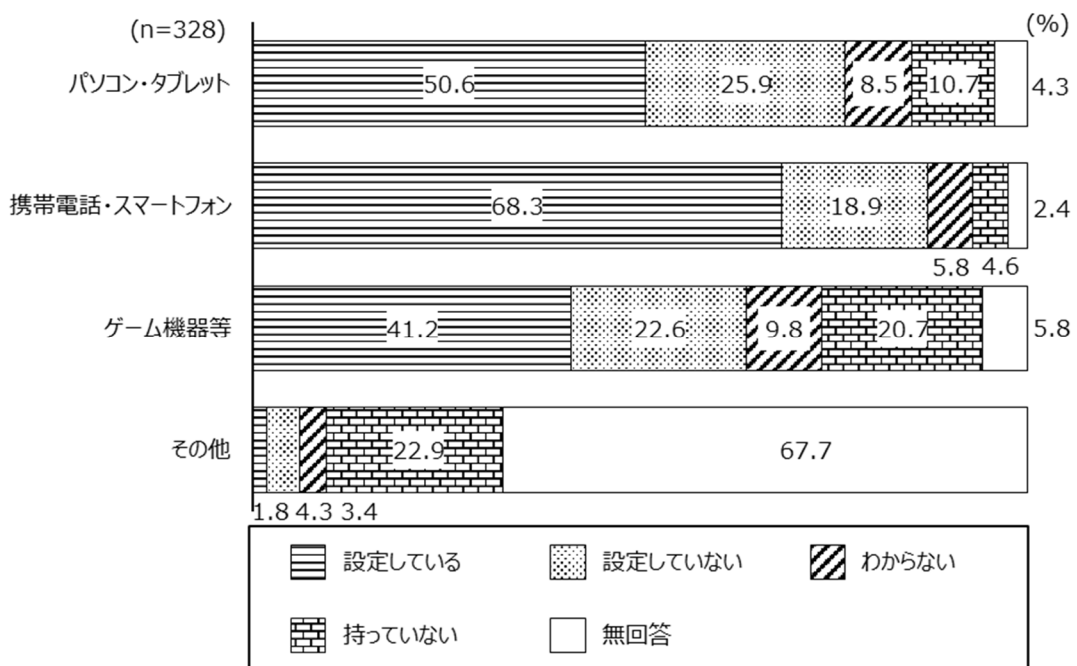
図表 470



問25 子どもが使用するパソコン等へのフィルタリング機能設定状況

子どもが使用するパソコン等へのフィルタリング機能設定状況について、「設定している」が最も多かったのは、「携帯電話・スマートフォン」(68.3%)で、「パソコン・タブレット」(50.6%)、ゲーム機器等(41.2%)と続く。

図表 471

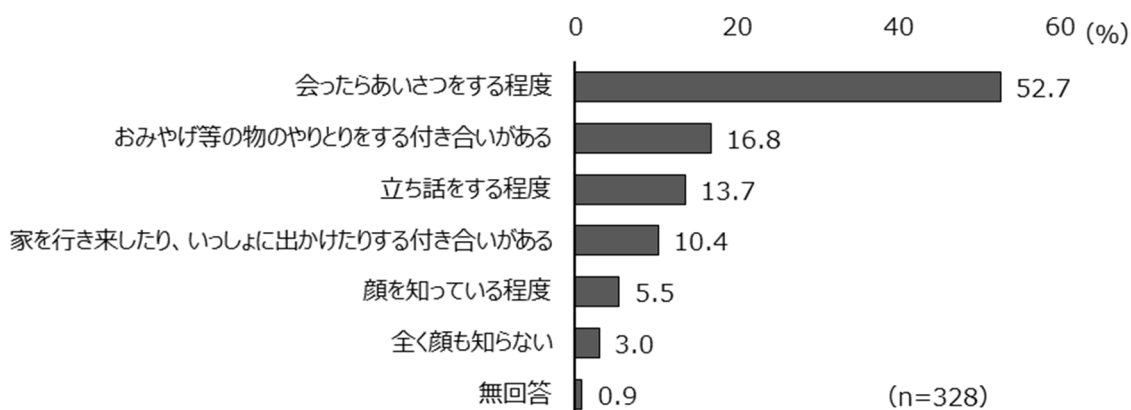


(6) 近所の人や地域との関わり方について

問 2 6 近所や同じ建物に住んでいる人との付き合いの程度

近所や同じ建物に住んでいる人との付き合いの程度は、「会ったらあいさつをする程度」が 52.7%で最も多く、「おみやげ等の物のやりとりをする付き合いがある」(16.8%)、「立ち話をする程度」(13.7%)と続く。

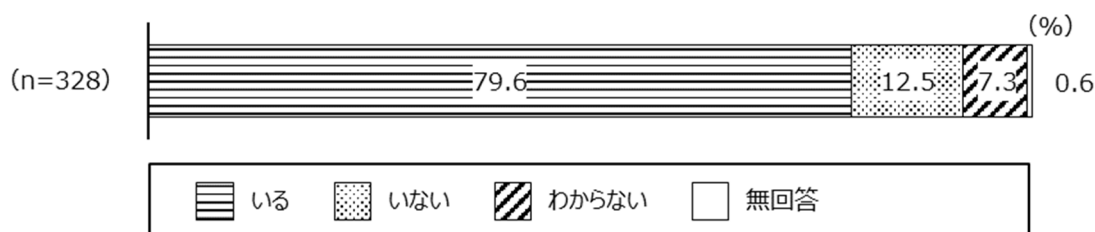
図表 472



問 2 7 子どもにあいさつをしたり声をかけてくれたりする近所の人の有無

子どもにあいさつをしたり声をかけてくれたりする近所の人、は、「いる」が 79.6%で最も多く、「いない」(12.5%)、「わからない」(7.3%)と続く。

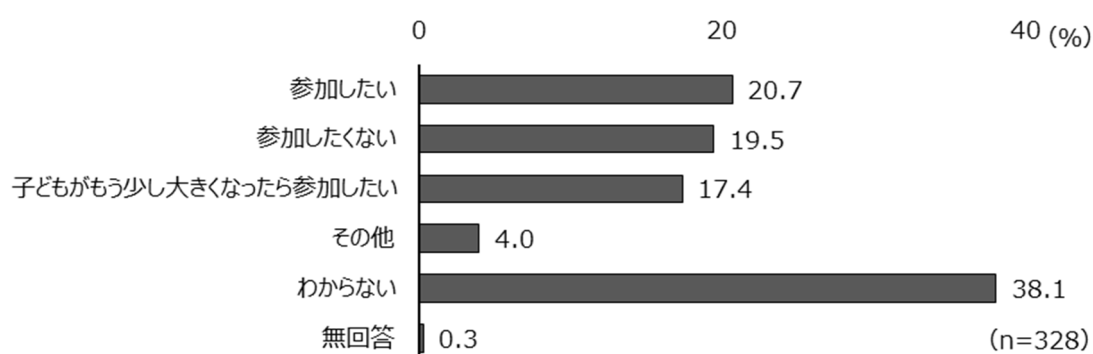
図表 473



問 2 8 子育て経験を活かせる場や機会ができた場合の子育て支援の地域活動への参加意向

子育て経験を活かせる場や機会ができた場合の子育て支援の地域活動への参加意向は、「わからない」が 38.1%で最も多く、「参加したい」(20.7%)、「参加したくない」(19.5%)と続く。

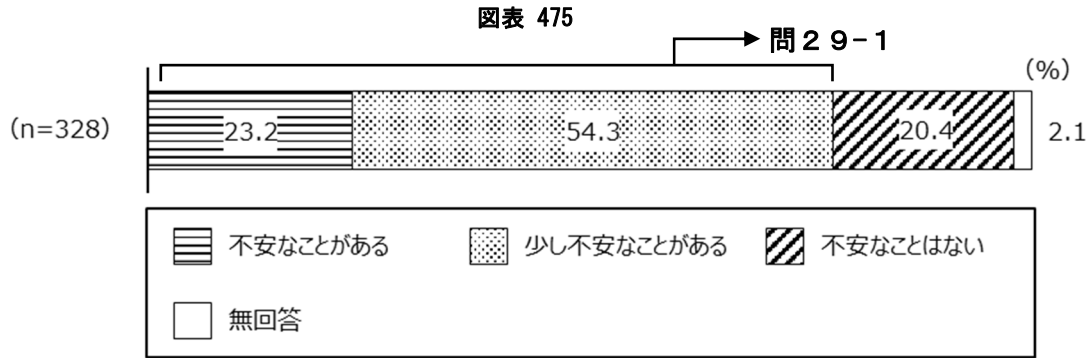
図表 474



(7) 子どもの生活の安全・安心について

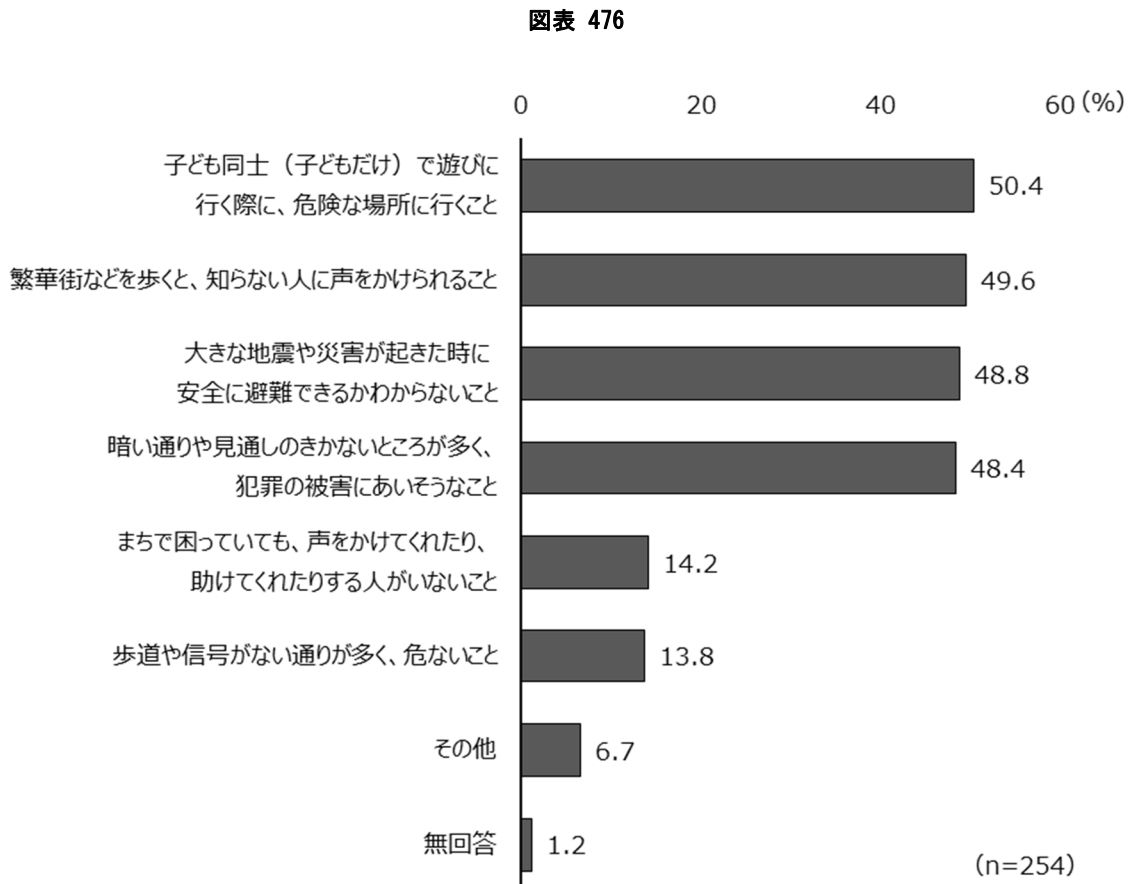
問29 子どもの外出時に不安なことの有無

子どもの外出時に不安なことの有無は、「少し不安なことがある」が54.3%で最も多く、「不安なことがある」(23.2%)、「不安なことはない」(20.4%)と続く。



問29-1 子どもの外出時に不安を感じること（複数回答）

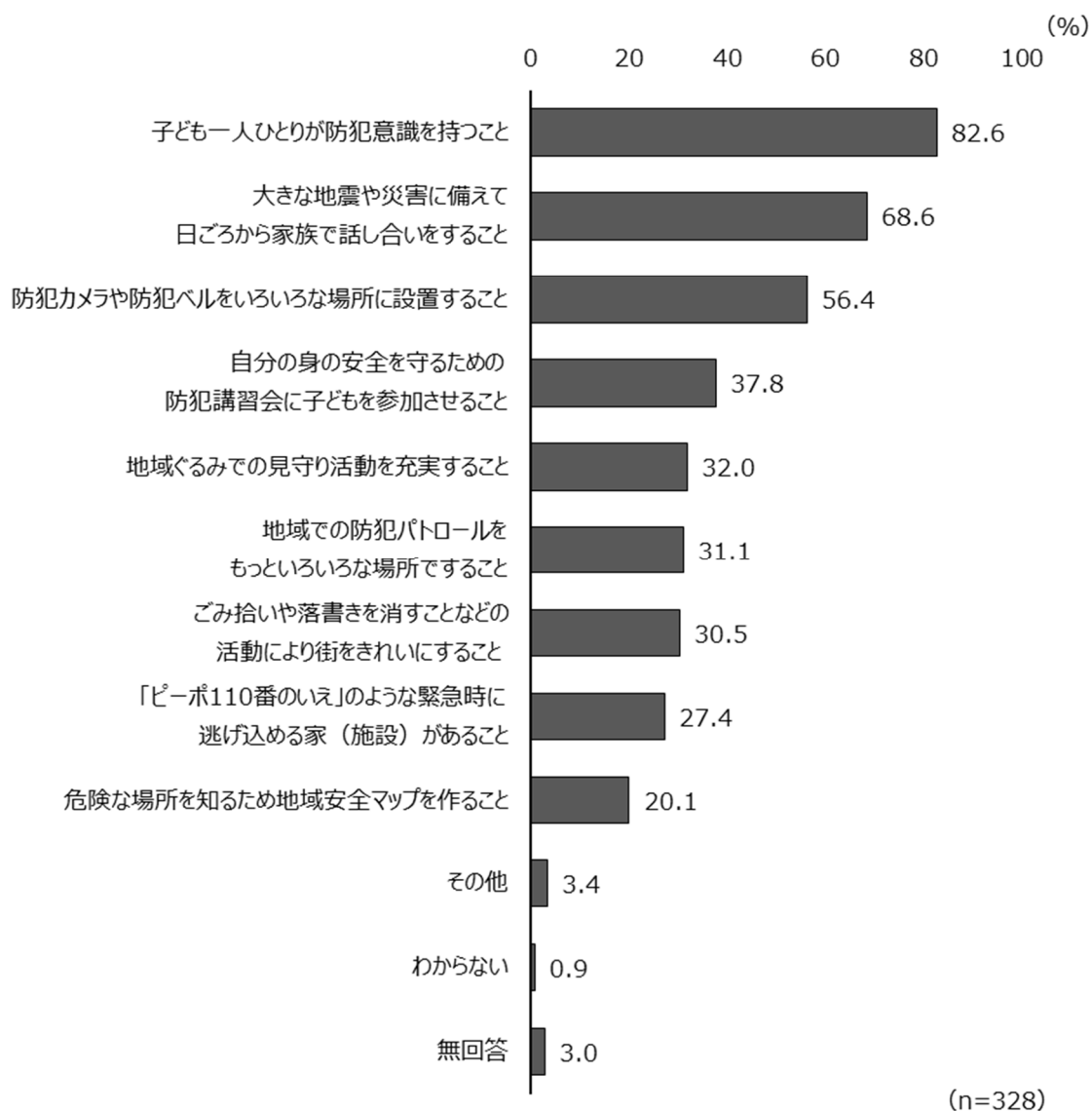
子どもの外出時に不安を感じることは、「子ども同士(子どもだけ)で遊びに行く際に、危険な場所に行くこと」が50.4%で最も多く、「繁華街などを歩くと、知らない人に声をかけられること」(49.6%)、「大きな地震や災害が起きた時に安全に避難できるかわからないこと」(48.8%)と続く。



問30 子どもが安心して暮らすために必要なこと（複数回答）

子どもが安心して暮らすために必要なことは、「子ども一人ひとりが防犯意識を持つこと」が 82.6%で最も多く、「大きな地震や災害に備えて日ごろから家族で話し合いをすること」(68.6%)、「防犯カメラや防犯ベルをいろいろな場所に設置すること」(56.4%)と続く。

図表 477

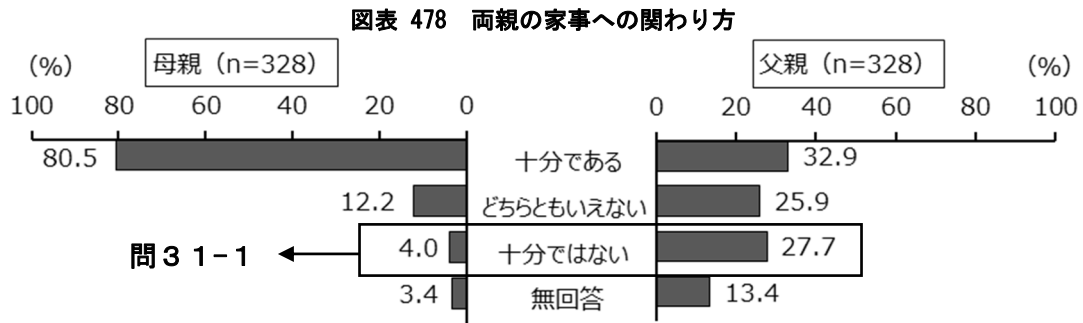


(8) 子育てと仕事への関わり方について

問3 1 両親の家事や子育てへの関わり方

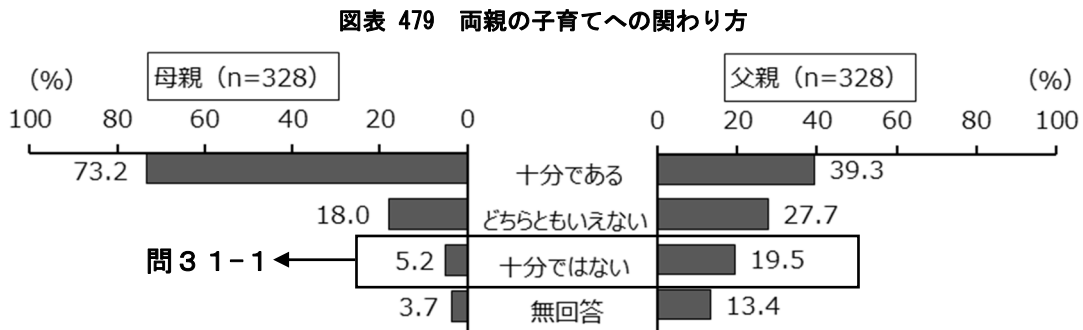
母親の家事への関わり方は、「十分である」が 80.5%で最も多く、「どちらともいえない」(12.2%)、「十分ではない」(4.0%)と続く。

父親の家事への関わり方は、「十分である」が 32.9%で最も多く、「十分ではない」(27.7%)、「どちらともいえない」(25.9%)と続く。



母親の子育てへの関わり方は、「十分である」が 73.2%で最も多く、「どちらともいえない」(18.0%)、「十分ではない」(5.2%)と続く。

父親の子育てへの関わり方は、「十分である」が 39.3%で最も多く、「どちらともいえない」(27.7%)、「十分ではない」(19.5%)と続く。

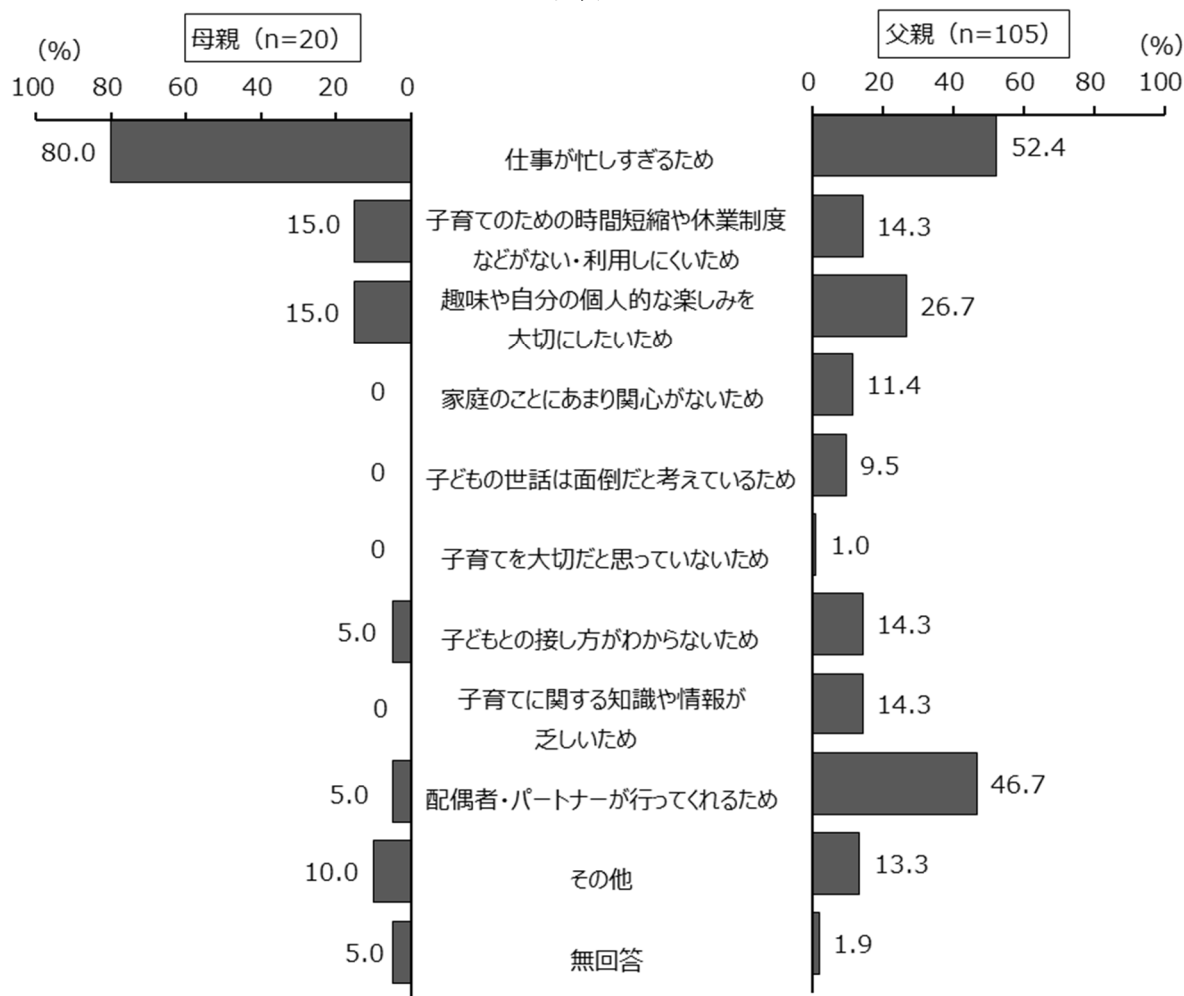


問3 1-1 家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由（3つまで）＜父母＞

母親の家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由は、「仕事が忙しすぎるため」が80.0%で最も多く、「子育てのための時間短縮や休業制度などがない・利用しにくい」と「趣味や自分の個人的な楽しみを大切にしたいため」がともに15.0%と続く。

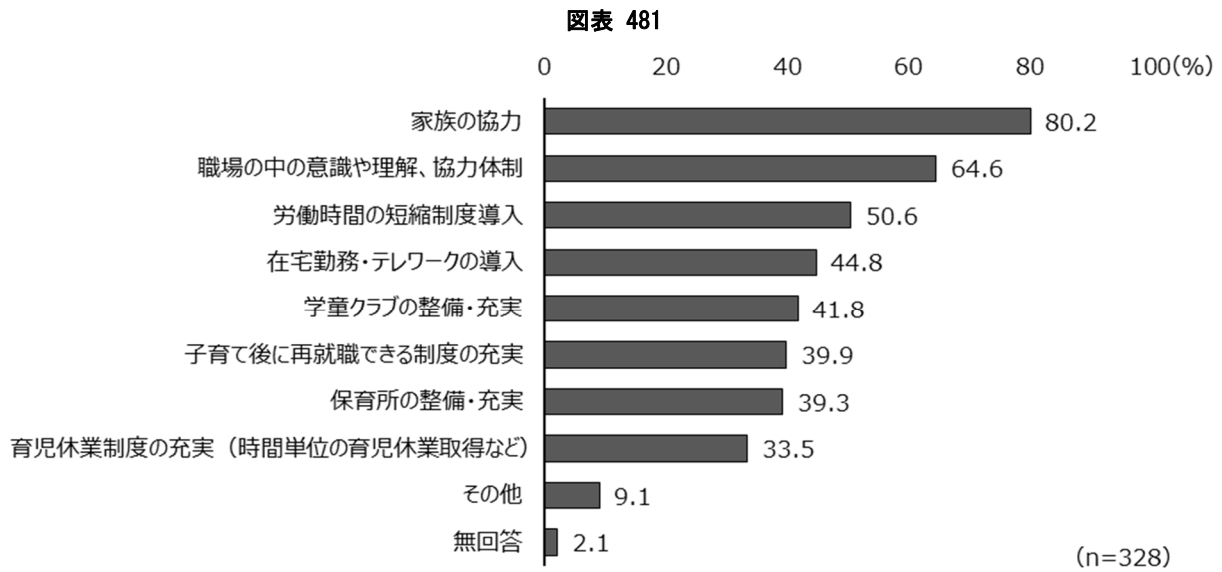
父親の家事や子育てへの関わり方が十分ではない理由は、「仕事が忙しすぎるため」が52.4%で最も多く、「配偶者・パートナーが行ってくれるため」(46.7%)、「趣味や自分の個人的な楽しみを大切にしたいため」(26.7%)と続く。

図表 480



問3 2 仕事と子育てを両立させるために必要なこと（複数回答）

仕事と子育てを両立させるために必要なことは、「家族の協力」が 80.2%で最も多く、「職場の中の意識や理解、協力体制」(64.6%)、「労働時間の短縮制度導入」(50.6%)と続く。

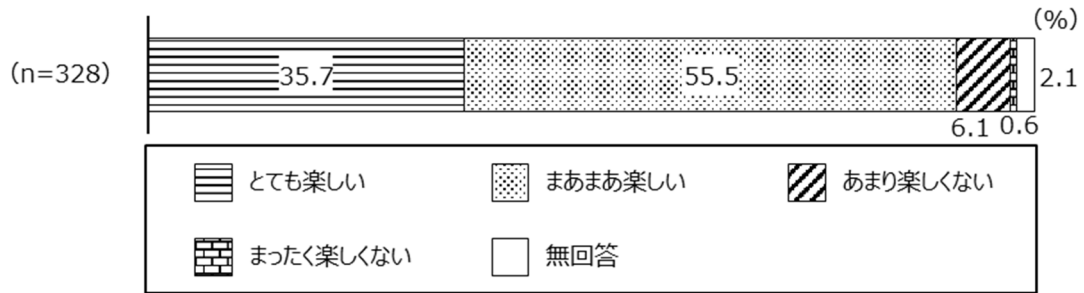


(9) 子育て全般について

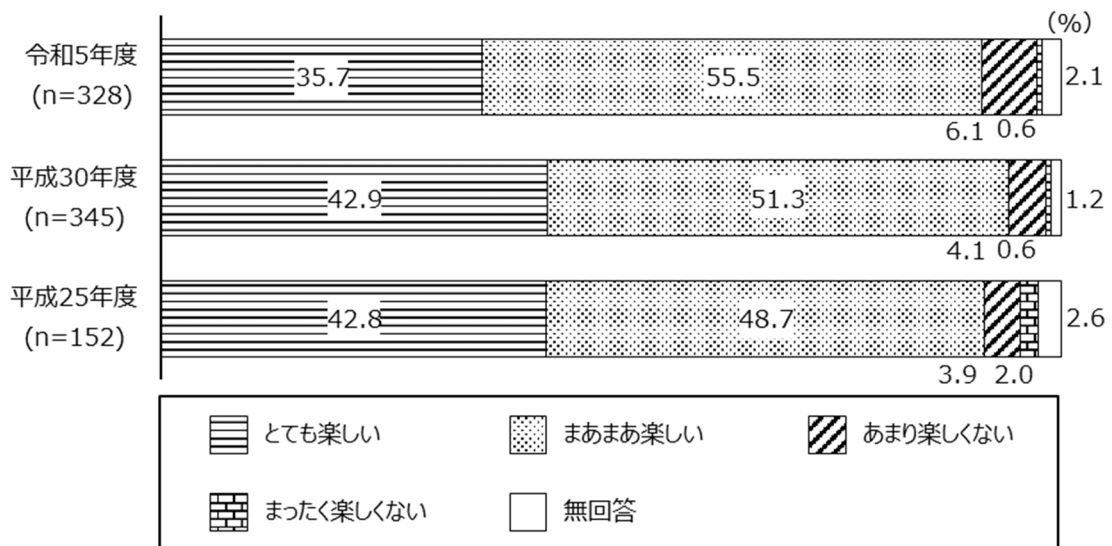
問33 子育てが楽しいか

子育てが楽しいかは、「まあまあ楽しい」が 55.5%で最も多く、「とても楽しい」(35.7%)、「あまり楽しくない」(6.1%)と続く。

図表 482



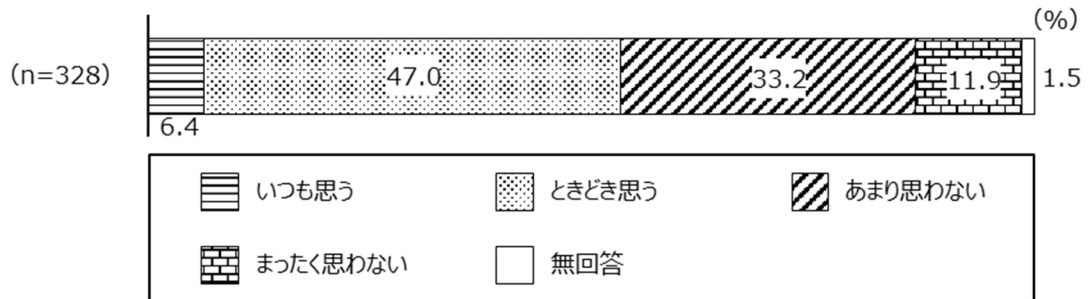
図表 483 子育てが楽しいか (経年比較)



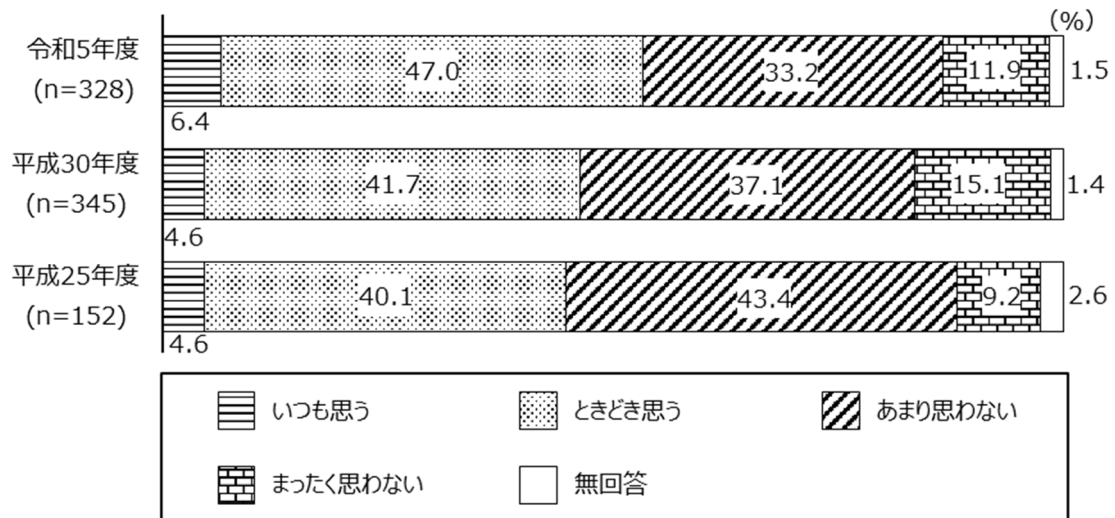
問34 子育てが辛いと思うことがあるか

子育てが辛いと思うことがあるかは、「ときどき思う」が47.0%で最も多く、「あまり思わない」(33.2%)、「まったく思わない」(11.9%)と続く。

図表 484



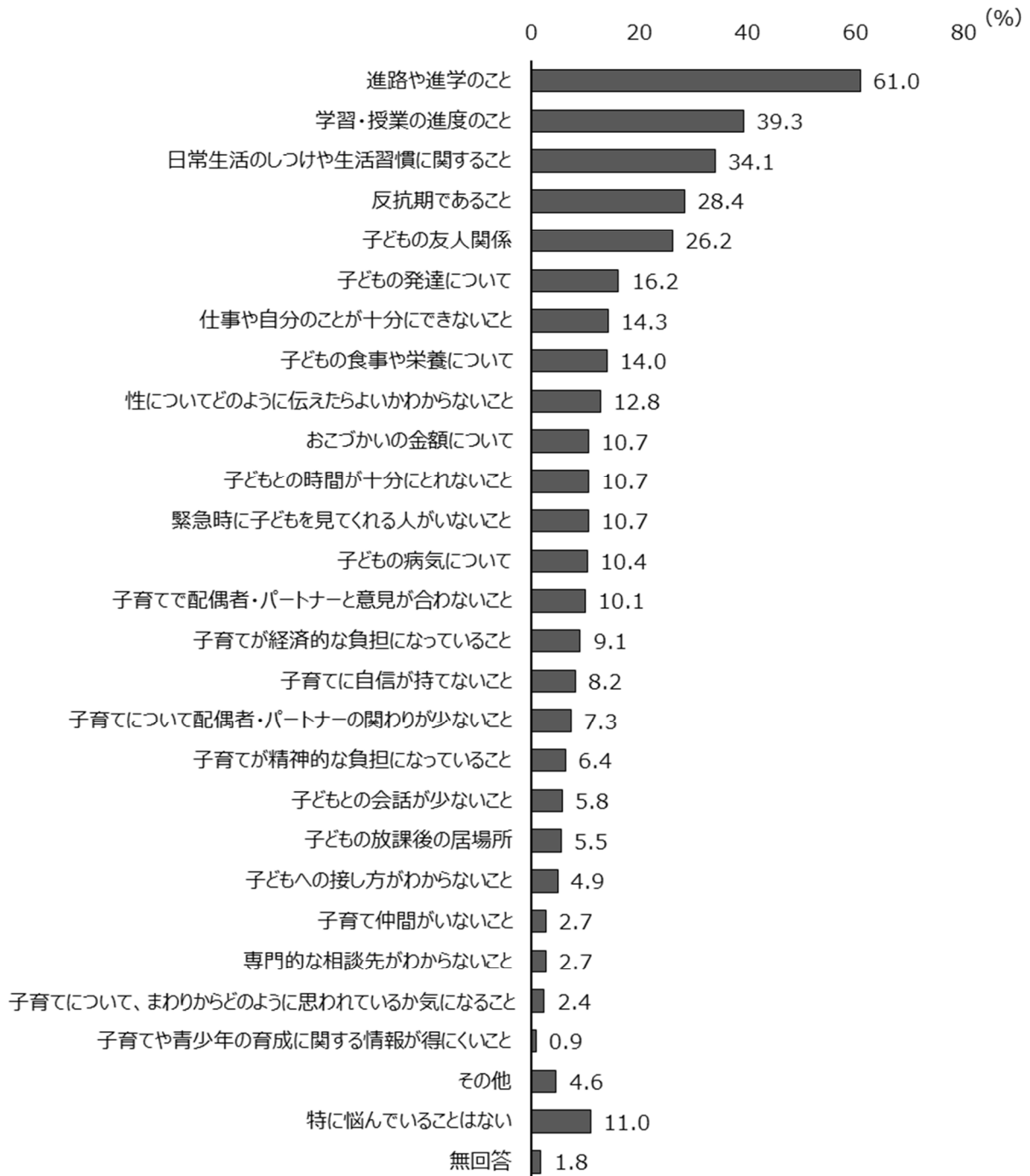
図表 485 子育てが辛いと思うことがあるか (経年比較)



問35 子育てに関して悩んでいること（複数回答）

子育てに関して悩んでいることは、「進路や進学のこと」が61.0%で最も多く、「学習・授業の進捗のこと」(39.3%)、「日常生活のしつけや生活習慣に関すること」(34.1%)と続く。

図表 486

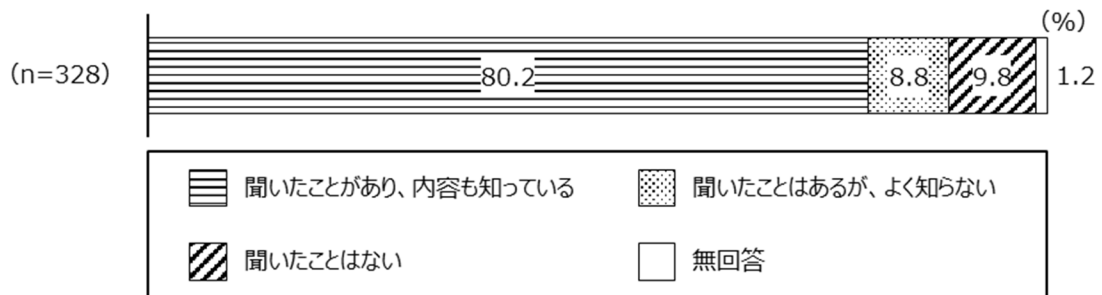


(n=328)

問36 ヤングケアラーという言葉聞いたことがあるか

ヤングケアラーという言葉聞いたことがあるかは、「聞いたことがあり、内容も知っている」が80.2%で最も多く、「聞いたことはない」(9.8%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(8.8%)と続く。

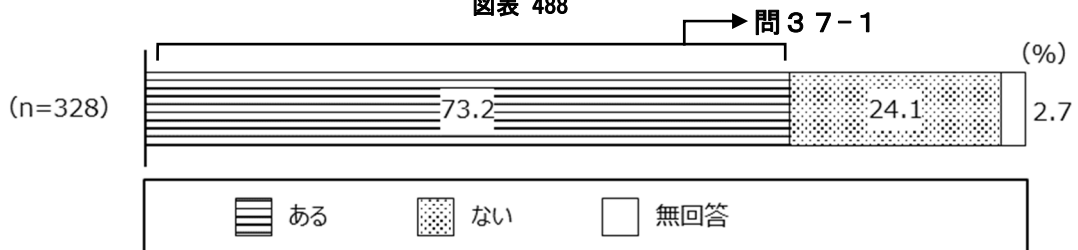
図表 487



問37 子育てについて気軽に相談できる先の有無

子育てについて気軽に相談できる先は、「ある」が73.2%、「ない」は24.1%となっている。

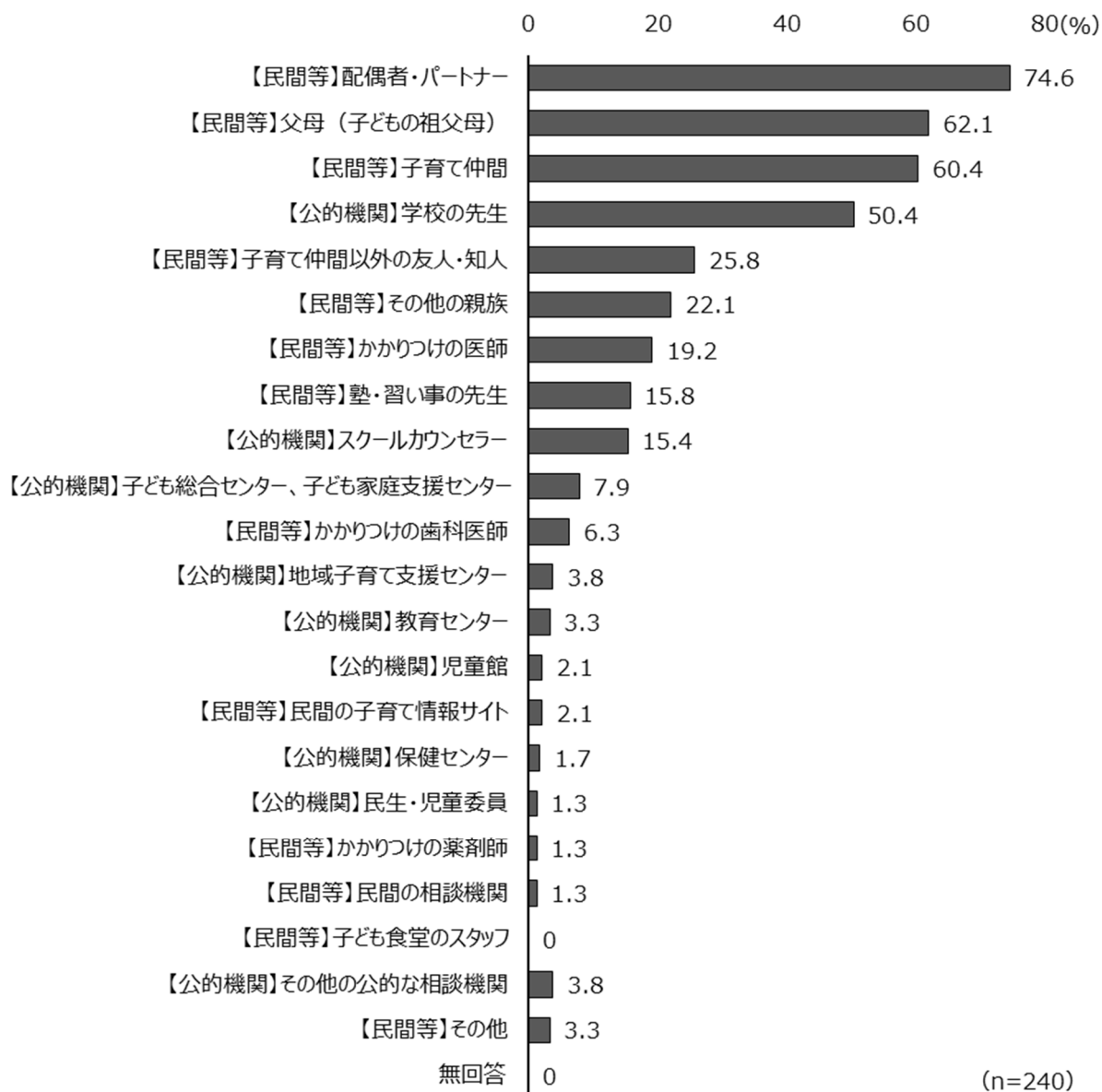
図表 488



問3 7-1 子育てについて気軽に相談できる先（複数回答）

子育てについて気軽に相談できるのは、「【民間等】配偶者・パートナー」が74.6%で最も多く、「【民間等】父母（子どもの祖父母）」(62.1%)、「【民間等】子育て仲間」(60.4%)と続く。

図表 489



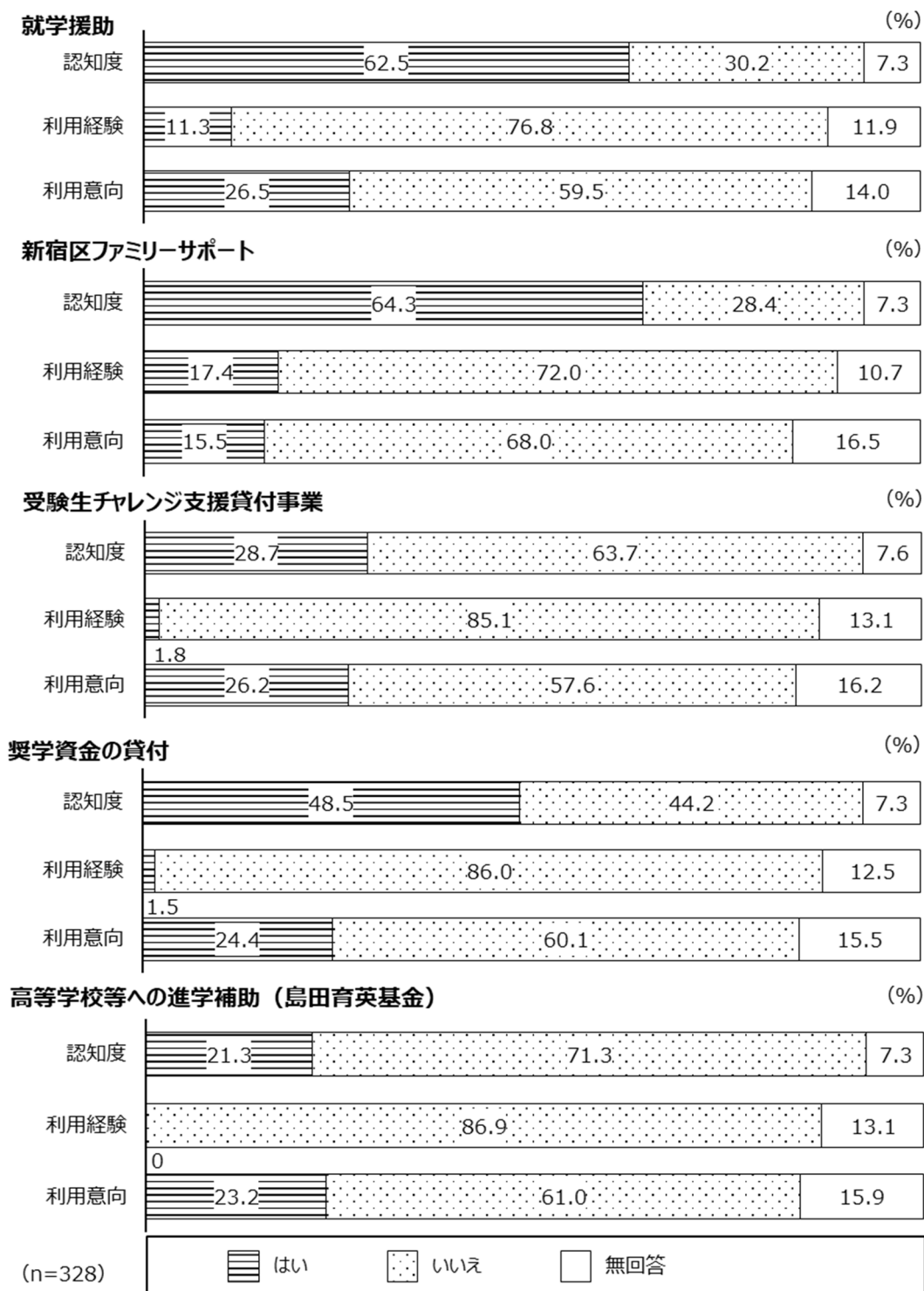
問38 区が提供している制度・サービスの認知度・利用経験の有無・今後の利用意向

区が提供しているサービスの認知度は、「新宿区ファミリーサポート」が64.3%で最も多く、「就学援助」(62.5%)、「子ども総合センター、子ども家庭支援センターの相談」(58.8%)と続く。

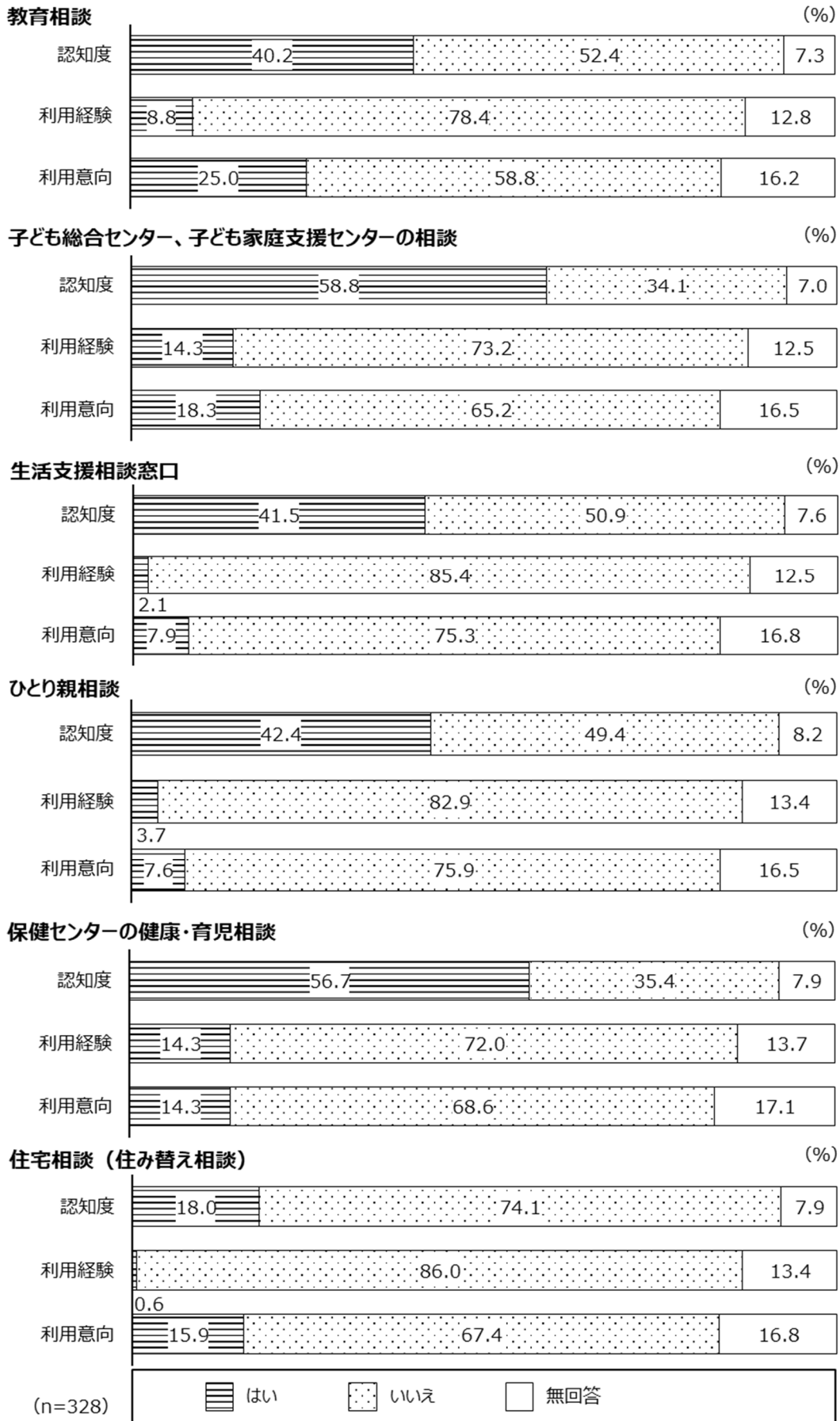
利用したことがあるサービスは、「新宿区ファミリーサポート」が17.4%で最も多く、「子ども総合センター、子ども家庭支援センターの相談」と保健センターの健康・育児相談」がともに14.3%と続く。

今後利用したいサービスは、「就学援助」が26.5%で最も多く、「受験生チャレンジ支援貸付事業」(26.2%)、「教育相談」(25.0%)と続く。

図表 490



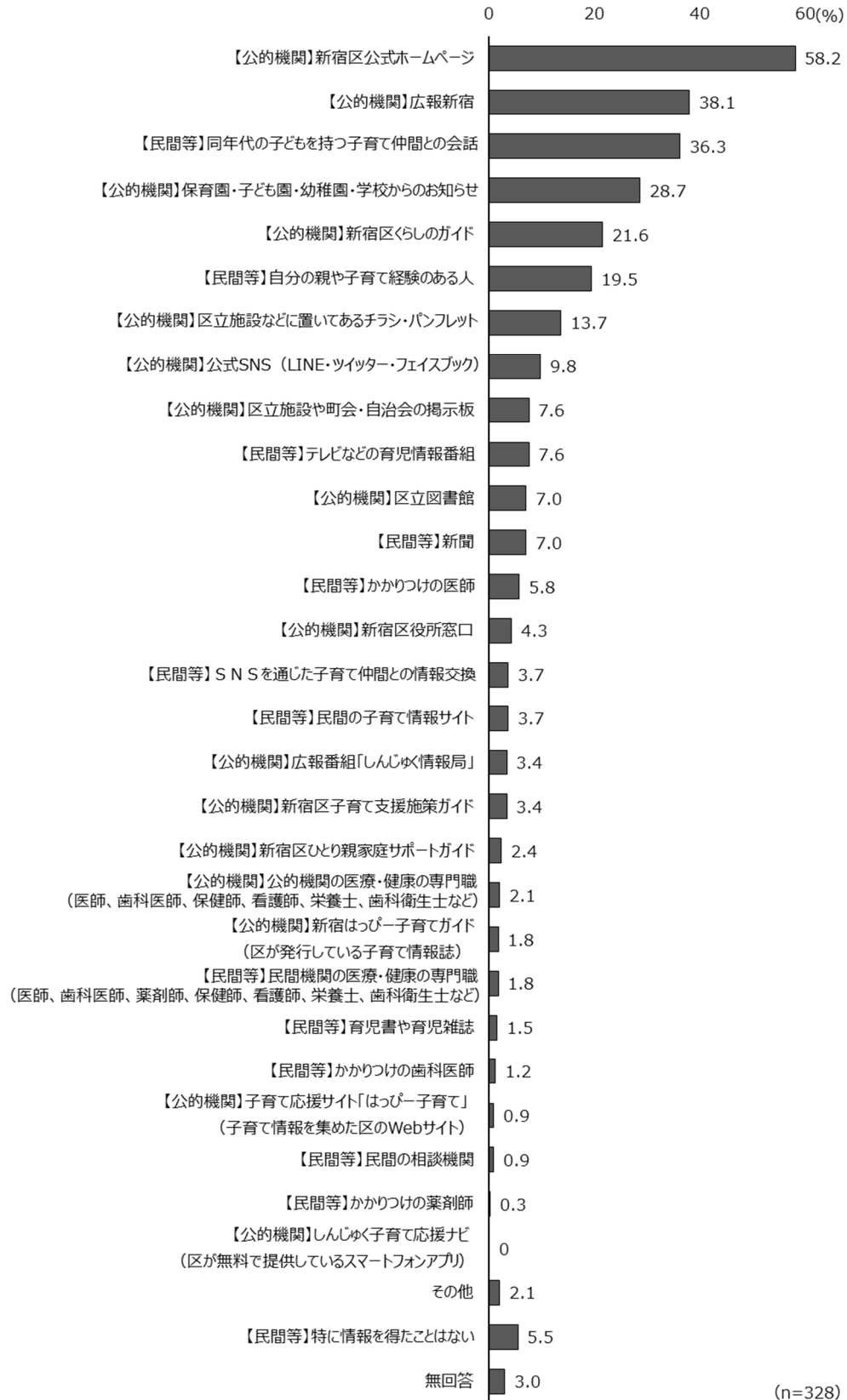
II-⑥ 中学生保護者調査結果



問39 区の子育て支援サービスや相談窓口についての情報入手先（複数回答）

区の子育て支援サービスや相談窓口についての情報入手先は、「【公的機関】新宿区公式ホームページ」が58.2%で最も多く、「【公的機関】広報新宿」(38.1%)、「【民間等】同年代の子どもを持つ子育て仲間との会話」(36.3%)と続く。

図表 491



(n=328)

問40 子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられること（3つまで）

子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられることは、「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が47.6%で最も多く、「子育てをしやすい職場づくりのための支援（職場の雰囲気、育児休業制度、労働時間の短縮、テレワークの拡充等）」(39.3%)、「保育サービスの充実（待機児童解消、一時保育、延長保育、病児・病後児保育など）」(36.9%)と続く。

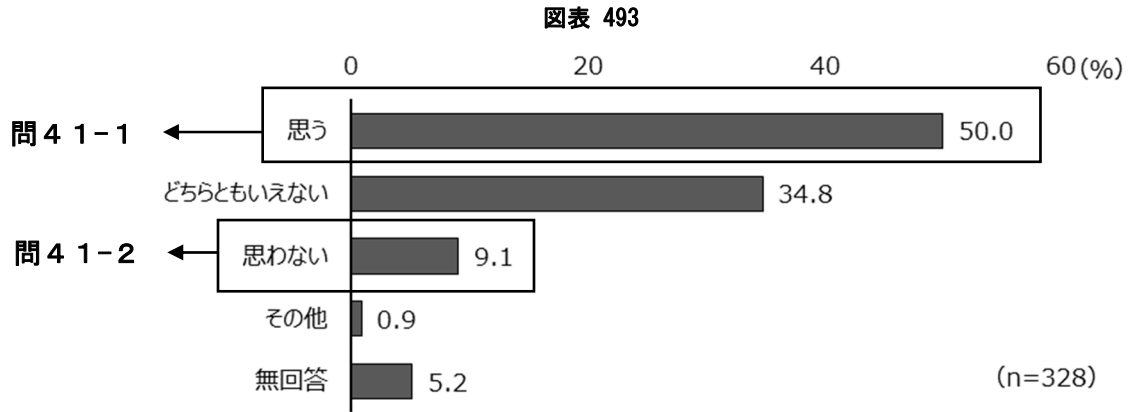
図表 492



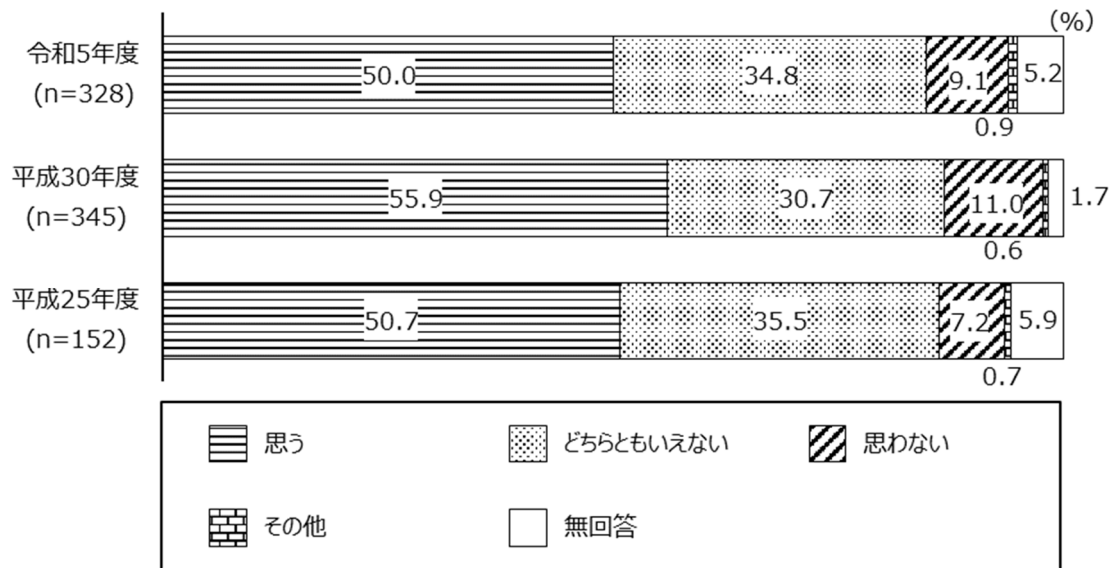
(10) 新宿区の子育て環境について

問4-1 新宿区は子育てしやすいまちだと思うか

新宿区は子育てしやすいまちだと思うかは、「思う」が50.0%で最も多く、「どちらともいえない」(34.8%)、「思わない」(9.1%)と続く。



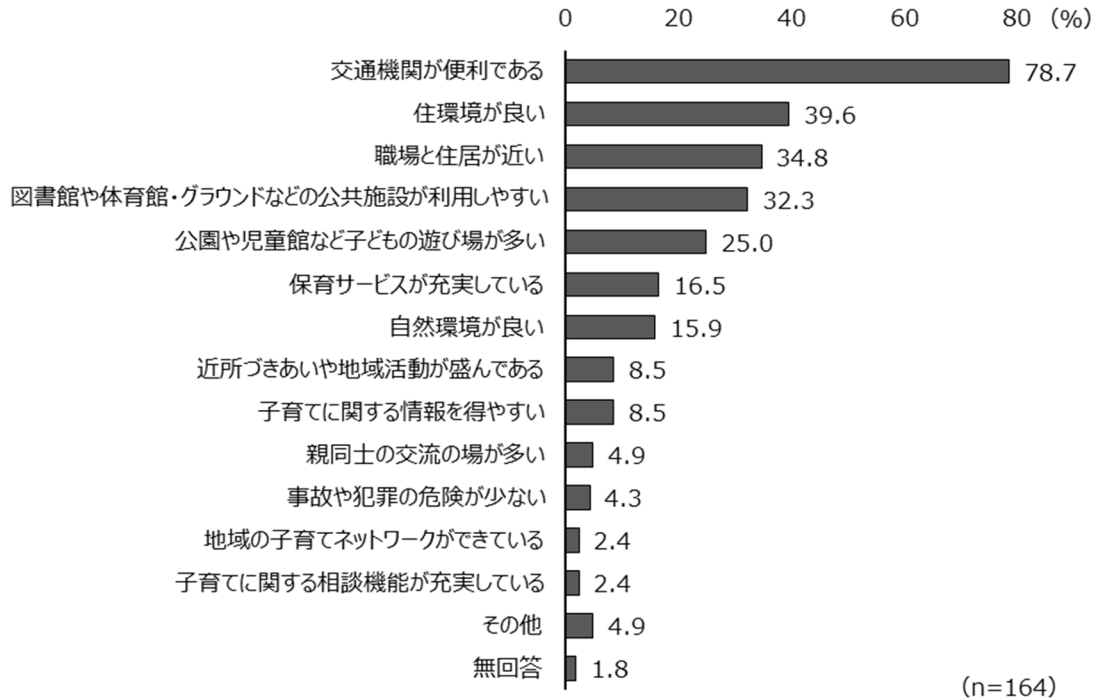
図表 494 新宿区は子育てしやすいまちだと思うか (経年比較)



問 4 1-1 新宿区が子育てしやすいまちだと思ふ理由（3つまで）

新宿区が子育てしやすいまちだと思ふ理由は、「交通機関が便利である」が 78.7%で最も多く、「住環境が良い」(39.6%)、「職場と住居が近い」(34.8%)と続く。

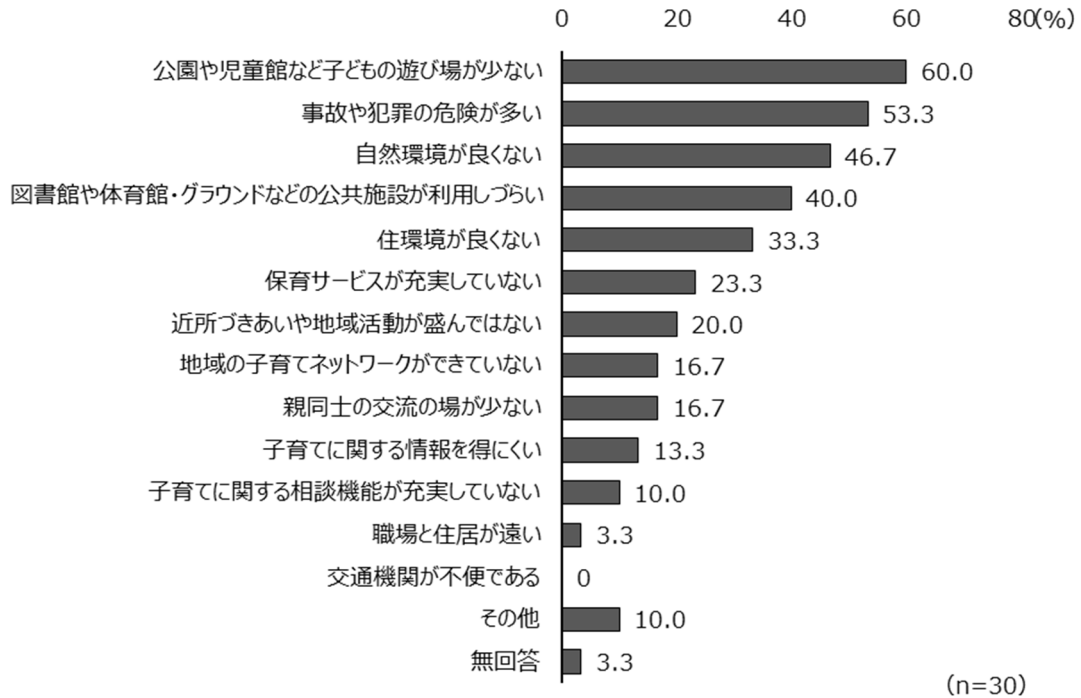
図表 495



問 4 1-2 新宿区が子育てしやすいまちだと思わない理由（3つまで）

新宿区が子育てしやすいまちだと思わない理由は、「公園や児童館など子どもの遊び場が少ない」が 60.0%で最も多く、「事故や犯罪の危険が多い」(53.3%)、「自然環境が良くない」(46.7%)、と続く。

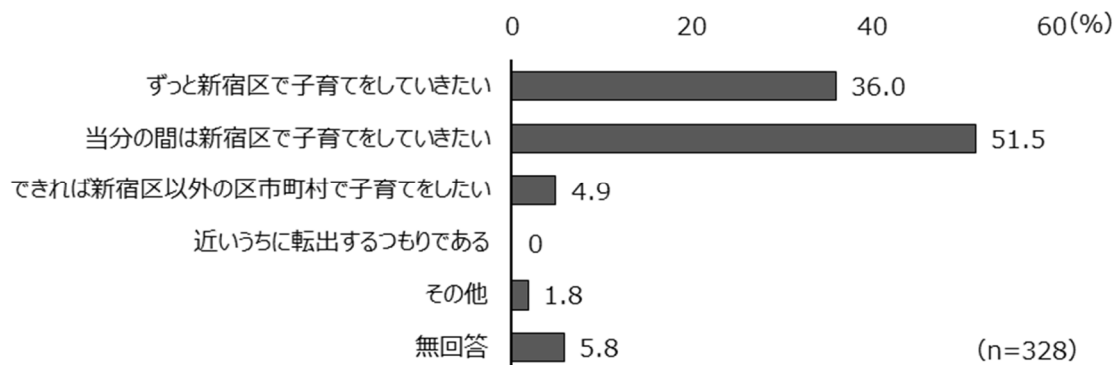
図表 496



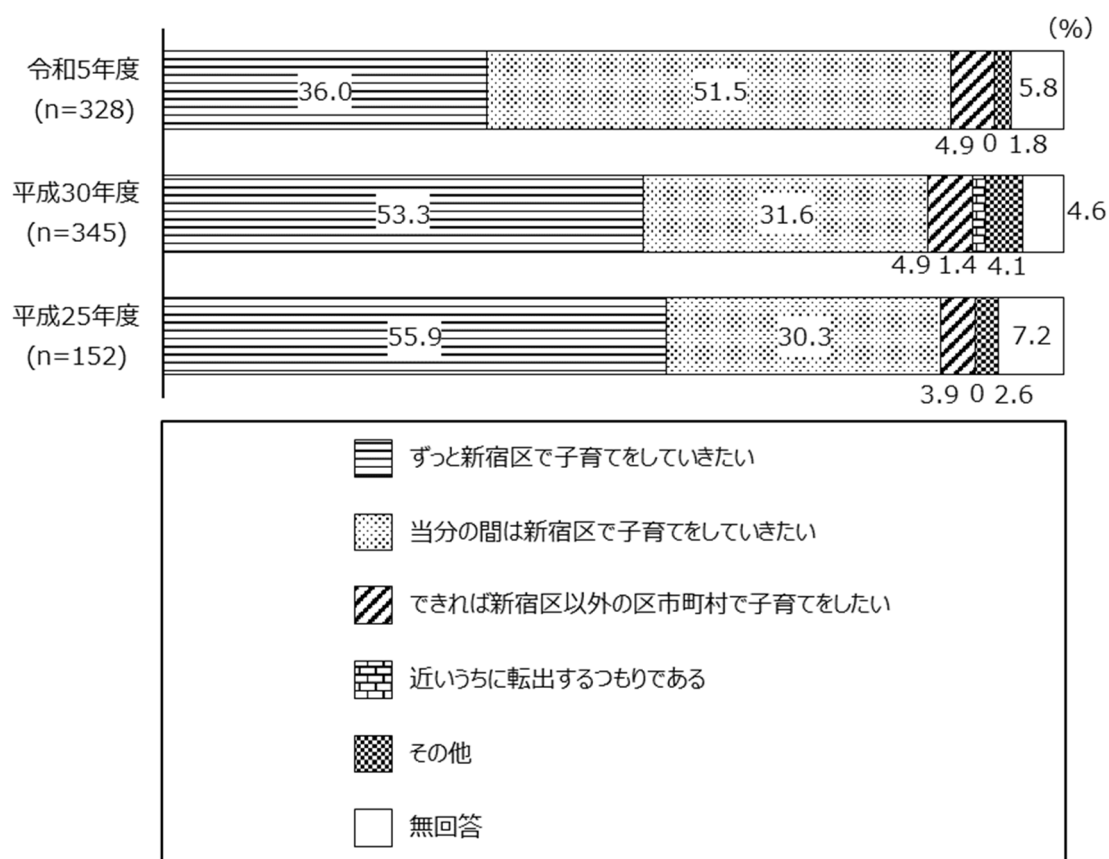
問 4 2 今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うか

今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うかは、「当分の間は新宿区で子育てをしていきたい」が 51.5%で最も多く、「ずっと新宿区で子育てをしていきたい」(36.0%)、「できれば新宿区以外の区市町村で子育てをしたい」(4.9%)と続く。

図表 497



図表 498 今後も新宿区で子育てをしていきたいと思うか（経年比較）

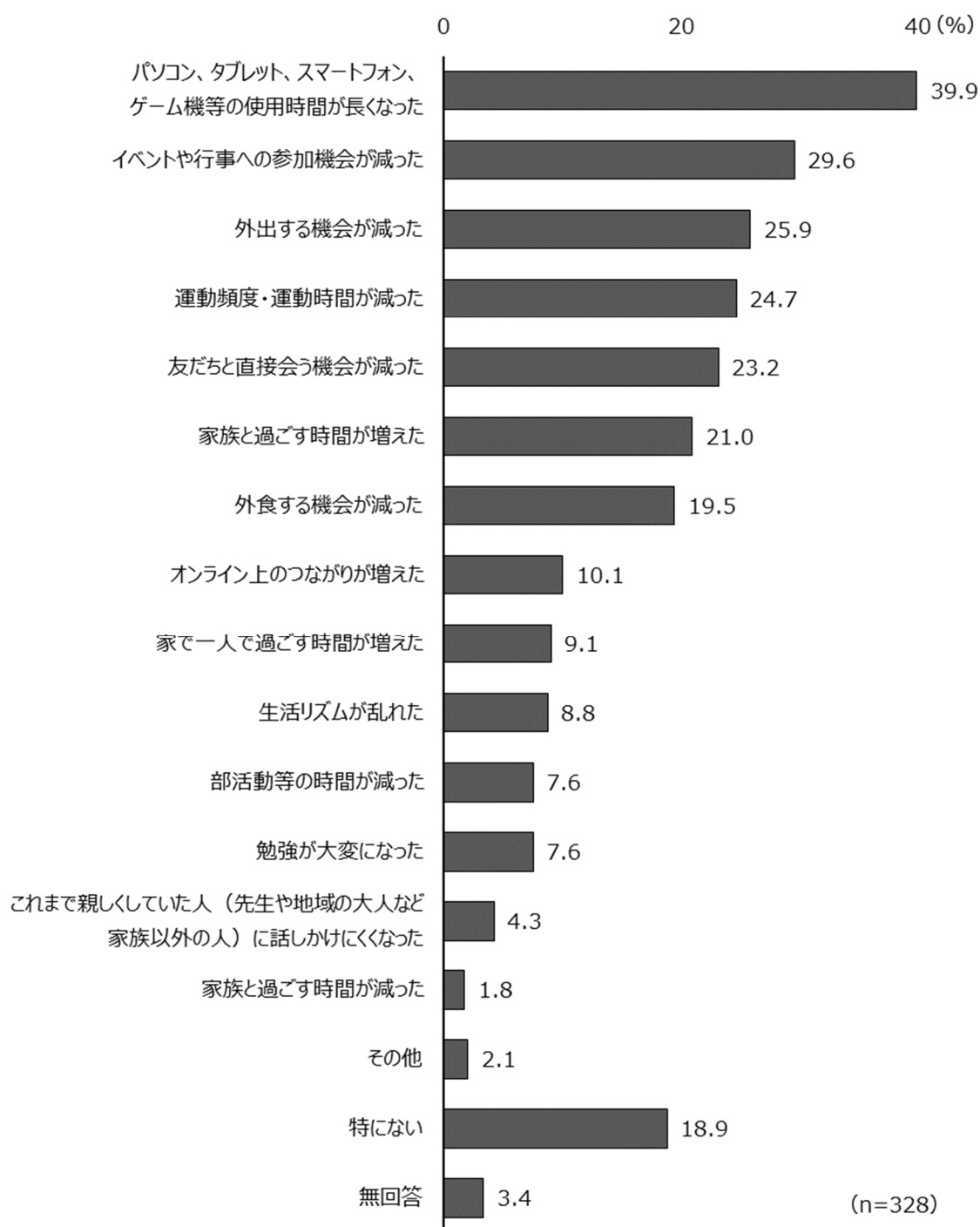


(11) その他

問43 コロナ禍を経て、現在も続いている子どもの生活変化（複数回答）

コロナ禍を経て、現在も続いている子どもの生活変化は、「パソコン、タブレット、スマートフォン、ゲーム機等の使用時間が長くなった」が39.9%で最も多く、「イベントや行事への参加機会が減った」(29.6%)、「外出する機会が減った」(25.9%)と続く。

図表 499

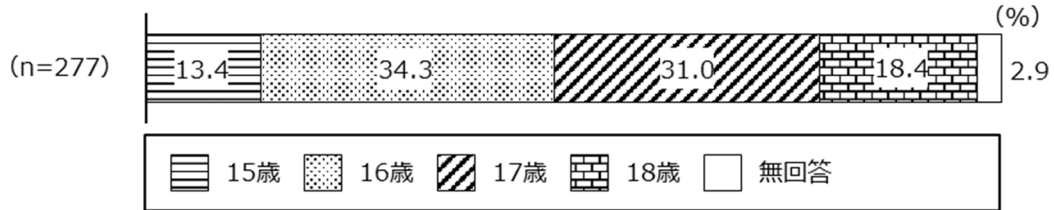


II-7 青少年調查結果

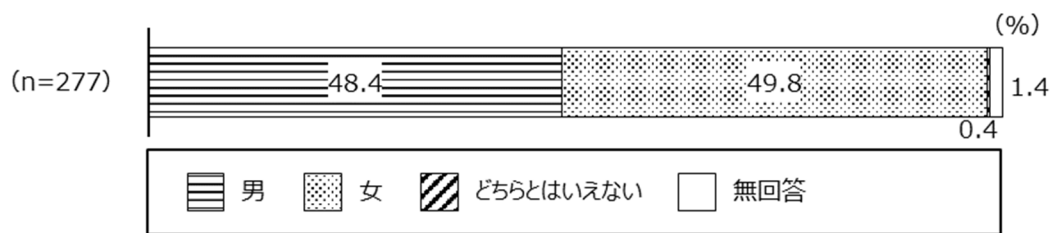
(1) 自分と家族の状況について

問1 年齢・性別・国籍

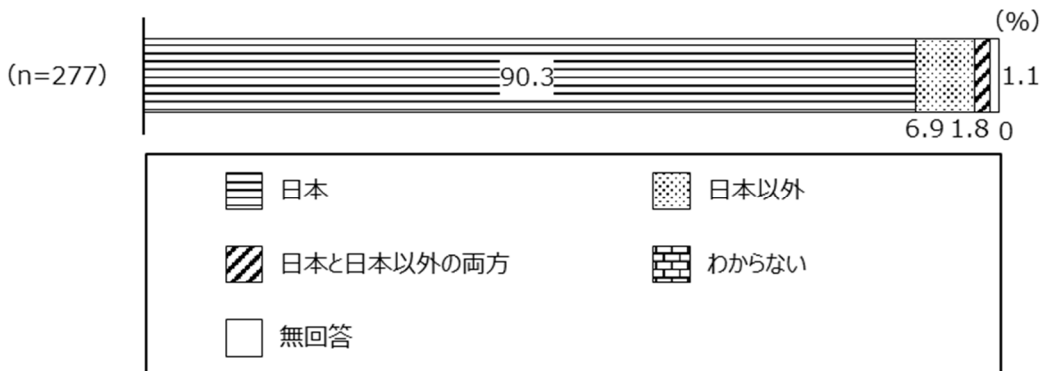
図表 500 年齢



図表 501 性別

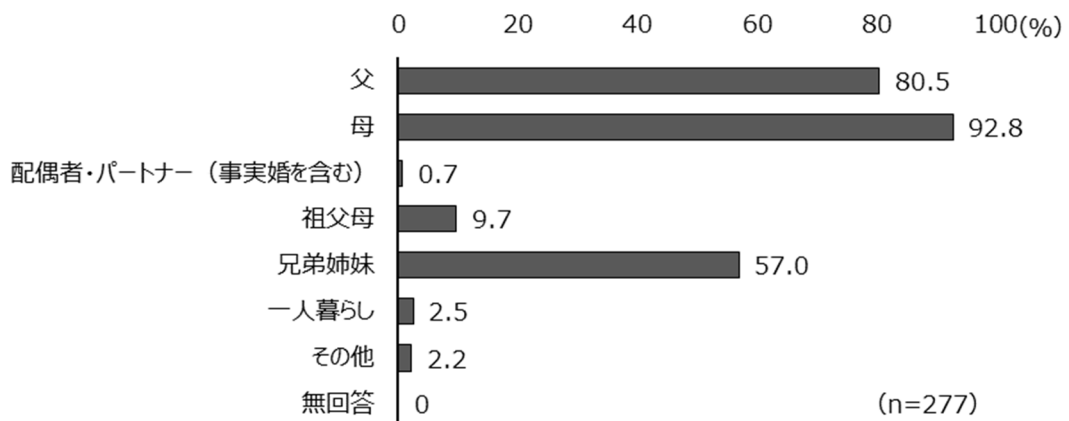


図表 502 国籍



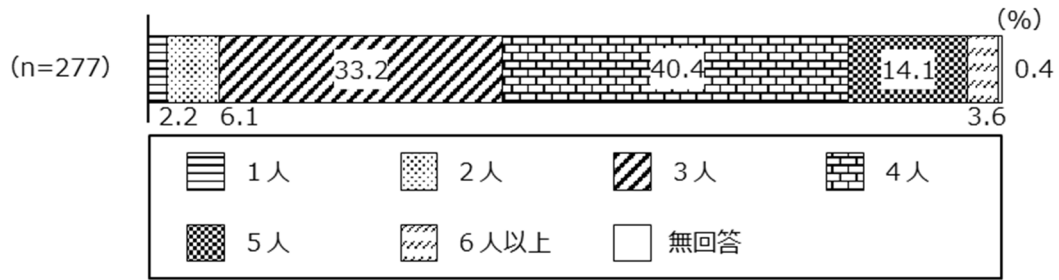
問2 同居の状況 (複数回答)

図表 503



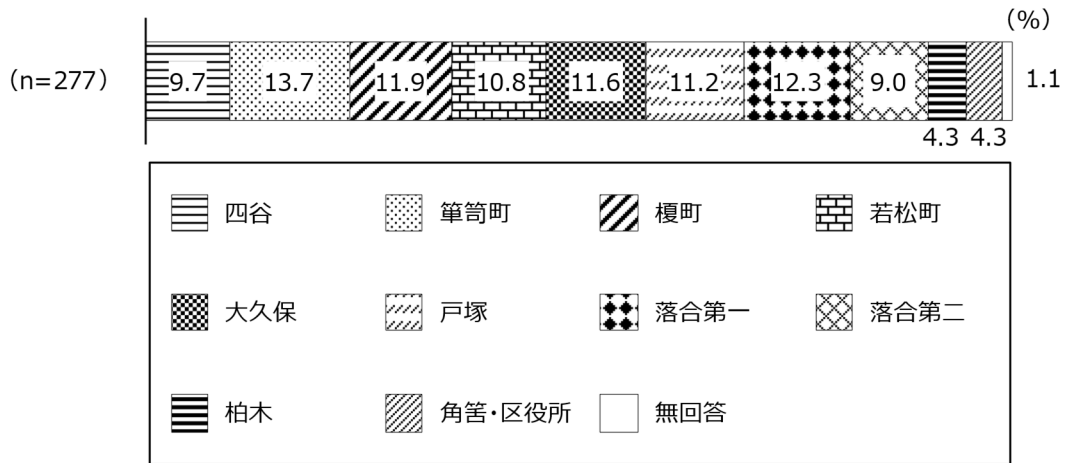
問3 同居家族の人数

図表 504



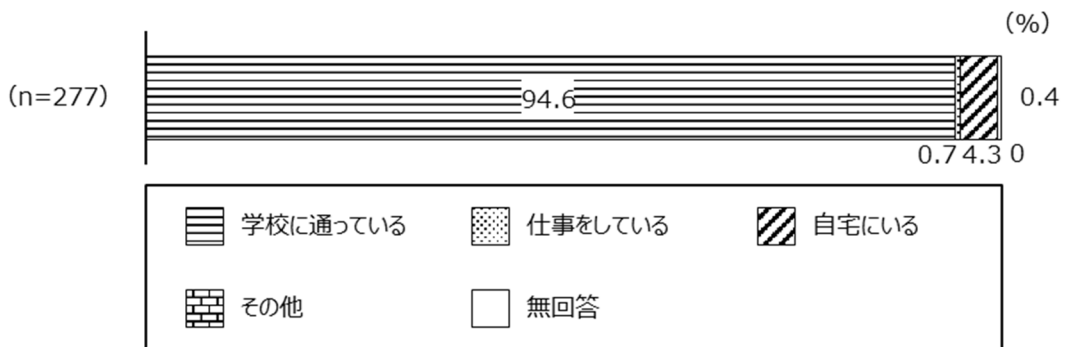
問4 居住地域（特別出張所単位）

図表 505



問5 平日の過ごし方

図表 506

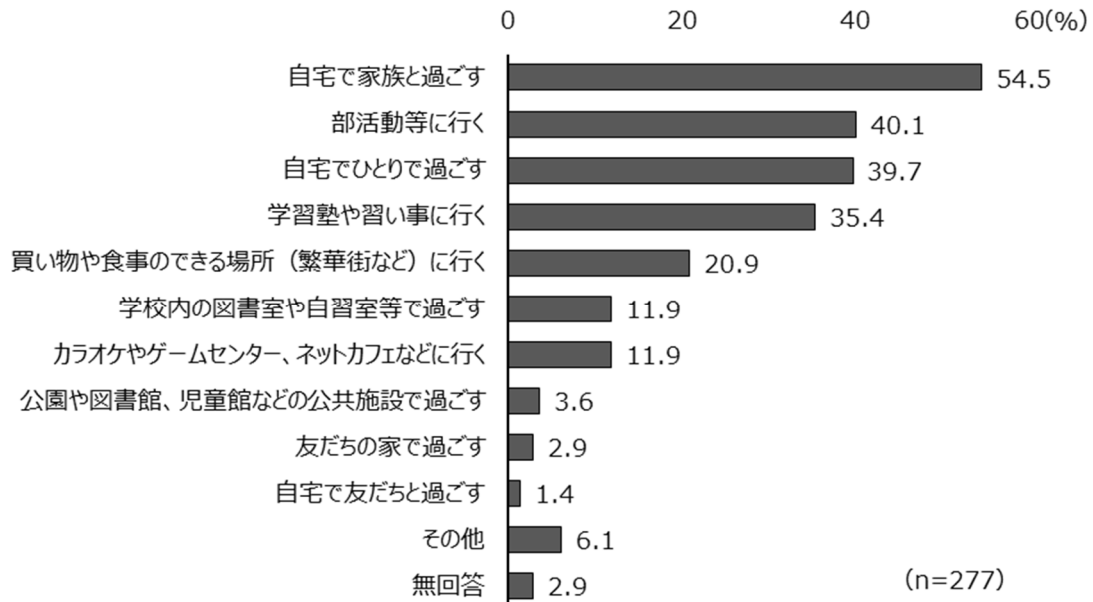


(2) 日常生活について

問6 放課後や仕事終わり、休日の過ごし方（3つまで）

放課後や仕事終わり、休日の過ごし方は、「自宅で家族と過ごす」が 54.5%で最も多く、「部活動等に行く」(40.1%)、「自宅でひとりで過ごす」(39.7%)と続く。

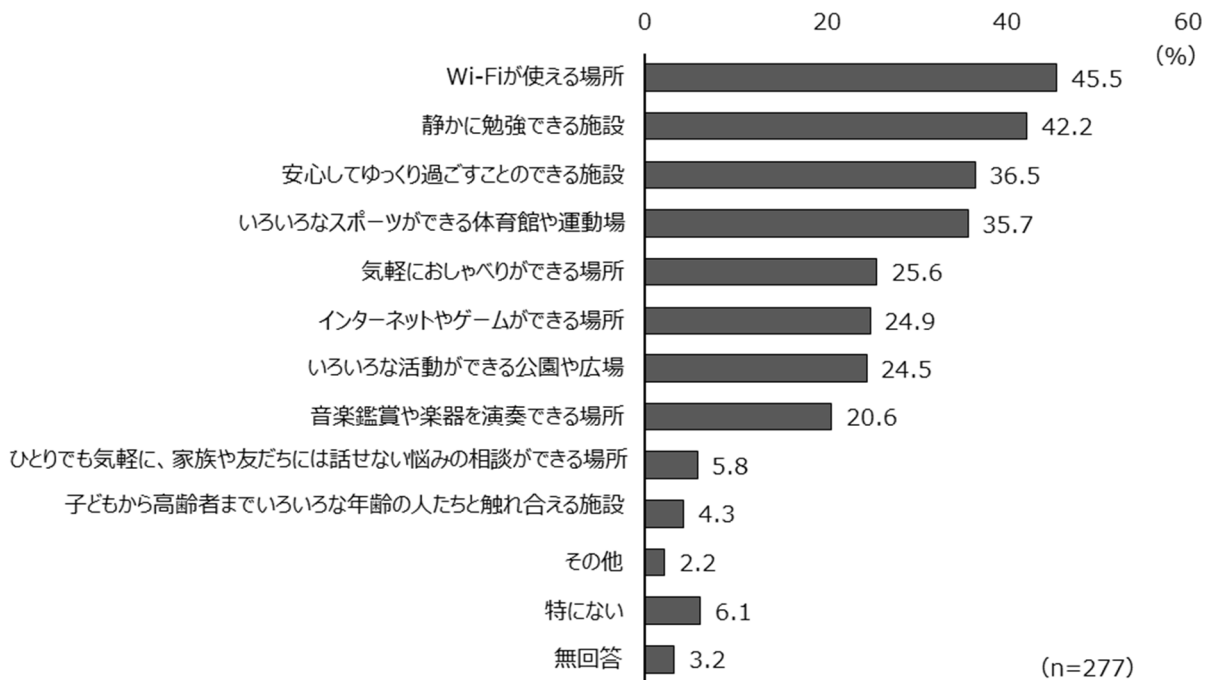
図表 507



問7 学校や職場、家以外で、放課後や休日を過ごすことを希望する場所（複数回答）

学校や職場、家以外で、放課後や休日を過ごすことを希望する場所は、「Wi-Fi が使える場所」が 45.5%で最も多く、「静かに勉強できる施設」(42.2%)、「安心してゆっくり過ごすことのできる施設」(36.5%)と続く。

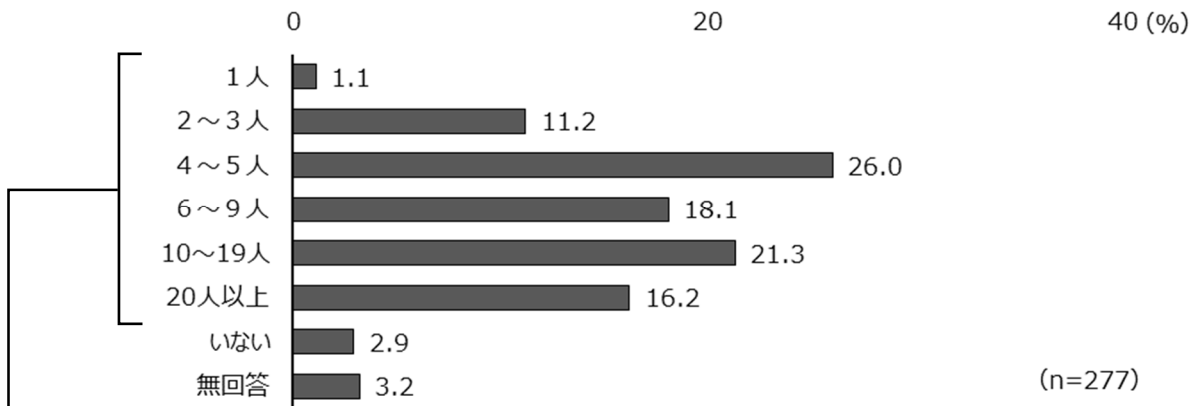
図表 508



問8 一緒に遊んだり話したりする友人の数

一緒に遊んだり話したりする友人の数は、「4～5人」が26.0%で最も多く、「10～19人」(21.3%)、「6～9人」(18.1%)と続く。

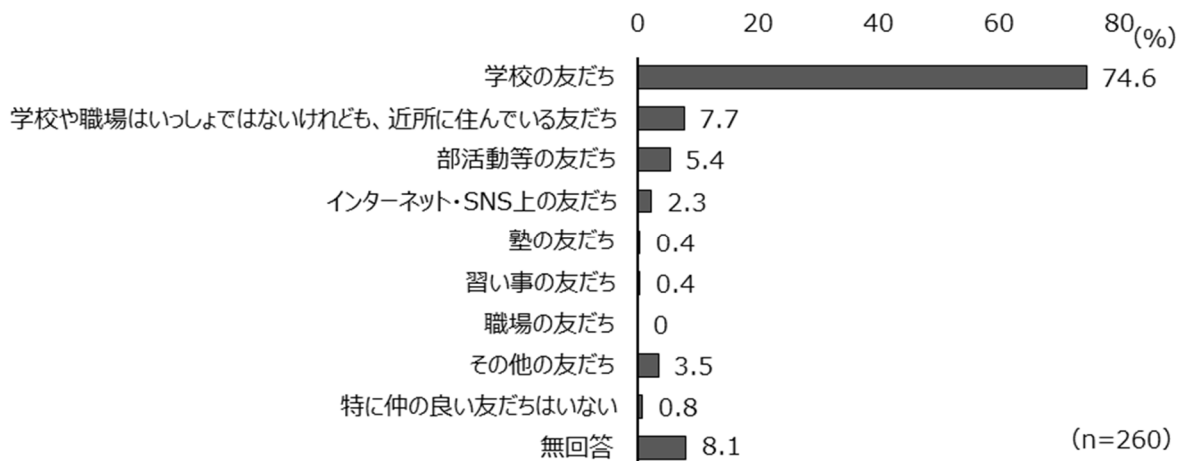
図表 509



問8-1 一番仲が良い友人

一番仲が良い友人は、「学校の友だち」が74.6%で最も多く、「学校や職場はいいじゃないけれども、近所に住んでいる友だち」(7.7%)、「部活動等の友だち」(5.4%)と続く。

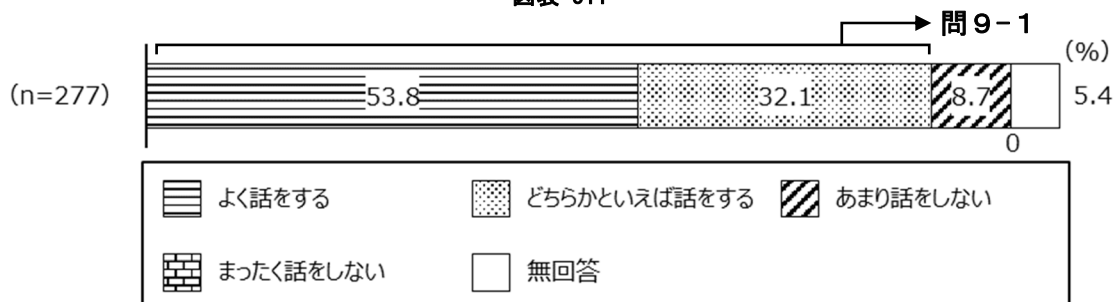
図表 510



問9 普段の家族との会話の程度

普段の家族との会話の程度は、「よく話をする」が53.8%で最も多く、「どちらかといえば話をする」(32.1%)、「あまり話をしない」(8.7%)と続く。

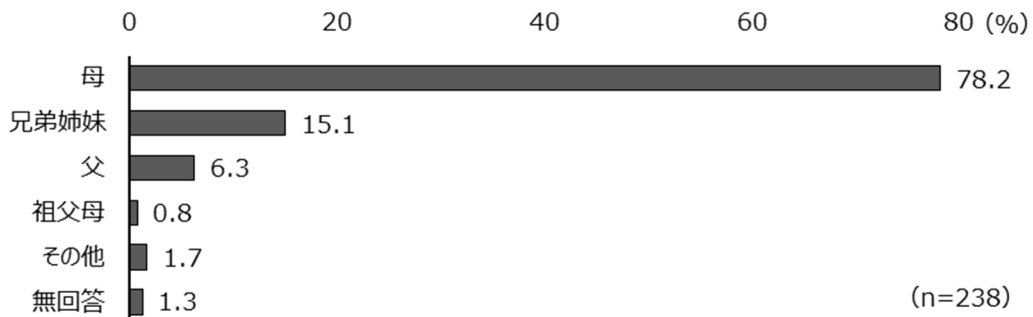
図表 511



問9-1 一番話をする家族

一番話をする家族は、「母」が78.2%で最も多く、「兄弟姉妹」(15.1%)、「父」(6.3%)と続く。

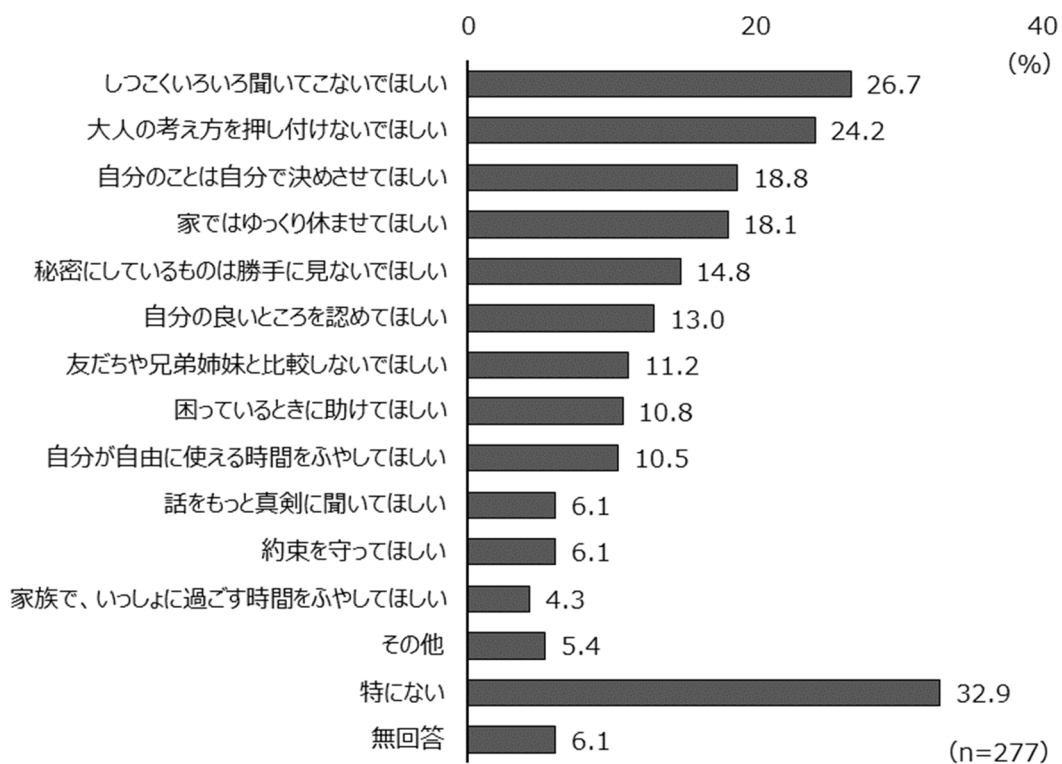
図表 512



問10 一緒に住んでいる家族に、してほしい(してほしくない)と思うこと(複数回答)

一緒に住んでいる家族に、してほしい(してほしくない)と思うことは、「特にない」が32.9%で最も多く、「しつこくいろいろ聞いてこないでほしい」(26.7%)、「大人の考え方を押し付けなくてほしい」(24.2%)と続く。

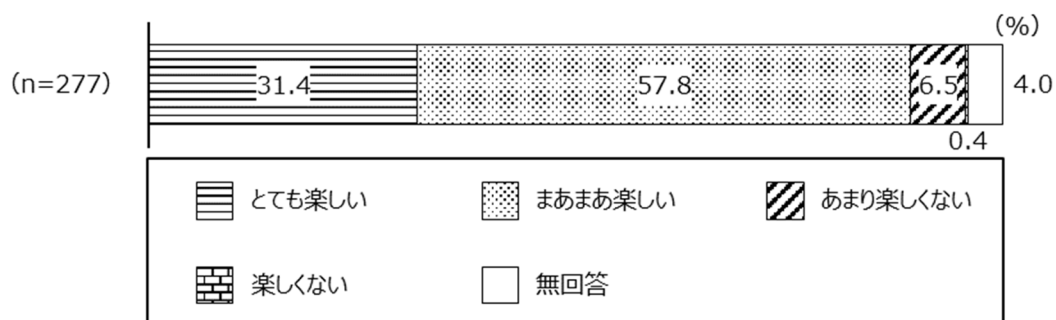
図表 513



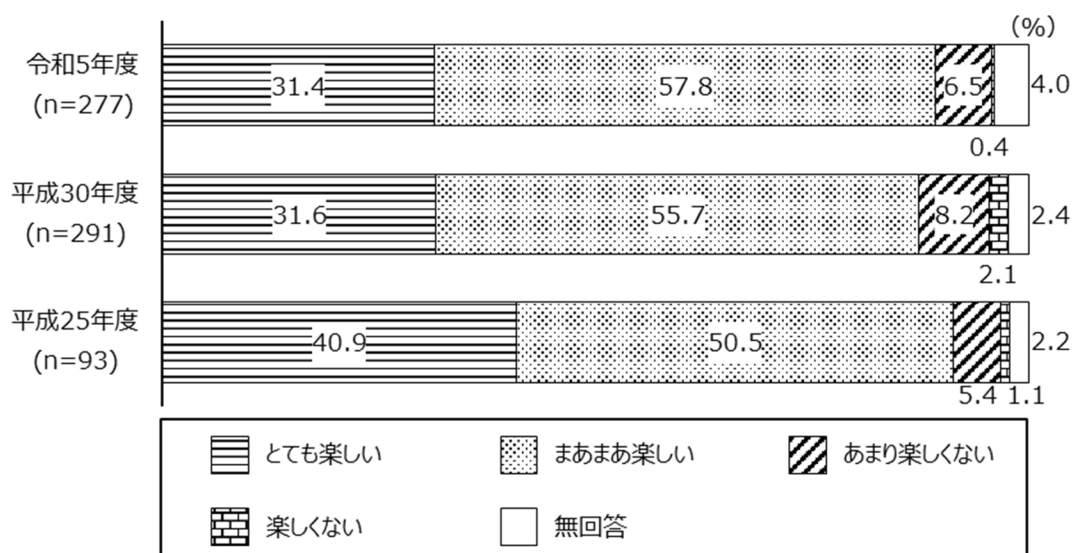
問 1 1 毎日の生活が楽しいか

毎日の生活が楽しいかは、「まあまあ楽しい」が 57.8%で最も多く、「とても楽しい」(31.4%)、「あまり楽しくない」(6.5%)と続く。

図表 514



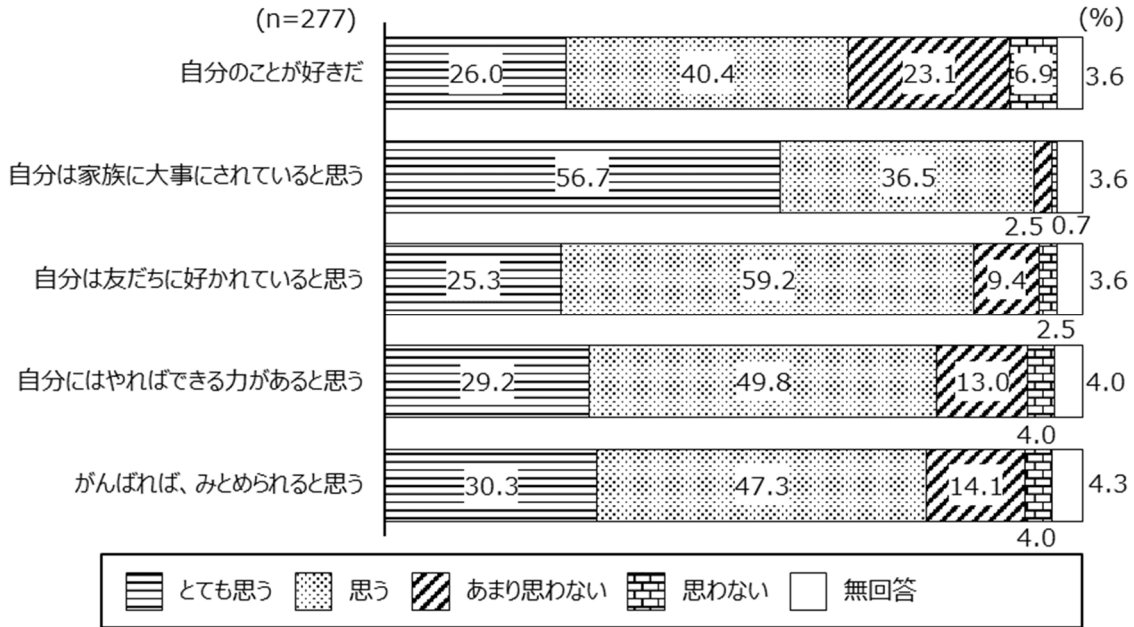
図表 515 毎日の生活が楽しいか（経年比較）



問12 自分についてどう思っているか

自分についてどう思っているかは、「とても思う」が最も多かったのは、「自分は家族に大事にされていると思う」が56.7%で、「がんばれば、みとめられると思う」(30.3%)、「自分にはやればできる力があると思う」(29.2%)と続く。

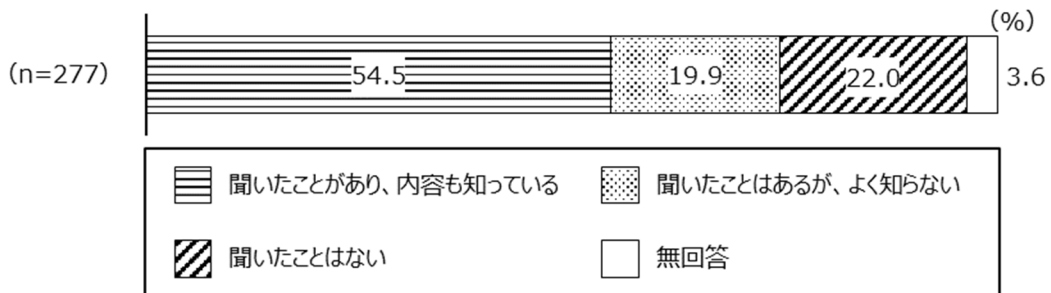
図表 516



問13 ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるか

ヤングケアラーという言葉を知ったことがあるかは、「聞いたことがあり、内容も知っている」が54.5%で最も多く、「聞いたことはない」(22.0%)、「聞いたことはあるが、よく知らない」(19.9%)と続く。

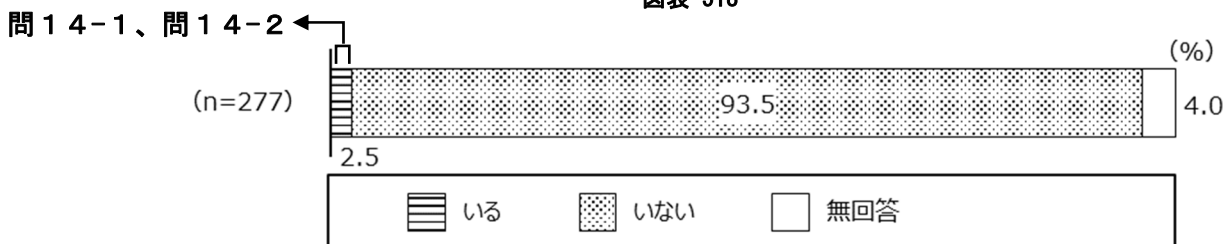
図表 517



問14 家族の中に自分が世話をしている人の有無

家族の中に自分が世話をしている人は、「いない」が93.5%、「いる」は2.5%となっている。

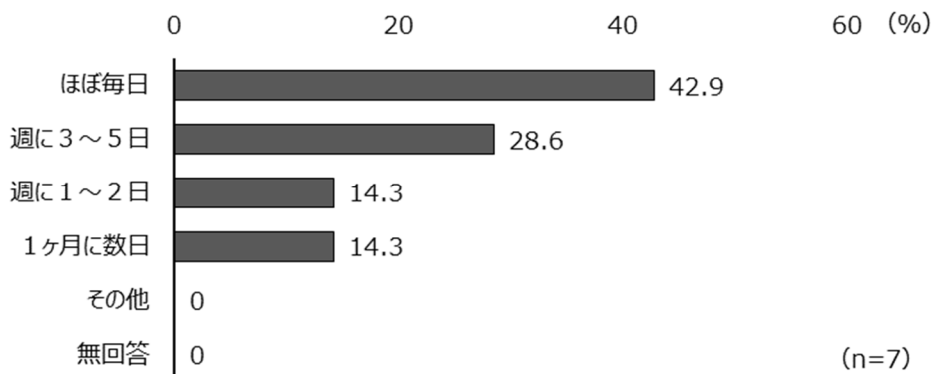
図表 518



問 1 4-1 家族の世話をしている頻度

家族の世話をしている頻度は、「ほぼ毎日」が 42.9%で最も多く、「週に3～5日」(28.6%)、「週に1～2日」と「1ヶ月に数日」がともに 14.3%と続く。

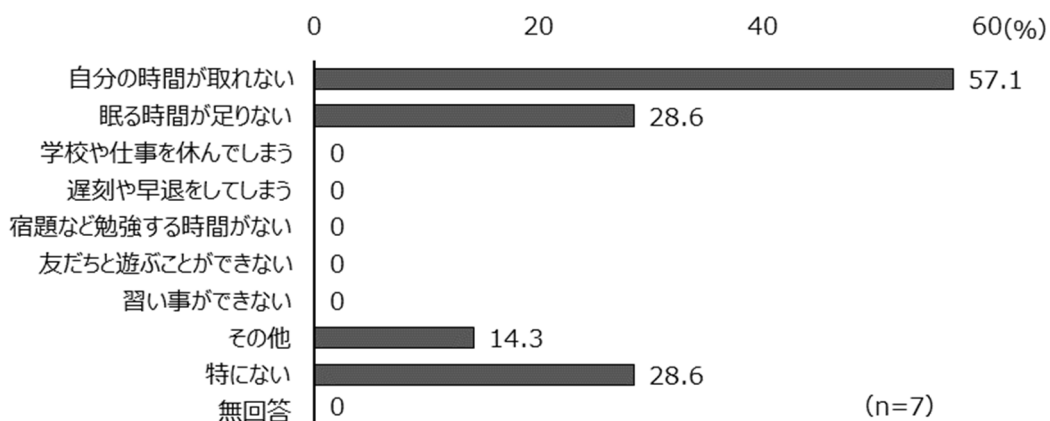
図表 519



問 1 4-2 家族の世話をしているために経験をしたこと (複数回答)

家族の世話をしているために経験をしたことは、「自分の時間が取れない」が 57.1%で最も多く、「眠る時間が足りない」と「特にない」がともに 28.6%と続く。

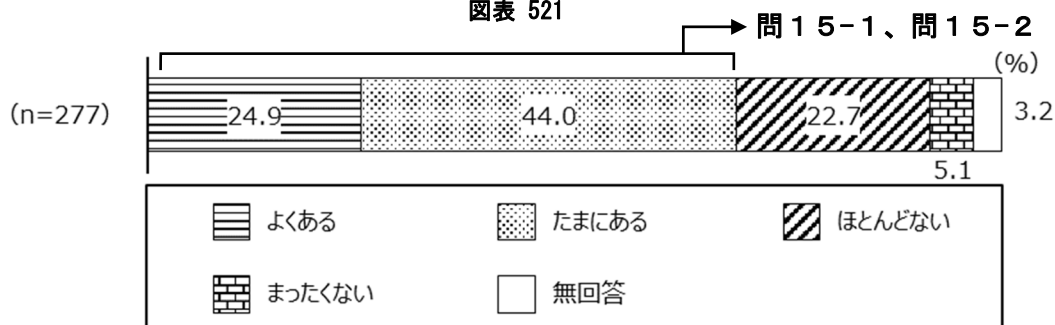
図表 520



問 1 5 悩んだり、困ったりすることの有無

悩んだり、困ったりすることは、「たまにある」が 44.0%で最も多く、「よくある」(24.9%)、「ほとんどない」(22.7%)と続く。

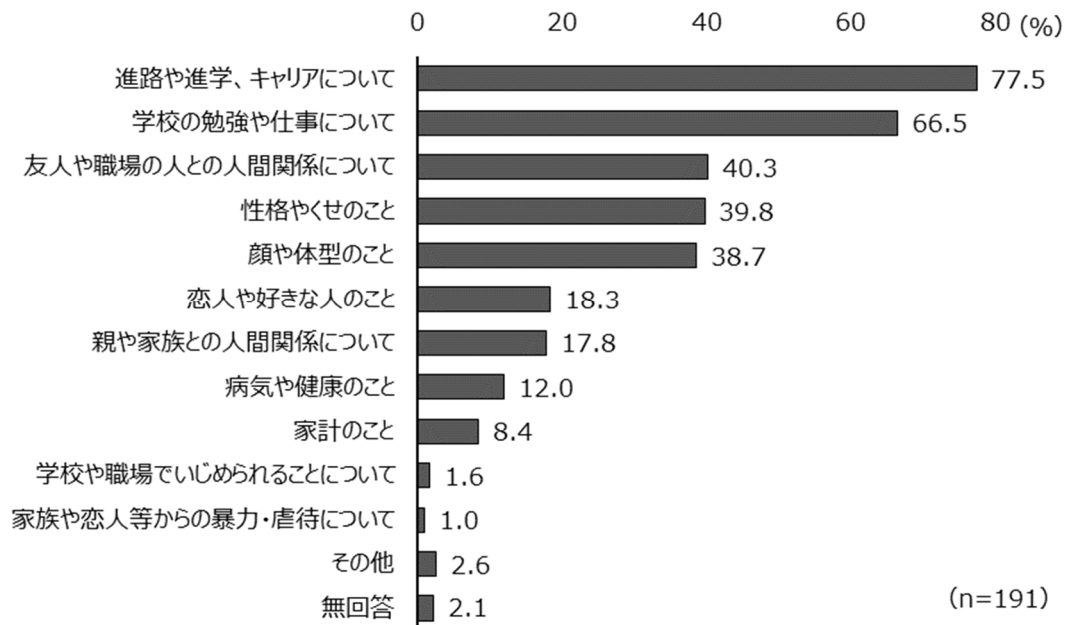
図表 521



問15-1 悩んだり、困ったりすること（複数回答）

悩んだり、困ったりすることは、「進路や進学、キャリアについて」が77.5%で最も多く、「学校の勉強や仕事について」(66.5%)、「友人や職場の人との人間関係について」(40.3%)と続く。

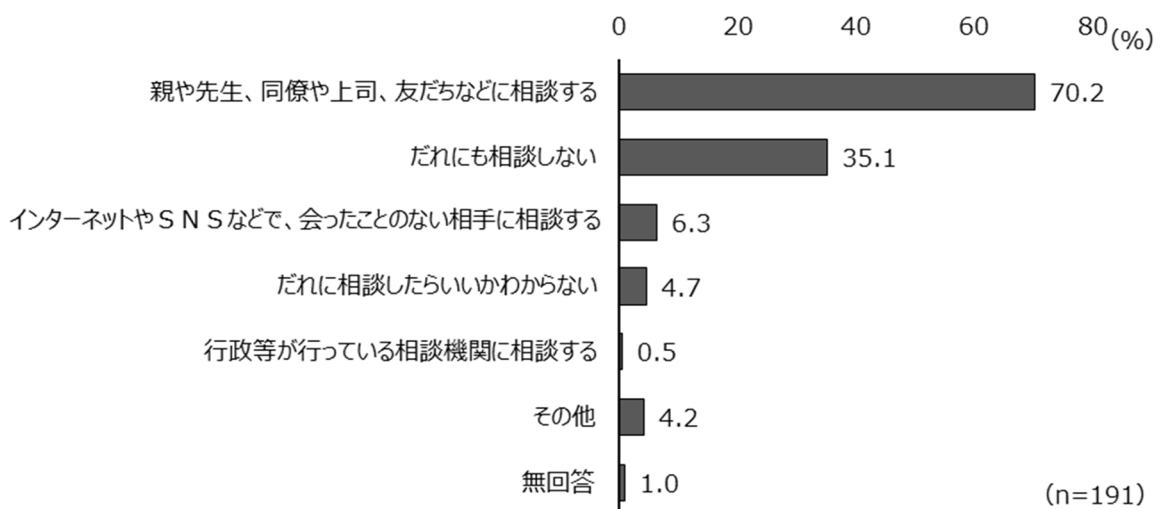
図表 522



問15-2 悩んだり困ったりしたときに、誰（どこ）かに相談するか（複数回答）

悩んだり困ったりしたときに、誰（どこ）かに相談するかは、「親や先生、同僚や上司、友だちなどに相談する」が70.2%で最も多く、「だれにも相談しない」(35.1%)、「インターネットやSNSなどで、会ったことのない相手に相談する」(6.3%)と続く。

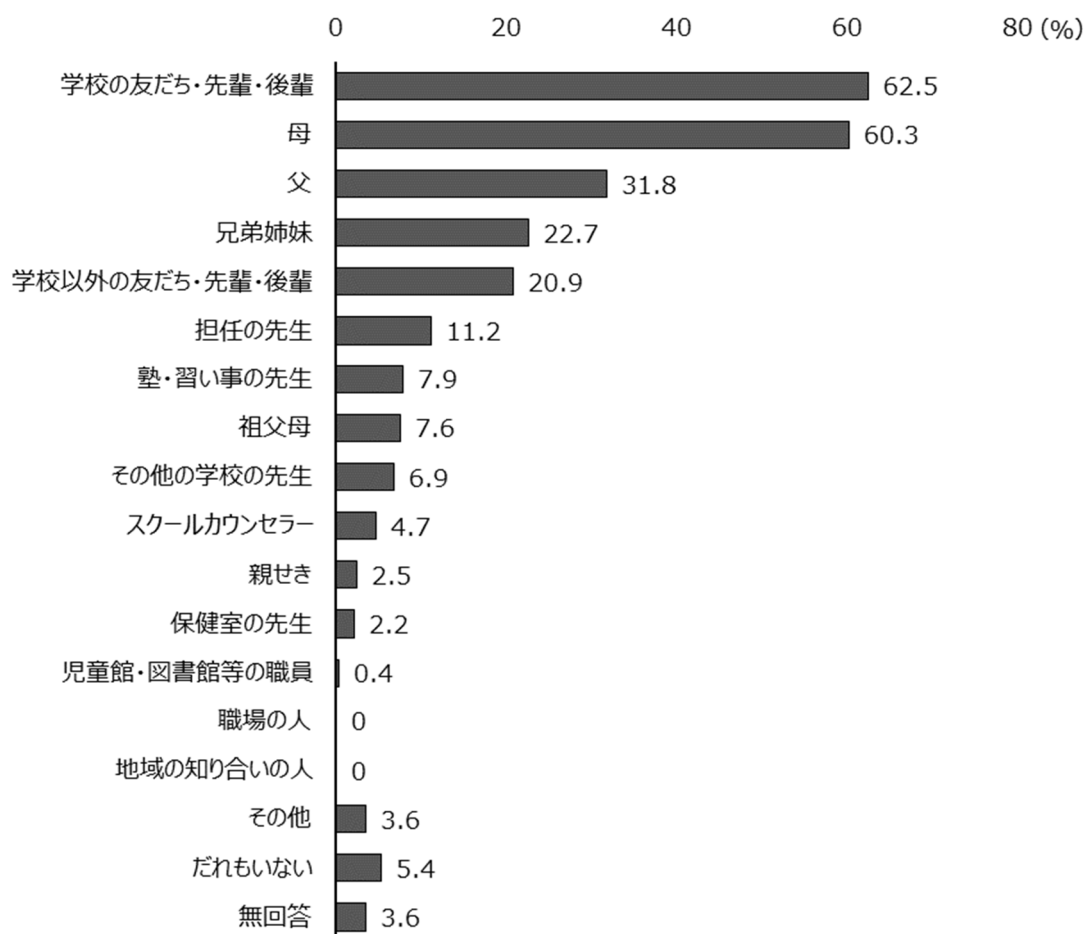
図表 523



問 16 相談したいことや聞いてほしいことを気軽に話せる人（複数回答）

相談したいことや聞いてほしいことを気軽に話せる人は、「学校の友だち・先輩・後輩」が 62.5%で最も多く、「母」（60.3%）、「父」（31.8%）と続く。

図表 524



(n=277)

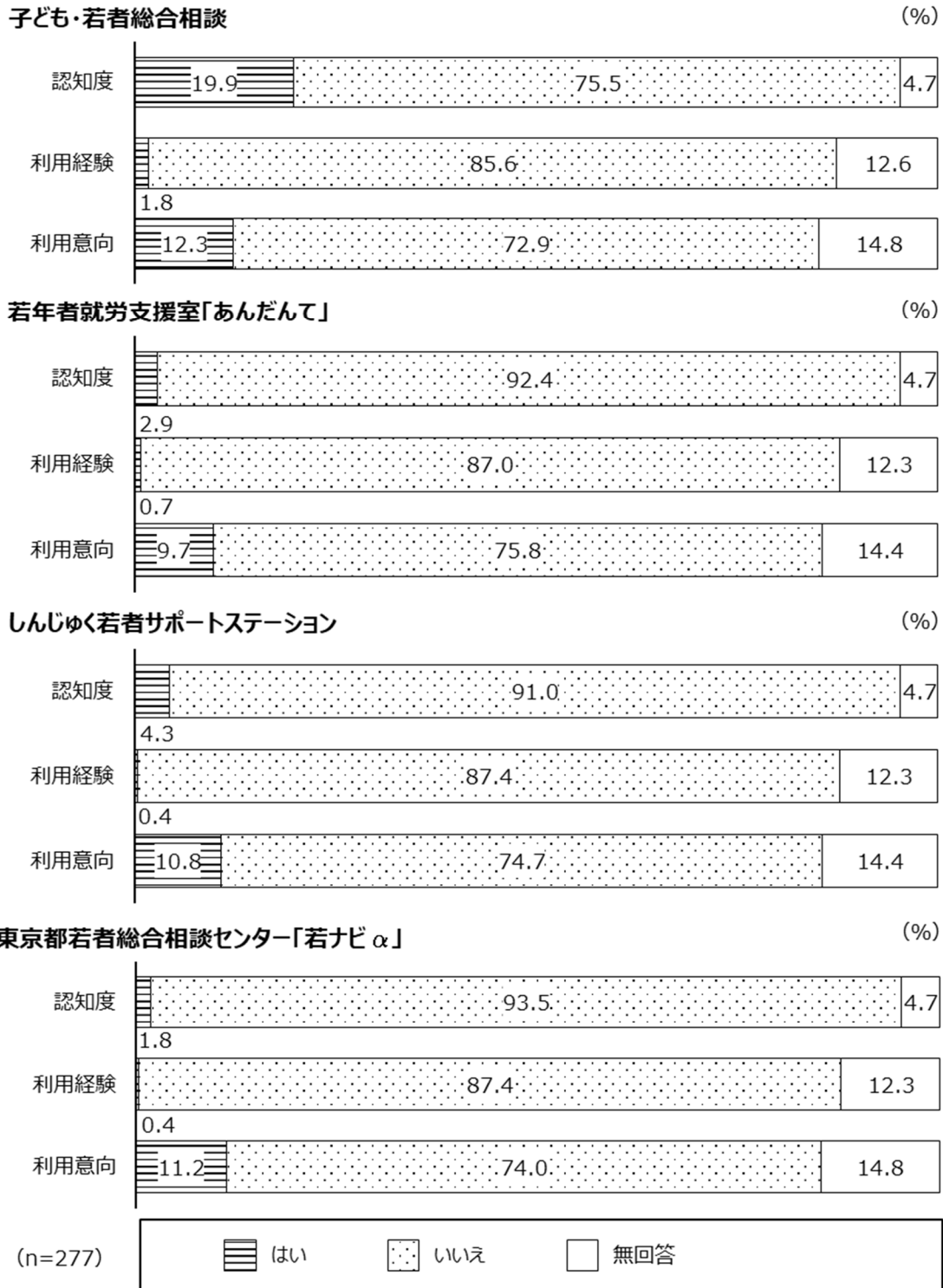
問17 区が提供している相談や情報提供の認知度・利用経験の有無・今後の利用意向

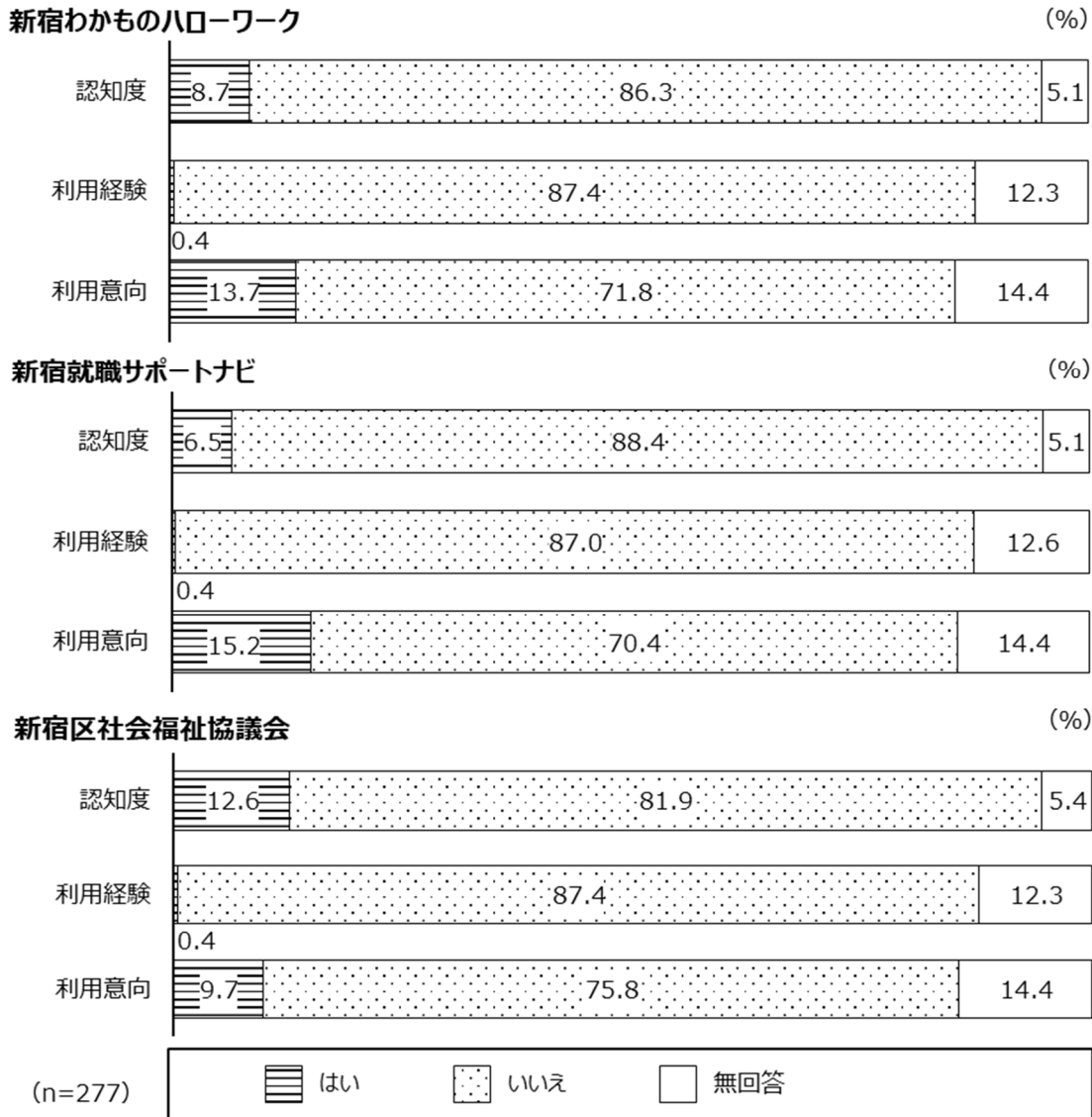
区が提供している相談や情報提供の認知度について、10.0%以上が「知っている」と答えた相談や情報提供は、「子ども・若者総合相談」19.9%と「新宿区社会福祉協議会」12.6%である。

利用したことがある相談や情報提供は、「子ども・若者総合相談」の1.8%以外は1.0%未満である。

相談や情報提供の中で最も「今後利用したい」の割合が高いのは「新宿就職サポートナビ」15.2%である。

図表 525

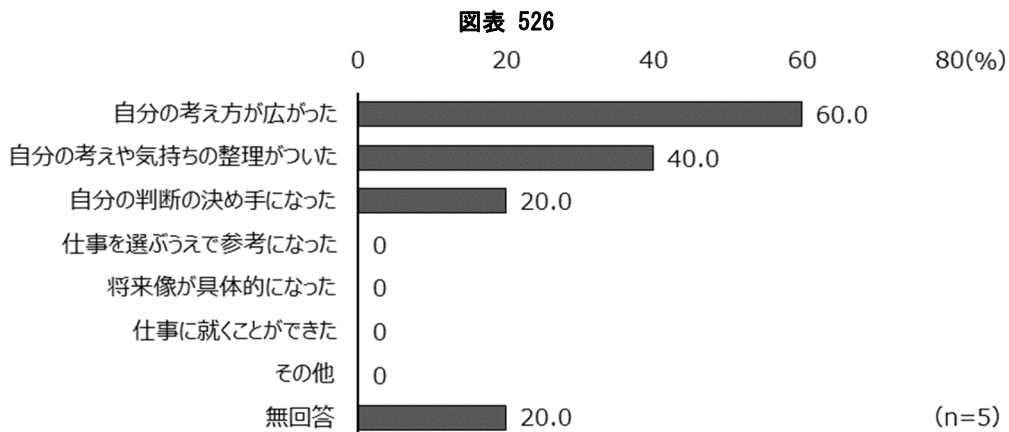




問17-1 相談した結果、どのように役立ったか（3つまで）

【問17の相談や情報提供を利用したことがある方（利用経験を「はい」と答えた方）が回答】

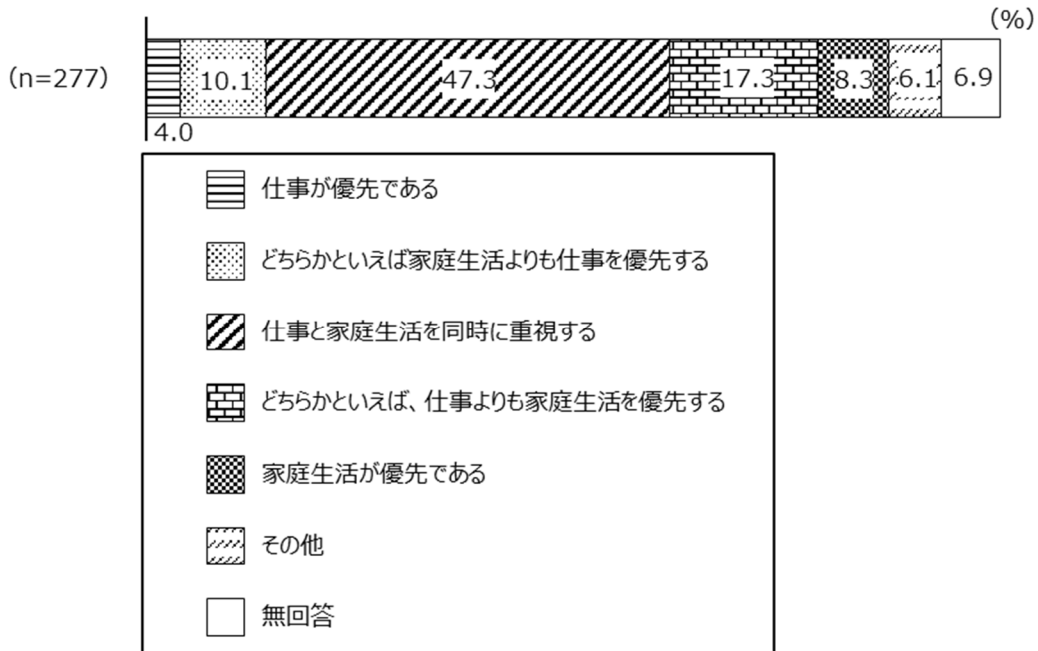
相談した結果、どのように役立ったかは、「自分の考え方が広がった」が60.0%で最も多く、「自分の考えや気持ちの整理がついた」(40.0%)、「自分の判断の決め手になった」(20.0%)と続く。



問 18 仕事と生活のバランスについての考え

仕事と生活のバランスについての考えは、「仕事と家庭生活を同時に重視する」が47.3%で最も多く、「どちらかといえば、仕事よりも家庭生活を優先する」(17.3%)、「どちらかといえば家庭生活よりも仕事を優先する」(10.1%)、と続く。

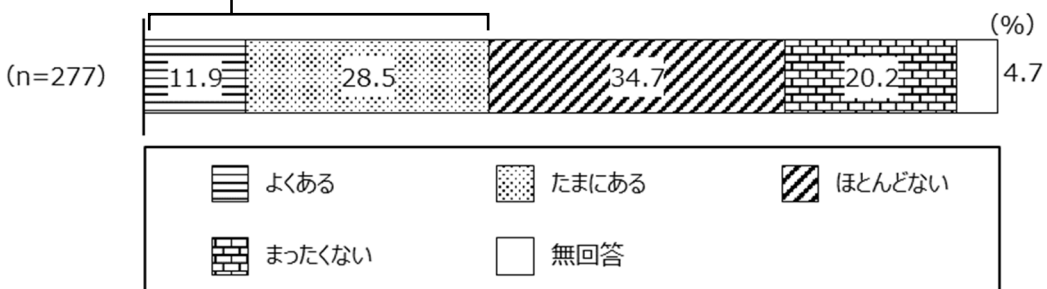
図表 527



問 19 病気や体調不良以外の理由で、学校や仕事に行きたくないと感じることの有無

病気や体調不良以外の理由で、学校や仕事に行きたくないと感じることは、「ほとんどない」が34.7%で最も多く、「たまにある」(28.5%)、「まったくない」(20.2%)と続く。

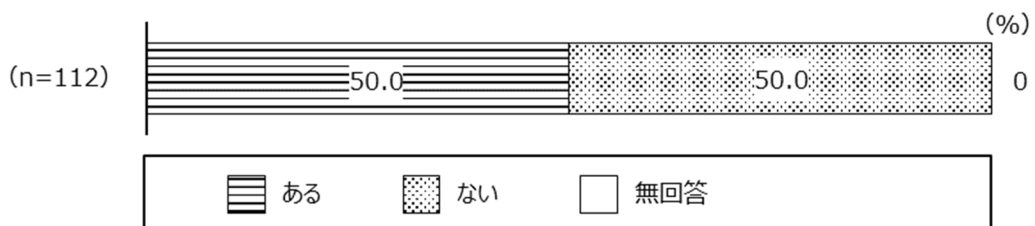
問 19-1 図表 528



問 19-1 実際に欠席・欠勤したことの有無

実際に欠席・欠勤したことは、「ある」と「ない」がともに50.0%となっている。

図表 529

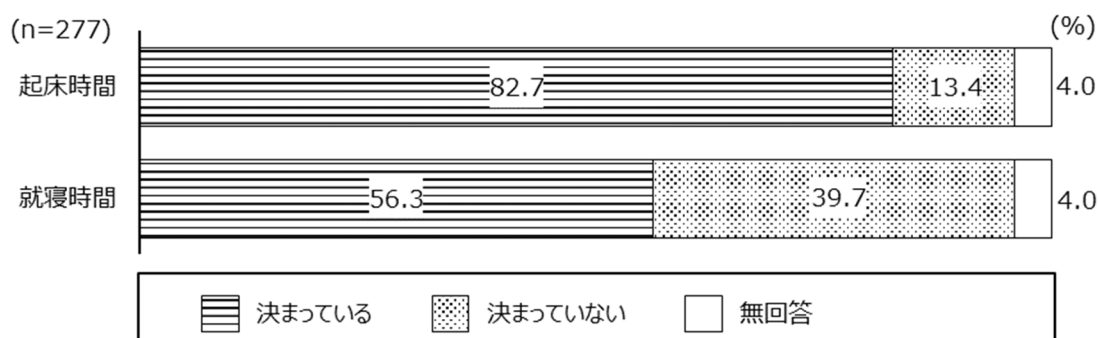


(3) 食事等の生活習慣と社会的ルールについて

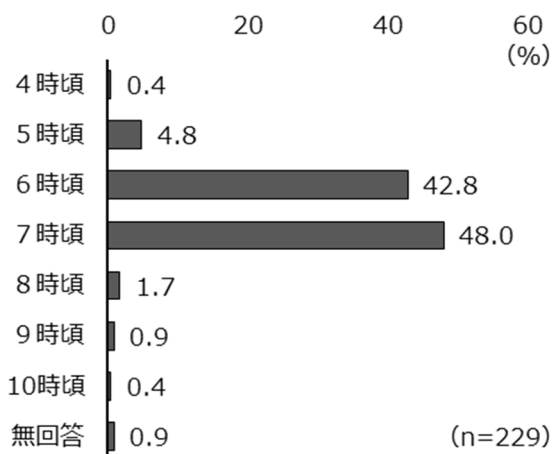
問20 平日の起床・就寝時間が決まっているか、おおよその時間、入浴の習慣

平日の起床・就寝時間について、「決まっている」は、「起床」82.7%、「就寝」56.3%となっている。
入浴の習慣は、「毎日入る」が87.7%となっている。

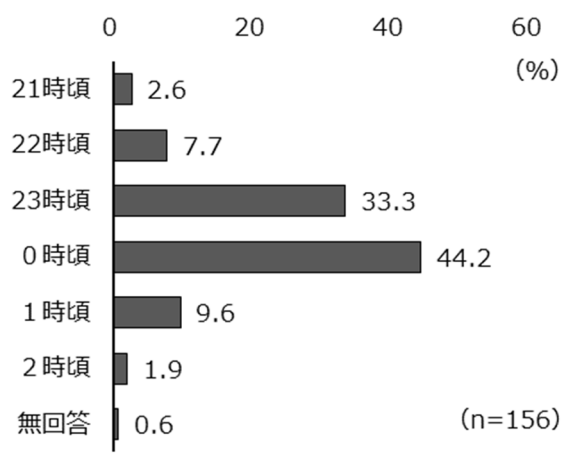
図表 530 平日の起床・就寝時間が決まっているか



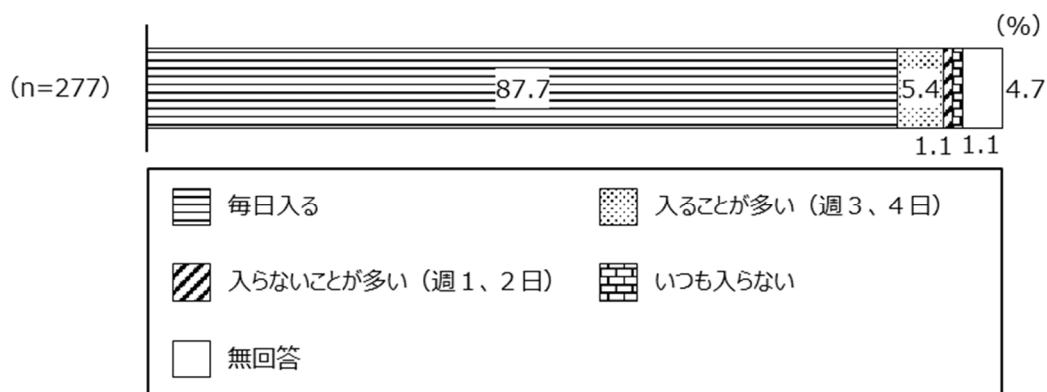
図表 531 起床時間



図表 532 就寝時間



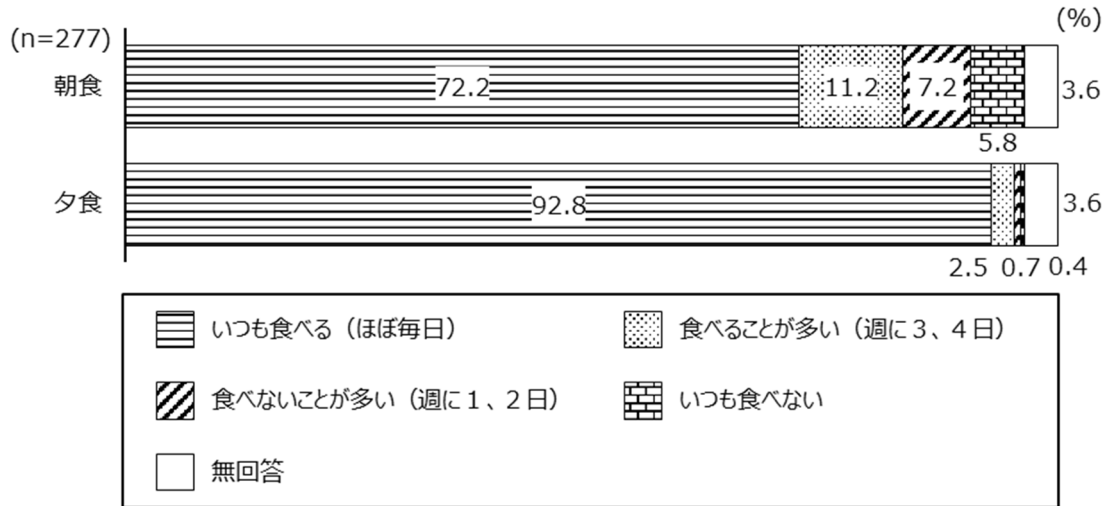
図表 533 入浴（シャワーのみも含む）の習慣



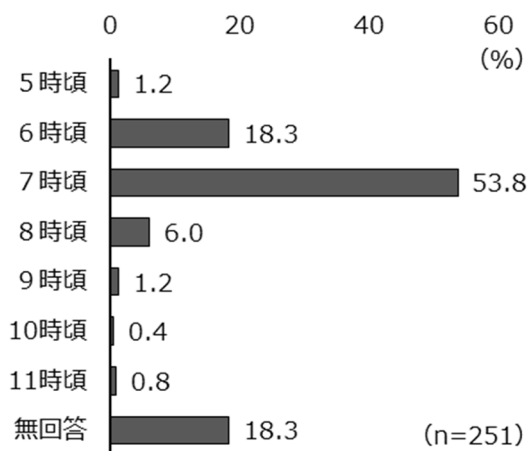
問2 1 平日の朝食・夕食、長い休みの時の昼食の習慣、食事の時間、食べない理由

朝食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が72.2%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(11.2%)と続く。
 夕食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が92.8%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(2.5%)と続く。
 朝食をとる時間は、「7時頃」が53.8%で最も多く、「6時頃」(18.3%)、「8時頃」(6.0%)と続く。
 夕食をとる時間は、「19時頃」が33.1%で最も多く、「20時頃」(23.7%)、「21時頃」(10.9%)と続く。

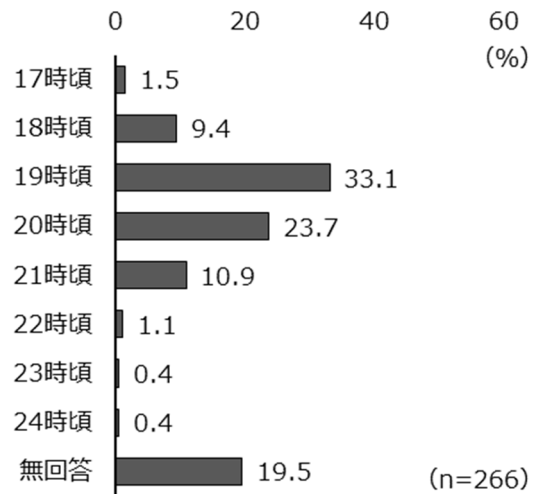
図表 534 平日の朝食・夕食の習慣



図表 535 朝食の時間



図表 536 夕食の時間

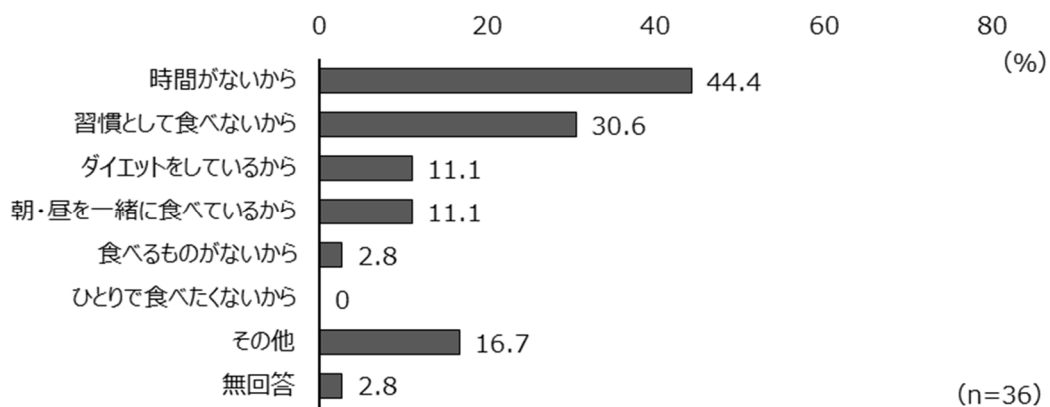


II-7 青少年調査結果

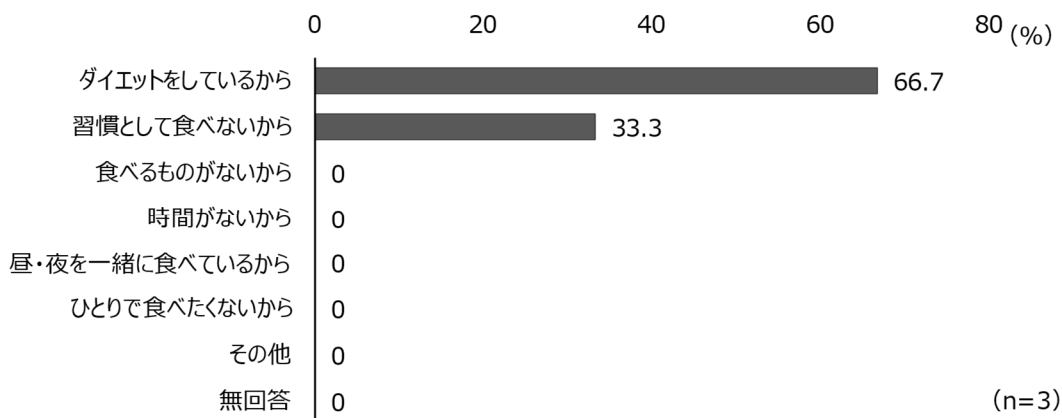
朝食を食べない理由は、「時間がないから」が 44.4%で最も多く、「習慣として食べないから」(30.6%)と続く。

夕食を食べない理由は、「ダイエットをしているから」が 66.7%で最も多く、「習慣として食べないから」(33.3%)と続く。

図表 537 朝食を食べない理由



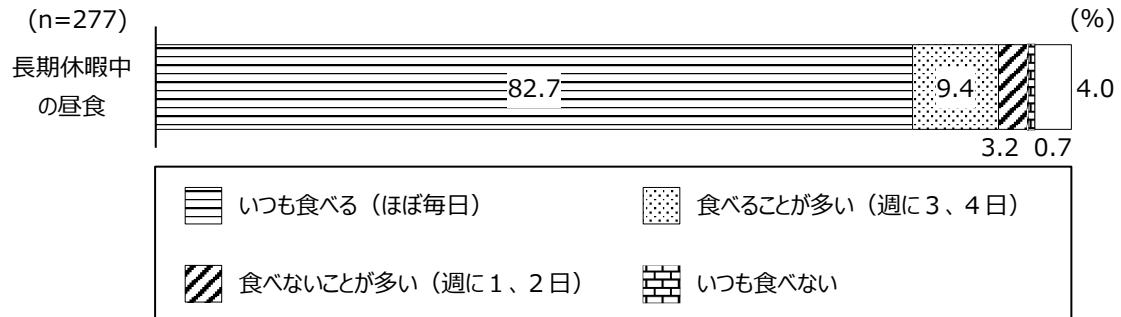
図表 538 夕食を食べない理由



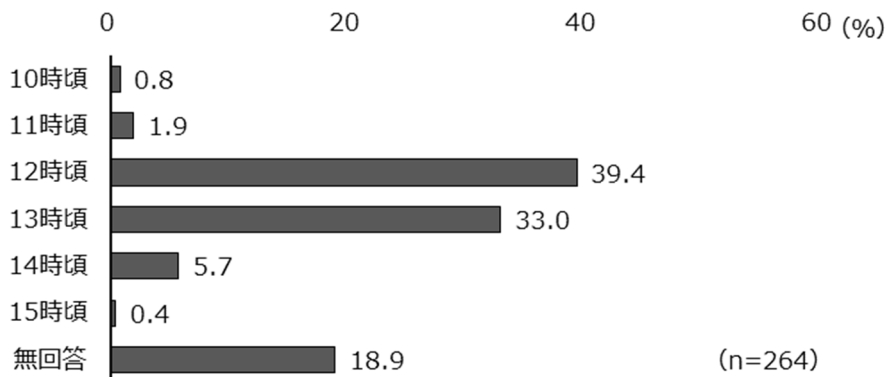
長期休暇中の昼食は、「いつも食べる(ほぼ毎日)」が 82.7%で最も多く、「食べることが多い(週に3、4日)」(9.4%)と続く。

長期休暇中の昼食をとる時間は、「12時頃」が 39.4%で最も多く、「13時頃」(33.0%)、「14時頃」(5.7%)と続く。

図表 539 長期休暇中の昼食の習慣

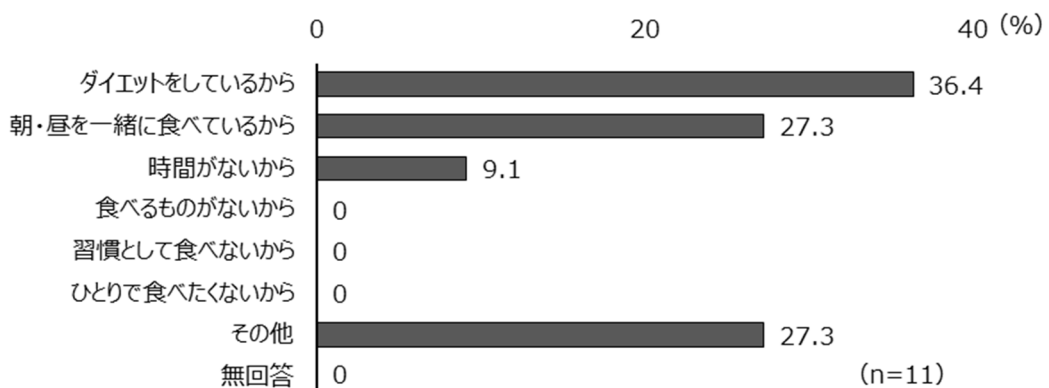


図表 540 長期休暇中の昼食の時間



昼食を食べない理由は、「ダイエットをしているから」が 36.4%で最も多く、「朝・昼を一緒に食べているから」(27.3%)と続く。

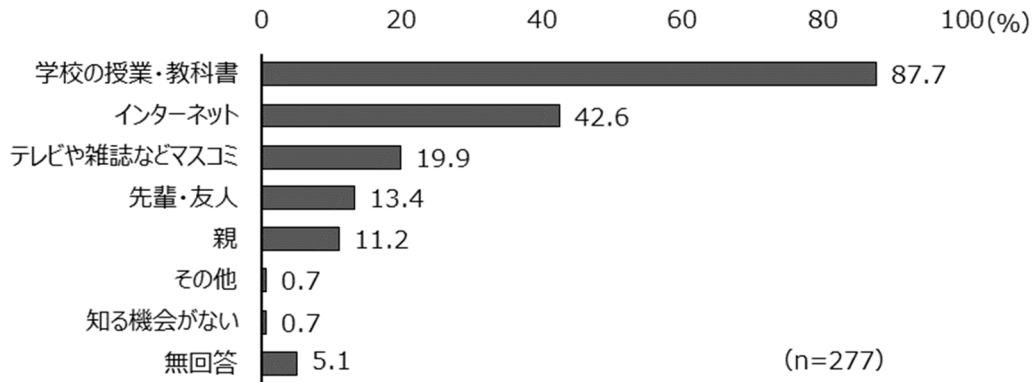
図表 541 長期休暇中の昼食を食べない理由



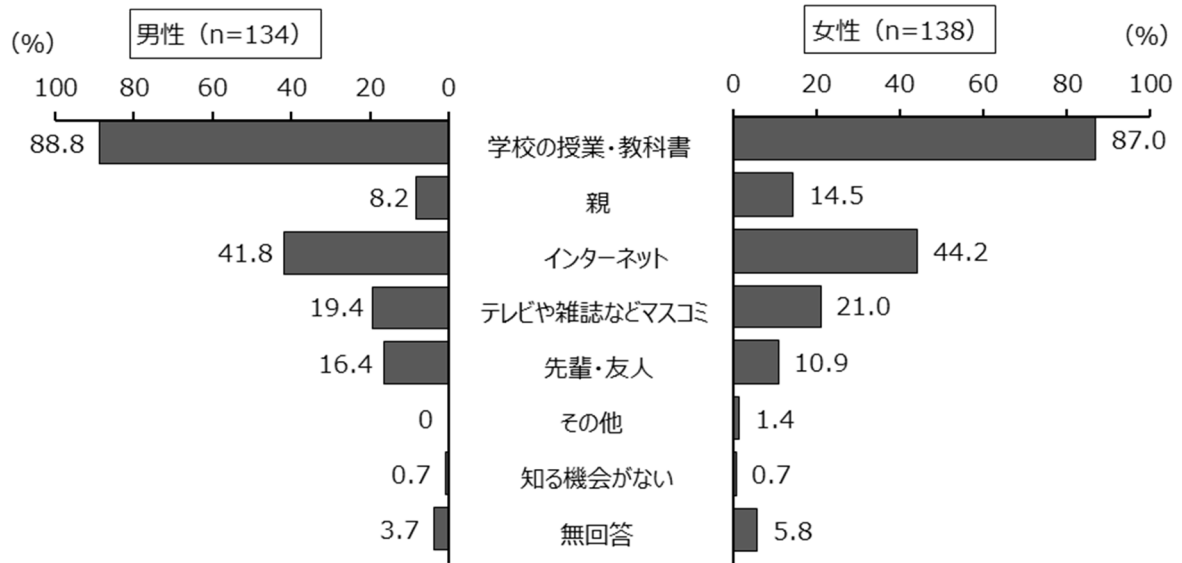
問22 「妊娠・避妊」「性感染症」「薬物がころや身体に与える影響」について情報を得た方法（複数回答）

「妊娠・避妊」「性感染症」「薬物がころや身体に与える影響」について情報を得た方法は、「学校の授業・教科書」が87.7%で最も多く、「インターネット」(42.6%)、「テレビや雑誌などマスコミ」(19.9%)と続く。

図表 542



図表 543 「妊娠・避妊」「性感染症」「薬物がころや身体に与える影響」について情報を得た方法（男女別）

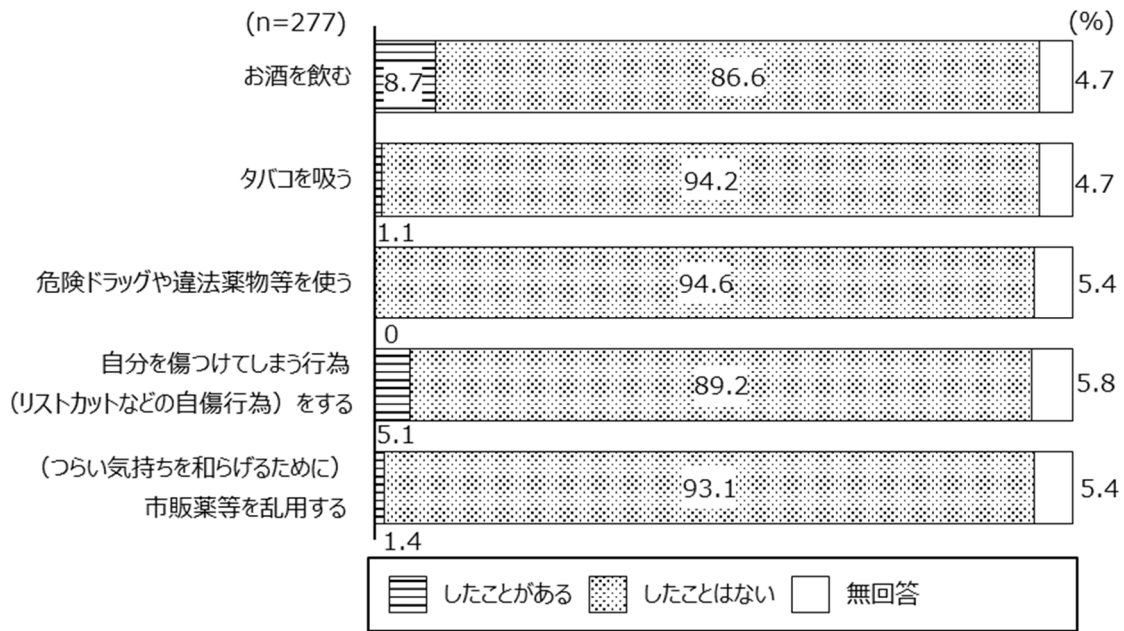


問23 経験の有無といけないと思う程度

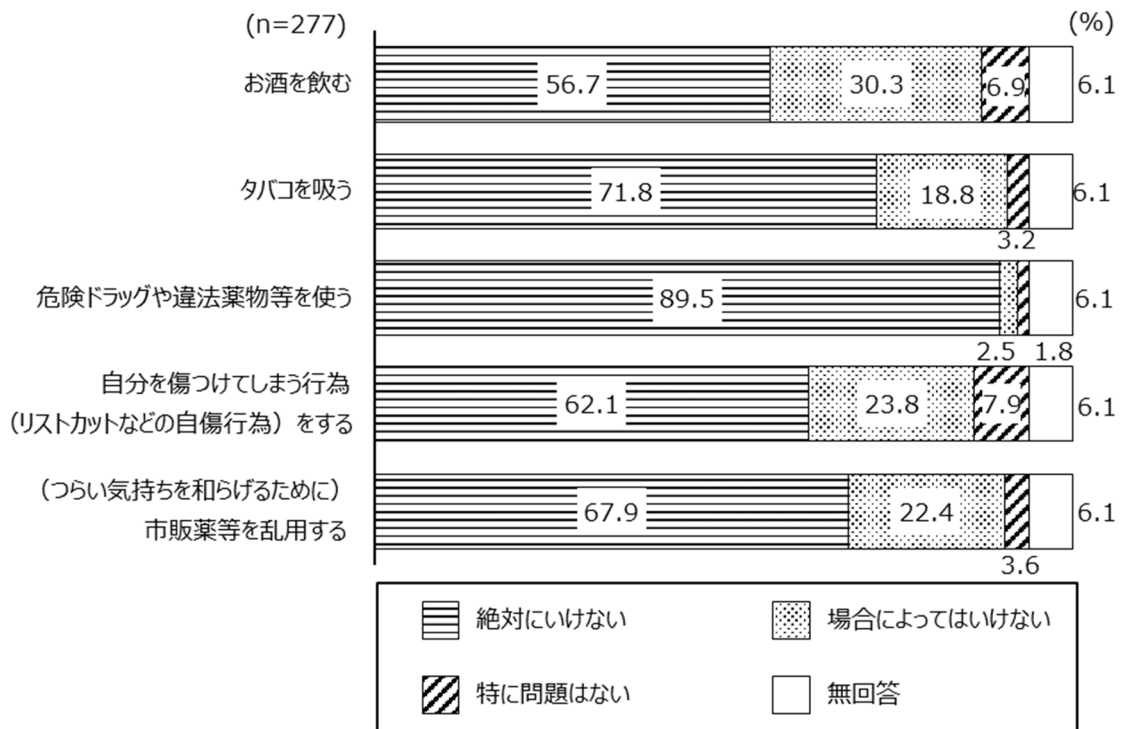
経験の有無については、「したことがある」が最も多かったのは、「お酒を飲む」が 8.7%で、「自分を傷つけてしまう行為(リストカットなどの自傷行為)をする」(5.1%)、「(つらい気持ちを和らげるために)市販薬等を乱用する」(1.4%)と続く。

いけないと思う程度については、「絶対にいけない」が最も多かったのは、「危険ドラッグや違法薬物等を使う」が 89.5%で、「タバコを吸う」(71.8%)、「(つらい気持ちを和らげるために)市販薬等を乱用する」(67.9%)と続く。

図表 544 経験の有無



図表 545 いけないと思う程度

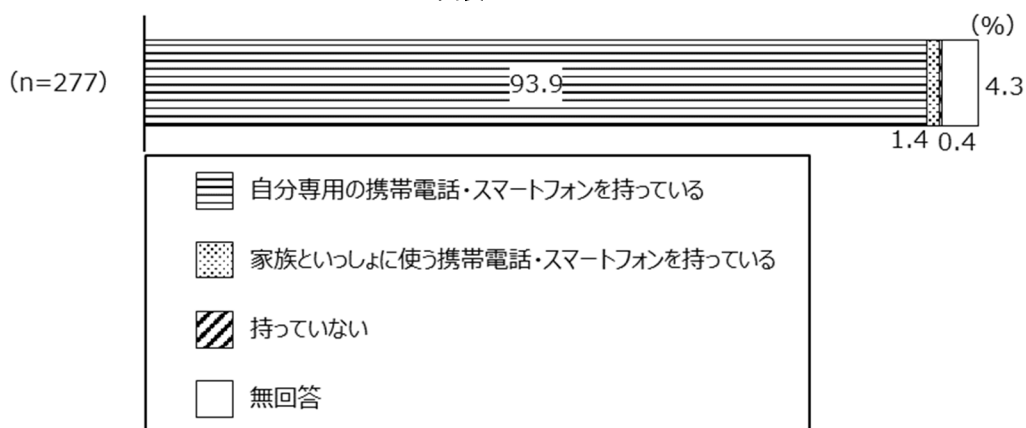


(4) インターネット等の利用について

問24 携帯電話・スマートフォンの保有状況

携帯電話・スマートフォンの保有状況は、「自分専用の携帯電話・スマートフォンを持っている」が 93.9%で最も多く、「家族といっしょに使う携帯電話・スマートフォンを持っている」(1.4%)、「持っていない」(0.4%)と続く。

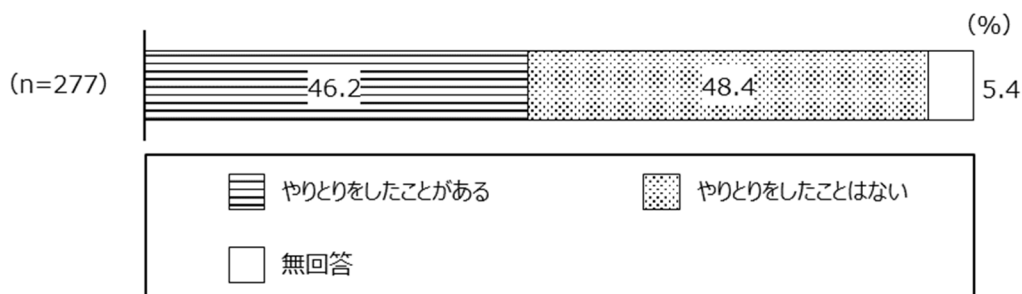
図表 546



問25 インターネット環境において、不特定の人とやりとりした経験の有無

インターネット環境において、不特定の人とやりとりした経験について、「やりとりをしたことはない」は 48.4%、「やりとりをしたことがある」は 46.2%となっている。

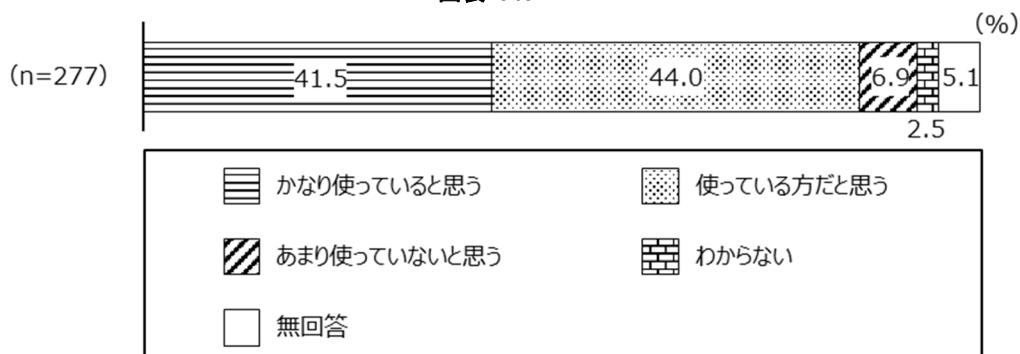
図表 547



問26 パソコン、携帯電話・スマートフォン、ゲーム機の使用時間の自己評価

パソコン、携帯電話・スマートフォン、ゲーム機の使用時間の自己評価は、「使っている方だと思う」が 44.0%で最も多く、「かなり使っていると思う」(41.5%)、「あまり使っていないと思う」(6.9%)と続く。

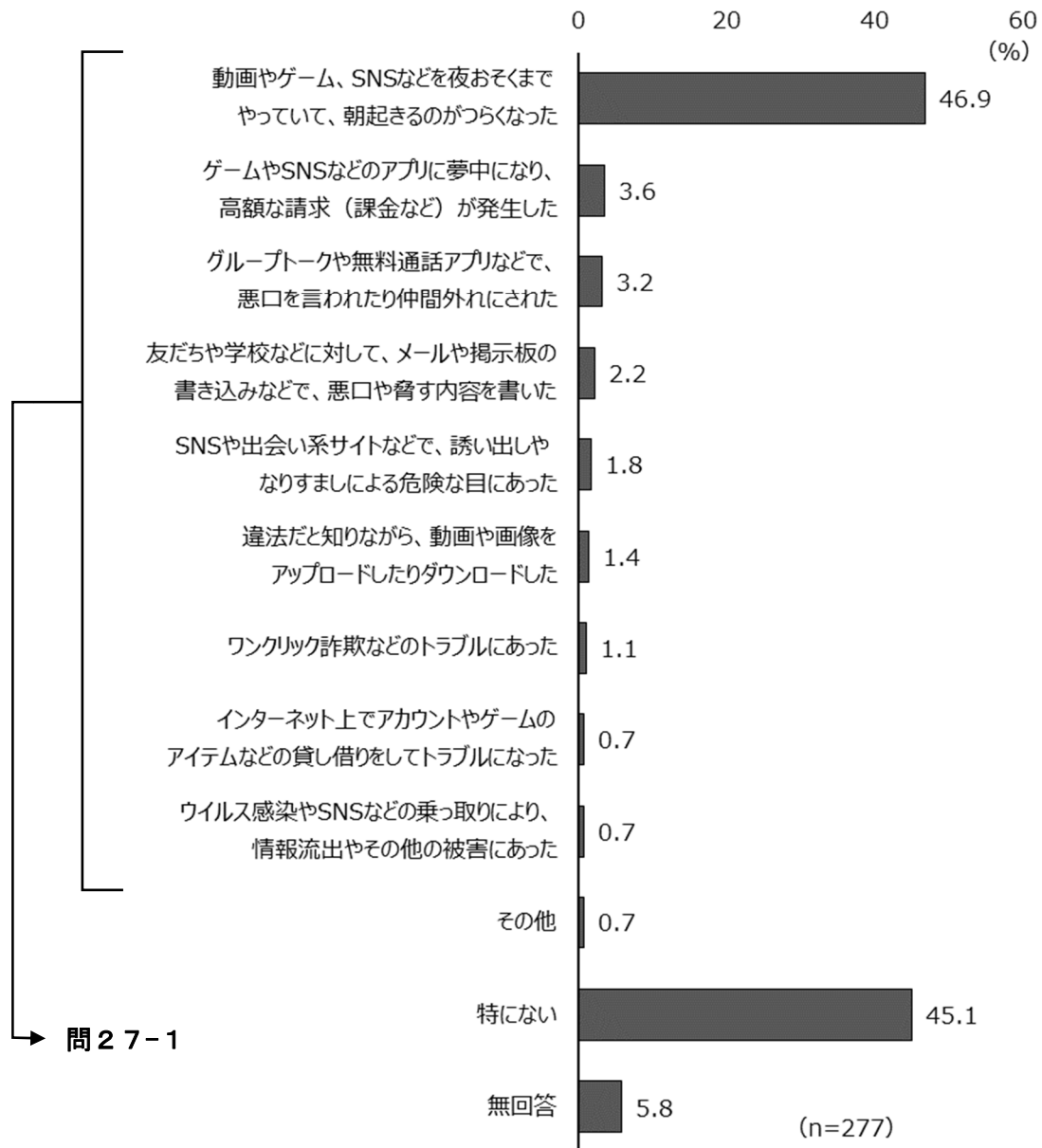
図表 548



問27 インターネットを利用して経験したこと（複数回答）

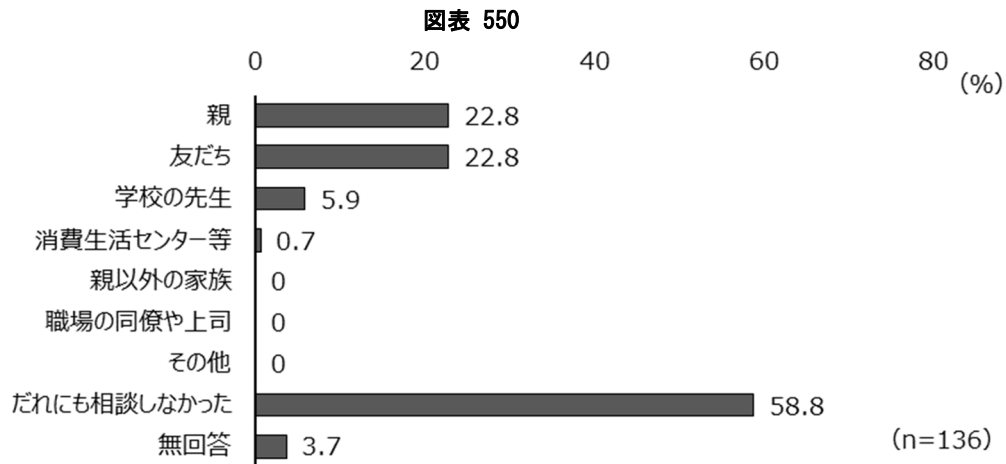
インターネットを利用して経験したことは、「動画やゲーム、SNSなどを夜おそくまでやっていて、朝起きるのがつらくなった」が46.9%で最も多く、「特にない」(45.1%)、「ゲームやSNSなどのアプリに夢中になり、高額な請求（課金など）が発生した」(3.6%)と続く。

図表 549



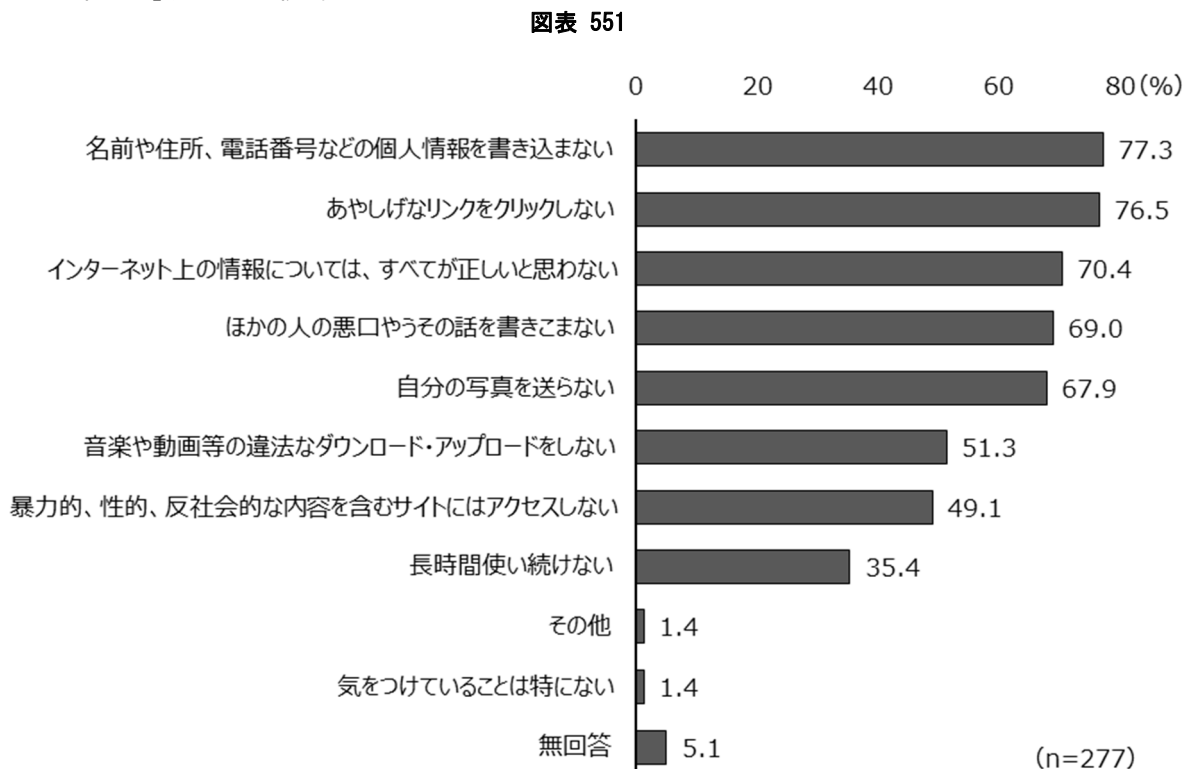
問 27-1 誰か（どこか）に相談したか（複数回答）

誰か（どこか）に相談したかは、「だれにも相談しなかった」が 58.8%で最も多く、「親」と「友だち」がともに 22.8%と続く。



問 28 インターネットを使うときに気をつけていること（複数回答）

インターネットを使うときに気をつけていることは、「名前や住所、電話番号などの個人情報を書き込まない」が 77.3%で最も多く、「あやしげなリンクをクリックしない」(76.5%)、「インターネット上の情報については、すべてが正しいと思わない」(70.4%)と続く。

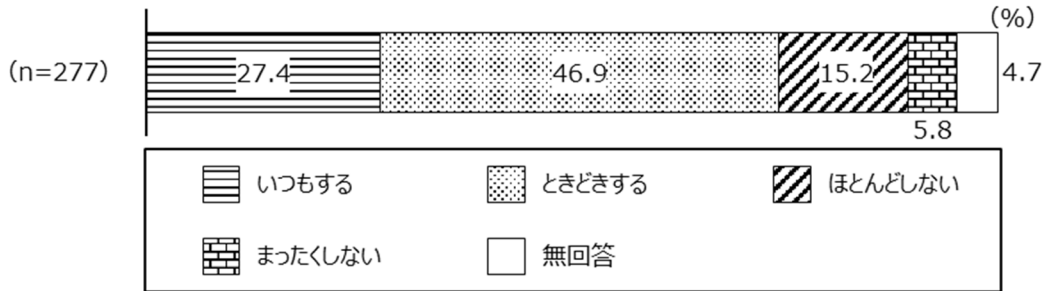


(5) 近所の人や地域との関わり方について

問29 近所や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするものの有無

近所や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするものは、「ときどきする」が46.9%で最も多く、「いつもする」(27.4%)、「ほとんどしない」(15.2%)と続く。

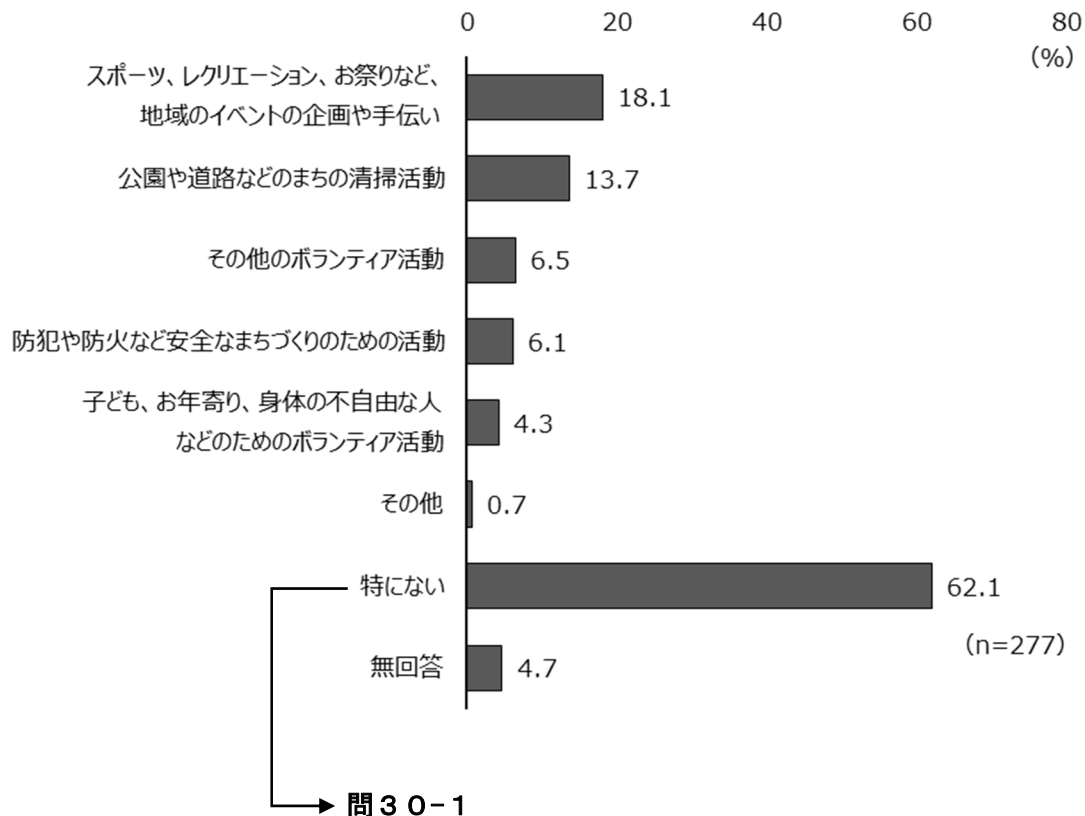
図表 552



問30 参加したことがある地域活動（複数回答）

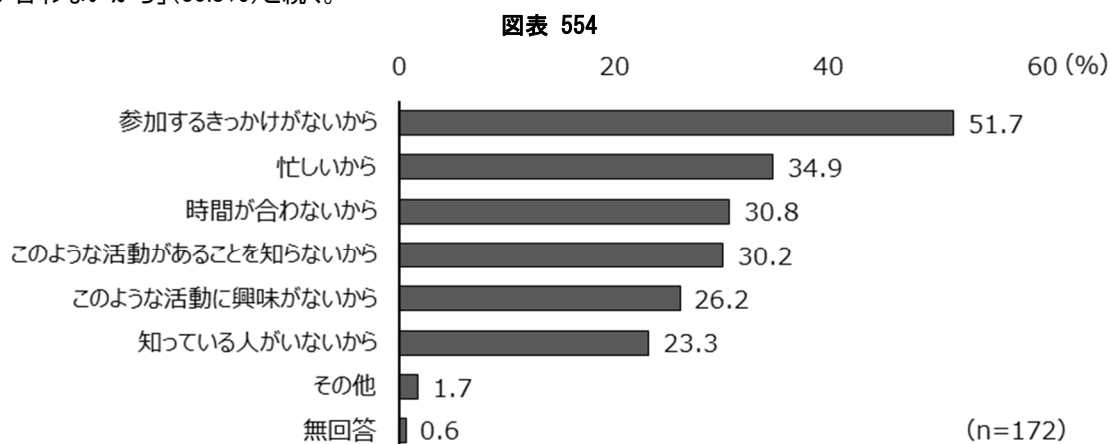
参加したことがある地域活動は、「特にない」が62.1%で最も多く、「スポーツ、レクリエーション、お祭りなど、地域のイベントの企画や手伝い」(18.1%)、「公園や道路などのまちの清掃活動」(13.7%)と続く。

図表 553



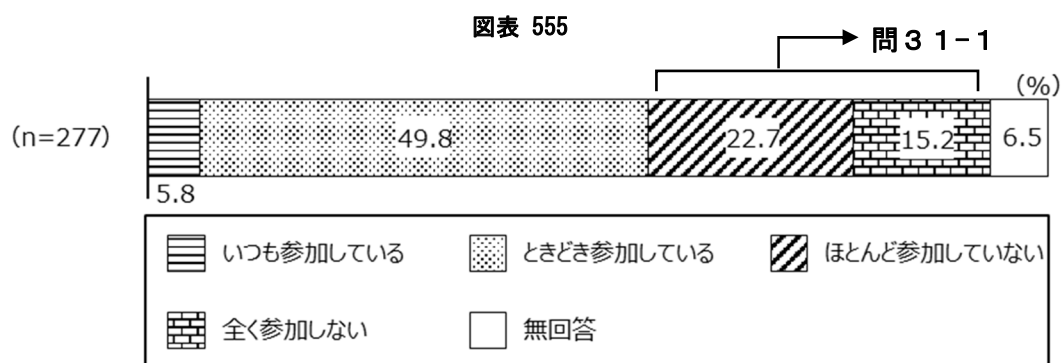
問3 0-1 地域活動に参加しない理由（複数回答）

地域活動に参加しない理由は、「参加するきっかけがないから」が 51.7%で最も多く、「忙しいから」(34.9%)、「時間が合わないから」(30.8%)と続く。



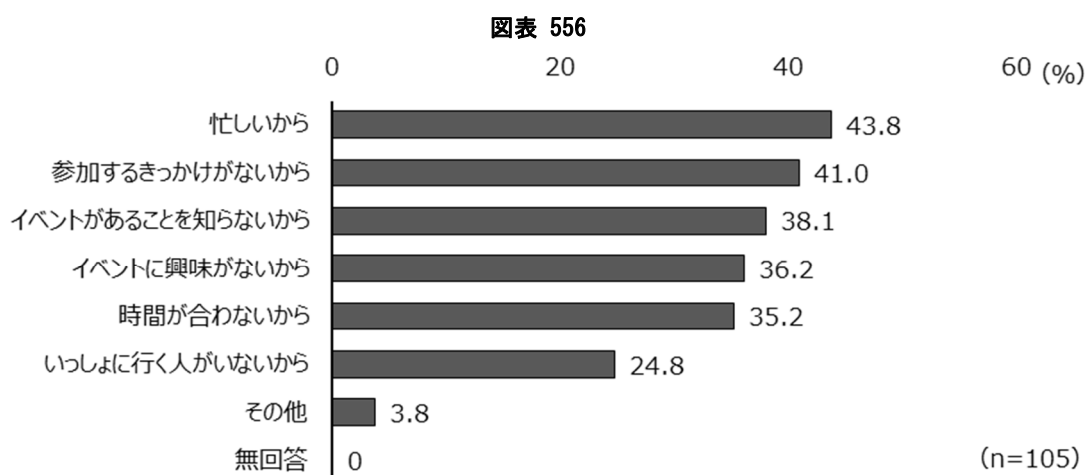
問3 1 学校や職場以外で行われる区や地域のイベントに参加したことがあるか

学校や職場以外で行われる区や地域のイベントに参加したことがあるかは、「ときどき参加している」が 49.8%で最も多く、「ほとんど参加していない」(22.7%)、「全く参加しない」(15.2%)と続く。



問3 1-1 区や地域のイベントに参加しない理由（複数回答）

区や地域のイベントに参加しない理由は、「忙しいから」が 43.8%で最も多く、「参加するきっかけがないから」(41.0%)、「イベントがあることを知らないから」(38.1%)と続く。

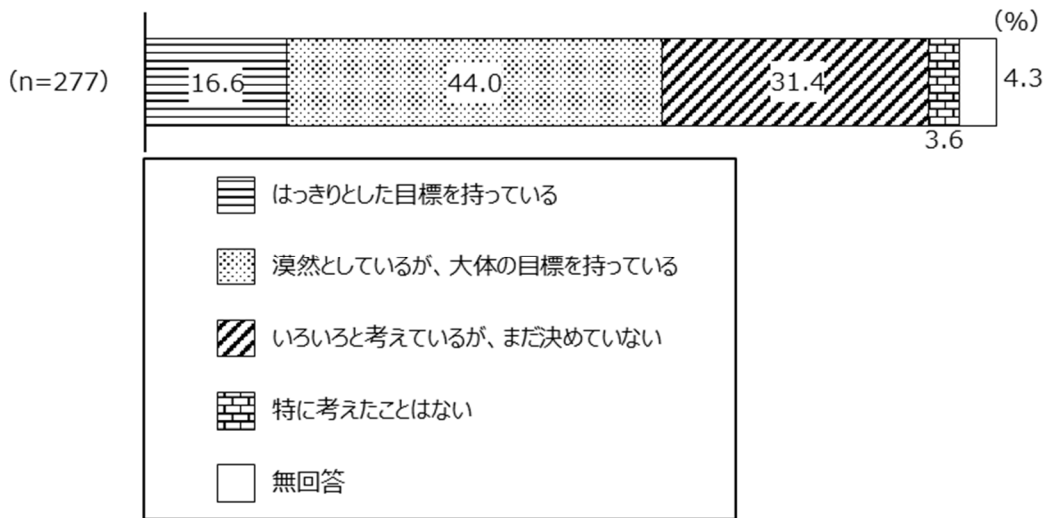


(6) 進路や就職などの将来について

問3 2 将来の目標はあるか

将来の目標があるかは、「漠然としているが、大体の目標を持っている」が44.0%で最も多く、「いろいろと考えているが、まだ決めていない」(31.4%)、「はっきりとした目標を持っている」(16.6%)と続く。

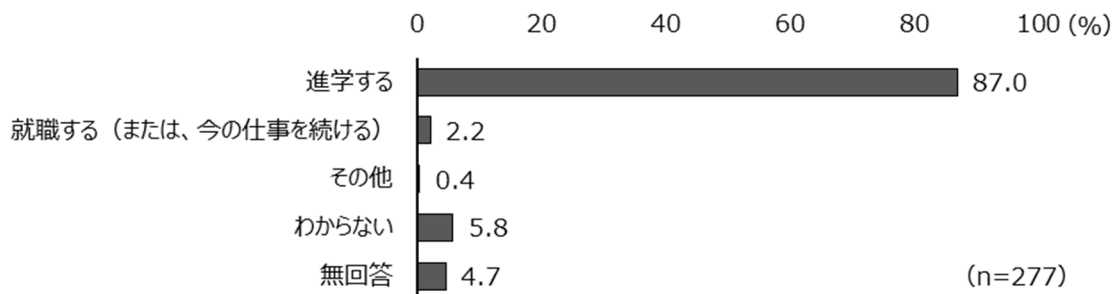
図表 557



問3 3 今後の進路

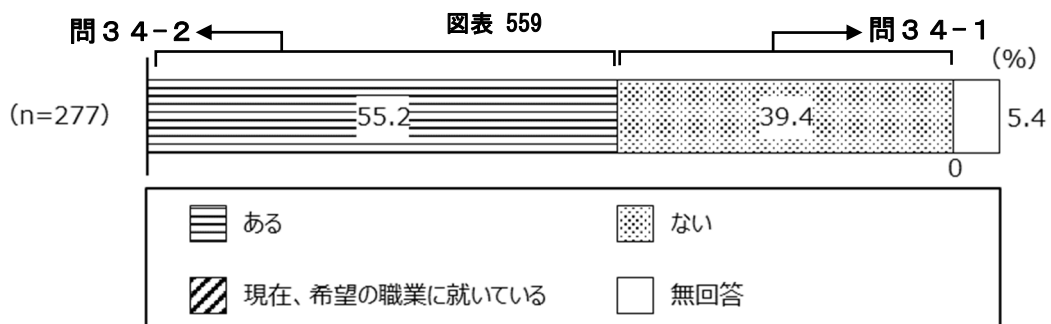
今後の進路は、「進学する」が87.0%で最も多く、「わからない」(5.8%)、「就職する(または、今の仕事を続ける)」(2.2%)と続く。

図表 558



問3 4 将来就きたい職業の有無

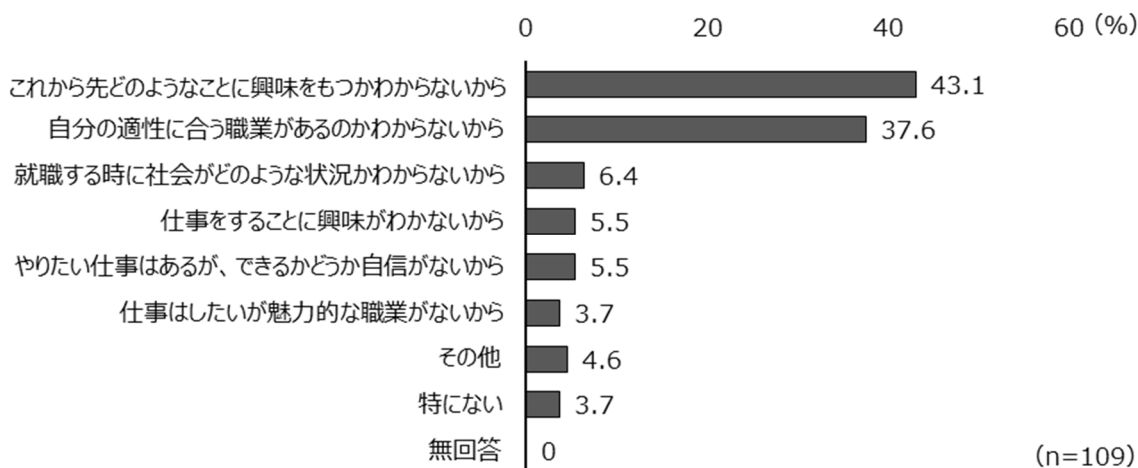
将来就きたい職業があるかは、「ある」が55.2%で最も多く、「ない」(39.4%)と続く。



問3 4-1 将来就きたい職業がない理由

将来就きたい職業がない理由は、「これから先どのようなことに興味をもつかわからないから」が43.1%で最も多く、「自分の適性に合う職業があるのかわからないから」(37.6%)、「就職する時に社会がどのような状況かわからないから」(6.4%)と続く。

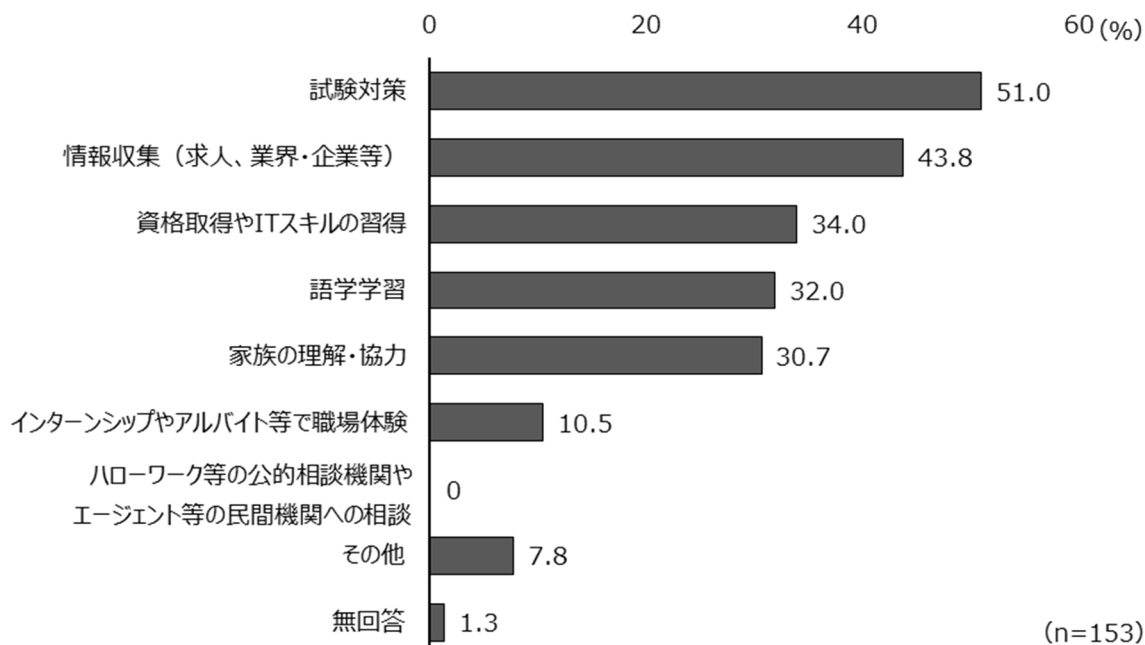
図表 560



問3 4-2 希望の職業に就くために必要なこと、もしくは現在取り組んでいる（または過去に取り組んだ）こと（3つまで）

希望の職業に就くために必要なこと、もしくは現在取り組んでいる（または過去に取り組んだ）ことは、「試験対策」が51.0%で最も多く、「情報収集（求人、業界・企業等）」(43.8%)、「資格取得やITスキルの習得」(34.0%)と続く。

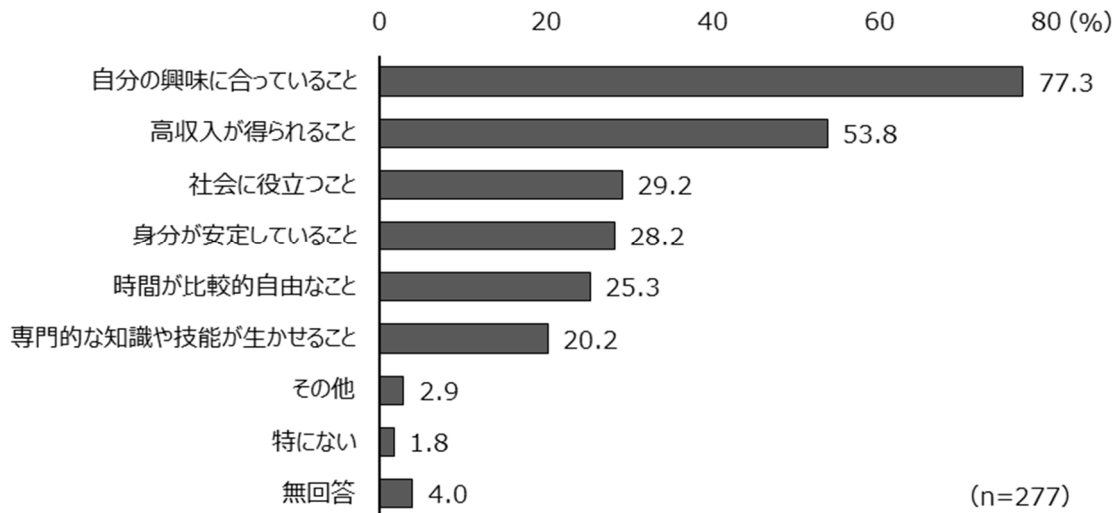
図表 561



問35 職業を選択するときに重視すること（3つまで）

職業を選択するときに重視することは、「自分の興味に合っていること」が77.3%で最も多く、「高収入が得られること」(53.8%)、「社会に役立つこと」(29.2%)と続く。

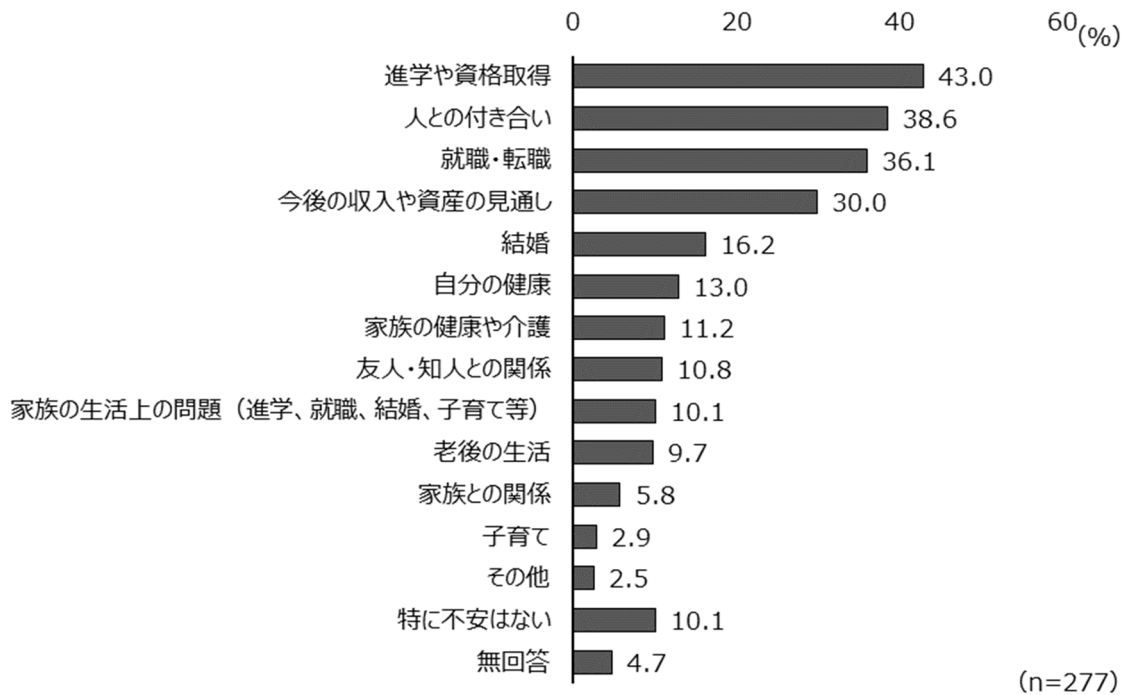
図表 562



問36 将来について不安なこと（3つまで）

将来について不安なことは、「進学や資格取得」が43.0%で最も多く、「人との付き合い」(38.6%)、「就職・転職」(36.1%)と続く。

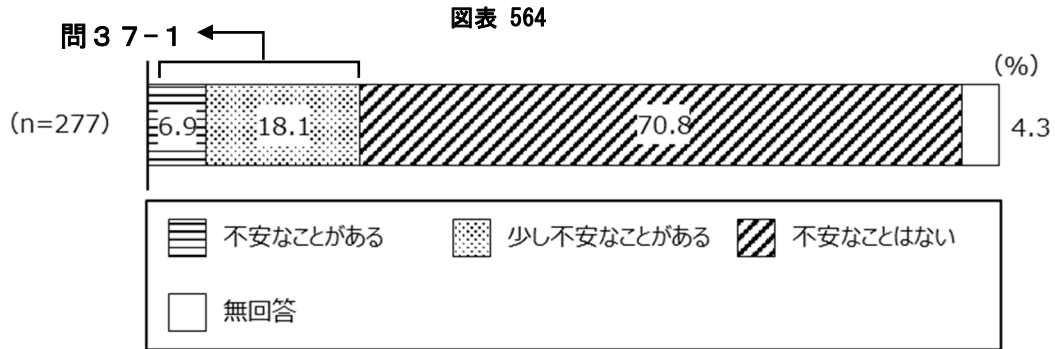
図表 563



(7) 生活の安全・安心について

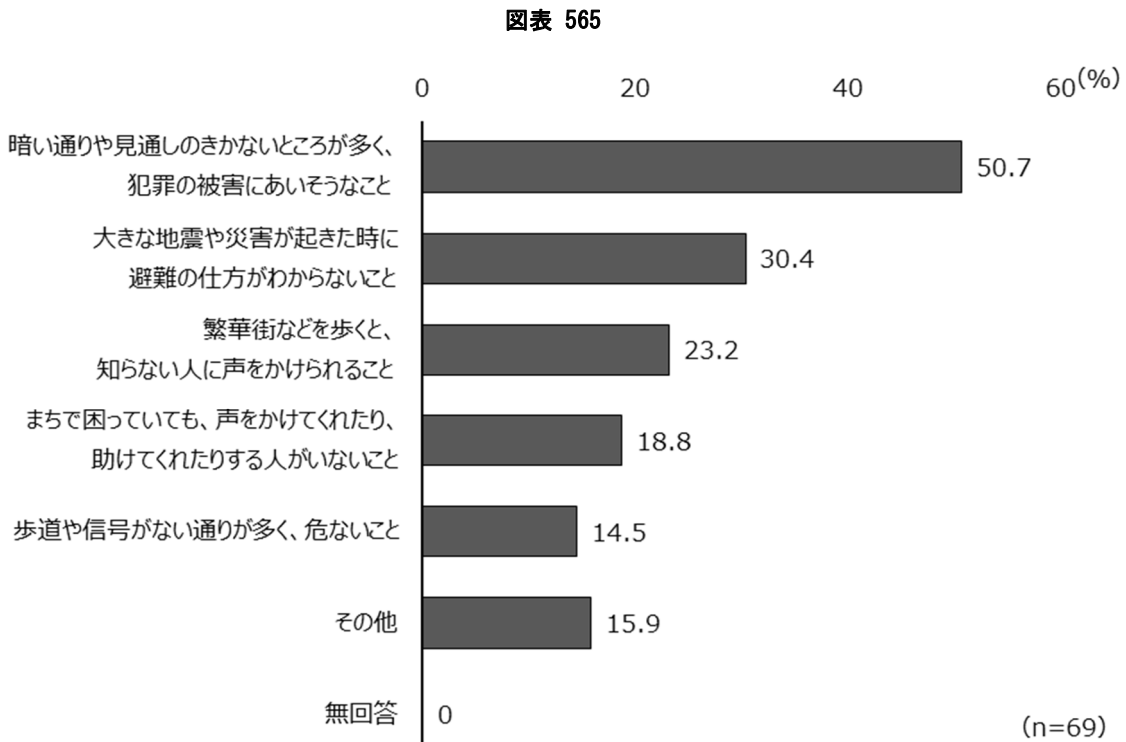
問37 外出をするときの不安の有無

外出をするときの不安は、「不安なことはない」が70.8%で最も多く、「少し不安なことがある」(18.1%)、「不安なことがある」(6.9%)と続く。



問37-1 外出するときに感じる不安なこと（複数回答）

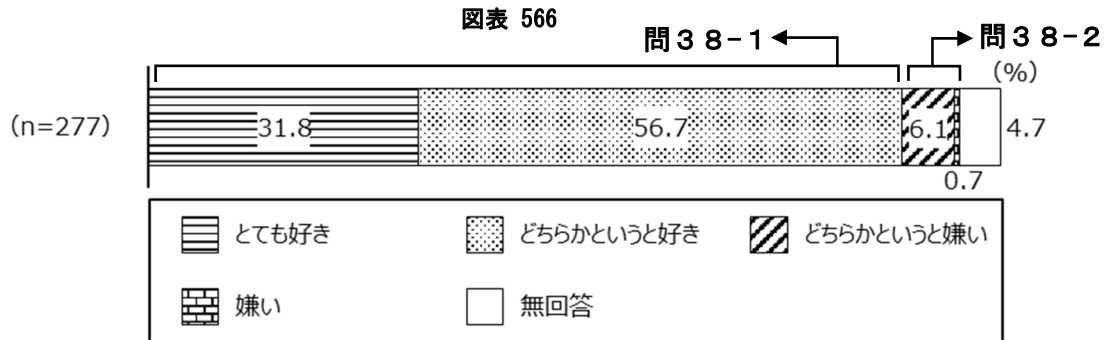
外出するときに感じる不安なことは、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあいそうなこと」が50.7%で最も多く、「大きな地震や災害が起きた時に避難の仕方がわからないこと」(30.4%)、「繁華街などを歩くと、知らない人に声をかけられること」(23.2%)と続く。



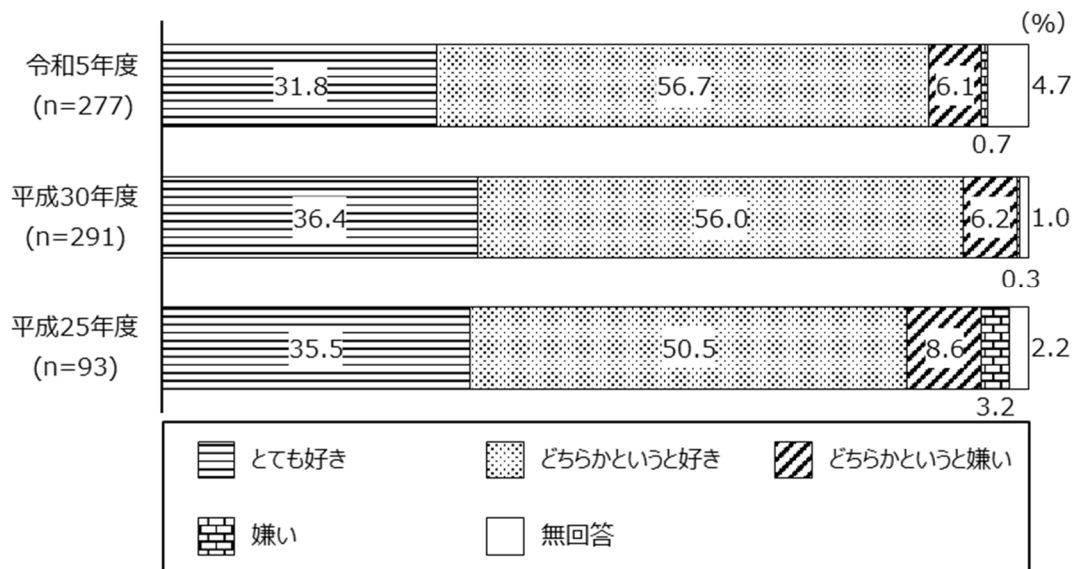
(8) 新宿区について

問38 新宿区への愛着度

新宿区への愛着度は、「どちらかという好き」が56.7%で最も多く、「とても好き」(31.8%)、「どちらかという嫌い」(6.1%)と続く。



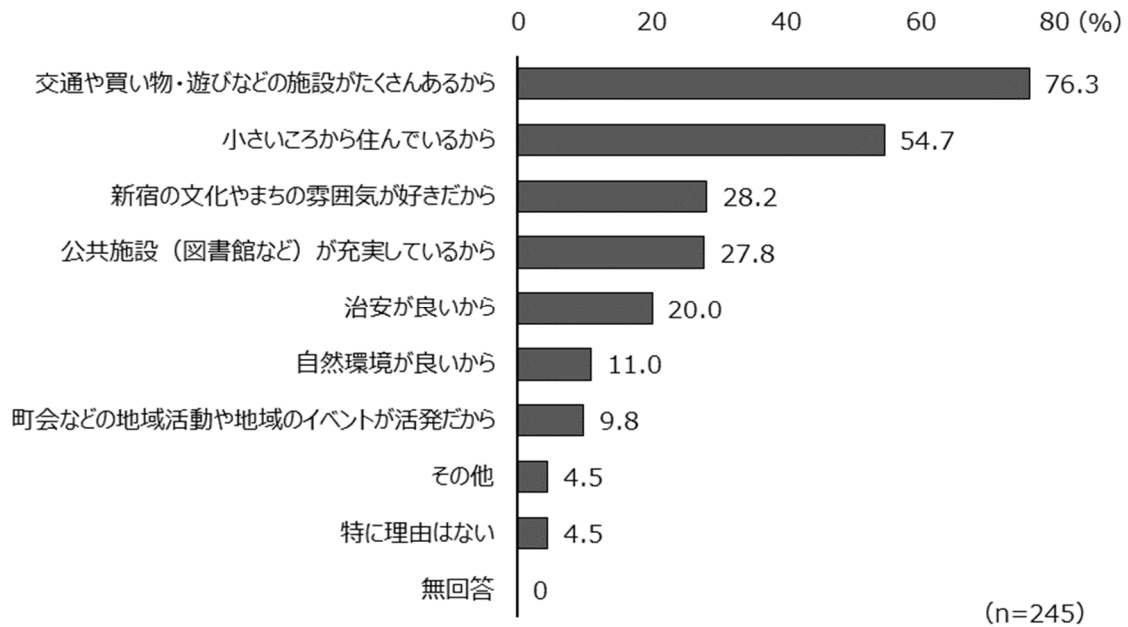
図表 567 新宿区への愛着度 (経年比較)



問38-1 新宿区が好きな理由（複数回答）

新宿区が好きな理由は、「交通や買い物・遊びなどの施設がたくさんあるから」が76.3%で最も多く、「小さいころから住んでいるから」(54.7%)、「新宿の文化やまちの雰囲気が好きだから」(28.2%)と続く。

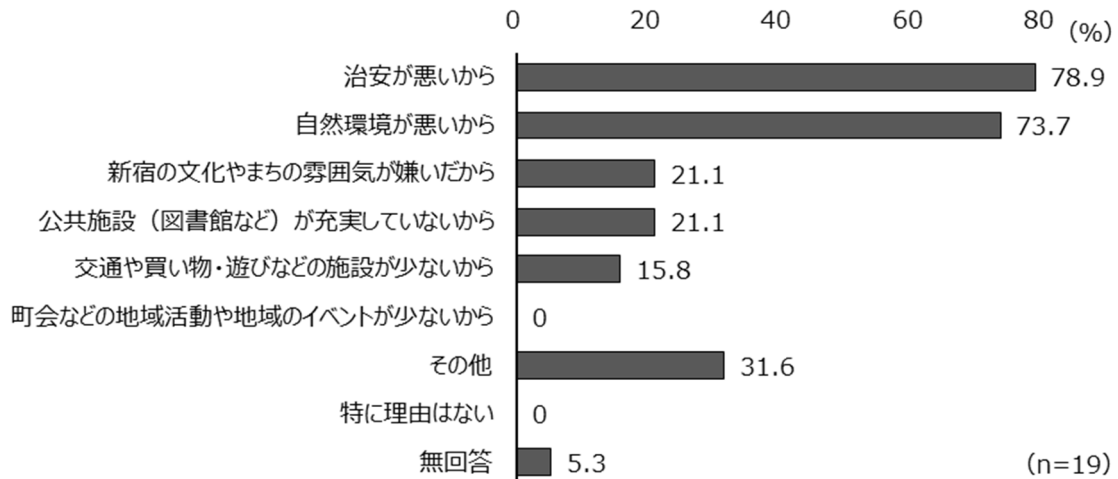
図表 568



問38-2 新宿区が嫌いな理由（複数回答）

新宿区が嫌いな理由は、「治安が悪いから」が78.9%で最も多く、「自然環境が悪いから」(73.7%)、「新宿の文化やまちの雰囲気が嫌いだから」と「公共施設（図書館など）が充実していないから」がともに21.1%と続く。

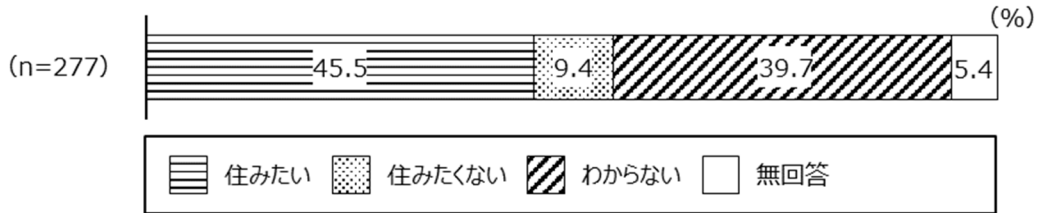
図表 569



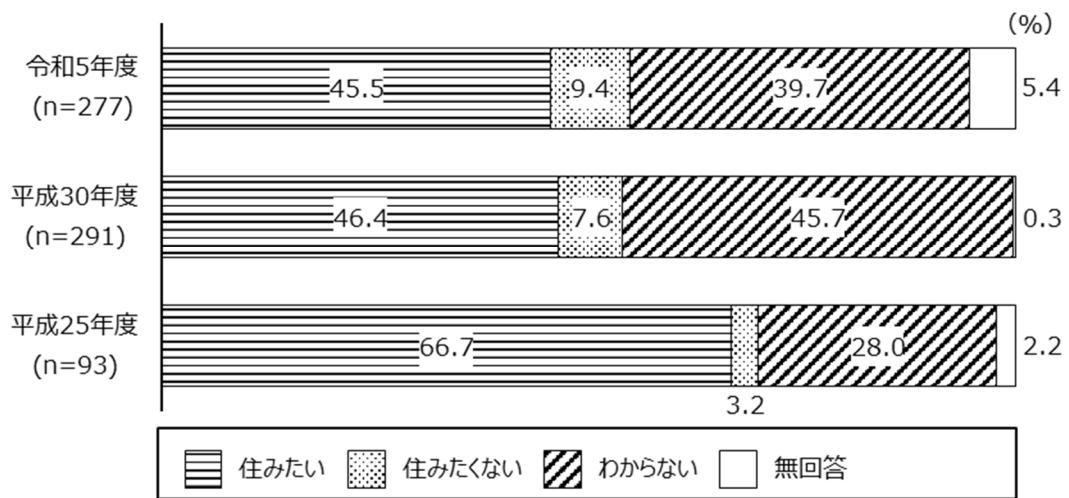
問39 大人になっても新宿区に住みたいと思うか

大人になっても新宿区に住みたいと思うかは、「住みたい」が45.5%で最も多く、「わからない」(39.7%)、「住みた
くない」(9.4%)と続く。

図表 570



図表 571 大人になっても新宿に住みたいか（経年比較）



問40 子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられること（3つまで）

子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられることは、「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が39.7%で最も多く、「子育てをしやすい職場づくりのための支援（職場の雰囲気、育児休業制度、労働時間の短縮、テレワークの拡充等）」(34.7%)、「保育サービスの充実（待機児童解消、一時保育、延長保育、病児・病後児保育など）」(31.0%)と続く。

図表 572

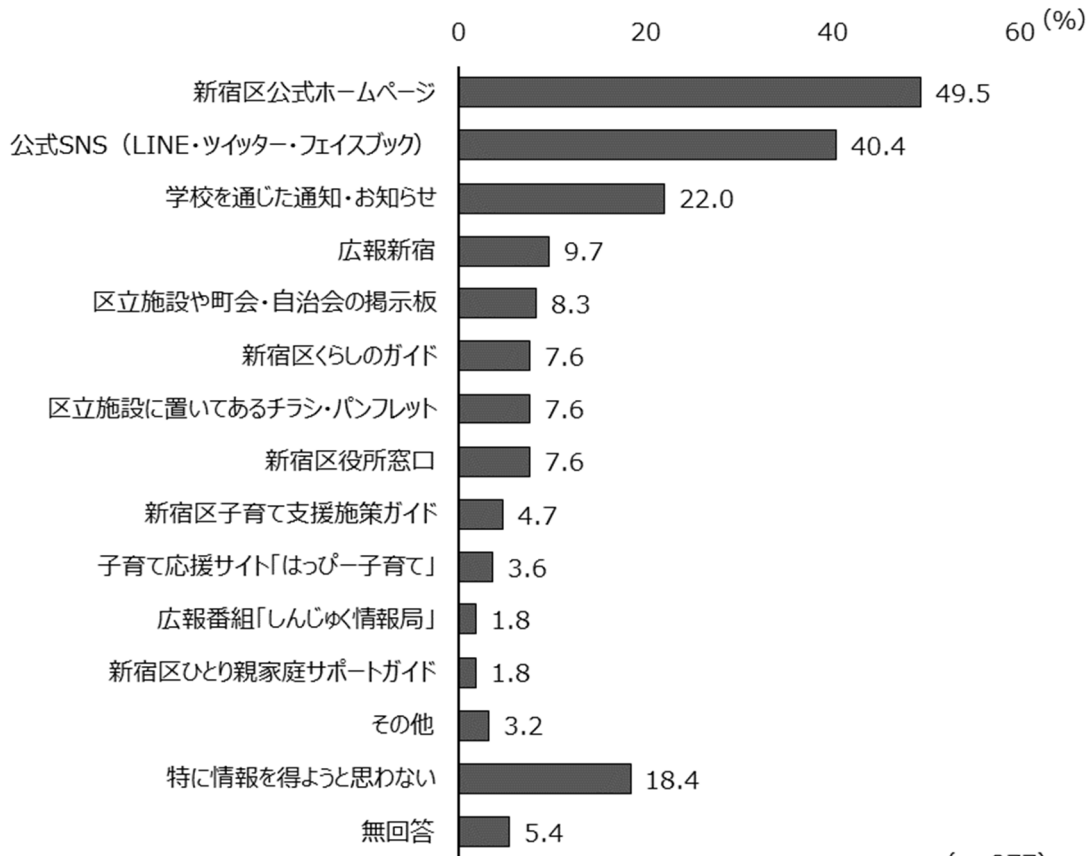


(n=277)

問4-1 区の子育て支援サービスや相談窓口に関する情報をどこから得たいか（複数回答）

区の子育て支援サービスや相談窓口に関する情報をどこから得たいかは、「新宿区公式ホームページ」が49.5%で最も多く、「公式 SNS (LINE・ツイッター・フェイスブック)」(40.4%)、「学校を通じた通知・お知らせ」(22.0%)と続く。

図表 573



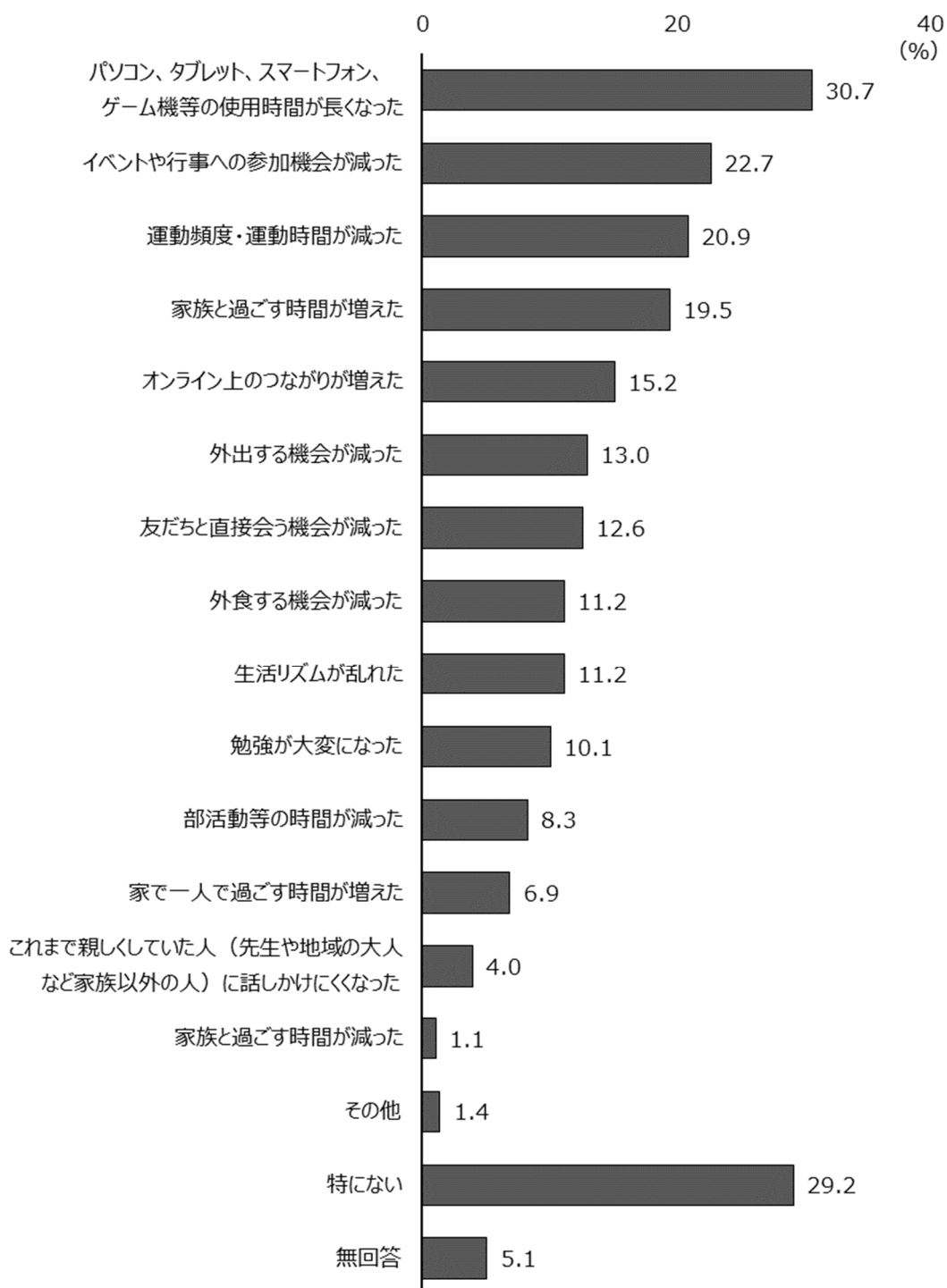
(n=277)

(9) その他

問42 コロナ禍を経て、現在も続いている生活変化（複数回答）

コロナ禍を経て、現在も続いている生活変化は、「パソコン、タブレット、スマートフォン、ゲーム機等の使用時間が長くなった」が30.7%で最も多く、「特にない」(29.2%)、「イベントや行事への参加機会が減った」(22.7%)と続く。

図表 574



(n=277)

Ⅱ-⑧ 若者調査結果

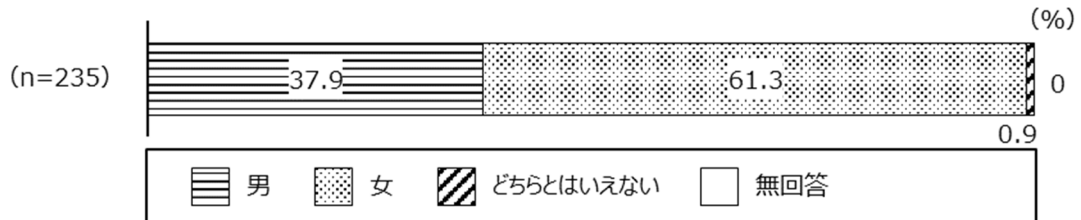
(1) 自分と家族の状況について

問1 年齢・性別・国籍

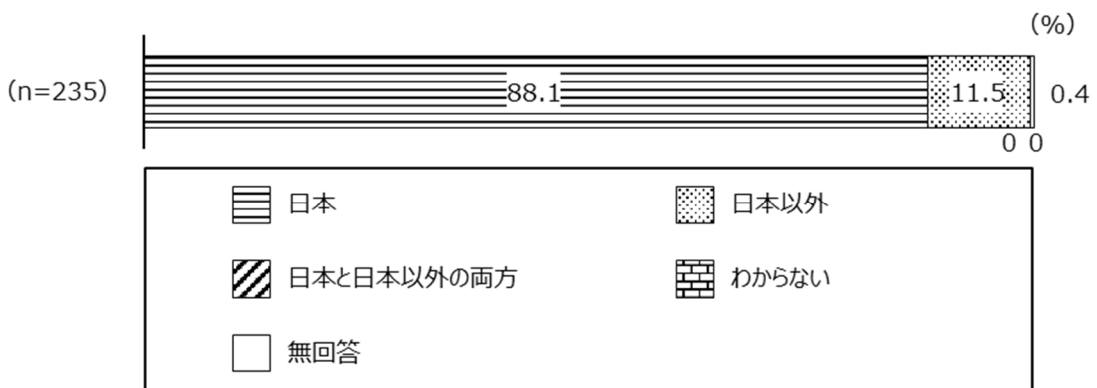
図表 575 年齢



図表 576 性別

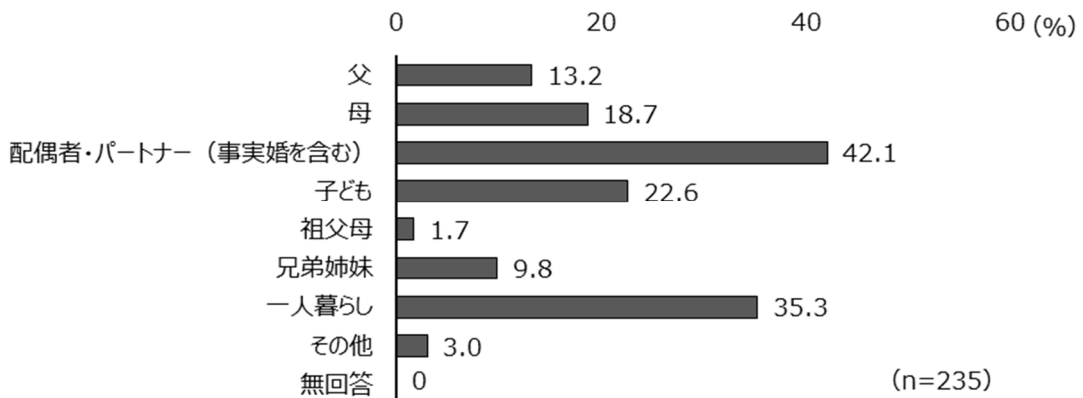


図表 577 国籍



問2 同居の状況 (複数回答)

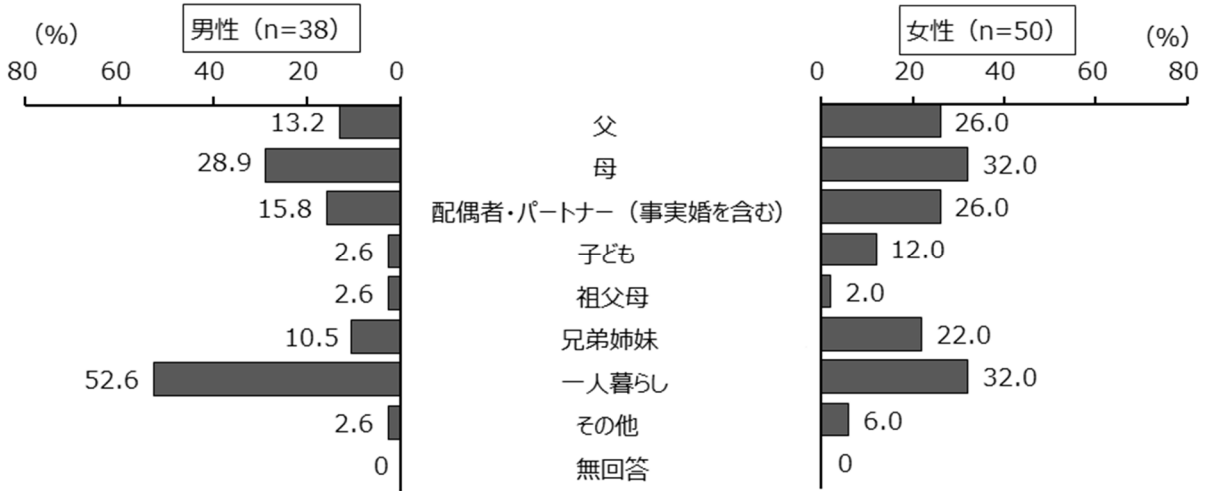
図表 578



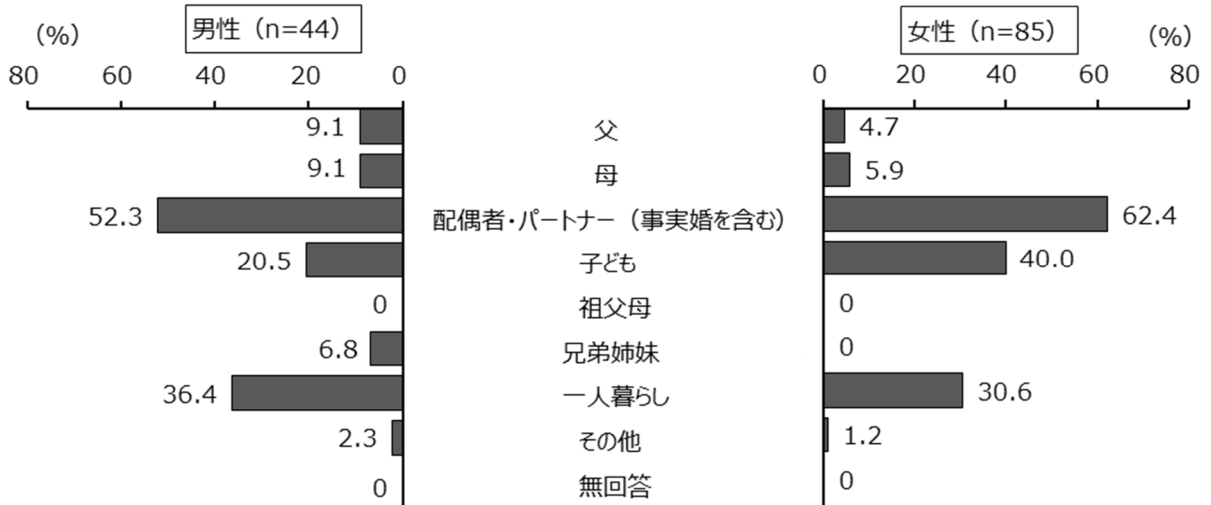
図表 579 同居者（10代）〈男女別〉



図表 580 同居者（20代）〈男女別〉

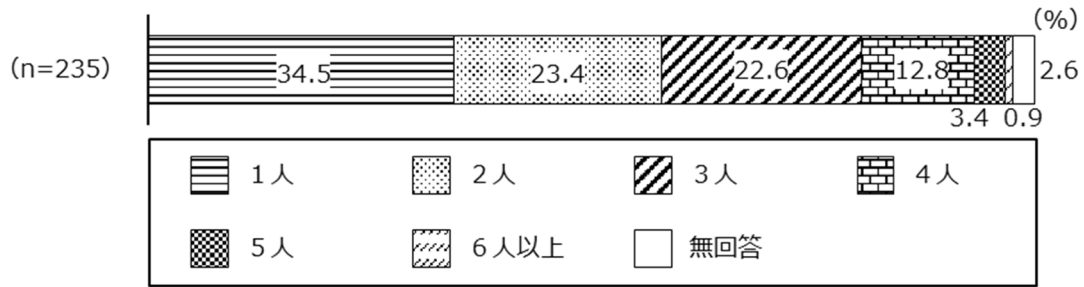


図表 581 同居者（30代）〈男女別〉



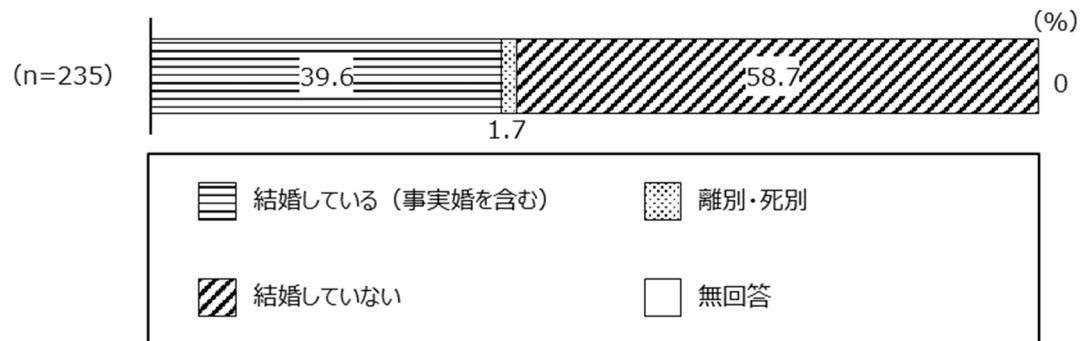
問3 同居家族の人数

図表 582

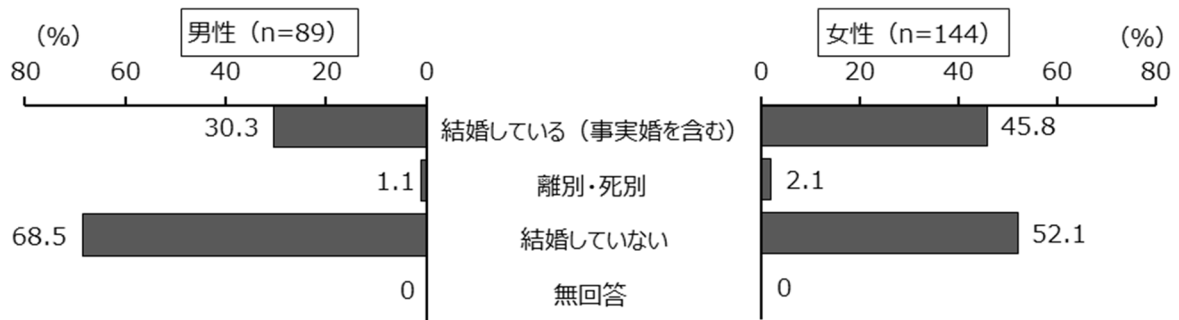


問4 結婚状況

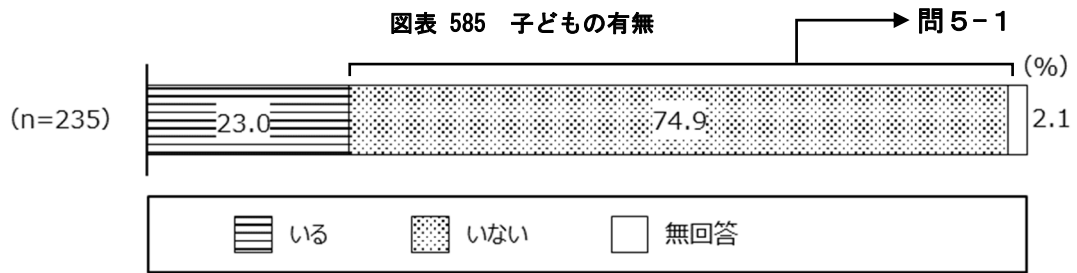
図表 583



図表 584 結婚状況 <男女別>

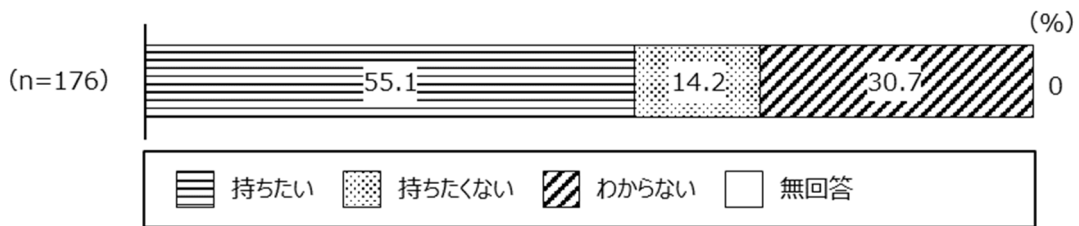


問5 子どもの有無・子どもの人数

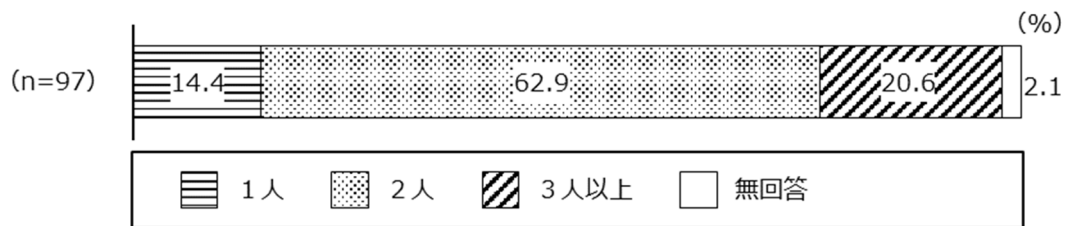


問5-1 将来子どもを持ちたいと思うか・希望する子どもの人数

図表 587 将来子どもを持ちたいと思うか

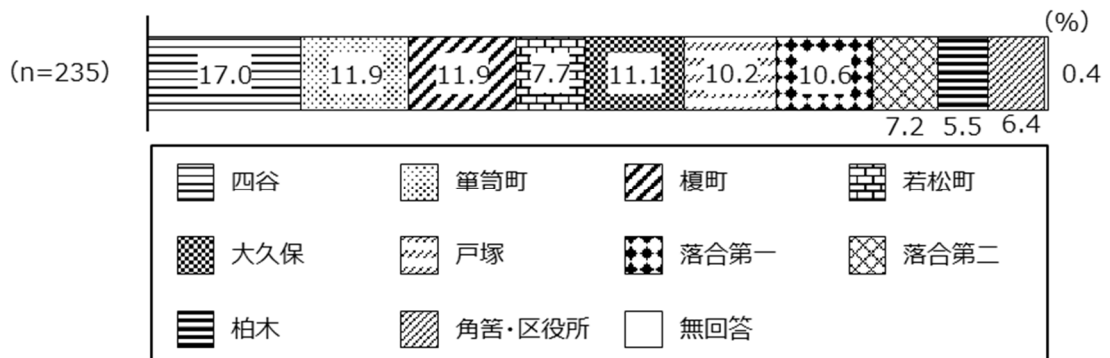


図表 588 将来希望する子どもの人数



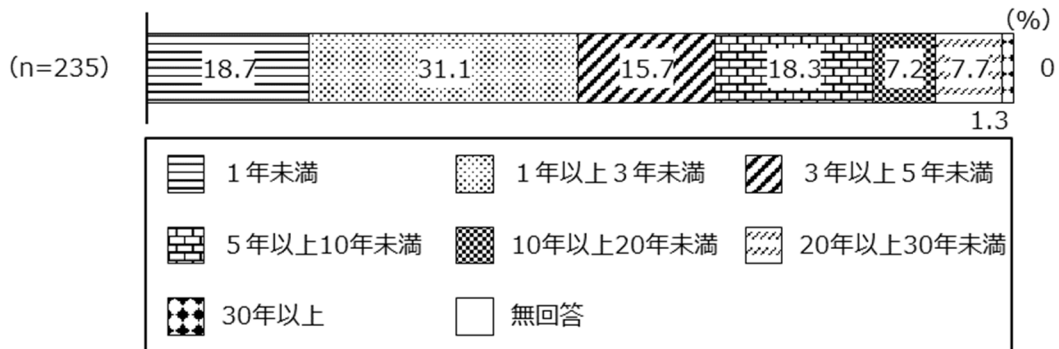
問6 居住地域 (特別出張所単位)

図表 589



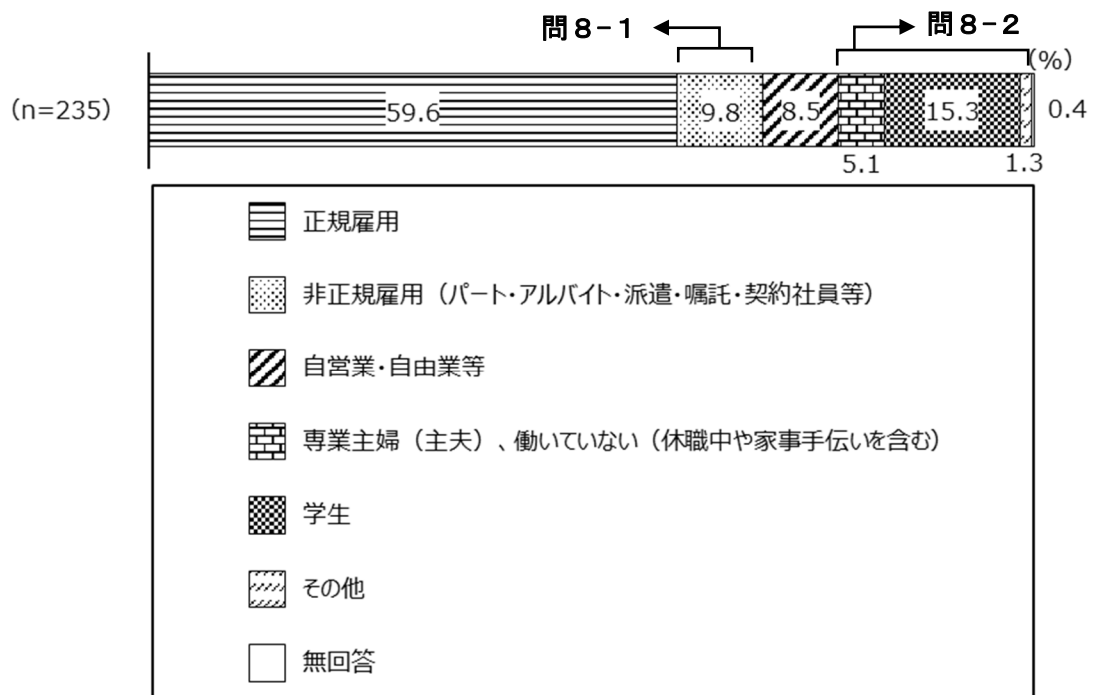
問7 居住年数

図表 590

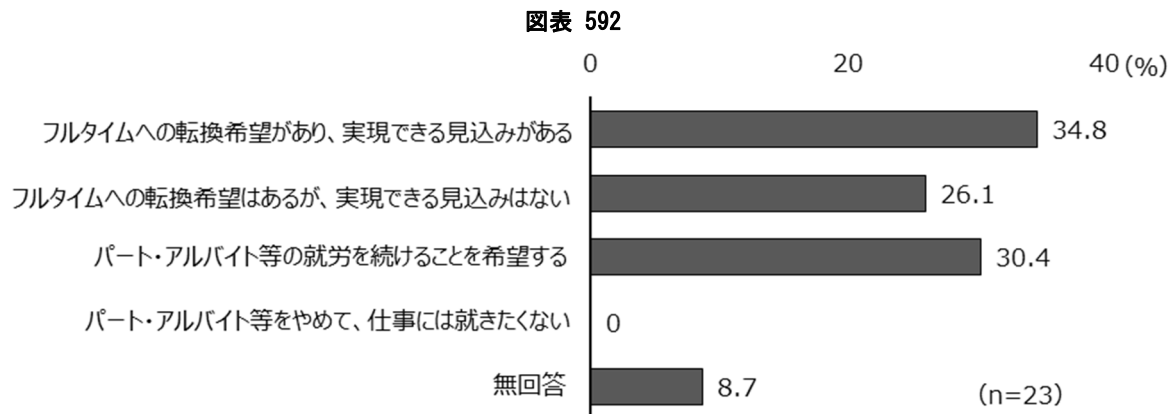


問8 就労状況

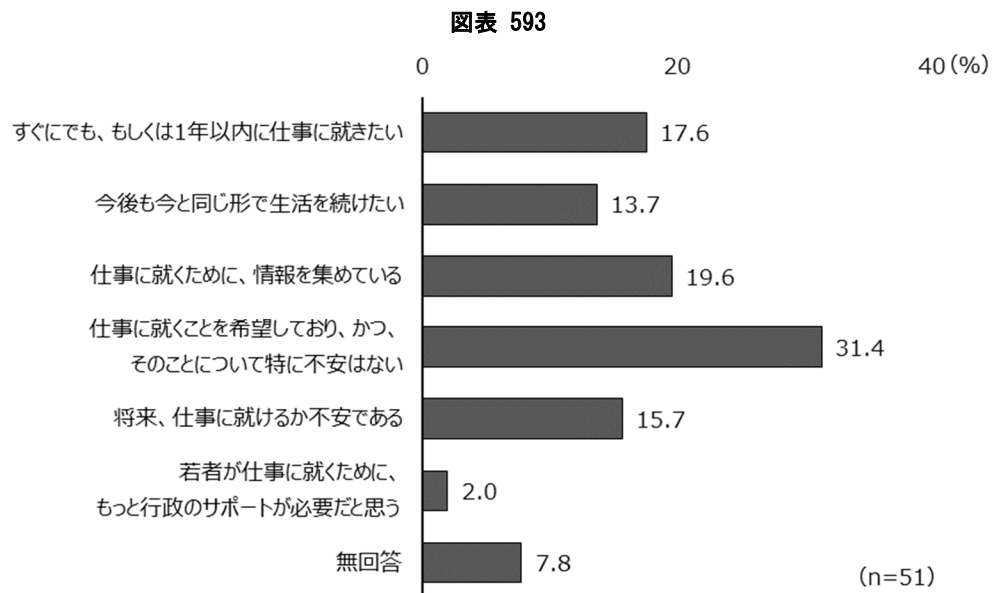
図表 591



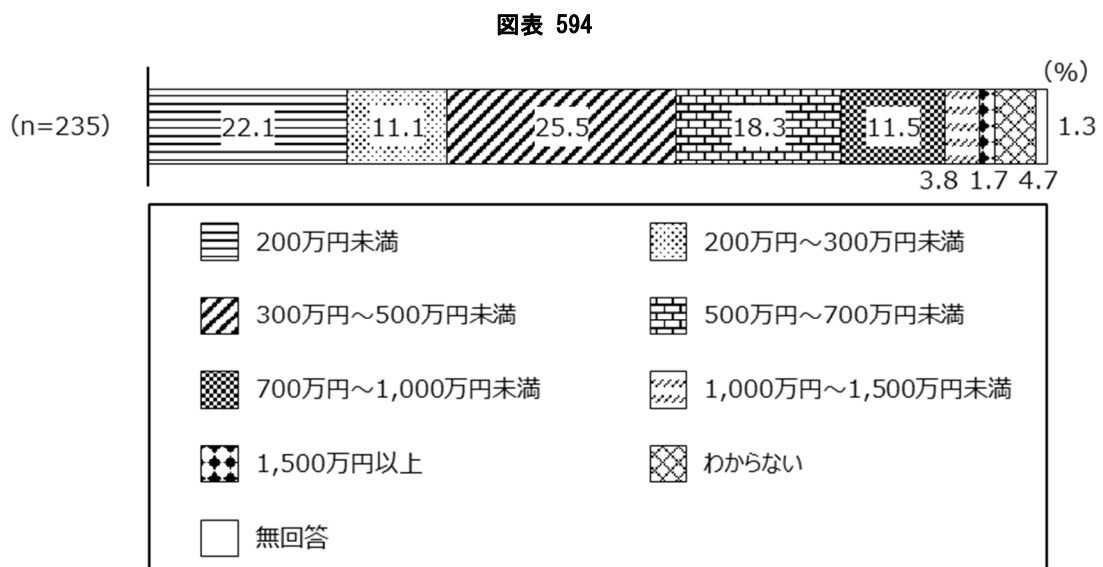
問 8-1 現在、パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望



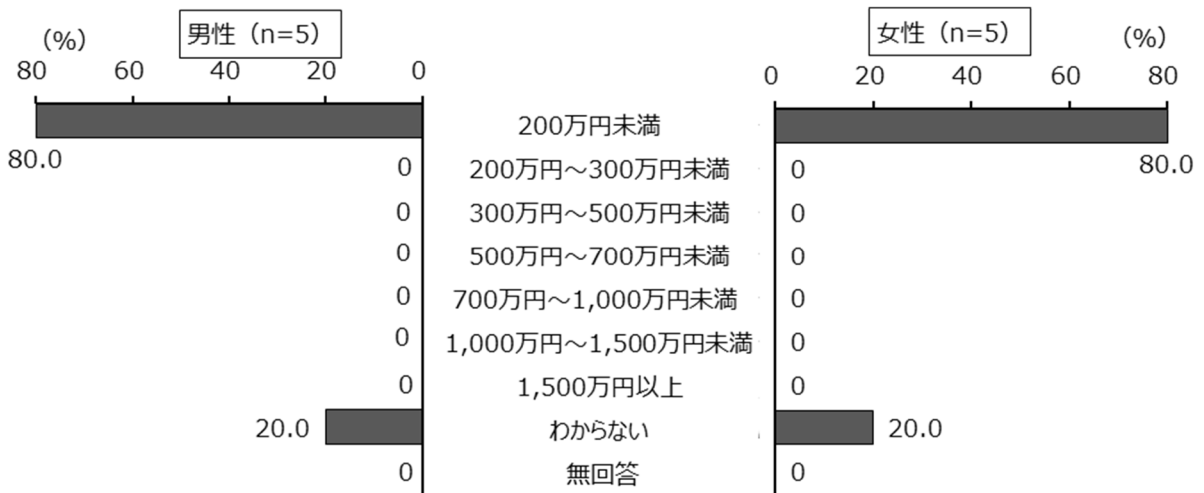
問 8-2 現在、専業主婦（主夫）・無職・学生・その他の人の仕事についての考え（複数回答）



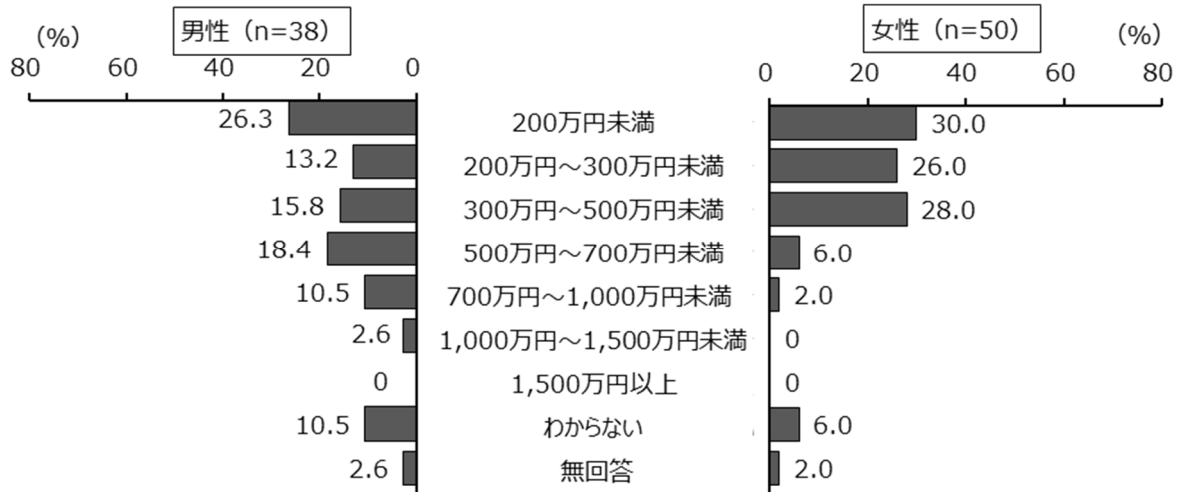
問 9 一年間の収入の合計額（土地・家屋・株券などの資産売却による収入は除く）



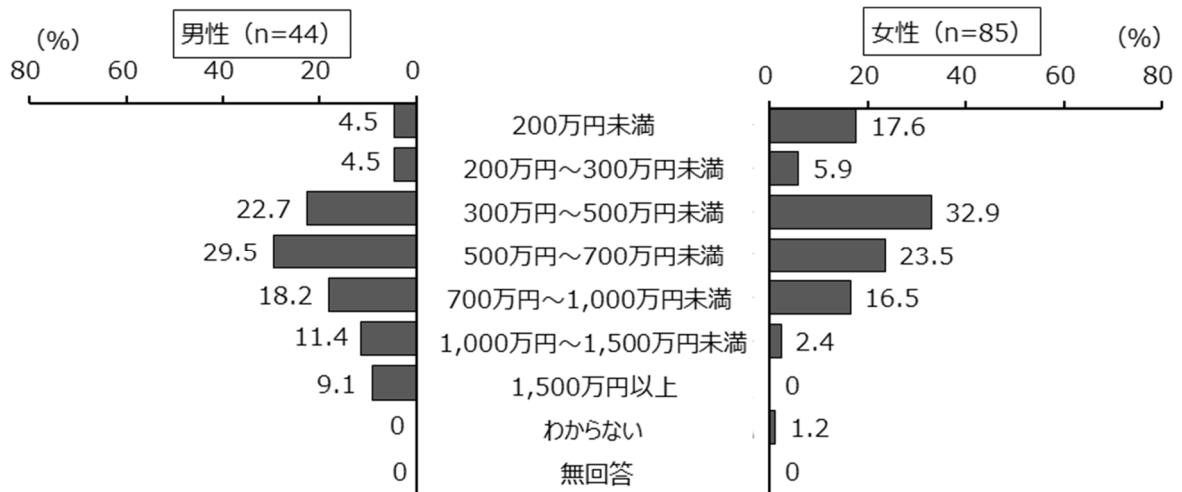
図表 595 一年間の収入の合計額（10代）＜男女別＞



図表 596 一年間の収入の合計額（20代）＜男女別＞

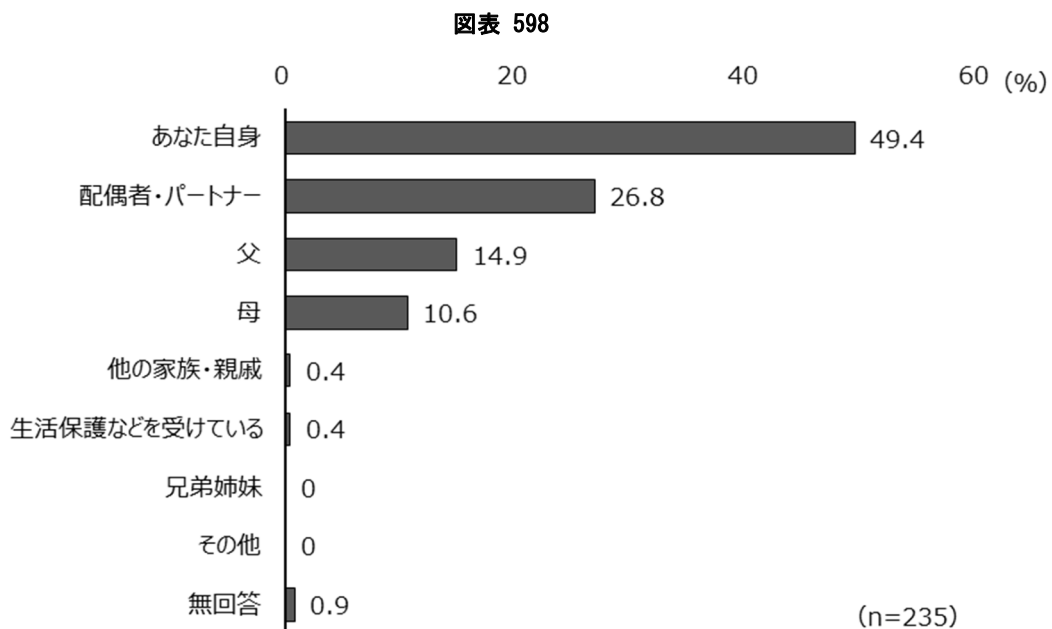


図表 597 一年間の収入の合計額（30代）＜男女別＞



問10 主に世帯の生計を立てている者

主に世帯の生計を立てている者は、「あなた自身」が 49.4%で最も多く、「配偶者・パートナー」(26.8%)、「父」(14.9%)と続く。

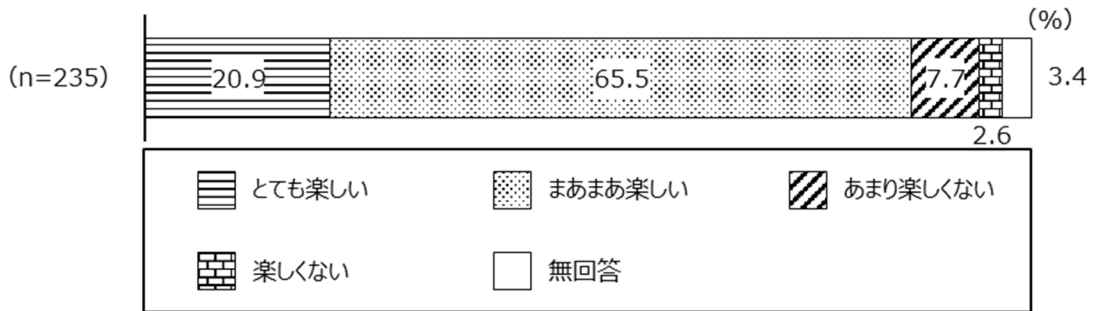


(2) 日常生活について

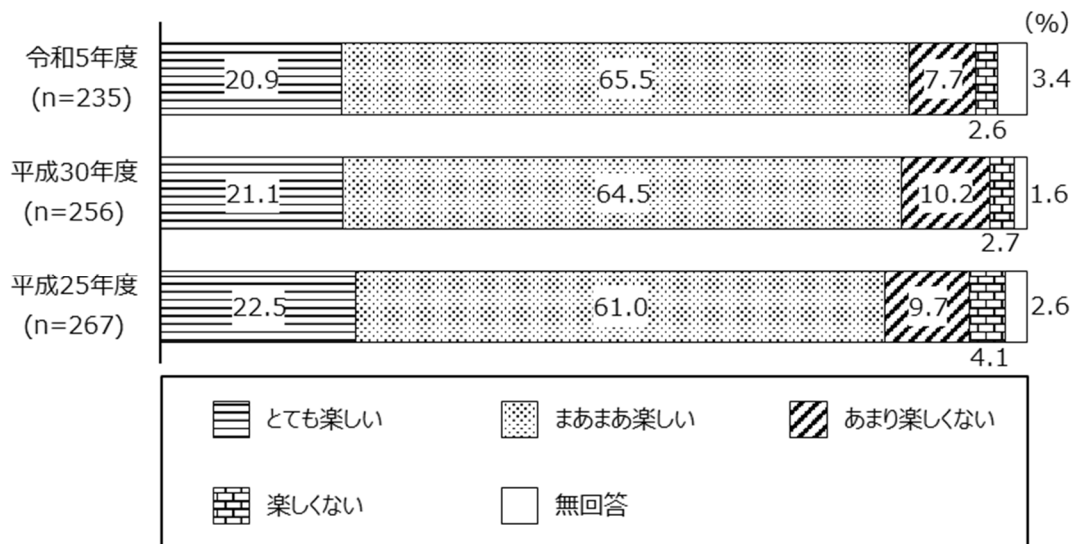
問 1 1 毎日の生活が楽しいか

毎日の生活が楽しいかは、「まあまあ楽しい」が 65.5%で最も多く、「とても楽しい」(20.9%)、「あまり楽しくない」(7.7%)と続く。

図表 599



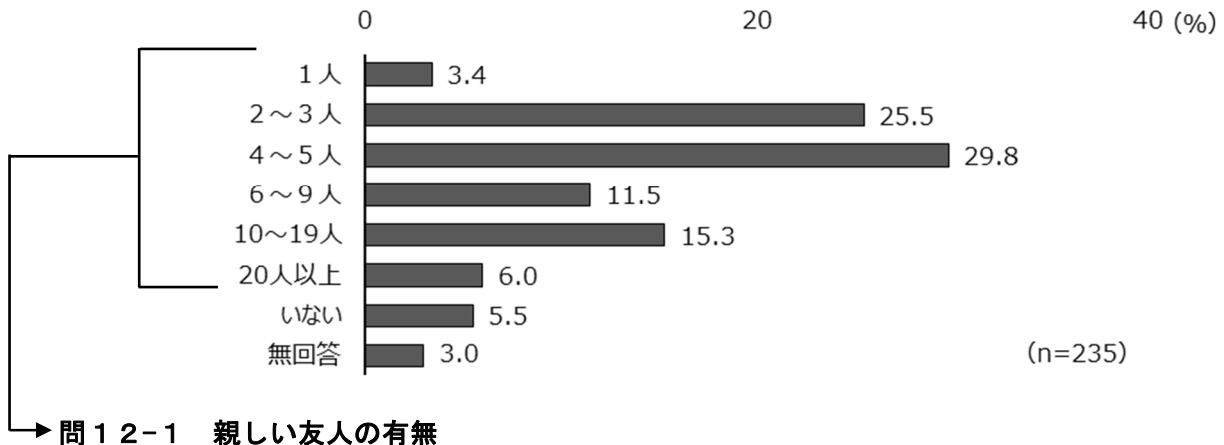
図表 600 毎日の生活が楽しいか（経年比較）



問 1 2 一緒に遊んだり話したりする友人の数

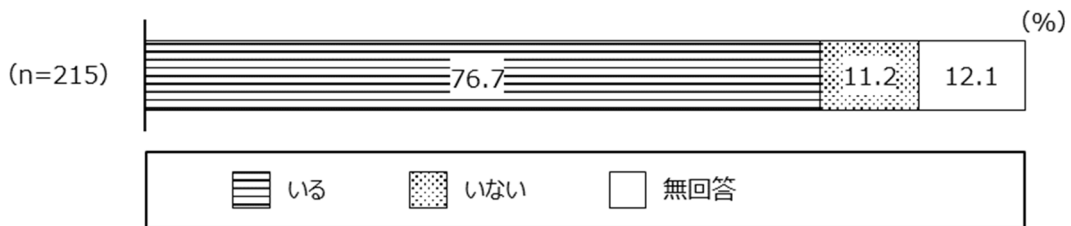
一緒に遊んだり話したりする友人の数は、「4～5人」が 29.8%で最も多く、「2～3人」(25.5%)、「10～19人」(15.3%)と続く。

図表 601



親しい友人は、「いる」が 76.7%、「いない」は 11.2%となっている。

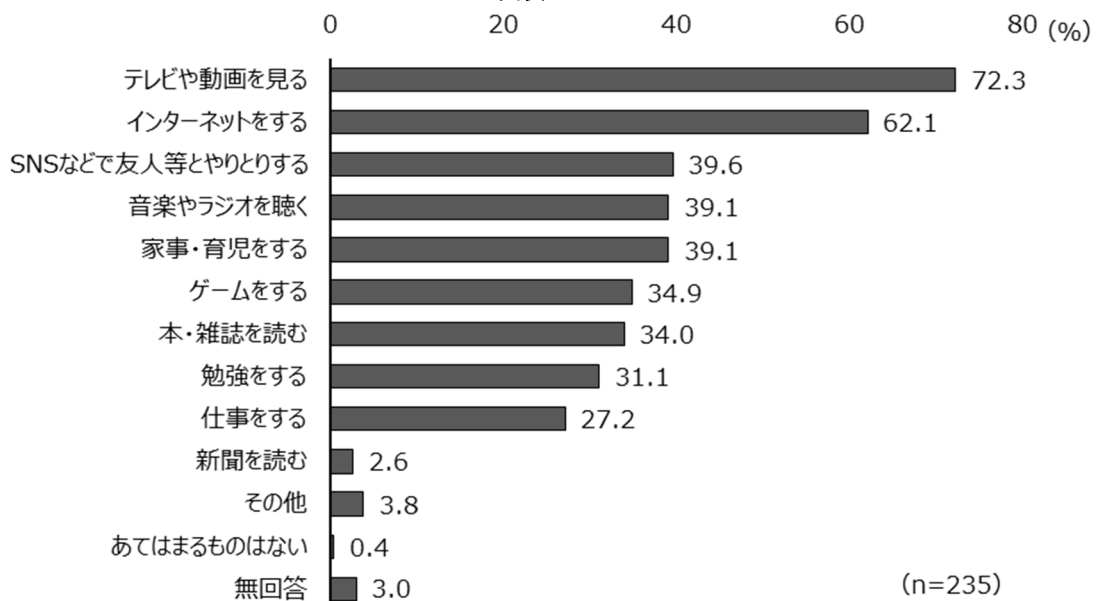
図表 602



問 1 3 普段自宅にいるときによくしていること (複数回答)

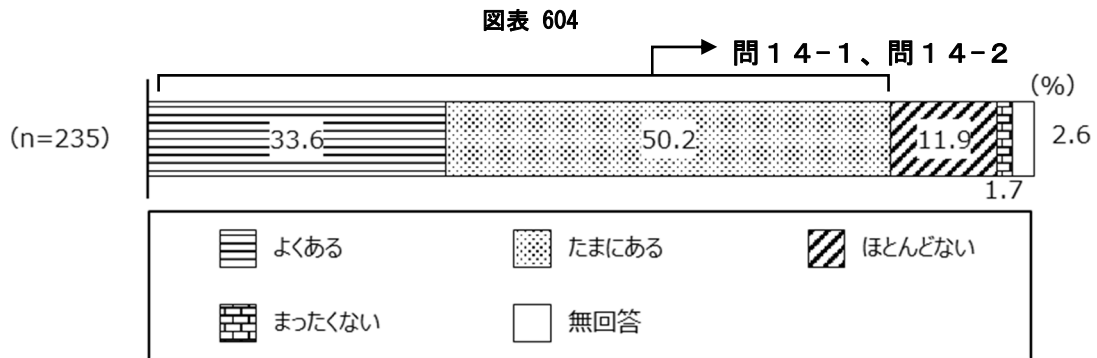
普段自宅にいるときによくしていることは、「テレビや動画を見る」が 72.3%で最も多く、「インターネットをする」(62.1%)、「SNSなどで友人等とやりとりする」(39.6%)と続く。

図表 603



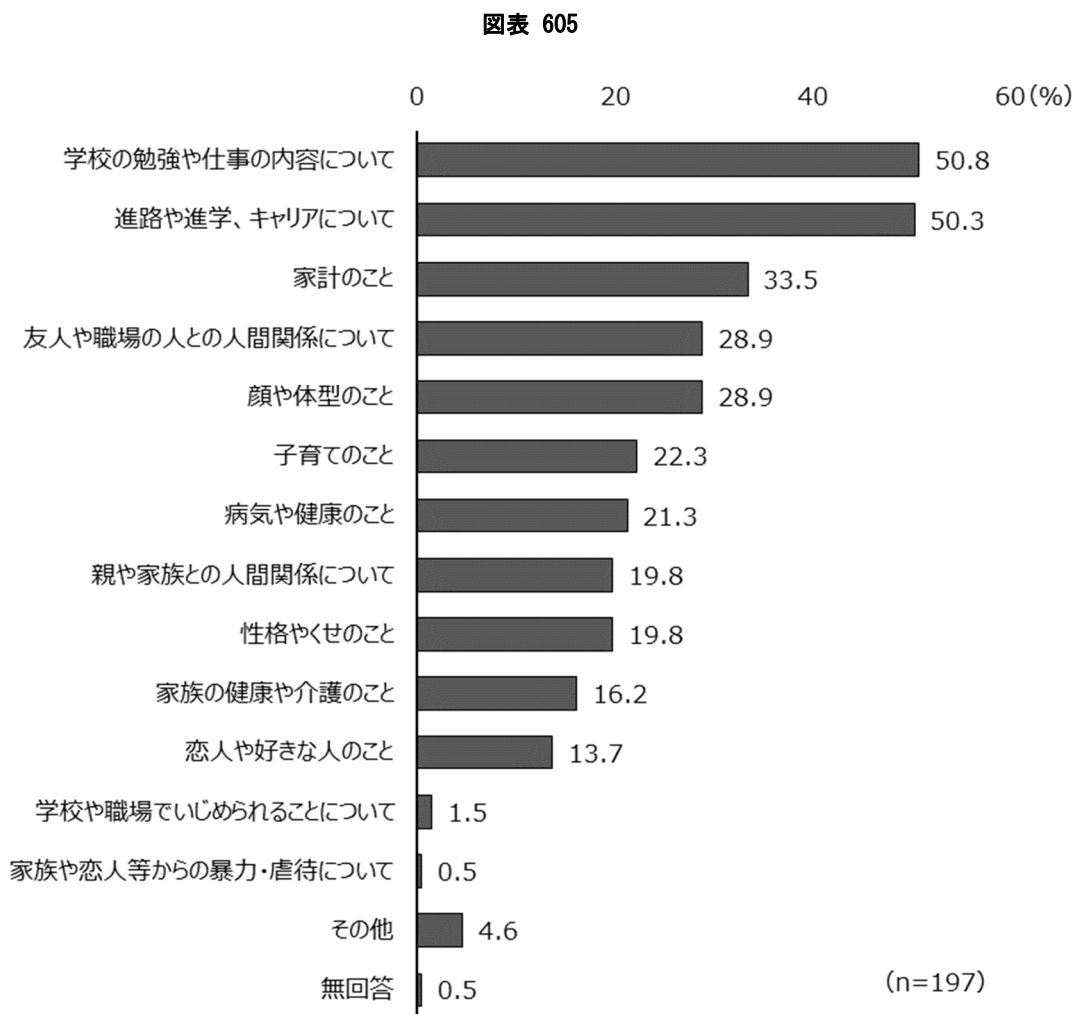
問 1 4 悩んだり、困ったりすることの有無

悩んだり、困ったりすることは、「たまにある」が 50.2%で最も多く、「よくある」(33.6%)、「ほとんどない」(11.9%)と続く。



問 1 4-1 悩んだり、困ったりすること (複数回答)

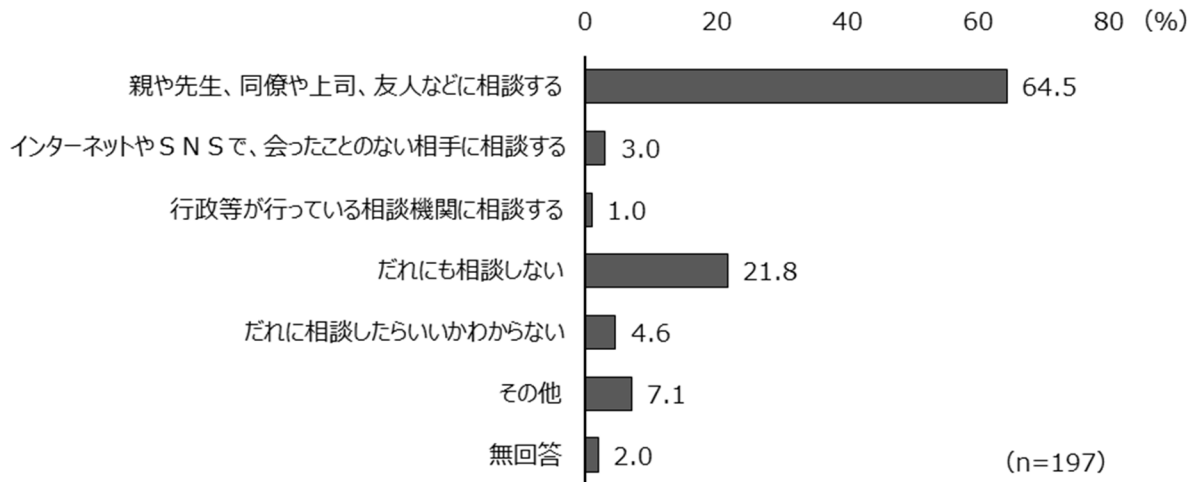
悩んだり、困ったりすることは、「学校の勉強や仕事の内容について」が 50.8%で最も多く、「進路や進学、キャリアについて」(50.3%)、「家計のこと」(33.5%)と続く。



問 1 4-2 悩んだり、困ったりしたときの相談相手

悩んだり、困ったりしたときの相談相手は、「親や先生、同僚や上司、友人などに相談する」が 64.5%で最も多く、「だれにも相談しない」(21.8%)、「だれに相談したらいいかわからない」(4.6%)と続く。

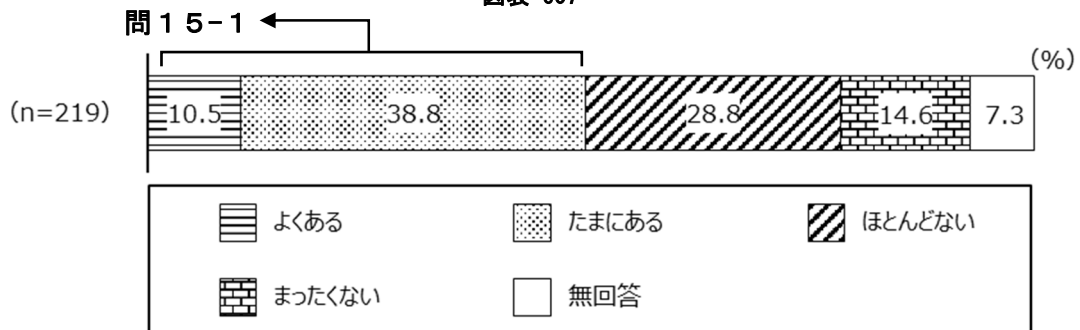
図表 606



問 1 5 病気や体調不良以外の理由で、学校や仕事に行きたくないと感じることの有無

病気や体調不良以外の理由で、学校や仕事に行きたくないと感じることは、「たまにある」が 38.8%で最も多く、「ほとんどない」(28.8%)、「まったくない」(14.6%)と続く。

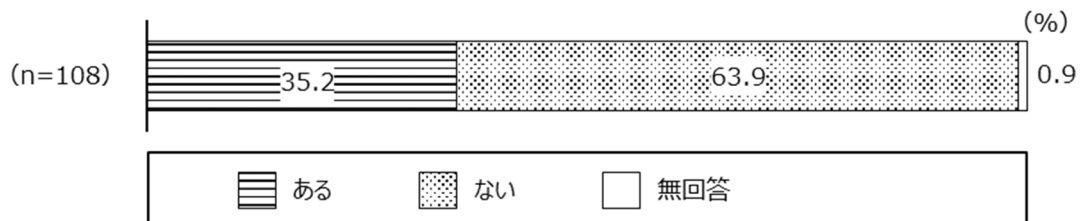
図表 607



問 1 5-1 実際に欠席・欠勤したことの有無

実際に欠席・欠勤したことは、「ない」が 63.9%、「ある」は 35.2%となっている。

図表 608

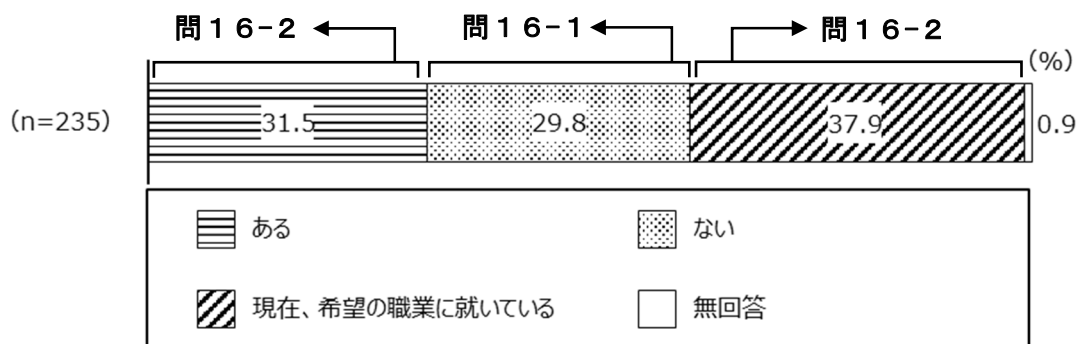


(3) 職業や働き方、将来の夢等について

問 1 6 将来就きたい職業の有無

将来就きたい職業は、「現在、希望の職業に就いている」が 37.9%で最も多く、「ある」(31.5%)、「ない」(29.8%)と続く。

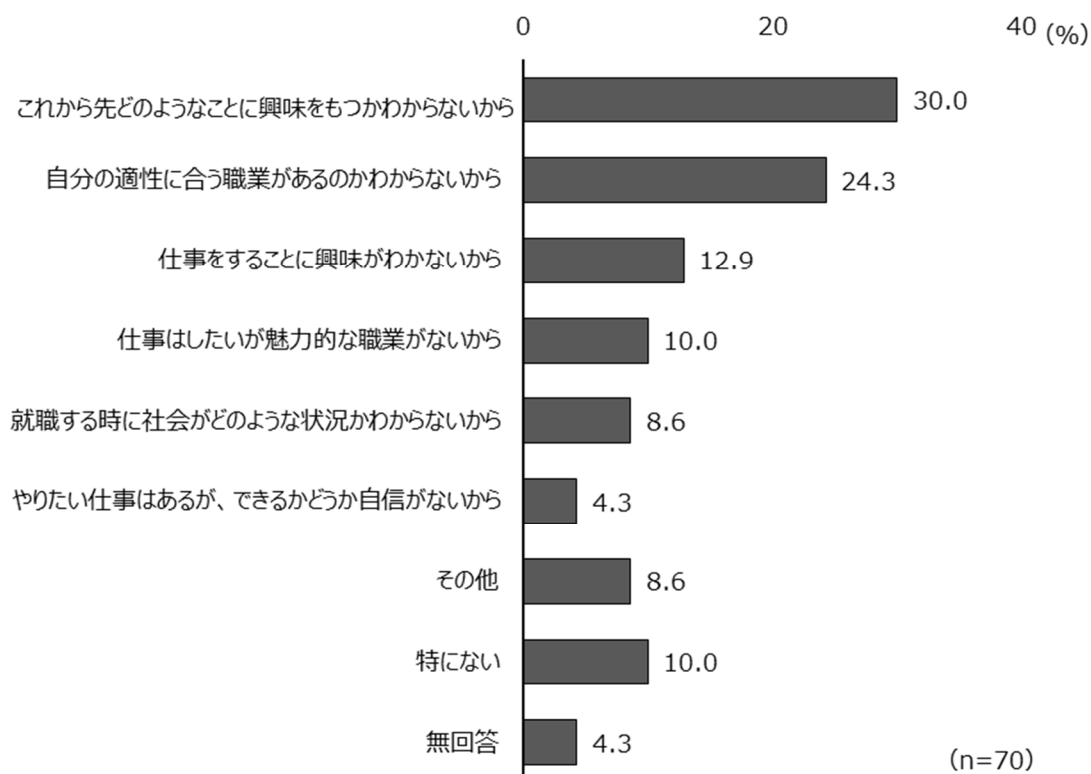
図表 609



問 1 6-1 将来就きたい職業がない理由

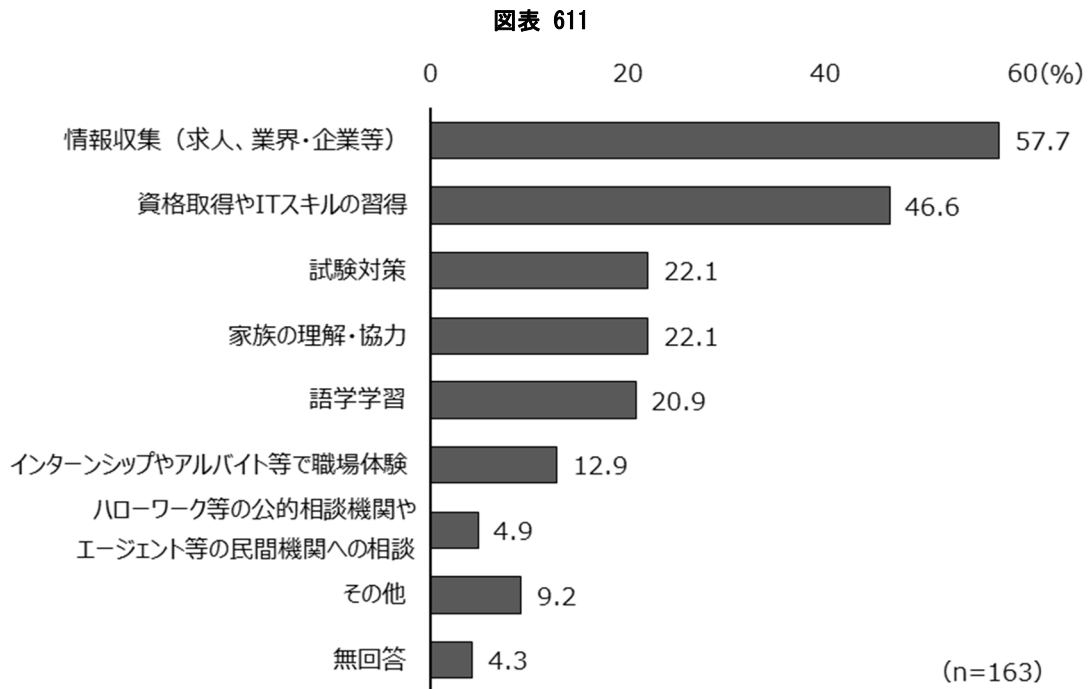
将来就きたい職業がない理由は、「これから先どのようなことに興味をもつかわからないから」が 30.0%で最も多く、「自分の適性に合う職業があるのかわからないから」(24.3%)、「仕事をするのに興味がわからないから」(12.9%)と続く。

図表 610



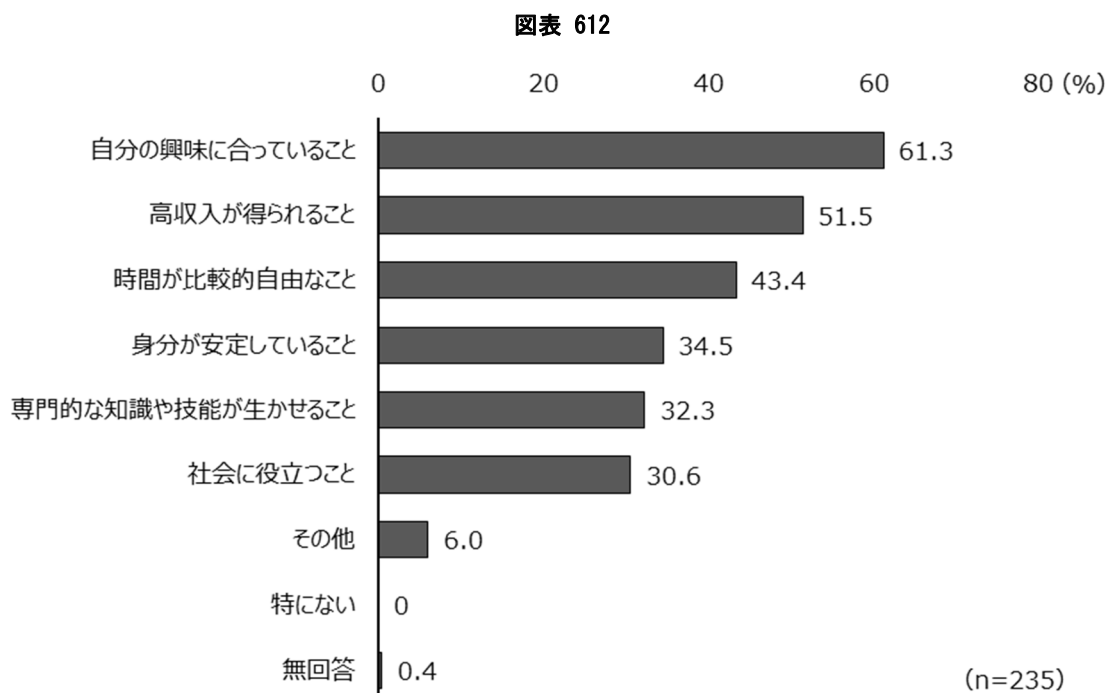
問 16-2 希望の職業に就くために必要なこと、もしくは現在取り組んでいる（または過去に取り組んだ）こと（3つまで）

希望の職業に就くために必要なこと、もしくは現在取り組んでいる（または過去に取り組んだ）ことは、「情報収集（求人、業界・企業等）」が57.7%で最も多く、「資格取得やITスキルの習得」（46.6%）、「試験対策」と「家族の理解・協力」がともに22.1%と続く。



問 17 職業を選択するときに重視すること（3つまで）

職業を選択するときに重視することは、「自分の興味に合っていること」が61.3%で最も多く、「高収入が得られること」（51.5%）、「時間が比較的自由なこと」（43.4%）と続く。



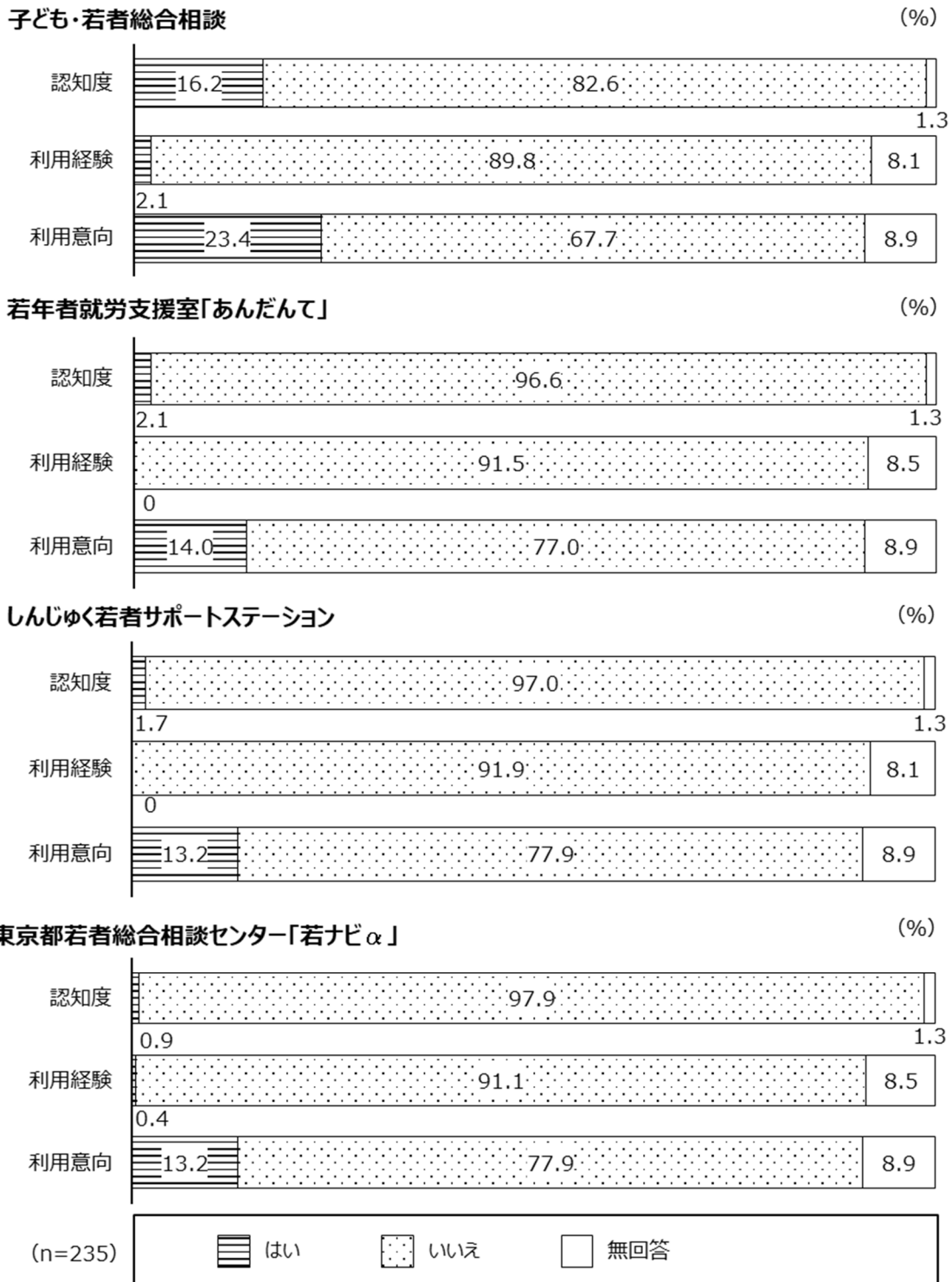
問 18 区が提供している相談や情報提供の認知度・利用経験の有無・今後の利用意向

知っている相談や情報提供場所は、「新宿わかものハローワーク」が 17.4%で最も多く、「子ども・若者総合相談」(16.2%)、「新宿区社会福祉協議会」(15.7%)と続く。

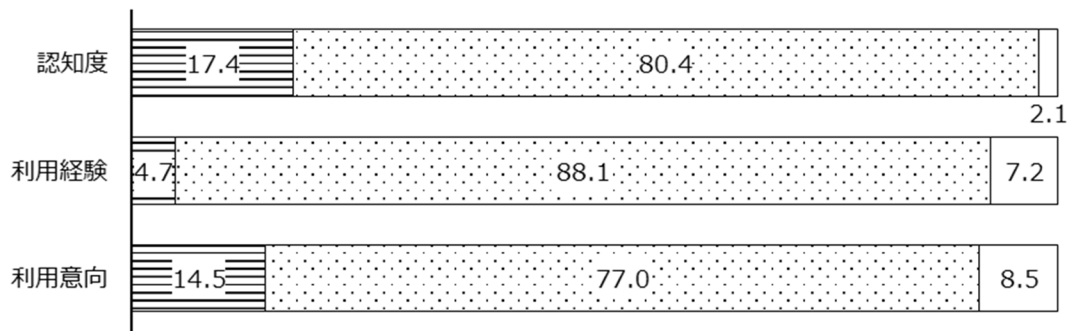
利用したことがある相談や情報提供場所は、「新宿わかものハローワーク」が 4.7%で最も多く、「新宿区社会福祉協議会」(3.0%)、「子ども・若者総合相談」(2.1%)と続く。

今後利用したい相談や情報提供場所は、「子ども・若者総合相談」が 23.4%で最も多く、「新宿就職サポートナビ」(19.6%)、「新宿区社会福祉協議会」(15.7%)と続く。

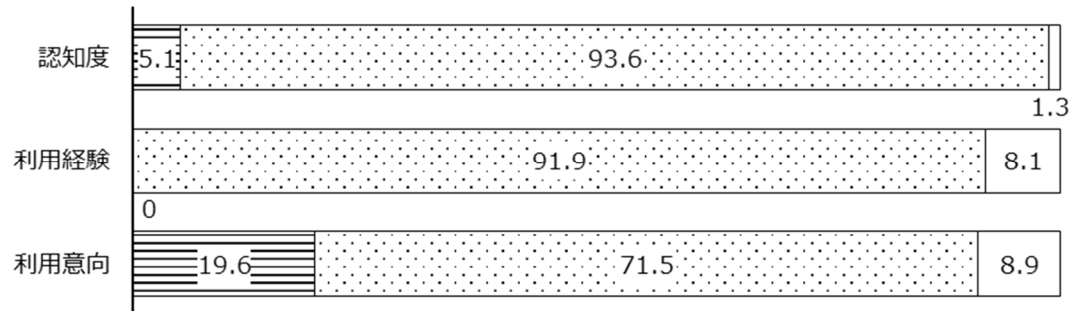
図表 613



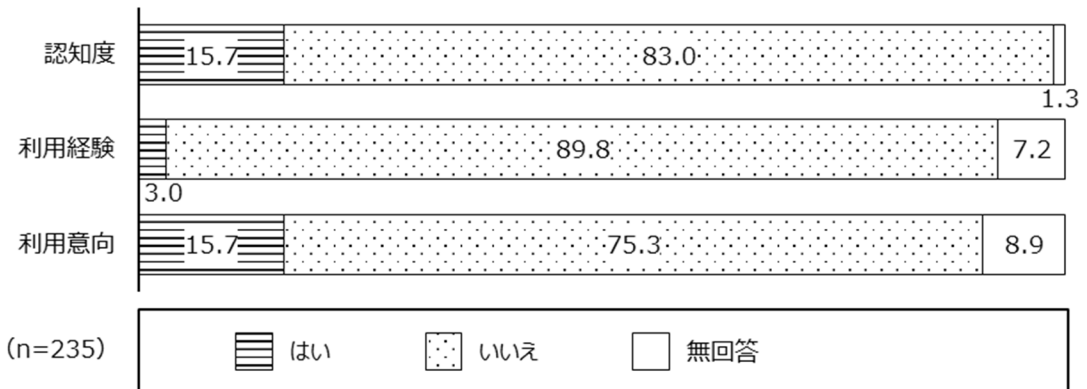
新宿わかものハローワーク (%)



新宿就職サポートナビ (%)



新宿区社会福祉協議会 (%)

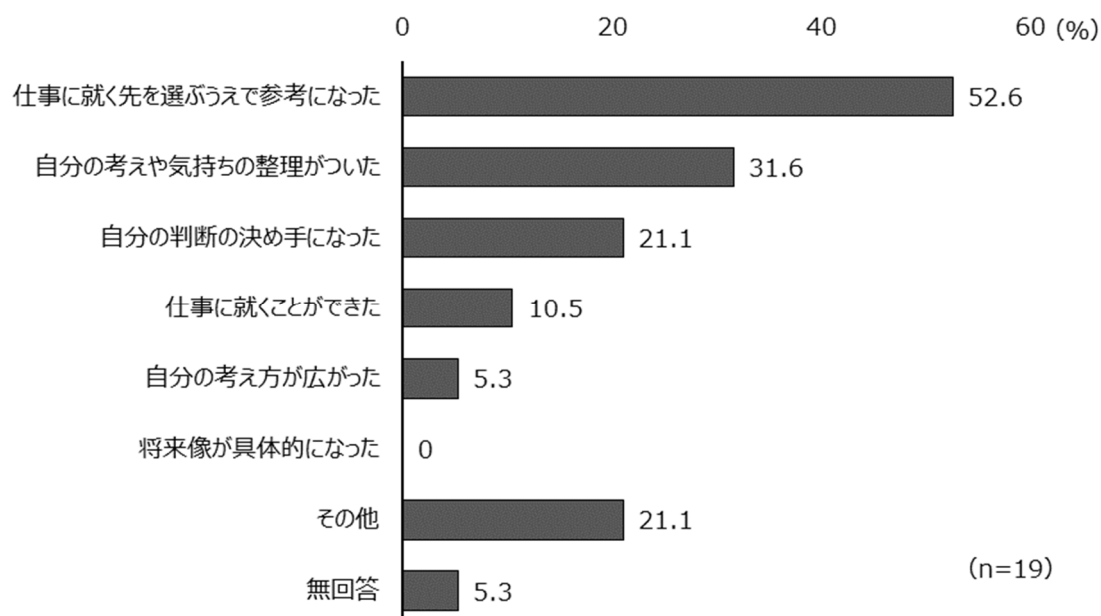


問18-1 相談した結果、どのように役立ったか（3つまで）

【問18の相談や情報提供を利用したことがある方（利用経験を「はい」と答えた方）が回答】

相談した結果、どのように役立ったかは、「仕事に就く先を選ぶうえで参考になった」が52.6%で最も多く、「自分の考えや気持ちの整理がついた」(31.6%)、「自分の判断の決め手になった」(21.1%)と続く。

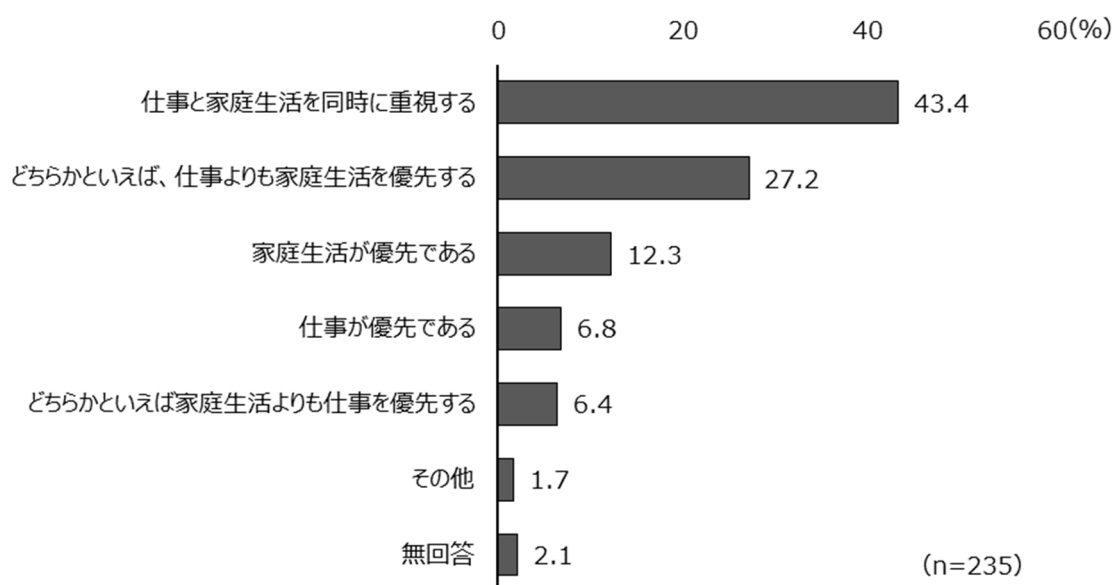
図表 614



問19 仕事と生活のバランスについての考え

仕事と生活のバランスについての考えは、「仕事と家庭生活を同時に重視する」が43.4%で最も多く、「どちらかといえば、仕事よりも家庭生活を優先する」(27.2%)、「家庭生活が優先である」(12.3%)と続く。

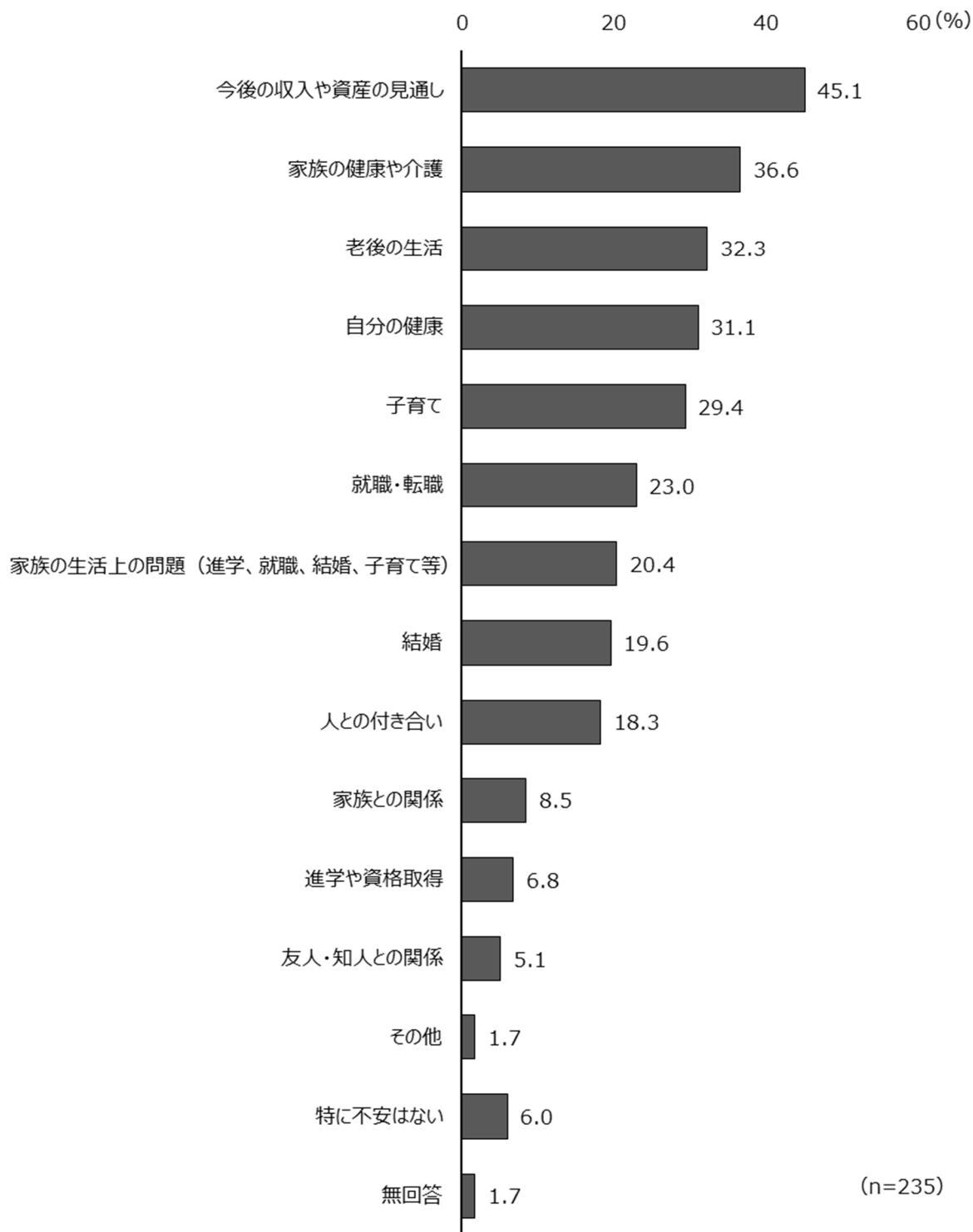
図表 615



問20 将来について不安なこと（3つまで）

将来について不安なことは、「今後の収入や資産の見通し」が45.1%で最も多く、「家族の健康や介護」(36.6%)、「老後の生活」(32.3%)と続く。

図表 616

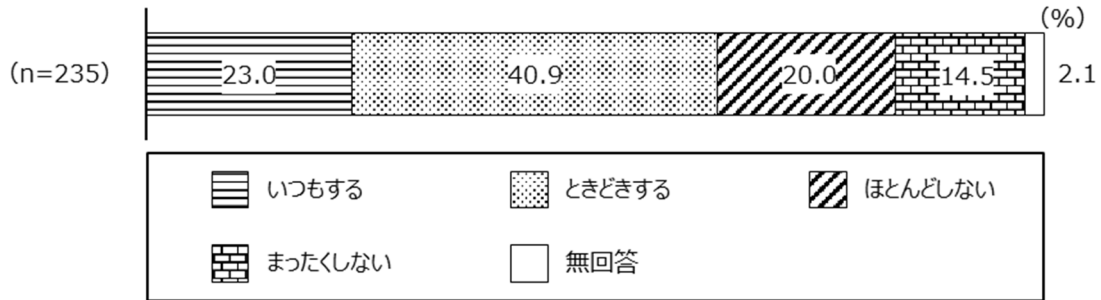


(4) 近所の人や地域との関わり方について

問 2 1 近所や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするものの有無

近所や同じ建物に住んでいる人とあいさつや話をするものは、「ときどきする」が 40.9%で最も多く、「いつもする」(23.0%)、「ほとんどしない」(20.0%)と続く。

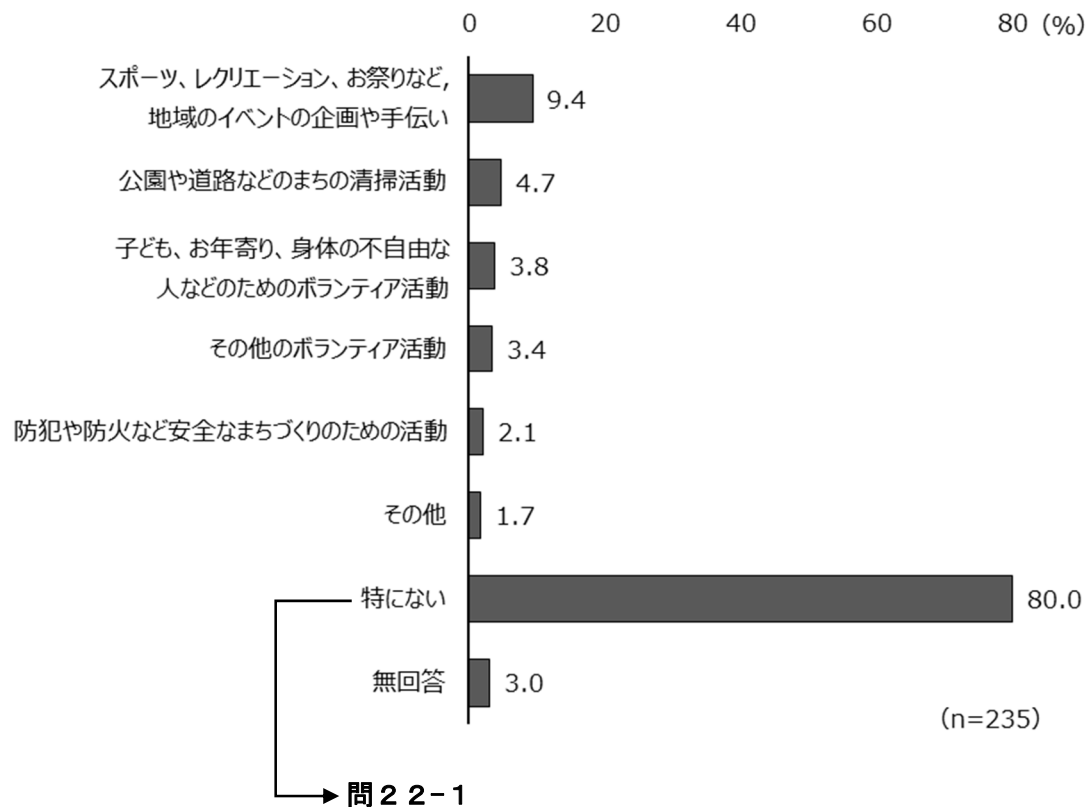
図表 617



問 2 2 参加したことがある地域活動 (複数回答)

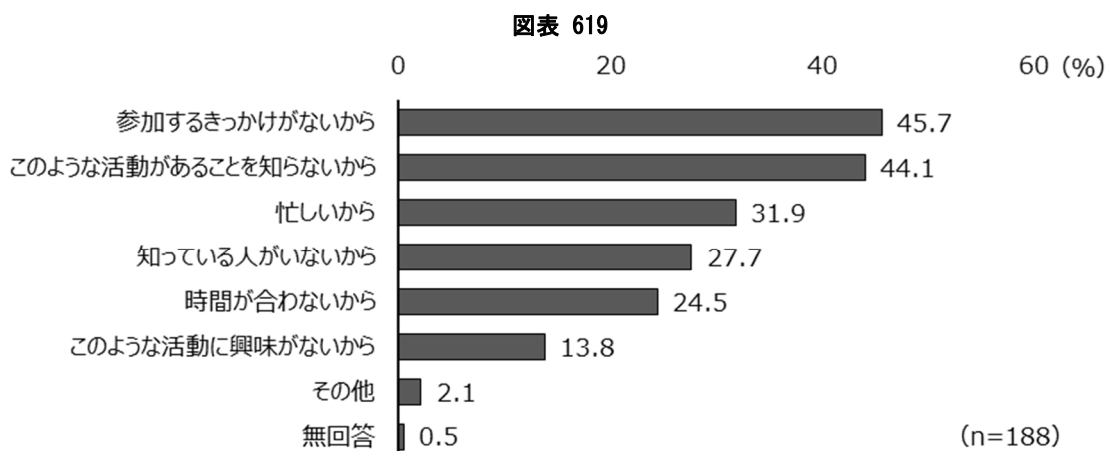
参加したことがある地域活動は、「特にない」が 80.0%で最も多く、「スポーツ、レクリエーション、お祭りなど、地域のイベントの企画や手伝い」(9.4%)、「公園や道路などのまちの清掃活動」(4.7%)と続く。

図表 618



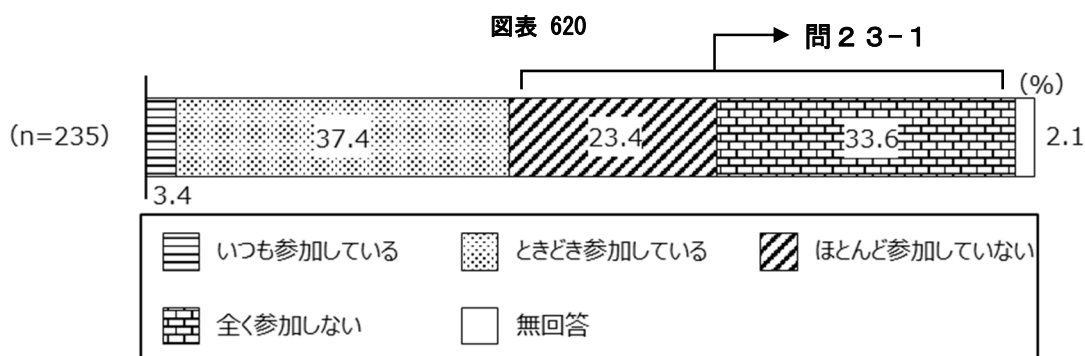
問 2 2-1 地域活動に参加しない理由（複数回答）

地域活動に参加しない理由は、「参加するきっかけがないから」が 45.7%で最も多く、「このような活動があることを知らないから」(44.1%)、「忙しいから」(31.9%)と続く。



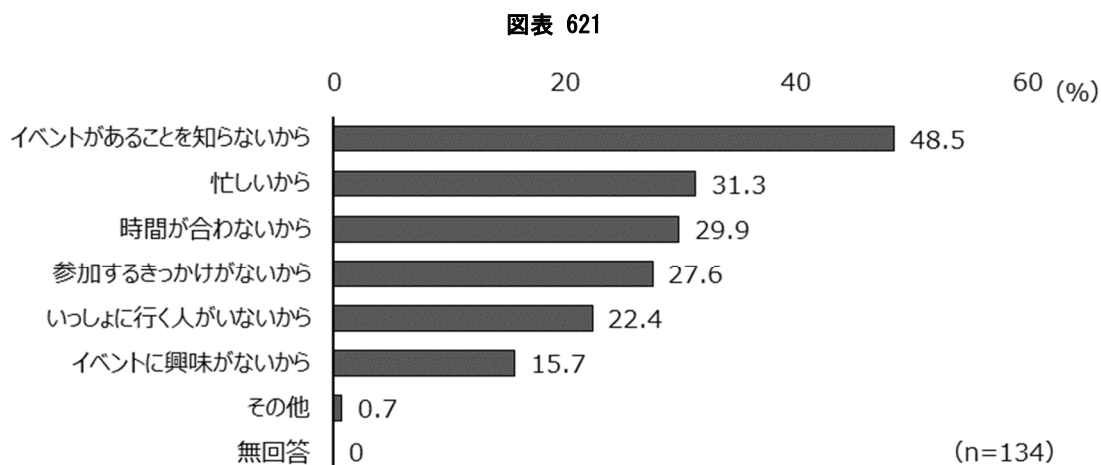
問 2 3 学校や職場以外で行われる区や地域のイベントに参加したことがあるか

学校や職場以外で行われる区や地域のイベントに参加したことがあるかは、「ときどき参加している」が 37.4%で最も多く、「全く参加しない」(33.6%)、「ほとんど参加していない」(23.4%)と続く。



問 2 3-1 区や地域のイベントに参加しない理由（複数回答）

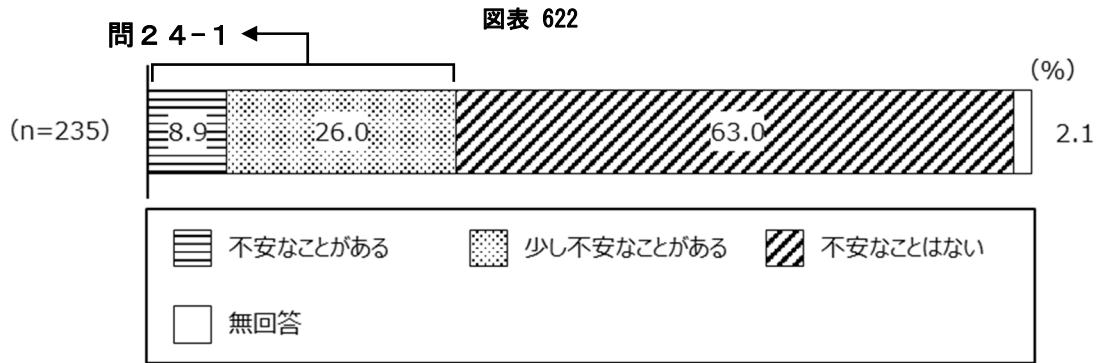
区や地域のイベントに参加しない理由は、「イベントがあることを知らないから」が 48.5%で最も多く、「忙しいから」(31.3%)、「時間が合わないから」(29.9%)と続く。



(5) 生活の安全・安心について

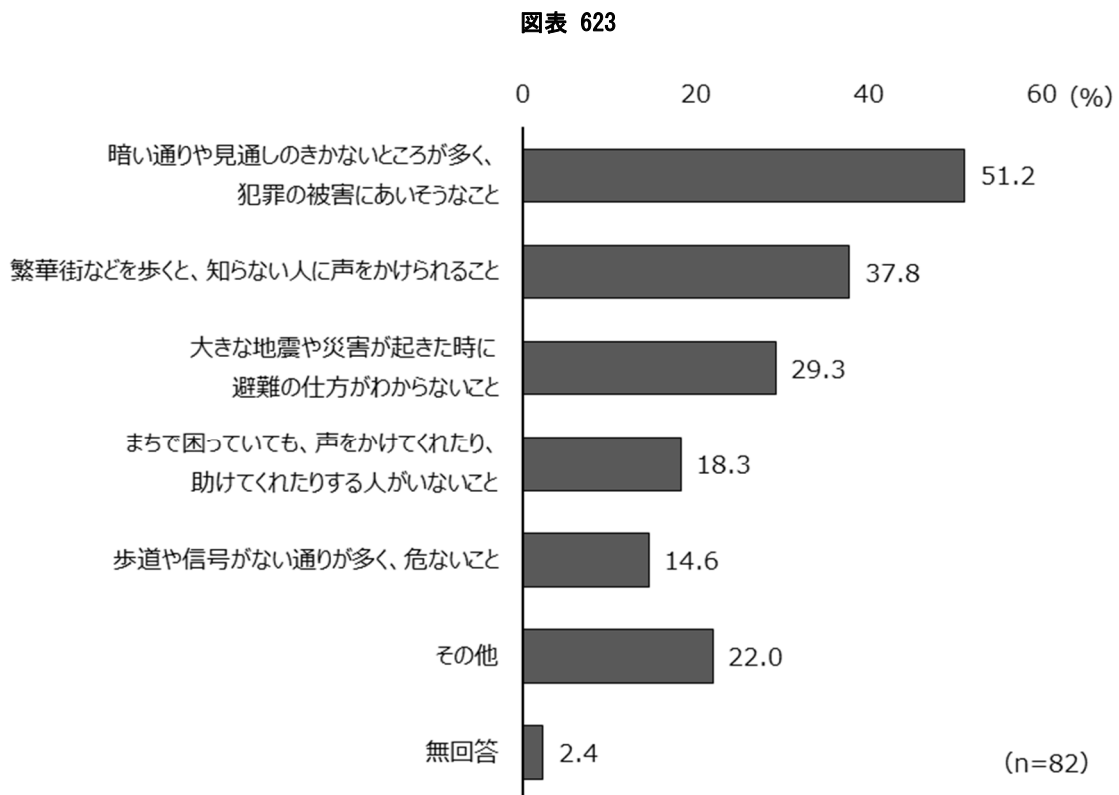
問24 外出をするときの不安の有無

外出をするときの不安は、「不安なことはない」が63.0%で最も多く、「少し不安なことがある」(26.0%)、「不安なことがある」(8.9%)と続く。



問24-1 外出するときに感じる不安なこと（複数回答）

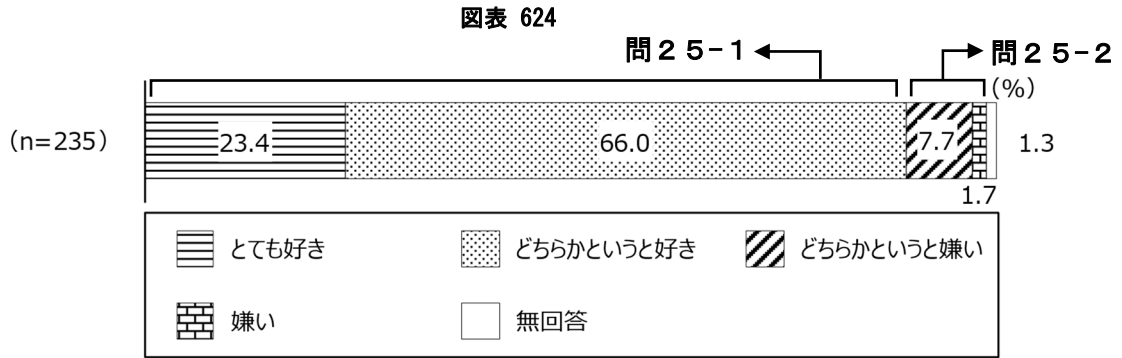
外出するときに感じる不安なことは、「暗い通りや見通しのきかないところが多く、犯罪の被害にあいそうなこと」が51.2%で最も多く、「繁華街などを歩くと、知らない人に声をかけられること」(37.8%)、「大きな地震や災害が起きた時に避難の仕方がわからないこと」(29.3%)と続く。



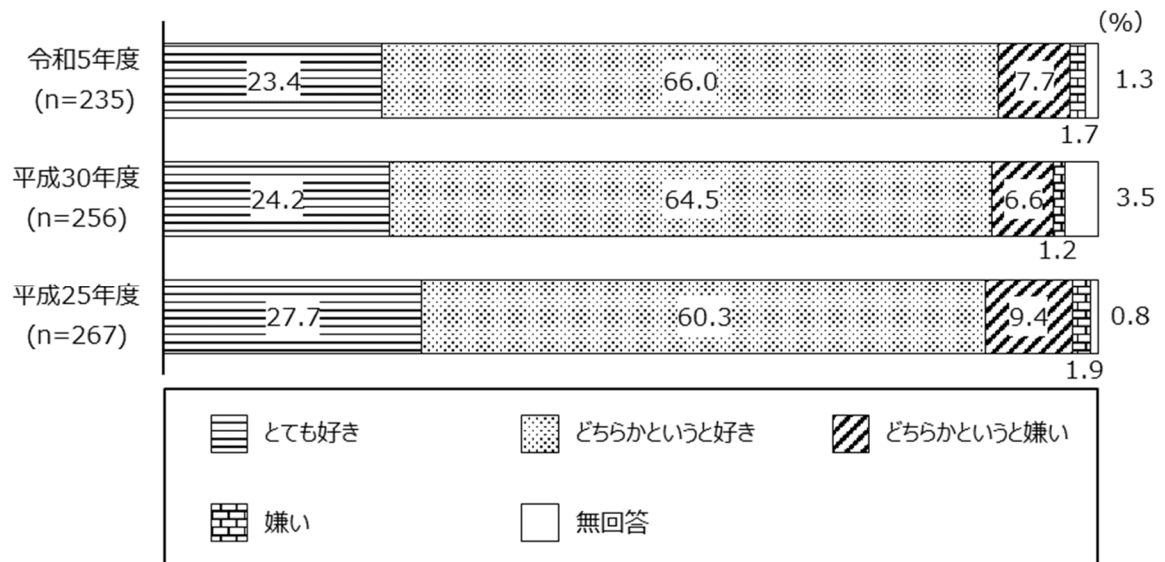
(6) 新宿区について

問25 新宿区への愛着度

新宿区への愛着度は、「どちらかという好き」が66.0%で最も多く、「とても好き」(23.4%)、「どちらかという嫌い」(7.7%)と続く。



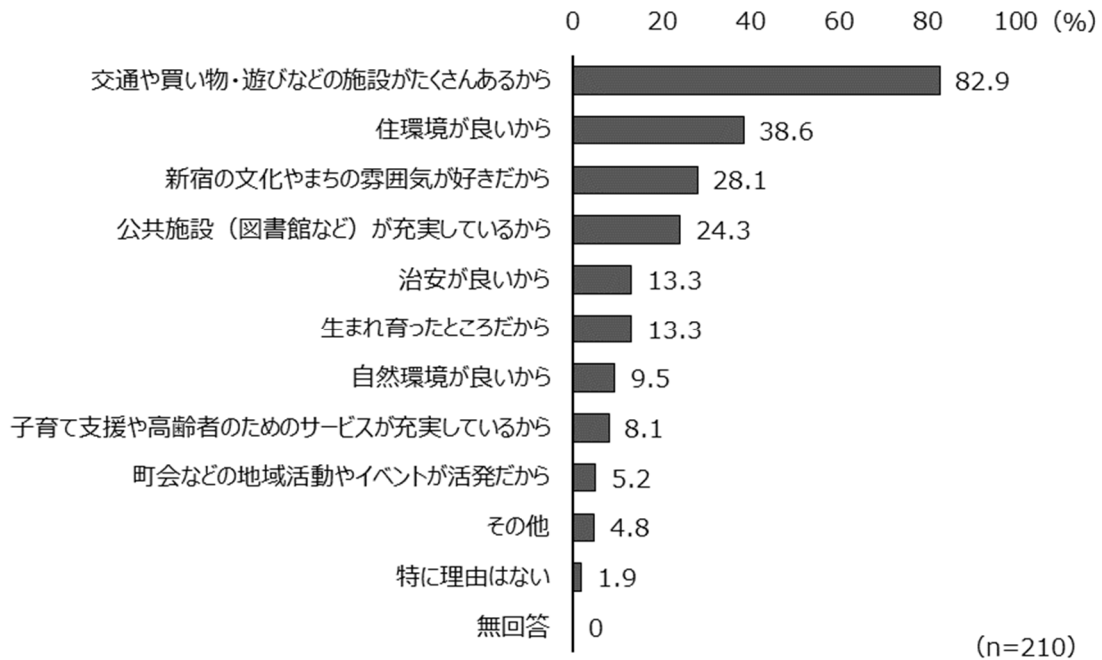
図表 625 新宿区への愛着度（経年比較）



問25-1 新宿区が好きな理由（複数回答）

新宿区が好きな理由は、「交通や買い物・遊びなどの施設がたくさんあるから」が82.9%で最も多く、「住環境が良いから」(38.6%)、「新宿の文化やまちの雰囲気が好きだから」(28.1%)と続く。

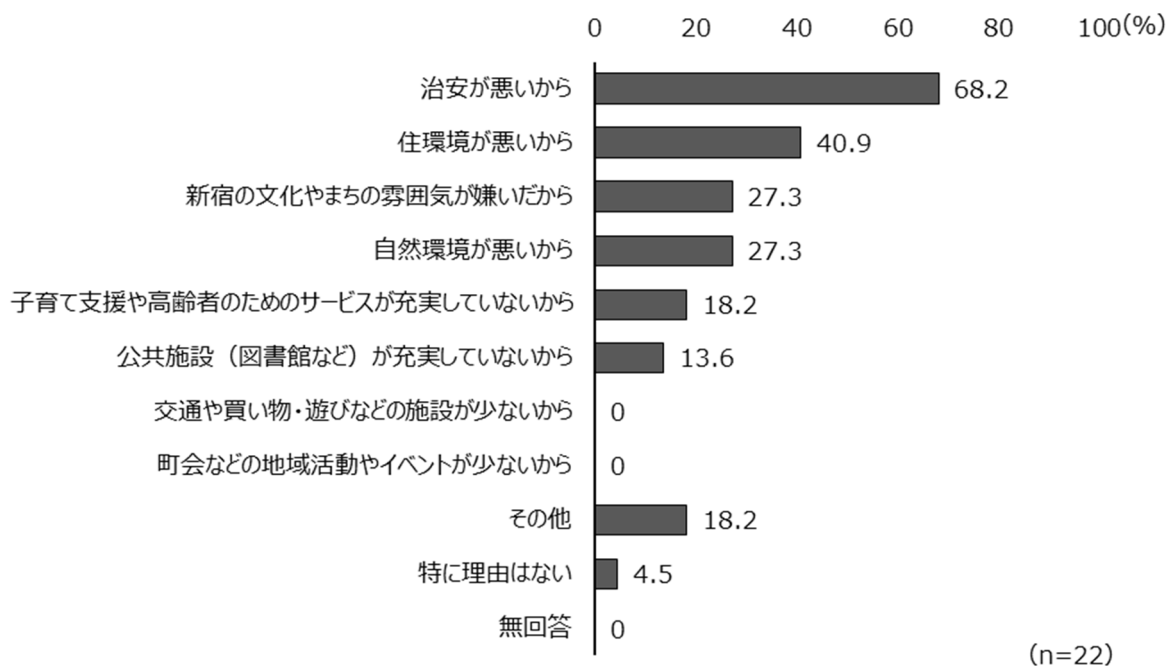
図表 626



問25-2 新宿区が嫌いな理由（複数回答）

新宿区が嫌いな理由は、「治安が悪いから」が68.2%で最も多く、「住環境が悪いから」(40.9%)、「新宿の文化やまちの雰囲気が嫌いだから」と「自然環境が悪いから」がともに27.3%と続く。

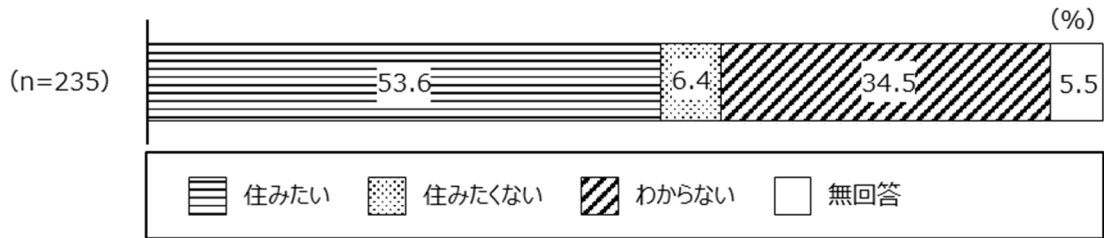
図表 627



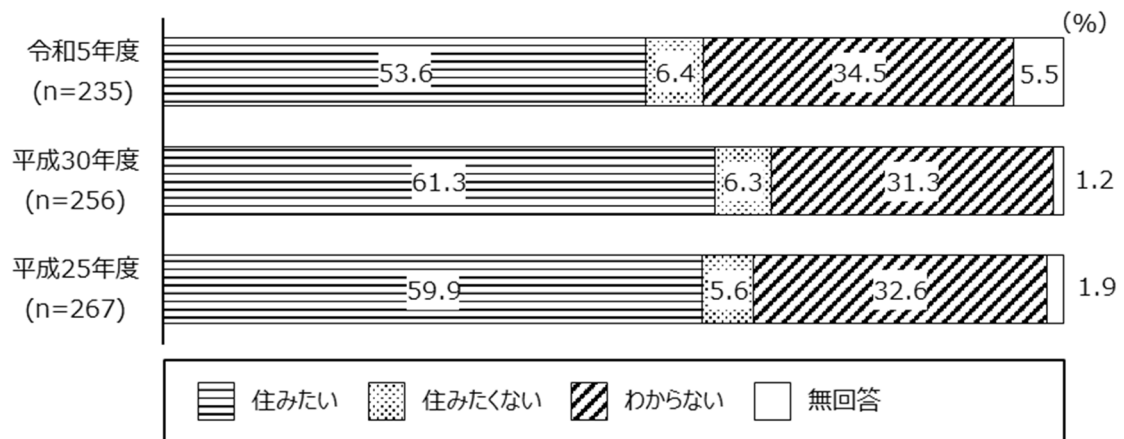
問 2 6 これからも新宿に住みたいか

これからも新宿に住みたいかは、「住みたい」が 53.6%で最も多く、「わからない」(34.5%)、「住みたくない」(6.4%)と続く。

図表 628



図表 629 これからも新宿に住みたいか (経年比較)



問27 子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられること（3つまで）

子どもを産み育てやすい社会に必要なだと考えられることは、「児童手当や税金・教育費の軽減など経済的援助」が48.5%で最も多く、「保育サービスの充実（待機児童解消、一時保育、延長保育、病児・病後児保育など）」（46.8%）、「子育てをしやすい職場づくりのための支援（職場の雰囲気、育児休業制度、労働時間の短縮、テレワークの拡充等）」（34.9%）と続く。

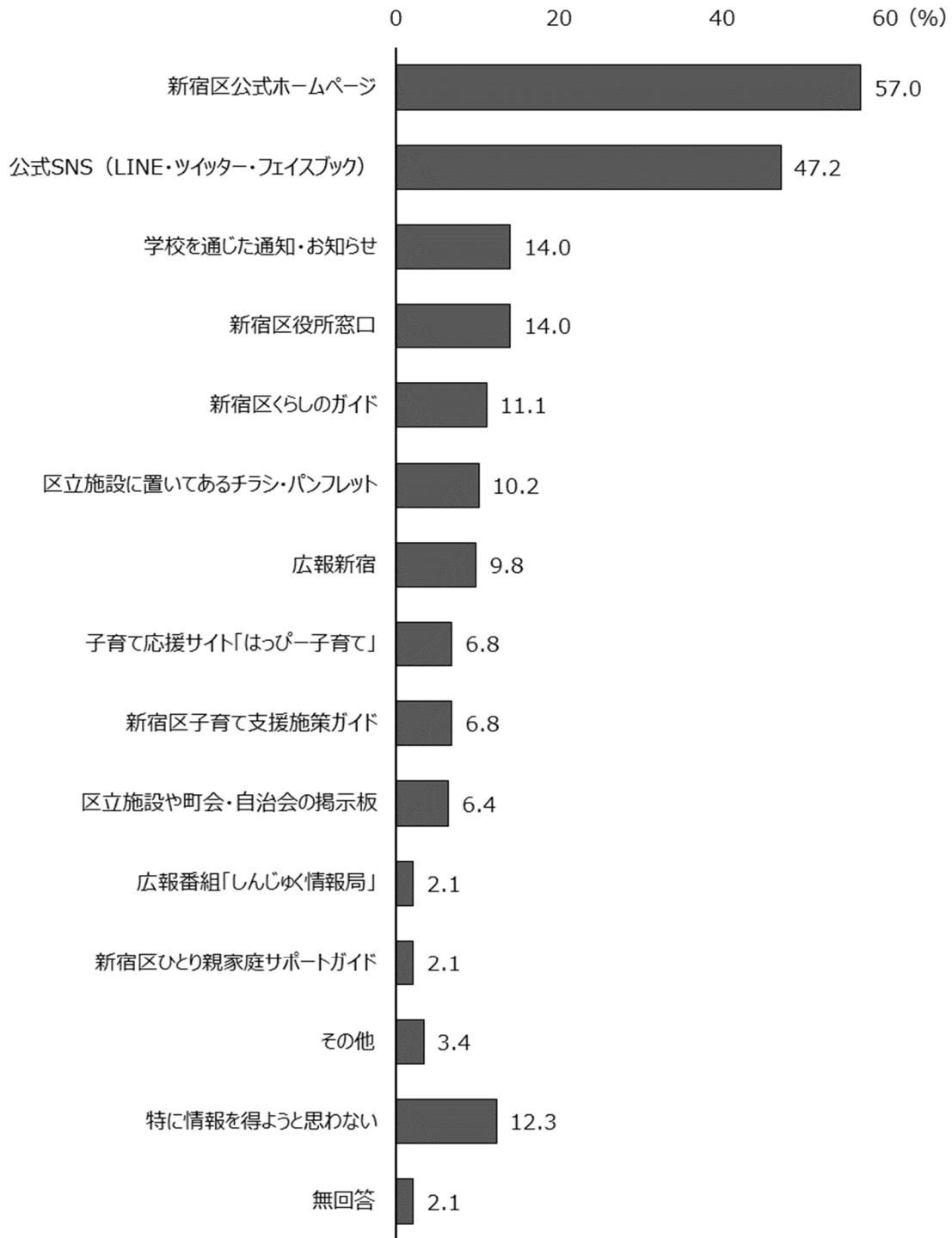
図表 630



問28 区の子育て支援サービスや相談窓口に関する情報をどこから得たいか（複数回答）

区の子育て支援サービスや相談窓口に関する情報をどこから得たいかは、「新宿区公式ホームページ」が57.0%で最も多く、「公式 SNS (LINE・ツイッター・フェイスブック)」(47.2%)、「学校を通じた通知・お知らせ」と「新宿区役所窓口」がともに14.0%と続く。

図表 631



(7) その他

問29 コロナ禍を経て、現在も続いている生活変化について（複数回答）

コロナ禍を経て、現在も続いている生活変化については、「パソコン、タブレット、スマートフォン、ゲーム機等の使用時間が長くなった」が33.6%で最も多く、「友だちと直接会う機会が減った」(29.8%)、「家で一人で過ごす時間が増えた」と「特にない」がともに23.4%と続く。

図表 632

